

OUT & SAFE

No. 7 2



2020（令和2年）

全日本大学準硬式野球連盟



Wilson | **DeMARINI** | **LOUISVILLE** | **EVOSHIELD**



アメアスポーツ ジャパン株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-27-30 新宿イーストサイドスクエア 6F
TEL.03-6831-2711(ウイilson チームスポーツ) <http://www.wilson.co.jp>

the highest quality

PRIDE

ともに最上級へ。



PROSTATUS

2020 New PROSTATUS



プロステータス2020
詳しくはこちら!

ZETT

<https://zett-baseball.jp/>

DESCENTE



Design that moves

あなたを動かす、すべてになる。

デサントジャパン株式会社
お客様相談室 (フリーダイヤル) 0120-46-0310
descente.com
☎ descente_athletic

Shohei Ohtani



proedge



株式会社 エスエスケイ お客様相談室 ☎ 0120-50-7789 (月)~(金) 午前9:30~午後5:30 (祝日を除く)



全国大会が中止にも拘わらず、各地区連盟の活動報告

全日本大学準硬式野球連盟

広報委員長 鈴木 眞 雄

皆さま、いつも変わらずに全日本大学準硬式野球連盟の活動に、暖かいご支援と・声援をお送り頂き、連盟関係者一同、心からお礼を申し上げます。

さて、2020年は、2月頃からのコロナウイルスの急減な感染拡大により、大学の活動の多くが実施不可能となりました。大学の卒業式から入学式、最も大事な講義・実習など、通常の活動が停止に追い込まれ、課外活動も当然、禁止される事態となりました。

この全国的な感染拡大により、全日本大学準硬式野球連盟主催の「第72回全日本大学準硬式野球選手権大会」「清瀬杯第52回全日本大学選抜準硬式野球大会」「第38回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会」の3大会の中止を、理事会として決定しました。

しかし、全日本連盟を構成する各地区連盟においては、今こそ課外活動を意義あるものとするために、地区連盟内での交流・対外試合を計画しました。

これに応じて学生部員は大学当局と「禁止されている対外試合の参加」について参加を認めてもらう交渉をしながら連盟の準備と指導の下学生主体の完全予防を行じ、感染者を出さないという決意が語られ、役員の心配は無用になり、幾つかの地区では代替試合を行うに到りました。全国大会が中止になっても、めげず、心から野球ができる喜びを実感できたのは、まさに学生の自発性、積極性があったからこそであります。

このOUT & SAFE No.72が、例年通りに刊行できたことは、担当の中国地区連盟の皆さんの辛抱強い粘りによるものであります。ここにお礼を申し上げます。

最後に、各地区連盟の活動報告に目を通していただければ幸甚であります。

目 次

北海道地区令和2年度大会成績	5
東 北 地 区 ”	9
関 東 地 区 ”	19
北信越地区 ”	41
東 海 地 区 ”	45
関 西 地 区 ”	59
中 国 地 区 ”	77
四 国 地 区 ”	81
九 州 地 区 ”	85
令和2年度加盟校一覧表	97
全日本大学準硬式野球選手権大会戦績表	100
清瀬杯全日本大学選抜準硬式野球大会戦績表	104
全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会戦績表	107
令和2年度役員名簿	110
全日本大学軟式野球協会規約	111
全日本大学準硬式野球連盟規約	113

令和2年度 北海道地区大会成績





① 北海学園大学 7
② 北海道教育大学岩見沢校 10
③ 北海道教育大学札幌校 2
④ 北海道大学 4
⑤ 札幌大学 8
⑥ 北海道科学大学 7
⑦ 小樽商科大学 0
⑧ 北星学園大学 10
⑨ 釧路公立大学 1
⑩ 札幌学院大学 8
⑪ 北海道大学医学部 13
⑫ 北海道教育大学函館校 3
⑬ 東海大学札幌校 10

優勝
北星学園大学



北海道教育大学岩見沢校	20111005	10
北海道教育大学札幌校	00000101	2

(8回コールド)

(戦評) 教育大ダービーとなった一戦であるが初回到札教の先発結城を攻め2点を先制する。以降岩教が試合を優位に進め8回コールドで勝利した。

(北大) 木村・竹内・守本—中村
(札大) 長澤・坂本—高橋
☆本塁打 半田 (札大)
☆二塁打 佐藤 (北大)
吉田 (札大)

(戦評) 序盤はホームランを含む猛攻で札大がリード。中盤、北大が粘りをみせたが惜しくも及ばず札大が勝利した。



北海道教育大学函館校	0 0 0 1 0 2	3
北海道大学医学部	1 0 0 0 5 7x	13

(6回コールド)

☆二塁打 佐々木・佐藤（函授）
須山（北医）

(戦評) 1対1で迎えた中盤の5回裏、北医は松田の勝ち越タイムリー等で一挙5点を上げ流れに乗ると、続く6回にも7点を取って試合を決めた。



(戦評) 北星大は樽商大福松の立ち上りを攻め、2番荻原の本塁打を含む5安打で一挙5点を上げ主導権を握り、その後も小刻みに追加点を重ね、5回コールドで一回戦を勝ち進んだ。



(戦評) 前半は釧公大白幡、学院大澤井の要所を締める投手戦であったが、学院大は5回裏4番小山田の走者一掃の2塁打等でこの回一挙5点を上げ試合を決定づけた。



（戦評）序盤は両先発の好投でロースコアの展開であったが、6回に北星が長打と犠牲フライで3点を上げ、そのまま逃げ切った。

(戦評) 序盤から中盤にかけては東海の一方向的な試合展開も予想されたが、粘りに粘った北医が終盤に大量得点をして逆転で勝利を収めた。



◎2年9月13日 野幌総合運動公園軟式野球場
 第1試合 開始時刻10:00 終了時刻12:50
 北海学園大学 002100310 | 7
 北海道教育大学岩見沢校 200200000 | 4

(学園) 西川・大玉・古井戸・村上一阿部
 (岩教) 川村・小森
 ☆本塁打 伊藤(竜)・大玉(学園)
 ☆三塁打 井上・河内山(岩教)
 小田川(学園)
 ☆二塁打 伊藤(竜)
 古井戸(学園)
 (戦評) 前半は点の取り合いとなったが学園
 大は7回に3番大玉の本塁打などで3点を取
 り、8回にも1点を追加し試合を決めた。

第2試合 開始時刻13:30 終了時刻15:55
 札幌大学 002020700 | 11
 北海道科学大学 000042100 | 7

(札大) 坂本・辻本・長澤・高橋・松田
 (科大) 増茂・糸塚・三坂
 ☆三塁打 太田・吉田(洗)(札大)
 ☆二塁打 高橋・三坂(科大)
 (戦評) 試合は札大の先行で進んだが5回に
 科学大が一挙4点を上げ同点に追いつき、6
 回には2点を勝ち越したが、札大は7回打者
 11人の猛攻で7点を上げ科学大を突き放した。



◎2年9月14日 野幌総合運動公園硬式野球場
 第1試合 開始時刻9:03 終了時刻11:20
 北海学園大学 000011000 | 2
 札幌大学 000010000 | 1

(学園) 村上一阿部
 (札大) 長澤・高橋
 ☆二塁打 伊藤(竜)
 笹原(北海)
 (戦評) 投手戦の展開となったが、ワンチャ
 ンスを確実にものにした北星が1点差で逃げ
 切った。



第2試合 開始時刻12:41 終了時刻14:48
 北星学園大学 023016 | 12
 北海学園大学 000000 | 0
 (6回コールド)

(北星) 三上・佐野
 (学園) 古井戸・大久保・村中・大玉・石
 井・阿部(希)
 ☆本塁打 荻原(北星)
 ☆三塁打 大浦(北星)
 ☆二塁打 池田(北星)
 (戦評) 4連覇がかかる学園であり好試合が
 予想されたが、北星の打力が爆発し大差で学
 園を下し、秋季大会初優勝を飾った。

◎2年9月14日 野幌総合運動公園軟式野球場
 第1試合 開始時刻9:00 終了時刻11:30
 北海道大学医学部 00003000 | 14
 北星学園大学 00040101x | 6

(北医) 上神田・須山
 (北星) 川村・佐々木
 ☆二塁打 渥美(北医)
 (戦評) 序盤は北星が押し気味に試合を進め
 たが4回に敵失などで一挙に4点を先取。北
 医も5回に5連打で3点を取り1点差まで
 迫ったが、その後は北星が確実に加点し逃げ
 切った。

○個人賞

最優秀選手賞: 三上 直城(北星学園大学)
 優秀選手賞: 村上 航(北海学園大学)
 優秀選手賞: 吉田 洸(札幌大学)
 打撃賞: 荻原 将太(北星学園大学)
 16打数7安打
 打率 4割3分8厘
 本塁打 2本



令和2年度
東北地区大会成績

令和2年度東北地区大学 準硬式野球代替交流大会

©2020年9月5日 仙台市民球場

第1試合 開始時刻10:00 終了時刻12:25

岩手大学 000005000 | 5
東北学院大学 02010111x | 6

(岩手) 鈴木・佐野・小野
(学院) 春日・阿部・荒井・白幡
☆三塁打 本田・鈴木 (学院)
☆二塁打 及川・佐野・小野 (岩手)
本田・嶋田 (学院)

(戦評) 学院大は6回に逆転されるも、その後点数を重ね、8回からリリーフした荒井が2回無安打に抑え逃げ切った。

第2試合 開始時刻13:07 終了時刻16:02

青森大学 111003000 | 6
東北大学 32110000x | 7

(青森) 坂田・今一坂本
(東北) 東村・青砥
☆三塁打 坂本 (青森)
工藤・奥原 (東北)
☆二塁打 奥原 (東北)

(戦評) 初回、東北大はワイルドピッチとヒットで逆転。青森大は6回に追い上げるも、あと一歩及ばなかった。

©2020年9月6日 東北学院大学笠神球場

第1試合 開始時刻9:47 終了時刻12:37

東北大学 000010001 | 2
仙台大学 01003030x | 7

(東北) 山口・入谷・青砥
(仙台) 高橋・村田・片岡
☆二塁打 鈴木・三瓶・渋川・熊坂 (仙台)
菅原 (東北)

(戦評) 序盤は拮抗した試合展開となったが、仙台大学が5回、7回と3点ずつ追加し、勝利した。東北大学は9回にチャンスを作り1点を返すも及ばなかった。

第2試合 開始時刻13:10 終了時刻15:53

東北学院大学 010024000 | 7
山形大学医学部 000102000 | 3

(学院) 佐竹・下山・森・柴葉・白幡
(山医) 鈴木・齋・金原・三吉野
☆二塁打 佐藤 (学院)
嶋村 (山医)

(戦評) 学院大は6回までに7得点と打線好調。山形大医学部も安打と四死球で点数を返すも及ばず7-3で学院大が勝利した。

©2020年9月19日 東北学院大学笠神球場

第1試合 開始時刻9:55 終了時刻12:50

山形大学医学部 102020003 | 8
東北大学 002000030 | 5

(山医) 種村・齋・金原・尾形
(東北) 東村・船山・青砥
☆二塁打 工藤・金原・後藤・菅原 (山医)
青砥・近藤 (東北)

(戦評) 同点で迎えた9回、山形大学医学部が1アウト満塁の好機をつくり、齋・後藤のタイムリーで勝ち越し勝利した。

第2試合 開始時刻13:25 終了時刻16:07

仙台大学 000000020 | 2
東北学院大学 000100000 | 1

(仙台) 高橋・佐藤・大原
(学院) 佐竹・近江・荒井・加藤 (篤)・柴葉・白幡
☆三塁打 草野 (仙台)

(戦評) 仙台大は8回に2アウト1、2塁のチャンスをつくり、2番草野がライトへ2点タイムリーを放ち、勝利した。

©2020年9月21日 河南中央公園野球場

第1試合 開始時刻9:50 終了時刻12:32

東北学院大学 013400000 | 8
東北大学 000202000 | 4

(学院) 近江・春日・森・加藤 (篤)・白幡・三浦
(東北) 森・入谷・山口・青砥
☆三塁打 鈴木 (学院)
☆二塁打 佐島 (学院)
菅原 (東北)

(戦評) 学院大は序盤に大量特典を奪い主導権を握った。東北大の山口が5回からリリーフし、4回を無失点に抑えるが後一歩及ばなかった。

第2試合 開始時刻13:10 終了時刻15:30

青森大学 000220200 | 6
仙台大学 000000000 | 0

(青森) 坂田・大瀧・坂本
(仙台) 佐藤・村田・樋口・大原
☆三塁打 大久保 (青森)
☆二塁打 高谷②・柏崎・三木

(戦評) 青森大は9回被安打7の完封リレーで仙台大打線を抑えた。打線も長打を量産し6得点で勝利した。

©2020年9月22日 仙台市民球場

第1試合 開始時刻9:46 終了時刻13:00

山形大学医学部 200400010 | 7
岩手大学 24110200x | 10

(山医) 鈴木・種村・三吉野
(岩手) 鈴木・小野
☆本塁打 佐藤 (岩手)
☆三塁打 鈴木 (山医)
及川 (岩手)

(戦評) 山形大学医学部が先制したが、岩手大学が4回までに8点を取り逆転した。山形大学医学部も4回に4点を取ったが、反撃及ばず岩手大学が勝利した。

第2試合 開始時刻13:30 終了時刻16:00

仙台大学 000052000 | 7
東北工業大学 300000001 | 4

(仙台) 高橋・大原
(東工) 栗原・早坂
☆本塁打 鈴木・鈴木 (仙台)

(戦評) 初回、東北工業大学は四球を絡めて、3点を先制する。仙台大学の先発高橋は調子を上げ、その後は得点を許さない。仙台大学は鈴木の本塁打2本を含め、7点をあげ勝利した。

©2020年9月26日 仙台市民球場

第1試合 開始時刻9:52 終了時刻12:05

東北工業大学 1011130 | 7
東北大学 000000x | 0
(7回コールド)

(東工) 伊藤・大須賀・早坂
(東北) 東村・森・山口・青砥
☆三塁打 小田桐 (東工)
平林 (東北)
☆二塁打 尾形 (東工)
青砥 (東北)

(戦評) 東工大が初回到4番巻野のレフト前ヒットで先制すると、計12安打を放ち得点を重ねた。東北大もチャンスを作るも後続を断たれた。結果、東工大が7回コールドで勝利した。

第2試合 開始時刻12:35 終了時刻15:02

山形大学医学部 000000100 | 1
青森大学 03011000x | 5

(山医) 齋・尾形
(青森) 今一柏崎
☆三塁打 嶋村 (山医)
細越・向明戸 (青森)
☆二塁打 鈴木 (山医)
大久保・柏崎 (青森)

(戦評) 序盤から主導権を握った青森大学が5-1で勝利を収めた。青森大学が前半から得点を重ね優位に進め、山医は終盤にチャンスを作るもあと一本が出なかった。

©2020年9月27日 仙台市民球場

第1試合 開始時刻9:41 終了時刻12:30

東北工業大学 050300010 | 9
東北学院大学 100100121 | 6

(東工) 栗原・伊藤・早坂
(学院) 尾形・佐竹・下山・荒井・柴葉・三浦
☆三塁打 伊藤・渡邊・大石 (東工)
嶋田 (学院)
☆二塁打 尾形・小田桐 (東工)
小笠原 (学院)

(戦評) 初回到学院大が先制するも、東工大の渡邊をはじめ、打線が繋がりを一挙5得点。その後、学院大が追い上げるも東工大が逃げ切り勝利を収めた。

第2試合 開始時刻13:03 終了時刻15:20

仙台大学 103000400 | 8
岩手大学 030000000 | 3

(岩手) 鈴木・松江・小野
(仙台) 田中・熊坂
☆三塁打 佐藤 (岩手)
☆二塁打 鈴木・三瓶 (仙台)

(戦評) 二回到岩手が3点を挙げても3回到仙台が逆転さらに7回到仙台が逆転。さらに7回到仙台がダメ押しの4点を挙げ勝利した。

準硬式で目覚めた長距離砲、 燃え尽きた先で掴んだものとは。 東北学院大・菊地達朗



(高校時代から勝負強い打撃が持ち味)

70年以上の歴史がある東北学院大学準硬式野球部。2年連続全日本大会に出場し、昨季の秋季リーグ戦では全勝優勝(7勝0敗)を果たし圧倒的な強さをみせた。そのチームの主将であり、全勝優勝の立役者となったのが菊地達朗(4年)。持ち味のバッティングを生かしてチームを牽引している。

チームの勝利だけを考えた仙台商時代

高校時代は県内の実力校・仙台商業の一番バッターとしてチームを牽引していた菊地。県内のスポーツ雑誌の表紙を飾るほど注目度が高かった選手だ。パンチ力があり、180センチ85キロと恵まれた体格ではあるが、ホームランは高校通算1本。菊地の恵まれた体格、スイングスピードから見ると少し物足りなく感じる。

「高校時代はチームの勝利のことだけを考えてました。ホームランを打ちたいとかは考えたことはなかったです。とにかく塁に出ること。ただそれだけでした。」

高2の春からレギュラーに定着し、高3の春季大会地区予選では、その年に甲子園に出場した東北高校に7-1で勝利した。最後の夏の大会ではベスト16で終わるも、赤い旋風を巻き起こした。

レベルの高さを痛感した大学1年目

高校引退後、菊地は野球に対して燃え尽きていた。甲子園という大きな目標を失い、何の為に野球をするのかが分からなくなっていた。だが、心の片隅には野球をやりたい気持ちがあり、先輩からの勧めもあって「準硬式野球」を選んだ。

菊地は1年目から出場機会をもらうが、10打数0安打で1年目のシーズンが終わった。持ち味のバッティングが生かせず、レベルの高さを痛感した。

「最初は準硬式を甘く見てました…思ったよりレベルが高くて、このままではいけないと思いました。」

再燃した野球熱

1年目の結果を経た悔しさから、薄れかけていた野球に対する気持ちが段々と燃え始めてきた。今の自分に足りないものは何か。どうすればホームランが打てるのか。自分に問

いかけ、仲間に関わりかけ、必死になって考えた。

吉田正尚選手(オリックスバファローズ)の打撃フォームの動画を何度も見返し、身体の使い方を学び、ノックバットを使ってロングティーを行うなど、良いと思った練習方法はすぐに取り入れた。試行錯誤して練習しているうちに、スイングの軌道も変わり、打球の質も変わっていった。

菊地は真剣な表情で準硬式の環境についてこう語った。

「準硬式は監督やコーチから特に縛りはなく、やりたいと思ったことを自由に実践できる環境です。この環境だったからこそ、自分で考えて練習して成長できたと思います。」

高校野球より練習量や厳しさは劣るが、決して遊び感覚でやっている訳ではない。一人ひとりが自分に何が足りないのかを考えて練習している。勝利だけを追い求めるのではなく、野球本来の楽しさを味わいながらプレーしているのも印象的である。



(2019年秋季リーグ戦 対青森大 左中間に豪快な本塁打を放った)

東北を代表する強打者に成長

結果はすぐに現れた。2年春からレギュラーに定着し、2018年秋、2019年春、秋リーグで外野手として3季連続ベストナインを獲得した。2019年秋リーグでは7試合で本塁打3本を放ち、本塁打賞も獲得した。申し分のない結果を残した菊地は心境の変化についても語った。

「一番は野球に対する考え方が変わりました。勝つことだけに一生懸命になるのもいいですが、野球を心から楽しもうとする気持ちこそが良い結果に繋がります。やっぱりホームランを打った時は野球っていいなと純粋に思いますね。」

東北を代表する強打者に成長した菊地は新たな目標として”日本一”を掲げた。チームは2年連続全日本大会に出場するも、両年1回戦で敗退している。その悔しさを晴らすためにも、一致団結で日本一に挑む。

一度は燃え尽きたものの、再び本気になった菊地の目は輝いていた。菊地の放つ放物線が準硬式を熱くするに違いない。

(文・鈴木隼人/写真・東北学院大学準硬式野球部)

最速145キロ右腕、選手兼監督 「異色の二刀流」に迫る 東北大・鈴木彬允



(最速145キロの直球とスライダーは一級品)

最速145キロの速球で三振を量産する本格派右腕が東北大に現れた。強気なピッチングが持ち味で、1年生から東北選抜に選出されるなど投手としての実力は申し分ない。選手としての活躍だけではなく、昨年夏からはチームの監督としても指揮を振るう。そんなチームの要である鈴木彬允(あきのぶ)(3年)の選手、監督としての素顔に迫った。

大学で投手を始める

仙台二高時代は遊撃手。投手経験は大学に入学するまで一度もなく、宮城県の中でも無名の選手だった。

「ピッチャーをやりたい気持ちはありましたが、その時は身体の線も細く、監督に認めてもらえなくて、…」

高校卒業後、投手の夢を諦められずにいた鈴木は、準硬式野球部で投手に挑戦することを決意した。入部した当時は投手の人数が少なく、幸いにも1年生の春リーグからマウンドに上がることが出来た。当時の鈴木は球速は130キロ前半。ストレートには自信を持っていたが、打ち込まれることも多く、ほろ苦いピッチャーデビューとなった。

自分で考えて練習するのがスタンダード

東北大準硬式野球部には、指導者が不在。選手たちで練習メニューを決め、ベンチ入りメンバーも決める。指導者がいない為、自分で考えて練習することが彼らにとっては当たり前のこと。大学から投手を始めた鈴木も、ゼロからピッチャーとしての基礎を研究し、土台を築いていった。

「誰も教えてくれないからこそ、自分から動かなければいけない。この状況こそが自分を成長させた最大の要因だと思います」



(2年連続で東北選抜に選出された)

指導者が不在のチームは準硬式野球では珍しくない。だが、鈴木のように準硬式野球で花が開く選手は多い。この環境をプラスと捉えるか、マイナスと捉えるかは意見が別れるであろう。だがプラスに捉えれば、「自分次第で誰でも輝ける場所」ではないかを感じる。

140キロ超えを裏付けるものとは

準硬式のボールは硬式のボールと比べ、球速がでにくいと言われている。その中、常時140キロ前後を投げる鈴木に速球の極意を聞いた。

「自分がまずしたことは”常識”を疑ったことです。例えば、よくピッチャーは投げる時に「身体を開くな」と言われてると思うんですけど、本当に身体は開いちゃいけないのかなって」

確かに野球界では、動作の常識とされている言葉がたくさんある。「壁を作れ」「腰を回せ」「肘を上げろ」など一見分かりやすい言葉であるが、それを詳しく説明するととなると、難しい。

「まず身体が開くという状態を、自分の中で言語化しました。肩、股関節の可動範囲など身体科学の面も勉強して、結果、骨盤が正面を向くという意味では身体は開いてもいいと自分の中の正解を出しました」

この思考力には驚いた。ここまで論理的に説明できる選手は中々いないであろう。

そして情報収集の自己投資も惜しまない。鈴木は月/2000円を払って野球専門家が集まるオンラインサロンに入会している。そこで各種専門家のプロ水準のアドバイスを受け、学びを深めている。更に驚いたのが”批判的思考”だ。

「各選手でそれぞれ体の状態は異なるので、一流選手だとしても、すべての動作が理想的だとは思いません。各フェーズを切り取って、この身体の使い方は体が柔らかいから実現できるんだとか、自分なりに解釈しています。そのうえで、取り入れられそうな部分を選んで自分の動作に落とし込んでいます。」

頭に入ってきた情報は全てを鵜呑みにしない。一度自分の言葉で解釈して、”自分の身体に合った正解”を常に求めている。

ロジカルシンキング（論理的思考）とクリティカルシンキング（批判的思考）をうまく使いこなす鈴木は、まさに「思考の二刀流」とも言えるだろう。



（参考にする選手はドジャースのウォーカー・ビューラー）

監督として語るこれからの準硬式野球

次に監督として意識していることを聞いた。

「大前提としていることは、全員を試合に出すことです。この野球部に入ってきた理由は一人ひとり違う。本気で野球をやりたいと思う人もいるし、楽しくやりたい人もいます。その全員のニーズををできるだけ高いレベルで応えたいと思っています。それが実現できるのも準硬式の良さだと思っています」

また、準硬式の今後についても更に深く、熱く語ってくれた。

「準硬式はもっとと広がればいいなと思っています。高校時代に芽が出なかった選手でも、比較的自由な環境の準硬式で成長できる人はたくさんいると思います。」

準硬式は環境とレベルの高さのわりに競技人口が少ないのが現状。この現状を打破する案も鈴木は持っていた。

「これからは軟式や硬式で野球に取り組む人達との交流を更に盛んにして、準硬式の良さをアピールしていくべきではないでしょうか。特に、コロナの影響により甲子園が中止になって悔しい想いをしている高校3年生の選手たちにこそ準硬式を知ってほしいです」

更なる飛躍へ

「2年生としての1年間は怪我を抱えていたこともあり、自身で納得できるボールはほとんど投げることができませんでした。現在は完治し、以前よりレベルアップできました」

「卒業後は更に上のレベルにも挑戦してみたいです。自分の実力がどこまで通用するかを知りたいですし、もっと野球が上手くなりたい」

そう意気込む鈴木は更なる高みを目指して、日々考え続け、着々とそれを実行する。

今回の取材を通して、鈴木のお考え、それを実現させる身体能力、実行力の凄さに驚いた。いわゆる高学歴の東北大に所属しているということもあるのか、話していて地頭の良さも垣間見られた。

だが本当に感じた凄さはそこだけではない。

それは誰にも負けない”熱意”。誰でも持つことのできる熱意だが、鈴木は誰よりも熱いものを感じた。もっと上手くなりたという野球少年のような純粋な気持ちに加え、筋の通ったビジョンとプロセスがある。国公立だからとか、身体能力が高いからとかは全く関係なく、一人の野球人としての熱意に心を惹かれた。

勿論、そこにはボールの違いも関係ない。

（文・鈴木隼人/写真/東北大学準硬式野球部）

「投げられなくても…」県優勝投手が悩み抜いた“エースとしての在り方” 東北学院大・八鍼晃貴



（抜群の制球力とキレのある変化球が持ち味）

八鍼晃貴（やくわこうき）。宮城県の高校野球ファンなら一度は目にしたことがある選手だろう。東陵高校（宮城県）のエースとして、6種類の変化球と抜群な制球力を武器に2016年春季宮城県大会で優勝に導き、宮城県を大いに沸かせた選手だ。春の公式戦では地区予選から東北大会まで11試合に先発し、7試合連続で完投するほどの驚異的なスタミナも見せた。その驚異的なスタミナと球速にこだわらず、打たせてとる「我流を貫くスタイル」で宮城県の高校野球ファンを多く魅了させてきた。



（春の県大会では37イニングを投げ、許した四死球は僅か1つ（写真は東陵高校時代））

高校時代のエースとしての在り方

高校3年の春から八鍼の右肩は限界を迎えていた。それでも痛みを我慢してマウンドに上がり続けた。度重なる連投によって夏の大会2週間前には右肩がほぼ上らない状態に。最後の夏の大会はその場しのぎの治療とアドレナリンに頼り、最後までマウンドの座を守り続けた。何が何でもマウンドを守り続ける。それがエースとしての責任であり、当たり前のこと。そうやってやっていたと当時を振り



（バッテリーを組んだ菅原幸治さんは現在国士舘大学世田谷・準硬式野球部でプレーしている）

返る。

「もう野球は続けられないと思いました。それでもいいと思えるほど甲子園という存在が大きかったです。」

「うちのびのびやらないか？」

大学では野球を続けたいと決意していた八鍼。そこに一本の電話がかかってきた。その電話の相手は八鍼が現在所属する東北学院大準硬式野球部（略：学院大）の監督、伏見監督だった。あの東陵のエースが学院大に進学するが、硬式野球部にも軟式野球部にも所属していない。そんな情報が伏見監督の耳に入り、すぐに電話をかけたそうだ。

「電話がかかって来る前は野球を続ける気はありませんでした。大学では遊びも勉強もやりたかったので（笑）でも監督にうちのびのびやらないか？と言われて、楽しくやれるならやってもいいかなと思って。」

入部することを決めた八鍼は、どうせやるなら入部までの半年間を肩の治療に費やし、本来の状態まで回復させた。

再発した右肩痛

完全復活した八鍼は大学でも我流を貫いた。「僕は球速にはこだわらない」と語る八鍼は大学で更に制球力に磨きをかけた。多彩な変化球と糸を引くような制球力で、次々とバッターを打ち取る。三振数こそは少ないが、八鍼の登板する試合のペースは驚くほど早い。1年目の春季リーグでは新人賞を獲得し、堂々たる実力を見せた。続く2年目、3年目も結果を残し、3年春季リーグではベストナインも獲得。引退となる4年目も順調にいくと思っていた。最高学年となり、エースとしてチームを引っ張ると意気込んでいた、そんな矢先に過去の古傷にまた異変を感じた。過去と同じ痛みにも焦りを感じる。

「今度こそ投げられなくなるかもしれない」引退までの時間の短さが不安をどんどん大きくしていく。キャッチボールでは塁間でさえ届かない。紅白戦でもマウンドに上がることはできなかった。



（3年秋には東北選抜にも選出された）

新たなエースとしての在り方

「投げられないピッチャーがエースであっていいのか」背中で引っ張っていくのが”エースとしての在り方”と思っていた「高校時代の八鍼」ならそう思っていたのであろう。だが、今の八鍼は違う。例え投げられなくても、エースとしてチームを引っ張る。ピッチャー陣で行うトレーニングも人一倍勢力的

に取り組む。12人いるピッチャー陣を学年関係なく巻き込んでいく。「俺についてこい」ではなく「一緒にやろうよ」。そう意識して取り組む八鍼の姿勢に後輩たちも絶大な信頼を寄せている。

過去のように投げられない。結果を残せない。だからと言って価値がなくなったわけではない。それでも、チームとして何ができるか、他の選手がどうやったら活躍できるか、それを考え抜き、変化し続ける姿こそ価値がある。

「先頭を切りメンバーの前にでるのがリーダー」そんなリーダー像が当たり前とされている世の中。だが、八鍼のように「背中を押しメンバーを前に出すリーダー」がいてもいいのではないだろうか。八鍼の姿勢を見るとそう染み染みと感じた。

過去の栄光にとらわれず成長し続ける八鍼。そこには多彩な変化球だけではなく、多彩な考え方があった。

（文・鈴木隼人、写真：東北学院大学準硬式野球部、本人提供）

「この困難があつて良かったと思えるように」
未曾有の苦境に立ち向かう主将に迫る。
東北学院大・小林将希



10月17日～24日に開催された「第16回関口杯東北地区大学準硬式野球トーナメント大会」は、東北学院大学（以下、学院大）が4年ぶりの優勝を飾り閉幕した。コロナ禍でチーム運営が難しい中、短期間でチームをまとめ上げ優勝に導いた、学院大キャプテンの小林将希・3年（柴田高校出身）を取材した。

前例のない世代交代

小林がキャプテンに就任したのは今年の7月。7月に全日本大会の中止が発表され、前例のない世代交代に困惑しながら新チームを迎えた。

新チームが始動するも、学校側の予防策により全体練習ができない日々が続いた。8月に全体練習が許可されるも、対外試合の許可は下りなかった。

他大学も同じような状況で、毎年行われていたリーグ戦も中止が決定した。

少年野球、中学野球、高校野球、社会人野球、プロ野球などでは、段々と試合が再開されてきた頃、大学野球は中々再開する目処が立たなかった。

「いつ試合ができるか分からない状況の中、どうチームを動かしていくのか、選手のモチベーションを保っていくのが本当に難しかった」

そう話す小林は3月に全治半年の膝の怪我也も負っていた。目標が定まらない中での練習、全治半年の怪我。

2つの困難が同時に新キャプテンに押し寄せていた。

それでも小林は、全体練習に参加できず個人のモチベーションが上らない状況でも、チームのモチベーションを優先し続けた。

「この困難があつてよかった。と来年思えるような取り組みを意識した。野球をできることが当たり前ではなくなったこの状況こそ、チームを変える良いチャンスだと思った」

勝つ為に楽しむ

小林は勝つまでの過程にこだわった。「今後も存続していくチームの為に、変わるきっかけをつくりたかった」と小林。

今までチームにあった「実力主義」の考えを見直した。

チームの戦力が落ちてでも、練習に参加しない選手、遅刻した選手はベンチに入れないかった。

そこには小林のある意図があった。

「今までは『練習が楽しい野球』が楽しい野球、結果さえ出せばいいという風潮がチームにあった。そうではなく、メリハリをつけ、全員が野球本来の楽しさを味わえる部活にしていきたいと思った」

決して仲良し好きしの野球ではない。楽しさを感じられるからこそ、真剣に取り組める。勝つ為には、一人ひとりが野球を楽しいと感じられる環境をつくる必要がある。と小林は考える。

勝てば官軍負ければ賊軍

9月に入り、ようやく対外試合の許可が出た。久しぶりの試合に胸が高まる。だが、それ以上に不安の気持ちが大きかった。

2年連続全国大会へ出場している常勝チームを引き継いだ主将として、勝たなければいけないプレッシャーがあった。そして何よりも新たな方針を選択したからこそ。

しかし、半年ぶりの試合は思うようにいかない。今までのように勝てない。

勝てば官軍負ければ賊軍。勝ってしまったら形はどうあれ、良しとされる。

「このまま負け続けてしまえば、前の方針で良かったとなってしまう気がした。この先のチームの為に自分達が目指す野球で勝つしかないと思った」

結果が全ての勝負の世界。不安を感じながらも、チームの方針を変えずに貫き通した。

決して未曾有の事態のせいにはせず。

楽しむとは。

ある日の全体ミーティングでこんな意見が出た。

「もっと楽しくやりたい」「キャプテンについていけない」

新チームが発足してから新たな方針でやってきたが、一部の選手の中では疑問もあった。試合に勝ちたい気持ちは全員持ってるが、そこに行きつくまでの過程で意見が割れた。

「楽しくやる」とは。深く考えれば考えるほど、難しくなっていく難題。

思えば入部の目的は人それぞれ違う。高校野球と同じぐらいの熱量でやりたいと思って入部した人もいれば、その対極で、ワイワイ楽しくやりたいと思って入部した人もいる。両者共に納得できる野球があるのか。何が正解で、何が不正解か分からない問題。

そもそも、そこまで深く考える必要はないかもしれない。

それでも小林は両者の意見に耳を傾け、両者の意見を尊重した。

「勝ちたい気持ちは全員同じ。だからこそ、どこかで1つになれるやり方があるかもしれない」

だが、中々答えが見つからず、考え込んだ日もあった。

チームを良い方向に導いているつもりが、逆の方向へ導いているのではないかと不安もあった。

しかし、真摯に向き合う小林の姿勢は、知らぬ間にチームを良い方向へ導いていた。

「キャプテンを勝たせてあげたい」

今までなかった言葉が部員の口からでるようになった。

バラバラだったチームが少しずつ1つになってきた。



(怪我から復帰した小林は大会打率5割の成績を残した)

迎えた10月。今シーズン最後の大会となる、関口杯トーナメント大会。

「この大会でチームが1つになれた気がした」と小林。

3試合を戦い、全てコールドゲームで勝利し、4年ぶりの優勝を飾った。部員全員が勝利に向かって奮闘し、新チーム初めての栄冠を手にした。

試合後、部員達に胴上げされた小林。

宙に舞いながら、困難に向き合った分だけ、喜びを感じた。

最後に、取材メモに記してあった「この困難があつてよかったと思えるか？」と質問しようとしたが、思いとどまった。

二重線を引いて、「来シーズンの目標は？」と書き換えた。

「優勝したことはとても嬉しい。でも、もっと強くなれるはず。必ず全国で勝てるチームをつくります」

やはり、答え合わせはまだまだ先だった。



(優勝した学院大ナイン)

(文：鈴木隼人)

「準硬プレイバック企画」 熱戦を繰り広げたALL東北に迫る (前編)

新型コロナウイルスの影響で春季リーグ戦が中止になり、現在も試合ができない状況が続いている。そんな中でも多くの人に、準硬式野球の魅力を知ってもらうための企画。

題して「準硬プレイバック企画」。過去の大会を振り返り、選手、マネージャー、監督の体験談を元に準硬式野球の魅力に迫っていく。

2019年 全東北選抜メンバー

位置	氏 名	学年	大 学 名	出身校(都道府県)
団 長	澁 谷 隆		東北学院大学	
監 督	伏 見 善 成		東北学院大学	
コ ー チ	荒 井 晶		東北学院大学	
〃	末 永 海	4	東北学院大学	東 北 学 院 (宮城)
マネージャー	木 元 莉 子	3	東北学院大学工学部	大 曲 (秋田)
スコアラー	長 内 愛 佳	3	東北学院大学	仙 台 商 業 (秋田)
投 手	阿 部 新 弥	3	仙台大学	登 米 (宮城)
〃	八 畝 晃 貴	3	東北学院大学	東 陵 (宮城)
〃	加 藤 篤 紀	2	東北学院大学	東 陵 (宮城)
〃	鈴 木 彬 允	2	東北大学	仙 台 第 二 (宮城)
〃	佐 竹 光 人	1	東北学院大学	泉 松 陵 (宮城)
〃	山 口 陽 平	1	東北大学	県 立 川 越 (埼玉)
〃	今 広 行	1	青森大学	青 森 山 田 (青森)
捕 手	齋 藤 渉	3	東北学院大学	利 府 (宮城)
〃	鈴 木 拓 実	2	仙台大学	光 南 (福島)
内 野 手	星 響 輝	3	東北学院大学	塩 釜 (宮城)
〃	襲 岩 慎之助	3	仙台大学	宮 古 (岩手)
〃	守 屋 颯 真	3	富士大学	浜 松 商 業 (静岡)
〃	阿 部 匠	3	東北学院大学	東 陵 (宮城)
〃	及 川 裕 太	3	仙台大学	仙 台 城 南 (宮城)
〃	荒 山 俊 亮	2	東北大学	川 越 東 (埼玉)
〃	洪 川 亮 佑	2	仙台大学	会 津 (福島)
〃	及 川 佑 瞳	1	東北学院大学	花 巻 東 (岩手)
外 野 手	菊 地 達 朗	3	東北学院大学	仙 台 商 業 (宮城)
〃	青 津 克 幸	3	仙台大学	松蔭学園福島 (福島)
〃	塩 口 友 也	3	仙台大学	登 米 (宮城)
〃	吉 野 精 隼	3	東北学院大学	東 陵 (宮城)
〃	金 原 広 汰	2	山形大学医学部	仙 台 第 一 (宮城)
〃	加 藤 和	2	東北学院大学	東 北 (宮城)
〃	後 藤 雅 輝	2	東北学院大学	山 形 中 央 (山形)
〃	伊 藤 一 真	1	青森大学	青 森 中 央 (青森)

※学年は2019年当時



く。

今回は、毎年10月に行われる、全日本大学9ブロック対抗準硬式野球選手権大会(通称:9ブロック大会)を振り返っていく。9ブロック大会とは、全北海道選抜、全東北選抜、全関東選抜、全東海選抜、全北信越選抜、全関西選抜、全九州選抜の全9チームの選抜チームが日本一をかけて戦う大会である。大学硬式、大学軟式にはない、魅力的な大会の一つだ。全東北選抜の過去の成績は、優勝2回、準優勝2回。今年は去年選出された選手も多く、3度目の優勝へ期待が高まっていた。

その9ブロック大会で東北を代表して戦った全東北選抜(通称:ALL東北)の選手達に取材し、準硬式野球に対する思いを伺った。

第一戦

全中国選抜 3 0 0 0 0 0 0 0 0 | 3

全東北選抜 5 0 1 6 0 0 0 0 x | 12

(中国) 藤田・丸澤・竹之内・中谷・玉尾・
大野・市場・平木・牧田

(東北) 八畝・阿部(新)・山口・今一斎藤
勝利投手 阿部(新)

敗戦投手 藤田

☆二塁打 山羽(中国)

及川(祐)・守屋(東北)

第一戦は全中国選抜。初回到3点の先制を許すも、その裏に相手の失策なども絡み5点を奪い逆転に成功した。その後も4回に大量得点を奪い、試合を決定付けた。2番手として登板した阿部新弥(登米→仙台大)は4回2/3を投げ、無失点に抑え好リリーフを果たした。打撃陣は、守屋颯真(浜松商業→富士大)が3打数3安打3打点と大暴れ。投手陣の好投と打撃陣の大量の援護が噛み合ったゲームになった。



(好リリーフした仙台大・阿部新弥)

第二戦

全関東選抜 0 0 0 0 0 0 0 0 1 | 1

全東北選抜 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 0

(関東) 林部・飯島・町田・高田・小田一
落合・吉田

(東北) 佐竹一斎藤

勝利投手 小田

敗戦投手 佐竹

☆二塁打 野呂(関東)

第二戦は全関東選抜。勝てば決勝トーナメント選出が決定する大一番。ALL東北の先発投手は佐竹光人(泉松陵→東北学院大)。187センチの長身からサイドスローで繰り出す140キロ近くの直球と大きく横に曲がるスライダーで、関東打線相手に凡打の山を築いた。両チーム無得点のまま迎えた最終回。全関東は2番岡本の犠飛により、1点を先制し、これが決勝点となった。先発した佐竹は9回1失点と好投を見せたが、味方の援護に恵まれず、決勝トーナメント進出はならなかった。



(9回1失点の好投を見せた東北学院大・佐竹光人)

存在感を見せた下級生投手陣

今大会では3人の下級生投手陣が存在感を見せた。第一戦でリリーフした技巧派左腕の山口陽平(県立川越→東北大)、同じく第一戦でリリーフしたMAX140キロの直球とフォークを武器にする本格派右腕、今広行(青森山田→青森大)。第二戦で好投したサイドハンドから140キロ前後のストレートと横に大きく曲がるスライダーが持ち味の佐竹光人(泉松陵→東北学院大)。3人は当時1年生ながら代表に選出され、申し分ない結果を残し、鮮烈な全国デビューを飾った。

昨年春季リーグでは新人賞も獲得した佐竹は、1年目から大車輪の働きを見せた。高校時代は全く勝てず悔しさばかりが残ったと振り返る。その悔しさを糧に準硬式という環境で芽を出した。8月に行われた全日本選手権大会でも先発した佐竹。2度の全国大会のマウンドに上がるも未だ白星は0。この経験を生かし、全国の舞台で大輪の花を咲かせたいところだ。

「普段対戦することのない地方の選手と対戦することができ今後の糧になった」と語る山口。成長のきっかけを掴み、新チームのエースとして東北地区の王者へ舵を切る。



(1回を無失点に抑えた山口陽平(県立川越→東北大))

青森山田時代はエースとして活躍した今(こん)。活躍の場を準硬式に移し、1年目からフル回転した。「関東選抜と対戦し、レベルの高さを痛感した。この経験を生かし次は日本一に貢献したい」と高校時代果たせなかった全国制覇を準硬式で目指すと意気込んだ。



(3回を投げ2つの三振を奪った今広行(青森山田→青森大))

「ALL東北の経験をチームに還元したい」と口を揃えた3人の投手。今シーズンもやる気は十分だ。主体性が求められる準硬式野球の環境。彼らのやる気がこの環境とマッチし、可能性を最大限に引き出していく。

彼らは、日常生活において野球が一番に來ないかもしれない。高校球児のようにひたむ

きではないかもしれない。厳しい環境から逃げたと思われるかもしれない。

だが、そうでありながらも、準硬式という環境を選び、白球を追いかける姿に、逃げの姿勢は全く感じない。「まだやれる」そんな心の奥底にある野心と可能性を信じ、挑戦し続ける。

全国の舞台を経験し、更なる活躍を見せてくれるであろう3人の投手。

「俺をみろ」と言わんばかりの熱い投球から、益々目が離せない。

(文：鈴木隼人)

「準硬プレイバック企画」 熱戦を繰り広げたALL東北に迫る (後編)

新型コロナウイルスの影響で春季リーグ戦が中止になり、現在も試合ができない状況が続いている。そんな中でも多くの人に、準硬式野球の魅力を知ってもらうための企画。題して「準硬プレイバック企画」。過去の大会を振り返り、選手、マネージャー、監督の体験談を元に準硬式野球の魅力に迫っていく。



今回は、毎年10月に行われる、全日本大学9ブロック対抗準硬式野球選手権大会(通称：9ブロック大会)を振り返っていく。9ブロック大会とは、全北海道選抜、全東北選抜、全関東選抜、全東海選抜、全北信越選抜、全関西選抜、全九州選抜の全9チームの選抜チームが日本一をかけて戦う大会である。大学硬式、大学軟式にはない、魅力的な大会の一つだ。全東北選抜の過去の成績は、優勝2回、準優勝2回。今年は去年選出された選手も多く、3度目の優勝へ期待が高まっていた。その9ブロック大会で東北を代表して戦った全東北選抜(通称：ALL東北)の選手達に取材し、準硬式野球に対する思いを伺った。

個性派揃いをまとめた名將

今大会、チームの指揮を振ったのが東北学院大学監督、伏見善成監督。伏見監督は、東北学院大学準硬式野球部のOB。大学卒業後すぐに、学院大準硬式野球部のコーチに就任。32歳からは監督を務め、今に至る。50年以上準硬式に携わり、第一線で選手の活躍を支えてきた。

長年携わってきた準硬式的环境を「自分の

努力次第でステップアップできる」と語る伏見監督。大学4年間の中で大きく成長した選手を何人も見てきた名将の言葉には、重みがあった。

ALL東北が始動するのは大会一ヶ月前。この短い期間で各選手の特長を理解し、その特長を最大限に生かせるよう意識する。また、全員の選手に経験を積ませる為、ベンチ入りメンバー総動員で戦う。「今年は特長のある選手が多く揃った」と振り返る伏見監督。優勝を狙えるメンバーだっただけに、予選敗退に悔しさを滲ませた。

最後に「野球だけでなく、自分のやりたい事に挑戦できるのが準硬式的环境。良くするのも悪くするのも全て自分の行動次第。信念を持ってやってほしい。」と選手達に熱いエールを送った。



(学生時代、リーグ記録最多22盗塁の成績を残した伏見監督)

選手と共に駆け抜けたマネージャー

3年連続マネージャーとしてALL東北支えたのが、木元莉子(大曲→東北学院大学工学部)。高校時代は野球部のマネージャーを経験。選手からの誘いもあり、大学でもマネージャーを続けた。「準硬式は高校時代よりもチームの一員として戦っている感じがする」と語る裏には、お金の管理や遠征の手配など数多くの仕事をこなしている。

1年目からALL東北のマネージャーに抜擢された木元。高校時代でマネージャーの経験はあったが、1年生の自分でいいのだろうかと不安を募らせた時もあった。そんな時、東北地区連盟で審判部長を務める石村伸男さんから、ある言葉を頂いた。

「マネージャーがダメだとチームもダメになる」不安な気持ちが押し寄せながらも、頂いた言葉を思い出し、選手が100パーセントの力を出せるように支えてきた。選手のモチベーションが上がるよう、打率や防御率を計算するなど、やれることは全てやってきた。チームに貢献しようと行動に移したことで、チームの戦力になっている実感が増し、責任感も増してきた。チームがどうやったら勝てるようになるのか、そんな事をマネージャーながら考えているうちに、チームが負けた時は自分にも非があると、思い悩んだことも。マネージャーを務めた3年間でのALL東北の成績は2勝3敗1分。優勝はできなかったものの、チームの戦力として掴んだ2勝は、価値のあるものとなった。



(写真は2017年時のALL東北)

編集後記

7月6日、今年度の全日本大会、清瀬杯、9ブロック大会の3つの全国大会の中止が決定した。今回取り上げた9ブロック大会も中止となり、ALL東北の日本一への挑戦は来年へお預けとなった。前例のない脅威に対して、何もできずに模索する日々に、「準硬式の魅力とは」そんな問いが頭をよぎる。試合ができない今、何をすべきか。試合ができない今、準硬式がある意義とは。そんなことを考えながら、再開の兆しを探る日々に、頭を抱える。

「自分の努力次第でステップアップできる」伏見監督がおっしゃった言葉を思い出す。

この危機に対して立ち向かうことができること。これこそが準硬式の魅力なのかもしれない。

身を委ねず、立ち向かった先には熱戦が繰り広げられているはず。祈りに似た確信が、立ち止まった背中を押していく。

(文：鈴木隼人)

学生委員長コメント

東北地区大学準硬式野球連盟

学生委員長 鈴木 隼人

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、毎年行われていた春季、秋季リーグ戦が中止となってしまいました。前例のない事態であった為、マニュアル通りにいかない一年となりました。当連盟は東北5県の大学により構成されている為、県を超えての移動によって感染状況が悪化する恐れがあることが、一番の悩みどころでした。活動停止期間中は各チームの主将主務に協力して頂き、各大学の活動状況を計6回調査し、活動再開時期を探りました。各県、各大学の感染状況、対策方針が異なることから、再開時期を決定するのが困難な状況でした。「引退する選手のためにもリーグ戦を開催してほしい」という意見も多くありました。引退する選手に活躍の場を設けることができなかったことがとても悔やまれます。

活動が停止されている間は、SNSを使った広報活動に力を入れました。何人かの選手に取材協力して頂き、記事を作成しTwitter上にUPしました。感染症の影響により新歓活動ができずに部員獲得が思うようにいかないチームもあったことから、部員獲得の補助になればと思い、始めさせて頂きました。記事を通して準硬式の実態、準硬式の魅力、そして準硬式で奮闘する選手がいることを伝えていきました。9月には河北スポーツマガジンstandard宮城さまに当連盟についての記事を掲載して頂き、今まで以上に多くの人に準硬式存在を認知していただけたと思います。

当連盟は「準硬式という選択がある」というスローガンのもと活動しています。このスローガンは2017年度学生委員長の佐藤瑠さんが考案し、今年度もこのスローガンを使わせて頂きました。準硬式は硬式や軟式と比べられることも多く、あまり世間的には認知されていないのが現状です。しかし、硬式や軟式に負けない魅力が準硬式に多くあることは、選手の皆さんが一番分かっていると思います。学生の手で発展してきた準硬式と、言われることがあります。良くするも、悪くするも学生次第だと思います。今年度の反省を来年度へ繋げて、当連盟をより良い連盟にしていきたいと思います。

準硬式を選択した選手、マネージャーが、その選択に誇りを持ってもらえるよう、今後とも精進して参ります。

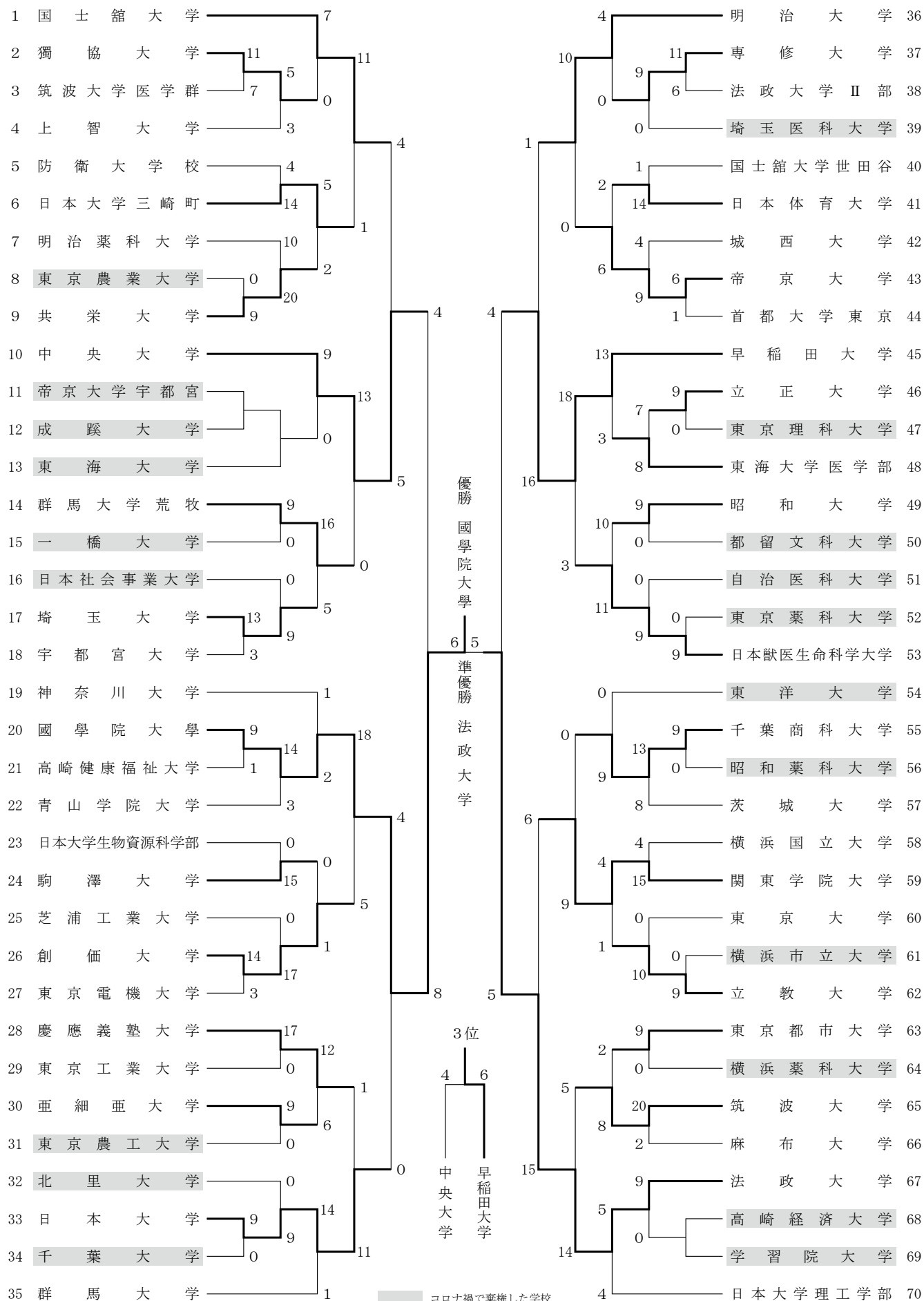
令和2年度 関東地区大会成績





第62回関東地区大学準硬式野球選手権大会

令和2年3月15日～3月25日



第62回関東地区大学 準硬式野球選手権大会

©2020年 3月15日 早稲田大学東伏見グラウンド

第1試合 開始時刻9:06 終了時刻10:26

東京工業大学 00000 | 0
慶應義塾大学 3950x | 17
(5回コールド)

(東工) 若松－稲田

(慶應) 小野・木島・丸田－道本・橋本

☆本塁打 道本(慶)

☆三塁打 服部・田中(慶)

☆二塁打 川合・小倉・山田(慶)

(戦評) 初回から慶応打線が爆発し、5回コールドで勝利した。

第2試合 開始時刻11:10 終了時刻13:30

東京電機大学 2100000 | 3
創価大学 002804x | 14
(7回コールド)

(東電) 駒牧・藤波・佐々木－金元

(創価) 宮所・岸田－住川・西田

☆本塁打 坂元・鈴木(創)

☆二塁打 小山(電)

坂元・田中(創)

(戦評) 東京電機が初回に先制するも、創価が2本の本塁打などで大量得点を奪い逆転する。東京電機は3回以降、チャンスを作るもあと1本が出ず、創価が勝利した。

©2020年 3月15日 法政大学多摩グラウンド

第1試合 開始時刻13:38 終了時刻16:48

獨協大学 100003043 | 11
筑波大学医学群 021010021 | 7

(獨協) 高野・佐藤・直江－小沼

(筑医) 山口・樋口・奥村・瀬尾・宮本－山岡

☆本塁打 小柳(獨)

宮嶋(筑)

☆三塁打 松本(筑)

☆二塁打 荒川・藤野(獨)

潮平・宮嶋2(筑)

(戦評) 7回まで同点という両者互角の戦いを見せるが、8回獨協の小沼の出塁を筆頭に4点を獲得。筑波大学医学群に2点を返されるも、最終回ダメ押しの3点を獲得し、勝利した。

©2020年 3月15日 群馬大学グラウンド

第1試合 開始時刻10:01 終了時刻12:10

埼玉大学 4600012 | 13
宇都宮大学 0100101 | 3
(7回コールド)

(埼玉) 羽田・篠田・遠藤－三谷

(宇大) 窪田・小岩・塩原－佐藤

☆本塁打 高橋(埼)

☆二塁打 三谷・羽田2・高橋(埼)

塩原(宇)

(戦評) 序盤から高橋・羽田(埼)の活躍で埼玉が得点を重ねる。宇都宮も逆転を図るもチャンスを得点に繋げられずに追いつくことができないまま、埼玉が勝利を収めた。

第2試合 開始時刻12:56 終了時刻15:23

國學院大学 042010200 | 9
高崎健康福祉大学 000100000 | 1

(國学) 桜井・小野・伊藤・加部－鴻巣

(健大) 尾形・大原－本多

☆二塁打 佐藤龍・粕谷・渡辺・山田(國)
大久保(健)

(戦評) 國學院が2回に先制すると、その後も得点を重ねていく。高崎健大も走者を出すもあと一歩が出ず、國學院が勝利した。

©2020年 3月15日 首都大学東京グラウンド

第1試合 開始時刻10:14 終了時刻12:03

帝京大学 000000501 | 6
首都大学東京 000100000 | 1

(帝京) 桑原・岩間・松本・荻野・有馬－遠藤・石川

(首都) 島田－秋山

☆本塁打 清水(帝)

☆二塁打 佐藤・渡辺・秋山(首)

(戦評) 両チーム投手陣が好投し、首都大学東京の1点のみというロースコアの展開だったが、7回に帝京大学が打者一巡の猛攻で5点を取り逆転勝利を収めた。

第2試合 開始時刻12:45 終了時刻15:20

防衛大学校 00100021 | 4
日本大学三崎町 00350123 | 14
(8回コールド)

(防衛) 大久保・関森・山村・須田山－沙月・植田

(日三) 宮地・須藤－中込・斉藤

☆本塁打 竹下(防)

☆三塁打 小川(日)

(戦評) 3回まで互角だったが、4回日大三崎の猛攻撃により7点差となった。7回防衛大の竹下が本塁打を放ち反撃するも虚しく、日大三崎が流れに乗り、勝ち点を獲得した。

第3試合 開始時刻15:43 終了時刻17:42

国士舘大学世田谷 0100000 | 1
日本体育大学 110507x | 14
(7回コールド)

(国大) 高田・児浦－北村

(日大) 谷山－児玉

☆三塁打 田中・三上・松永(日)

☆二塁打 梅澤(国)

富里・松永2(日)

(戦評) 2回、国士舘大学世田谷は適時二塁打により1点を返し、同点。日本体育大学は15安打14得点の猛攻で、大会規定により7回コールドで大勝した。

©2020年 3月16日 早稲田大学東伏見グラウンド

第1試合 開始時刻8:53 終了時刻11:12

東京大学 0000000 | 0
立教大学 1510111 | 10
(7回コールド)

(東京) 和田・宮島・荻野－小嶋・八幡

(立教) 水野・松原－坂井

☆本塁打 大戸・坂井(立)

☆二塁打 小嶋(東)

市野・霜鳥(立)

(戦評) 立教大学は2回に2本の本塁打を含む5安打で5点を奪い、リードを広げた。東京大学は立教大学の投手陣の前に無失点に抑えられ、0－10で立教大学が勝利した。

©2020年 3月16日 法政大学多摩グラウンド

第1試合 開始時刻12:55 終了時刻15:16

獨協大学 120011000 | 5
上智大学 001000020 | 3
(獨協) 直江・高野・長堀・佐藤－小沼

(上智) 三田－村田

☆三塁打 清水(獨)

☆二塁打 小柳・本間(獨)

青柳・櫻井(上)

(戦評) 7回まで4点ビハインドの上智だが、8回村田の安打を筆頭に2点差まで詰め寄る。しかし最終回、獨協が守り切り、勝ち点を獲得した。

©2020年 3月16日 横浜国立大学グラウンド

第1試合 開始時刻9:58 終了時刻11:40

駒澤大学 1030362 | 15
日本大学生物資源科学部 0000000 | 0
(7回コールド)

(駒澤) 小林・中村－小山・市川

(日生) 高橋・井上・佐藤・加藤－小宮

☆三塁打 稲葉(駒)

☆二塁打 池田・河野・市川(駒)

(戦評) 駒澤は初回に河野のタイムリーツーベースで先制すると、その後もヒットと相手のミスで得点を重ねる。日大生物はランナーを出すも、駒澤が粘りの投球をみせ、勝利した。

第2試合 開始時刻12:55 終了時刻16:21

立正大学 200200021 | 7
東海大学医学部 10120103x | 8
(立正) 中山・倉持－菊地

(東医) 藤野・磯野・鈴木－名取

☆三塁打 酒井(東)

☆二塁打 永木・林・藤波(立)

河田・酒井・瀬戸(東)

(戦評) 6回まで点の取り合いが展開されたが、8回瀬戸の2塁打を皮切りに流れを引き寄せ、最終回1点を奪われるも逃げ切り勝利、勝ち点を獲得した。

©2020年 3月16日 横浜スタジアム

第1試合 開始時刻9:57 終了時刻12:05

関東学院大学 2151510 | 15
横浜国立大学 1002010 | 4
(7回コールド)

(関学) 戸塚・大平－大杉

(国大) 曾我・森脇－森脇・福澤

☆二塁打 稲石・鈴木・大杉・稲葉(関)
石田・森脇(国)

(戦評) 関東学院は3回と5回に打者一巡の猛攻を含む15安打で15点を奪った。横浜国立は失策が失点につながり関東学院の勢いを止められなかった。

第2試合 開始時刻13:11 終了時刻15:38
國學院大学 22102304 | 14
青山学院大学 02000010 | 3
 (8回コールド)
 (國學) 中川・小野・加部ー鴻巣
 (青山) 菅谷・田中・向井ー公平
 ☆本塁打 鴻巣(國)
 ☆三塁打 粕谷・渡辺2(國)
 ☆二塁打 佐藤龍・笹木(國)
 佐々井・小池(青)
 (戦評) 國學院が初回から切れ目のない打線で大量得点。青山も食らいついでいくが、國學院が守備でも隙を与えず3点に抑え、勝利した。

◎2020年3月16日 中栄信金スタジアム秦野
 第1試合 開始時刻9:59 終了時刻12:45
専修大学 120006200 | 11
法政大学Ⅱ部 100100013 | 6
 (専大) 小倉・斉藤・柳ー本橋・西川
 (法大) 坂倉・猪野・福島ー岡村
 ☆本塁打 須永(専)
 岡村(法)
 ☆二塁打 武内(専)
 園田2・佐々木(法)
 (戦評) 6回、専修大学は適時二塁打などで一挙6点を追加。法政大学Ⅱ部は9回裏に3点を追加するも反撃及ばず。専修大学が1回戦突破を果たした。

第2試合 開始時刻13:44 終了時刻15:32
筑波大学 54146 | 20
麻布大学 00011 | 2
 (5回コールド)
 (筑波) 戸谷・石崎ー土井
 (麻布) 岸田・工藤・山ロー八廣
 ☆三塁打 千葉2(筑)
 ☆二塁打 戸谷(筑)
 (戦評) 筑波は初回からビッグイニングを作り、5回までに大量20得点を奪う。麻布は終盤反撃するも及ばず規定により5回コールドゲームとなった。

◎2020年3月17日 早稲田大学東伏見グラウンド
 第1試合 開始時刻9:52 終了時刻12:17
関東学院大学 000000022 | 4
立教大学 100000000 | 1
 (関学) 戸塚ー大杉
 (立教) 泰道・竹生ー坂井
 ☆本塁打 一柳(関)
 ☆三塁打 市野(立)
 ☆二塁打 大杉・稲石(関)
 (戦評) 8回まで投手戦となったが、関東学院大学が逆転し9回に2ランホームランで追加点を奪い先発戸塚の完投で勝利を収めた。

第2試合 開始時刻13:10 終了時刻15:44
東海大学医学部 00002010 | 3
早稲田大学 00214006x | 13
 (8回コールド)
 (東医) 上向・鈴木・瀬戸・磯野ー名取
 (早大) 清水・田中・金田ー中村
 ☆本塁打 関(早)

☆三塁打 篠原(早)
 ☆二塁打 関・中村(早)
 (戦評) 3回早稲田の下久保の出塁をきっかけに2点を獲得し、流れをつかんだ。5回に2点、7回に1点を与えるも最終回ダメ押しの6点を獲得し、勝利を得た。

◎2020年3月17日 法政大学多摩グラウンド
 第1試合 開始時刻9:54 終了時刻12:19
日本大学理工学部 1300000000 | 4
法政大学 1001011001x | 5
 (延長10回)

(日理) 菅野・下野ー佐橋
 (法大) 尾崎・石橋・湯浅ー堀尾
 ☆本塁打 松田2(理)
 ☆二塁打 高木(理)
 堀尾・大石・古屋・鎌田(法)
 (戦評) 日大理工は松田の2打席連続弾などで3点をリードするも、法政も追いつけてタイブレークに突入。堀江のサヨナラ打で法政が激戦を制した。

第2試合 開始時刻13:10 終了時刻15:18
東京都市大学 000020000 | 2
筑波大学 20121002x | 8
 (東都) 堀場・上野ー岩瀬
 (麻布) 西尾ー土井
 ☆本塁打 若林(筑)
 ☆三塁打 松原(東)
 千葉・宮下(筑)
 ☆二塁打 山内(東)
 曾川・宮下・井鍋(筑)
 (戦評) 筑波は米田のタイムリーで先制すると、その後も若林の本塁打などで得点を重ねてリードを広げ、8対2で勝利し3回戦に駒を進めた。

◎2020年3月17日 町田市営小野路公園野球場
 第1試合 開始時刻9:55 終了時刻12:16
獨協大学 000000000 | 0
国士舘大学 01410100x | 7
 (獨協) 佐藤・高野ー小沼
 (国士) 小田川・高地・山崎・井田・清水ー阿部・高山
 ☆二塁打 梶熊(國)
 (戦評) 獨協が無得点のまま迎えた5回、初安打を放つも国士舘の鉄壁により得点ならず。獨協は最終回まで無得点のまま、国士舘が勝利した。

第2試合 開始時刻13:09 終了時刻14:43
創価大学 31058 | 17
芝浦工業大学 00000 | 0
 (5回コールド)
 (創価) 宮所・三浦・深谷ー西田・住川
 (芝浦) 小野・平良ー内田
 ☆三塁打 益田(創)
 ☆二塁打 田中2・鈴木・住川(創)
 (戦評) 創価は初回から打線がつながり、5本の長打を含む15安打を放った。芝浦工業は2安打と打線が沈黙し、創価が勝利を収めた。

◎2020年3月17日 立川公園野球場
 第1試合 開始時刻9:04 終了時刻11:30
帝京大学 530000100 | 9
城西大学 000001300 | 4
 (帝大) 小泉・荻野・滝田・桑原ー遠藤・鶴岡
 (城大) 鈴木・横山・熊倉ー菊池
 ☆本塁打 石川(帝)
 ☆二塁打 鈴木・尾上(帝)
 齋藤・菊池2(城)
 (戦評) 帝京は3本の適時打等により、5点を先制。8点を追う城西は7回に適時二塁打等により3点を返すも反撃及ばず、帝京が勝利した。

第2試合 開始時刻12:20 終了時刻14:33
専修大学 000000000 | 0
明治大学 03000001x | 4
 (専大) 斉藤・松岡ー本橋
 (明大) 高島・岩田ー武田
 ☆二塁打 原・兼村(明)
 (戦評) 2回、明治大学は3連続適時打により、3点を先制。専修大学は相手好投手を前にわずかに4安打に抑えられてしまい、完封負けを喫した。

◎2020年3月17日 俣野公園野球場
 第1試合 開始時刻10:03 終了時刻12:27
明治薬科大学 0602002 | 10
共栄大学 174800x | 20
 (7回コールド)
 (明薬) 八山・神尾・関・須藤ー須藤・関
 (共栄) 富田・佐藤・橋本ー佐藤・星
 ☆三塁打 藤永(明)
 ☆二塁打 須藤・高田(明)
 佐藤(共)
 (戦評) 2回まで両者点の取り合いが見られたが、4回にかけて共栄の猛攻撃が見られ勝利、勝ち点を獲得した。

第2試合 開始時刻13:14 終了時刻15:58
茨城大学 210110201 | 8
千葉商科大学 20117200x | 13
 (茨城) 川村・後藤・野村ー佐藤
 (千商) 吉川・鈴木・吉永・坂根・小島ー金原・遠藤
 ☆三塁打 後藤・野村・萩原(茨)
 金原(千)
 ☆二塁打 佐藤・森下・萩原・鈴木(茨)
 金原・小島・伊東・大和(千)
 (戦評) 千葉商科大学は1点ビハインドの5回に3本の2塁打を含む5安打で7点を奪い逆転する。茨城大学も反撃するも及ばず8-13で千葉商科大学が勝利した。



◎2020年3月18日 小野路球場

第1試合 開始時刻9:55 終了時刻12:38

亜細亜大学 012000030 | 6

慶應義塾大学 40100205x | 12

(亜大) 渡邊一坂本

(慶應) 中野・津田・小野・木島・丸田ー
道本・橋本

☆本塁打 川合・服部(慶)

☆三塁打 久保田(亜)

小倉・酒井(慶)

☆二塁打 久保田・小山(亜)

荒川・高野・橋本(慶)

(戦評) 慶應義塾大学が初回に先制したあと
点を取り合う展開になるも一度もリードを許
さず、慶應義塾大学が逃げ切った。

第2試合 開始時刻13:22 終了時刻15:40

日本大学三崎町 000030002 | 5

共栄大学 000001001 | 2

(日三) 須藤・松井ー中込

(共栄) 佐藤ー戸邊

☆二塁打 小川・赤坂(日)

舟久保・稲垣(共)

(戦評) 戦況が動かぬまま迎えた5回、日大
三崎は佐藤の安打を筆頭に3連続安打ののち
3点を獲得。6回共栄に1点を奪われるも最
終回ダメ押しの2点を獲得し、勝利した。

◎2020年3月18日 立川公園野球場

第1試合 開始時刻8:50 終了時刻10:50

日本体育大学 001010000 | 2

帝京大学 10300011x | 6

(日大) 谷山ー児玉

(帝大) 栗原・岩間・松本・有馬ー遠藤・鶴岡

☆三塁打 清水・遠藤(帝)

☆二塁打 遠藤(帝)

(戦評) 帝京大学は、同点で迎えた3回、適
時三塁打等で3点を追加。7回、8回にも1
点ずつを追加し、6ー2で勝利した。

第2試合 開始時刻11:58 終了時刻15:21

日本獣生命科学大学 100101026 | 11

昭和大学 003014002 | 10

(日獣) 坂ロー泉水

(昭和) 船岡・鄭・栗根・天野ー谷川・渡邊

☆三塁打 鶴尾・及能(日)

☆二塁打 泉水(日)

(戦評) 6回にかけて昭和大学がリードして
いたが、最終回バッテリーミスをきっかけに
日獣が流れに乗り、逆転勝ちを収め、勝ち点
を獲得した。

◎2020年3月18日 俣野公園野球場

第1試合 開始時刻9:53 終了時刻12:09

國學院大学 000000011 | 2

神奈川大学 000001000 | 1

(國學) 桜井・加部ー鴻巣

(神大) 二瓶・河埜・重原・村田ー近藤

☆二塁打 石原(神)

(戦評) 手に汗握る投手戦となった。試合が
動いたのは6回、神大がタイムリーヒットで
1点を先制。しかし、國學院が粘りを見せ、
8回と9回に1点ずつをもぎ取り、勝利した。

第2試合 開始時刻12:45 終了時刻14:43

駒澤大学 000000000 | 0

創価大学 00000001x | 1

(駒澤) 小林ー小山・浜辺

(創価) 岸田ー西田

(戦評) 両者一步も譲らぬ投手戦。試合が動
いたのは8回、創価が大橋のタイムリーヒッ
トで1点を先制する。駒澤は直後の9回に
チャンスを作るも、創価が1点を守り切り、
勝利した。

◎2020年3月18日 宇都宮清原球場

第1試合 開始時刻9:55 終了時刻12:17

群馬大学荒牧 1312306 | 16

埼玉大学 2110001 | 5

(7回コールド)

(群荒) 吉川ー丹野

(埼玉) 羽田・篠田・遠藤ー三谷

☆三塁打 山園(群)

三谷・羽田(埼)

☆二塁打 田村・樺澤・宮内・丹野(群)

羽田・千葉(埼)

(戦評) 序盤から群大荒牧が猛攻を見せるも、
埼玉もまた一步も引かない展開が続く。しか
し7回表、群大荒牧の打線が爆発、そのまま
勝利を収めた。

第2試合 開始時刻13:13 終了時刻15:23

日本大学 4030223 | 14

群馬大学 0000001 | 1

(7回コールド)

(日大) 山崎・永渕・市毛ー宮澤・鈴木

(群馬) 北村・町田ー村上

☆三塁打 宮澤・木上・小林・市川・井

原(日)

☆二塁打 池田・竹内(群)

(戦評) 日本大学が攻守で群馬大学を圧倒し、
7回コールドで勝利した。

◎2020年3月19日 早稲田大学東伏見グラウンド

第1試合 開始時刻9:50 終了時刻11:55

帝京大学 0000000 | 0

明治大学 0220303x | 10

(7回コールド)

(帝大) 小泉・岩間・松本ー遠藤・鶴岡

(明大) 前田・大野ー武田

☆三塁打 中西(明)

☆二塁打 高桑・上戸鎖・高橋(明)

(戦評) 明治大学は、相手の失策等により2
点を先制するとその後も得点を重ね、前田、
大野の好継投で完封勝利を収めた。

第2試合 開始時刻12:50 終了時刻14:34

日本獣生命科学大学 10020 | 3

早稲田大学 37143x | 18

(5回コールド)

(日獣) 西・監物ー泉水

(早大) 安在・吉ヶ江・金田ー中村

☆本塁打 押尾(早)

☆三塁打 下久保(早)

☆二塁打 小野澤(日)

川原(早)

(戦評) 初回先制を許したが、押尾の本塁打

で逆転した。その後は連続する四死球によっ
て点を重ね、5回コールドにより勝利、勝ち
点を獲得した。

◎2020年3月19日 法政大学多摩グラウンド

第1試合 開始時刻12:55 終了時刻15:50

法政大学 400202231 | 14

筑波大学 020101010 | 5

(法政) 尾崎・前芝・伏見・西村ー堀尾

(筑波) 戸谷ー土井

☆本塁打 堀尾(法)

☆三塁打 大石・古屋・中井(法)

☆二塁打 堀江・堀尾・中川2・藤平(法)

米田2・若林2(筑)

(戦評) 初回に法政が四連打などで4点を先
制する。筑波は2回に2点を返しますが、法
政が再び突き放し14対5で大勝した。

◎2020年3月19日 俣野公園野球場

第1試合 開始時刻9:53 終了時刻13:02

國學院大学 205102305 | 18

創価大学 200002100 | 5

(國學) 中川ー鴻巣

(創価) 深谷・宮所・三浦・岸田ー西田・住川

☆本塁打 日高(國)

☆三塁打 鴻巣(國)

吉田(創)

☆二塁打 佐藤龍・田中・佐藤裕・笹木(國)

平田(創)

(戦評) 初回は互いに2点を取り合ったが、
その後は國學院の中川が要所を締め、創価に
流れを渡さない。創価は4人の投手をつぎ込
むも國學院を止めきれず、國學院が勝利した。

第2試合 開始時刻13:49 終了時刻15:55

慶應義塾大学 0010000 | 1

日本大学 343001x | 11

(7回コールド)

(慶應) 古澤・中野・沼・小野ー高野

(日大) 山崎・江越ー宮澤

☆二塁打 小倉(慶)

福村・木上・長濱・宮澤・久

池井(日)

(戦評) 日本大学が集中打で3回までに10点
を取った。投手陣は慶応打線にチャンスさえ
作らせられないようなピッチングで大量リードを
保ったまま完勝した。

◎2020年3月19日 中栄信金スタジアム秦野

第1試合 開始時刻9:56 終了時刻12:14

日本大学三崎町 00000100 | 1

国士舘大学 02400203x | 11

(8回コールド)

(三崎) 宮地・須藤ー中込

(国士) 戸谷・高地・山崎・清水ー高山・
伊藤光

☆三塁打 清水孝・内藤(国)

☆二塁打 伊藤悠(国)

(戦評) 国士舘は2回に2点を先制すると3
回にも4点追加、日大三崎を引き離す。6回
に日大三崎が相手の三野選で1点を返し反撃
するも虚しく、国士舘が流れに乗り、勝利を
収めた。

第2試合 開始時刻12:48 終了時刻14:37
群馬大学荒牧 0000000 | 0
中央大学 321502x | 13
 (7回コールド)

(群荒) 鈴木峻・吉川一丹野
 (中央) 近野・林部一高橋
 ☆本塁打 山口澤(中)
 ☆三塁打 小河原(中)
 ☆二塁打 友田・幸喜(中)
 (戦評) 群大荒牧の投手陣が好投を見せるも中央打線が炸裂。終始中央の猛攻が続き、中央が駒を進めた。

◎2020年3月23日 上柚木公園野球場
 第1試合 開始時刻9:43 終了時刻12:17
国士舘大学 002101000 | 4
中央大学 00102200x | 5

(国士) 戸谷・小田川一阿部
 (中央) 近野・大澤・林部一高橋
 ☆三塁打 羽渕(中)
 ☆二塁打 森・梶熊(国)
 (戦評) 中央大学が勝利し東都対決を制した。国士舘は先発の戸谷が粘り切れなかった。

第2試合 開始時刻9:43 終了時刻12:11
國學院大学 020000020 | 4
日本大学 000000000 | 0

(國學) 加部一鴻巣
 (日大) 永渕・江越一宮澤・鈴木
 ☆本塁打 佐藤龍(國)
 ☆三塁打 鴻巣・佐藤翼(國)
 (戦評) 東都2部の國學院大学が1部の日大を破り、金星。投げては加部が好投を見せ、完封勝利。

◎2020年3月23日 中栄信金スタジアム秦野
 第1試合 開始時刻9:53 終了時刻12:05
早稲田大学 440611 | 16
明治大学 100000 | 1
 (6回コールド)

(早大) 清水・田中爽・金田一中村
 (明治) 前田・廣瀬・足立・高島一武田
 ☆本塁打 押尾(早)
 ☆三塁打 新井(早)
 ☆二塁打 渡部2・須能・関(早)
 兼村(明)
 (戦評) 早稲田大学が六大大対決を制し快勝。押尾の2点本塁打を始めとして打線が爆発した。

第2試合 開始時刻12:46 終了時刻16:00
関東学院大学 020201100 | 6
法政大学 11007132x | 15

(関) 戸塚・大平・秋山・藤原一大杉
 (法) 前芝・尾崎・湯浅・伏見一堀尾
 ☆三塁打 大石(法)
 ☆二塁打 細木2・堀江・鎌田2・古屋・中川(法)
 (戦評) 法政大学が4人の継投リレーで快勝。準決勝へと駒を進めた。

◎2020年3月24日 上柚木公園野球場
 第1試合 開始時刻9:42 終了時刻12:09
早稲田大学 020200000 | 4
法政大学 200000021x | 5

(早大) 安在・清水一中村
 (法政) 石橋・伏見・西村一堀尾
 ☆本塁打 渡部・(早)
 鎌田(法)
 ☆三塁打 新井(早)
 鎌田(法)
 (戦評) 法政が劇的なサヨナラ勝ちを収め、決勝への切符を手に入れた。鎌田がサヨナラ本塁打を含大活躍を見せた。

第2試合 開始時刻12:46 終了時刻15:10
國學院大学 002000060 | 8
中央大学 110000110 | 4

(國學) 加部一鴻巣
 (中央) 大澤・林部一高橋
 ☆二塁打 幸喜・高橋・山本2(中)
 (戦評) 國學院大学が逆転勝ちを収め、決勝へと駒を進めた。8回に林部を攻め、一挙8得点。投げては加部がまたも好投を見せた。

◎2020年3月25日 保土ヶ谷球場
 第1試合 開始時刻9:57 終了時刻12:36
中央大学 100000021 | 4
早稲田大学 00200220x | 6

(中央) 服部・長濱・林部一森・高橋
 (早大) 清水・金田・田中爽一中村
 ☆三塁打 幸喜(中)
 関(早)
 ☆二塁打 佐藤(中)
 関・須能2・中村・川原(早)
 (戦評) 各リーグで圧倒的な強さを誇る二校が熱い戦いを繰り広げた。両者互角の戦いの中、須能(早)の活躍で得点を重ね、早稲田が勝利した。

第2試合 開始時刻13:29 終了時刻16:20
國學院大学 201000300 | 6
法政大学 202000010 | 5

(國學) 桜井・小野・加部一鴻巣
 (法政) 尾崎・前芝・伏見・西村一堀尾
 ☆三塁打 佐藤(國)
 ☆二塁打 粕谷(國)
 中川(法)
 (戦評) 序盤から試合は動き始め、両者一歩も譲らぬ展開となる。熱戦が続く中、7回法政の隙を突いた國學院が3点を獲得、そのまま國學院が逃げ切り悲願の大会優勝を果たした。



KANTO JUNKO BASEBALL SUMMER CHALLENGE CUP

実施要項

全日本連盟の大会中止報告を受け、すでに出場権を獲得していた大学チームの参加を募り、全日本大会に代替する関東学連主催の特別選抜大会を、万全のコロナ感染症対策(別記)を講じた上、下記の通り開催する。また、出場チームは必ずコロナ感染症対策を講じた上で、大学からの出場許可を得た大学に限る。合わせて本大会において11月開催予定の9ブロック大会参加選手セレクションを実施する。

なお、行政による自粛勧告や球場閉鎖等があった場合には中止とする。

記

主催 関東地区大学準硬式野球連盟
 日程 2020年8月24日(月)～28日(金)
 球場 八王子市
 上柚木公園野球場
 ダイワハウススタジアム八王子

出場チーム
 2020年度全日本大会・清瀬杯大会の出場権を持つ大学チーム合計10チーム
 申込締切日

7月31日(金)までに選手登録の上事務局必着
 万一、出場辞退するチームは早めに申し出る。その場合補欠校を出場させることがある。

組合せ抽選
 8月1日(土)各校主将によるZOOM抽選会・主将会議を実施する

表彰
 優勝・準優勝・3位・ベストナイン表彰(DH含む) 大会中の成績

9ブロック選抜
 本大会で選出されたベストナインは9ブロック大会遠征選抜メンバーとする
 ベストナイン選出以外の選手はリーグ別に推薦の上書類選考で決定する

9ブロック大会選抜チーム監督は、本大会の優勝監督とする
 大会運営規則

関東大会に準じる。
 感染予防対策

本大会は、新型コロナウイルスの感染拡大の予防を徹底した上で開催する。

具体的な予防対策としては、関東連盟が作成したガイドラインに基づく。

特に、球場入場者全員に厚労省「新型コロナウイルス接触確認アプリ」"COCA"をスマホにインストールすることを求める。

健康管理はじめガイドラインに対する予防対策が不十分なチームの参加は認めない。

以上

会期 令和2年11月7日・8日・14日・15日
会場 上柚木公園野球場
横浜スタジアム

◎2020年11月 7 日 横浜スタジアム

第1試合 開始時刻10:00 終了時刻12:19

都留文科大学	0	1	0	0	0	0	0	1	0		2
高崎健康福祉大学	4	1	1	0	0	0	0	0	×		6

(都留) 河合・山田ー湯元
(高崎) 尾形・森澤・大原ー川田
☆三塁打 樋口拓・栗原(都)
大久保(高)
☆二塁打 川田(高)

(戦評) 初回到先制した高崎健康福祉大はその後も追加点を加え点差を広げる。追いつきたい都留文科大は終盤に1点返すが、反撃及ばず高崎健康福祉大が勝利した。

◎2020年11月 8 日 横浜スタジアム

第 1 試合 開始時刻9：56 終了時刻12：05

中 央 大 学	4	5	2	4	3	0	1		19
共 栄 大 学	0	0	0	0	0	0	0		0

(7回コールド)

(中央) 大澤・長濱・林部・石井・近野・高橋・森

(共栄) 谷口・平野・富田康・佐藤・富田康一戸邊・佐藤

☆三塁打 林部(中)

☆二塁打 高橋・友田・山口濤・土居(中)

佐藤(共)

(戦評) 中央は初回から打線が繋がり4点を先制。共栄は中央の投手陣から得点を奪えず、勢いの衰えない中央は18安打19得点を挙げ、圧勝した。

◎2020年11月 8 日 上柚木公園野球場

第1試合 開始時刻9:22 終了時刻11:57

慶應義塾大学	0	4	2	0	0	0	0	3	0	9
高崎健康福祉大学	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3

(慶應) 津田・梅田・和田・古澤・高野
(高健) 田畑・尾形・大原・一川田
☆三塁打 嶋内(慶)
關(高)
☆二塁打 吉川・道本・山田(慶)
本多(高)

(戦評) 慶應義塾大学が序盤に大量得点し、
主導権を握る。中盤は追い上げられるも、終
盤に振り切り、見事勝利を収めた。

◎2020年11月14日 上柚木公園野球場

第1試合 開始時刻9:30 終了時刻12:45

中央大学 3 2 0 0 1 0 4 0 0 | 10
慶應義塾大学 0 0 0 0 0 1 1 1 0 | 3

(中央) 近野・石井・大澤一高橋・森
(慶應) 杉山・沼・津田・古澤・小野・梅田・和田一高野

☆本塁打 佐藤・伴野・河野 (中)
☆三塁打 山本 (中)
☆二塁打 高橋・伴野 (中)
山田 (慶)

(戦評) 中央は初回から二者連続の本塁打で3点を先制した。投げては、近野、石井、大澤の継投でいずれも好投し慶應は3点を返すもなかなかチャンスをつくれなかった。

◎2020年11月15日 上柚木公園野球場

第1試合 開始時刻9:54 終了時刻12:50

中央大学	1 0 0 1 0 0 0 0 1	3
日本大学	0 2 0 0 0 0 0 0 0	2

(中央) 大澤・近野・高橋
(日本) 渡邊・古賀・溝口・宮澤
☆二塁打 中森(中)
中島(日)

(戦評) 初回、中央・伴野の犠飛で1点を先制。2回に日本が中島(健)の適時打で2点を返すも、4回・9回にダメ押しの1点を加えられ3-2で中央大学が勝利。

東京六大学 秋季リーグ戦

©2020年9月5日 立川公園野球場

第1試合 開始時刻11:44 終了時刻15:05

立教大学 000003003 | 6
慶應義塾大学 200030000 | 5

(立大) 泰道・三輪・竹生・松原・吉田・村口・坂井

(慶大) 杉山・小野・古澤・沼・高野

☆二塁打 市野・大戸 (立)

服部2・小倉・山田 (慶)

(戦評) 慶大は初回先制し、中盤で中押しするものの、立大の猛攻を受け逆転負け。痛い敗戦となった。

©2020年9月15日 明治大学府中第一球場

第1試合 開始時刻9:28 終了時刻12:10

明治大学 001021000 | 4
慶應義塾大学 31000121x | 8

(明大) 高島・伊井・大野・浦田・栗山・城島

(慶大) 杉山・津田・古澤・高野

☆本塁打 高桑 (明)

☆三塁打 高野 (慶)

☆二塁打 栗山 (明)

(戦評) 慶大は初回から得点を重ね、今リーグ戦初勝利を収めた。明大は中継ぎ陣が踏ん張れなかった。

第2試合 開始時刻12:59 終了時刻15:15

東京大学 00000002000 | 2
法政大学 00000020001x | 3

(延長11回)

(東大) 布施・萩野・古賀・八幡・小嶋

(法大) 尾崎・阿部・前芝・安倍・荒井

☆三塁打 谷本 (東)

鈴木 (法)

☆二塁打 鈴木 (法)

(戦評) 法政が東大に辛勝し、サヨナラ勝ちを収めた。東大は長打で好機をつくるものの、後一本が出ず悔しい敗戦となった。

©2020年9月19日 駒沢オリンピック公園硬式野球場

第1試合 開始時刻9:24 終了時刻11:36

東京大学 0000000 | 0
早稲田大学 800350x | 16

(7回コールド)

(東大) 布施・萩野・古賀・和田・八幡・小嶋

(早大) 安在・太田・大津・金田・中村・田中優

☆三塁打 下久保 (早)

☆二塁打 鈴木 (東)

中村・新井 (早)

(戦評) 早稲田は8点を先制すると、4、5回にも得点を重ね相手を突き放す。7回、東大は鈴木が二塁打を放つも後続が倒れ無得点。大会規定により、コールドで早稲田が勝利した。

第2試合 開始時刻12:18 終了時刻14:52

立教大学 000000000 | 0
明治大学 00102100x | 4

(立大) 泰道・竹生・坂井

(明大) 高島・武田

☆二塁打 原・兼村 (明)

(戦評) 1-0で迎えた5回、明治大学は2本の適時二塁打で2点を追加。明治の先発高島は相手に三塁を踏ませない好投で完封勝利を成し遂げた。

©2020年9月29日 明治大学府中グラウンド

第1試合 開始時刻9:54 終了時刻12:25

慶應義塾大学 000002000 | 2
早稲田大学 000100000 | 1

(慶大) 杉山・沼・古澤・高野

(早大) 安在・金田・清水・田中爽・中村

☆二塁打 川原・池澤 (早)

(戦評) 4回、早稲田は相手の失策により、先制。慶應は6回にパスボールと犠牲フライにより逆転。その後は慶應の投手陣が早稲田打線を無失点に抑え、接戦を制した。

第2試合 開始時刻13:18 終了時刻17:23

立教大学 013101000001 | 7
法政大学 010230000000 | 6

(延長12回)

(立大) 松原・泰道・坂井

(法大) 前芝・石橋・伏見・湯浅・西村・尾崎・渡邊・澤野

☆本塁打 福本 (法)

☆二塁打 市野2 (立)

大石 (法)

(戦評) 法政は、5回に福本の2点本塁打などにより逆転に成功。その後試合は延長戦に突入。立教は12回に相手の失策により勝ち越しに成功し、4時間に及ぶ激闘を制した。

©2020年10月3日 立川公園野球場

第1試合 開始時刻9:26 終了時刻11:59

明治大学 120032000 | 8
東京大学 000000000 | 0

(明大) 高島・岩田・原川・浦田・大野・武田

(東大) 萩野・布施・和田・小嶋・八幡

☆三塁打 原 (明)

☆二塁打 木村 (東)

(戦評) 試合序盤から明治が積極的な攻撃を魅せ、着実に得点を重ねる。東大打線は明治投手陣によって封じ込められ、そのまま明治が勝利した。

第2試合 開始時刻12:42 終了時刻15:06

法政大学 102010000 | 4
慶應義塾大学 000020000 | 2

(法大) 石橋・伏見・西村・渡邊

(慶大) 杉山・津田・古澤・高野・橋本

☆二塁打 中川・鈴木・堀尾 (法)

(戦評) 鈴木を初めとした法政の上位打線が猛攻を見せた試合であった。慶應も粘るも一歩及ばず、法政が逃げ切り勝利を収めた。

©2020年10月11日 早稲田大学東伏見グラウンド

第1試合 開始時刻10:03 終了時刻13:08

早稲田大学 000030013 | 7
明治大学 002100200 | 3

(早大) 清水・金田・田中爽・中村

(明大) 高島・岩田・上井・武田

☆本塁打 渡部 (早)

☆二塁打 川原 (早)

高島・元雄 (明)

(戦評) 両チーム投手が好投を魅せるも、隙をついた早稲田が得点につなぐ。渡部 (早) の3ランホームランで終盤にも追い討ちをかけた。

第2試合 開始時刻13:46 終了時刻16:09

東京大学 000000010 | 1
立教大学 00222100x | 7

(東大) 布施・和田・萩野・八幡・小嶋

(立大) 松原・西原・吉田・柳澤・泰道・坂井・村口

☆本塁打 霜島・松原 (立)

☆二塁打 今川 (立)

(戦評) 立教は3回松原 (立) の本塁打で先制し流れを作ること成功。攻撃の手を緩めることなく続々と追加点を挙げる。東京も反撃を試みるも及ばず、立教が勝利した。

©2020年10月18日 早稲田大学東伏見グラウンド

第1試合 開始時刻9:59 終了時刻12:37

早稲田大学 010000410 | 6
法政大学 000011000 | 2

(早大) 安在・清水・田中爽・中村

(法大) 石橋・伏見・湯浅・西村・渡邊

☆本塁打 下久保 (早)

☆二塁打 関口 (早)

(戦評) 法政は1点ビハインドで迎えた5回、堀尾のタイムリーで追いつくと6回に堀江のタイムリーで逆転する。しかし早稲田がすぐさま関のタイムリーで逆転し、勝利した。

第2試合 開始時刻13:30 終了時刻15:47

東京大学 000010000 | 1
慶應義塾大学 000321100 | 7

(東大) 古賀・萩野・布施・小嶋

(慶大) 古澤・杉山・小野・古田・橋本・道本

☆二塁打 服部 (慶)

(戦評) 慶應は4回に橋本のタイムリーなどで3点を先制すると、その後も追加点を重ねて点差を広げた。反撃したい東大だったが、慶應投手陣の前に3安打1得点と沈黙した。

©2020年10月24日 上柚木公園野球場

第1試合 開始時刻12:30 終了時刻16:00

立教大学 201013010 | 8
早稲田大学 400000200 | 6

(立大) 松原・泰道・坂井

(早大) 安在・清水・金田・田中爽・中村

☆三塁打 市野 (立)

☆二塁打 市野2・今川 (立)

川原 (早)

(戦評) 優勝決定戦となったこのカードは、初回から点の取り合いとなったが、6回に市野のタイムリーなどで逆転した立教がシーソーゲームを制して優勝を決めた。

東京六大学 秋季木村杯新人戦

©2020年10月25日 早稲田大学東伏見グラウンド

第1試合 開始時刻9:26 終了時刻11:40
明治大学 1206080 | 17
東京大学 0000100 | 1

(7回コールド)

(明) 原川・久木田・田知本・正富・笹川
一渡邊・栗山・永井

(東) 古賀・小嶋・谷本・小嶋・和田・小
嶋・宇野・小嶋

☆本塁打 元雄 (明)

☆二塁打 齋藤・高橋・西原・栗山 (明)
古賀 (東)

(戦評) 明治は初回到西原の犠飛で先制する
と、4回と6回にビッグイニングを作って
リードを広げ、大量17得点で大勝した。

©2020年10月31日 早稲田大学東伏見グラウンド

第1試合 開始時刻9:40 終了時刻13:10
明治大学 040000133 | 11
早稲田大学 000203030 | 8

(明) 岩田・石井・原川・笹川・伊井・上
井・森本・永井

(早) 太田・渋谷・尾坂・新井・高橋・宮
内・浅野

☆本塁打 鷲田・川原 (早)

☆三塁打 新井 (早)

(戦評) 明大が乱打戦を制し、勝利を取めた。
早大は2本の本塁打を放つものの、投手が粘
り切れなかった。

第2試合 開始時刻13:44 終了時刻16:42
立教大学 000111041 | 8
慶應義塾大学 00050014x | 10

(立大) 三輪・竹生・原口・川瀬・小松

(慶大) 梅田・和田・丸田・沼・杉山・道本

☆三塁打 道本 (慶)

☆二塁打 伊藤優 (立)

(戦評) 4回到立教が先制点を挙げたものの、
慶應は道本の適時打で計5点を奪取。立教も
得点を重ね、逆転を狙うも一歩及ばず。慶應
が決勝進出を決めた。

©2020年11月1日 早稲田大学東伏見グラウンド

第1試合 開始時刻9:57 終了時刻13:08
慶應義塾大学 014003013 | 12
明治大学 013200021 | 9

(慶大) 杉山・和田・梅田・沼・道本

(明大) 浦田・伊勢田・原川・岩田・笹川・
上井・森本

☆本塁打 森本 (明)

☆三塁打 嶋内 (慶)

☆二塁打 中村歩・山田2 (慶)

(戦評) 慶應は3回、魚崎の適時打で勝ち越
し、この回4点を獲得。明治は4回到森本の
本塁打等で、逆転に成功。明治は点を取り差
を縮めるも反撃及ばず、慶應が優勝を飾った。

東都大学 秋季リーグ戦

1部リーグ

©2020年8月31日 ダイワハウススタジアム八王子

第1試合 開始時刻9:30 終了時刻11:30
帝京大学 001000301 | 5
東海大学 031000000 | 4

(帝京) 小泉・山崎・遠藤

(東海) 浅海・松本・松本・飯田

☆二塁打 佐々木・徳丸2 (東)

(戦評) 東海大は2回8番下畠と9番佐々木
の適時打で3点を先制した。帝京大は7回到
追いつき、9回6番青木の適時打で逆転し勝
利した。

©2020年9月4日 上柚木公園野球場

第1試合 開始時刻9:30 終了時刻11:15
東海大学 200000010 | 3
帝京大学 30000100x | 4

(東海) 浅海・松本・松本・飯田

(帝京) 滝田・山崎・遠藤

☆二塁打 秋山 (帝)

(戦評) 初回ともに得点し2-3。試合が動
いたのは6回帝京大は無死満塁の好機の場
面で併殺打の間に1点を加えた。東海大は1点
は返したが反撃及ばず帝京大が勝利した。

©2020年9月5日 ダイワハウススタジアム八王子

第1試合 開始時刻9:35 終了時刻11:15
中央大学 001101440 | 11
国士舘大学 00000000x | 0

(中央) 近野・高橋

(国士舘) 戸谷・高見・駒田・阿部・萩原
☆二塁打 齋藤 (国)

(戦評) 中央大は3回2死満塁から押し出し
により先制した。投げては先発近野が9回無
失点の好投で勝利した。

第2試合 開始時刻13:15 終了時刻15:00

日本大学 004002000 | 6
専修大学 100000000 | 1

(日本) 古賀・宮澤

(専修) 小倉・山登・中橋・本橋

☆二塁打 長濱 (日)、武内 (専)

(戦評) 専修大は初回4番武内の犠飛で先制
した。一方日本大は3回3番長濱の3点タイ
ムリーで逆転に成功。その後も得点を重ね日
本大が勝利した。

©2020年9月8日 上柚木公園野球場

第1試合 開始時刻9:15 終了時刻11:05
専修大学 0000000 | 0
日本大学 0153001 | 10

(7回コールド)

(専修) 中橋・鴨田・出口・本橋・西川

(日本) 山崎・市毛・溝口・宮澤

☆三塁打 井原 (日)

☆二塁打 長濱・常深・井原 (日)

(戦評) 日本大は2回8番宮澤の適時打で先
制する。3回にも3本のタイムリーと犠飛で
5点を加えリードする。投げては投手陣が完
投で専修打線を無失点に抑え勝利した。

第2試合 開始時刻11:57 終了時刻14:19

国士舘大学 000100000 | 1
中央大学 001000000 | 1
(9回引き分け)

(国士) 清水・戸谷・萩原晃

(専修) 大澤・近野・高橋

☆二塁打 内藤 (国)

羽渕 (中)

(戦評) 中央大は3回2番羽渕の適時2塁打
で先制しました。しかし4回国士舘大は4番
飯塚の犠飛で同点とします。そのまま試合は
進み1-1の同点で試合が終了した。

©2020年9月13日 ダイワハウススタジアム八王子

第1試合 開始時刻9:22 終了時刻11:47
国士舘大学 250001001 | 9
帝京大学 020010003 | 6

(国士) 戸谷・高地・池田・駒田・清水・
萩原晃・伊藤光

(専修) 大澤・近野・高橋

☆二塁打 萩原晃 (国)

(戦評) 国士舘大は初回5番国井の2点適時
2塁打で先制すると、2回にも打者一巡の攻
撃で5点を奪う。帝京大も反撃し、最終回に
は3点差まで追いつくが、国士舘大が勝利し
た。

第2試合 開始時刻12:30 終了時刻15:20

専修大学 030001041 | 9
東海大学 51000004x | 10

(専修) 松岡・山登・出口・本橋

(東海) 浅海・前田・松本・松本・飯田

☆三塁打 青柳 (東)

☆二塁打 松本 (専)
徳丸・松本 (東)

(戦評) 初回東海大は4番5番の連続適時打
で5点を先制した。しかし専修大も2回到3
点を返し差を縮める。その後も点の取り合
いになり10-9で東海大が勝利した。

©2020年9月14日 上柚木公園野球場

第1試合 開始時刻9:20 終了時刻12:00
東海大学 010301210 | 8
専修大学 00201000x | 3

(東海) 梅澤・松本・前田・浅海・飯田・松本
(専修) 中橋・出口・本橋

☆三塁打 青柳 (東)

☆二塁打 三浦 (専)

(戦評) 東海大は2回到先制点、4回到3番
松本の適時打などで3点を奪う。しかし専修
大もすぐに2点を返す。しかし差は縮まらず
東海大が勝利した。

第2試合 開始時刻12:56 終了時刻15:06

帝京大学 000320000 | 5
国士舘大学 020000001 | 3

(帝京) 滝田・山崎陽・遠藤

(国士) 清水・池田・高地・阿部・國井

☆二塁打 小平2 (帝)、中村 (国)

(戦評) 国士舘大は2回8番阿部、9番遠山
の適時打で2点を先制した。しかし帝京大も
4回到神などのタイムリー逆転に成功し勝利
した。

◎2020年9月16日 上柚木公園野球場
第1試合 開始時刻9:12 終了時刻11:30
中央大学 210011001 | 6
東海大学 000000001 | 1
(中央) 近野一森
(東海) 浅海・前田一松本
☆三塁打 津田(東)
☆二塁打 山本(中)
(戦評) 中央大は初回到相手の押し出しなどで先制点を得ると2回にも追加点を入れ試合を優位に進めます。東海大は9回到1点を返しますがこの試合を落としました。

第2試合 開始時刻12:09 終了時刻14:50
日本大学 141011000 | 8
帝京大学 001020000 | 3
(日本) 古賀・市毛・溝口・江越一宮澤
(帝京) 小泉・上能・滝田一遠藤
☆三塁打 白井・福村(日)
☆二塁打 久池井・長濱(日)
清水(帝)
(戦評) 日本大は初回4番白井の適時打で先制した。2回にも福村などの適時打で4点を加えました。帝京大も負けじと3回到1点5回到2点を奪いますが反撃及ばず日本大が勝利した。

◎2020年9月17日 ダイワハウススタジアム八王子
第1試合 開始時刻9:23 終了時刻11:11
帝京大学 000000011 | 2
日本大学 100070010 | 9
(帝京) 山崎陽・上能一遠藤
(日本) 渡邊・溝口・市毛・江越一宮澤・市川
☆本塁打 長濱(日)
☆三塁打 井原(日)
☆二塁打 清水・山崎将2(帝)
小林楓・長濱・長澤(日)
(戦評) 日本大は5回打線がつながり大量7得点を奪います。帝京大も8回9回到1点づつ返しますが追いつくことができず、日本大に敗れてしまいました。

第2試合 開始時刻12:00 終了時刻13:55
東海大学 000001000 | 1
中央大学 10010020x | 4
(東海) 梅澤・浅海・前田一松本
(中央) 林部・近野一森
☆本塁打 伴野(中)
☆二塁打 伴野(中)
(戦評) 投げては中央大の投手陣が9回を1失点に抑え、打っては4番伴野が本塁打を含む2打数2安打の活躍で中央大が勝利した。

◎2020年9月22日 上柚木公園野球場
第1試合 開始時刻9:15 終了時刻11:35
中央大学 200040000 | 6
帝京大学 100000002 | 3
(中央) 大澤・近野・石井・林部一森・山崎・高橋
(帝京) 滝田・上能・山崎陽一遠藤
☆二塁打 山口雄・山口澤2・林部(中)
清水(帝)

(戦評) 中央大は初回到2点を先制する。5回にも山口澤などの適時打で4点を追加する。帝京大は9回到藤ノ下の適時打で2点を返すが反撃及ばず中央大が勝利した。

第2試合 開始時刻12:10 終了時刻14:40
日本大学 002001004 | 7
東海大学 000010100 | 2
(日本) 古賀・溝口一宮澤
(東海) 梅澤・浅海・前田一松本一飯田
☆二塁打 中島秀(日)
(戦評) 試合が動いたのは3回東海大の押し出しで日本大が2点を先制する。その後も得点を重ね9回到は4点を奪う。東海大は5回7回到1点づつ奪うが日本大に敗れた。

◎2020年9月27日 上柚木公園野球場
第1試合 開始時刻9:20 終了時刻11:50
中央大学 001000000 | 1
専修大学 100000001x | 2x
(中央) 近野一森
(専修) 小倉・松岡一西川
☆二塁打 森・佐藤・山口澤・友田(中)
松本・西川・濱田(専)
(戦評) 専修大は初回松本のタイムリーで先制。中央大は3回到山口澤の適時2塁打で同点に追いつくが、9回6番矢田がサヨナラタイムリーを放ち専修大が勝利した。

第2試合 開始時刻12:33 終了時刻14:49
日本大学 000001000 | 1
国士館大学 000000100 | 1
(9回引き分け)
(国士) 戸谷・池田・高地一萩原
(日本) 渡邊・溝口・江越一宮澤
☆二塁打 森(国)、長濱(日)
(戦評) 6回先行の日本大は6番常深のサード失策の間に1点を先制します。7回国士館大は6番遠山のタイムリーで同点に追いつきます。両チームチャンスを作るも同点で試合終了。

◎2020年10月5日 上柚木公園野球場
第1試合 開始時刻9:15 終了時刻12:17
東海大学 011220020 | 8
日本大学 100201002 | 6
(東海) 梅澤・浅海・前田・松本一松本・飯田
(日本) 渡邊・古賀・市毛・溝口・江越一宮澤
☆二塁打 高部(東)

(戦評) 日本大は白井の適時打などで1点を先制する。しかし東海大は青柳などの本塁打で5回までに6点を奪い突き放す。最終回到日本大は追い上げを見せるも東海大が勝利した。

第2試合 開始時刻12:55 終了時刻15:10
帝京大学 000100202 | 5
中央大学 001000010 | 2
(帝京) 山崎陽一遠藤
(中央) 石井・近野一森
☆二塁打 鬼石・石川雅(帝)
(戦評) 中央大は3回到相手の失策などで先制するもその後は得点を奪えない。一方帝京大は7回到逆転をし9回到にも追加点を奪う。投げては山崎陽が9回2失点の好投で勝利した。

◎2020年10月11日 上柚木公園野球場
第1試合 開始時刻12:57 終了時刻15:44
専修大学 000000200 | 2
中央大学 50010001x | 7
(専修) 松岡・出口一西川
(中央) 石井・近野・大澤一高橋
☆本塁打 松本(専)
☆三塁打 高橋(中)
☆二塁打 濱田・中谷(専)
伴野・友田・高橋・佐藤・足立(中)
(戦評) 中央大は林部などの適時打などで5点を先制する。4回にも1点を追加し点差を広げる。専修大は3番松本の適時打で2点を返すが、後続続かず中央大が勝利した。

(戦評) 中央大は林部などの適時打などで5点を先制する。4回にも1点を追加し点差を広げる。専修大は3番松本の適時打で2点を返すが、後続続かず中央大が勝利した。

◎2020年10月13日 上柚木公園野球場
第1試合 開始時刻9:20 終了時刻11:30
帝京大学 000000000 | 0
専修大学 000112030 | 7
(帝京) 上能・山崎陽・小泉一遠藤
(専修) 松岡一西川
☆三塁打 神(帝)
濱田(専)
(戦評) 専修大は打線がつながり8回までに7点を先制する。帝京大は専修大先発の松岡の前に得点を挙げるができない。投打で噛み合った専修大が勝利した。

(戦評) 専修大は打線がつながり8回までに7点を先制する。帝京大は専修大先発の松岡の前に得点を挙げるができない。投打で噛み合った専修大が勝利した。

	中大	日大	専大	東海大	帝京大	国士大	試合	勝	負	分	勝率	得失点	順位
中央大学		〇〇	●〇	〇〇	〇●	〇△	10	7	2	1	.778	+30	1
日本大学	●●		〇〇	〇●	〇〇	△〇	10	6	3	1	.667	+24	2
専修大学	〇●	●●		●●	〇〇	〇〇	10	5	5	0	.500	-9	3
東海大学	●●	●〇	〇〇		●●	●〇	10	4	6	0	.400	+3	4
帝京大学	●〇	●●	●●	〇〇		●〇	10	4	6	0	.400	-23	5
国士館大学	●△	△●	●●	〇●	〇●		10	2	6	2	.250	-25	6

第2試合 開始時刻12:11 終了時刻14:52
東海大学 3512422 | 19
国士舘大学 0012401 | 8

(7回コールド)

(東海) 梅澤・伊藤・前田・松本
(国士舘) 松岡・西川
☆本塁打 松本(東)
☆三塁打 高部(東)
☆二塁打 徳丸・青柳2・松本・津田・合田(東)
(戦評) 東海大は毎回の得点でスコアを19に伸ばした。国士舘大も反撃し8得点を奪ったが、反撃及ばず東海大が勝利した。

◎2020年10月26日 上柚木公園野球場

第1試合 開始時刻9:15 終了時刻12:32
中央大学 061000041 | 12
日本大学 200040000 | 6
(中央) 大澤・森
(日本) 古賀・渡辺・宮澤
☆三塁打 宮澤(日)
☆二塁打 佐藤(中)
市川(日)

(戦評) 日本大は初回に中島秀などの適時打で2点を先制した。中央大は2回に羽渕の適時打などで逆転に成功した。その後も互いに点の取り合になるが中央大がしあいを制した。

第2試合 開始時刻13:10 終了時刻15:54
国士舘大学 000002000 | 2
専修大学 000000111x | 3
(国士) 牛込・清水・高地・萩原
(専修) 小倉・出口・西川
☆三塁打 武内・西川(専)
☆二塁打 伊藤・飯塚(国)
中谷(専)

(戦評) 試合が動いたのは6回国士舘大、飯塚の適時打などで2点を先制する。専修大は7回8回に相手のエラーなどで追いつくと9回に打球を落球し専修大が勝利した。

◎2020年10月27日 上柚木公園野球場

第1試合 開始時刻9:43 終了時刻12:20
専修大学 100100020 | 4
国士舘大学 100000000 | 1
(専修) 松岡・齋藤・西川
(国士) 藤丸・川合・戸谷・高地・阿部
☆三塁打 武内(専)
☆二塁打 伊藤・遠山(国)

(戦評) 互いに初回から1点ずつ取合う形になった。専修大は8回に須永などの適時打で2点を挙げ国士舘大に勝利した。

第2試合 開始時刻13:00 終了時刻15:30
日本大学 000001000 | 1
中央大学 01000100x | 2
(日本) 渡邊・溝口・江越・宮澤
(中央) 石井・森
☆二塁打 井原(日)
伴野(中)

(戦評) お互いに譲らずロースコアのまま試合は進んでいき、中央大は6回裏4番伴野の

適時2塁打で逆転に成功し秋季リーグ戦の優勝が決定した。

最優秀選手賞 山口 雄大(中央大学4年)
最優秀投手賞 近野 佑樹(中央大学2年)
首位打者賞 佐藤龍之介(中央大学2年)

◎ベストナイン

投手 近野 佑樹(中央大学2年)
捕手 松本 航輝(東海大学3年)
一塁手 青柳 玖馬(東海大学2年)
二塁手 伊藤 悠真(国士舘大学3年)
三塁手 佐々木 憩(東海大学4年)
遊撃手 遠山 樹人(国士舘大学1年)
外野手 長濱 莉来(日本大学3年)
林部 庄吾(中央大学3年)
高部 翔太(東海大学2年)
指名打者 佐藤龍之介(中央大学2年)

2部リーグ

◎2020年9月14日 府中市民球場

第1試合 開始時刻9:43 終了時刻12:02
國學院大学 100100200 | 4
法政大学 002000000 | 2
(國學) 加部・鴻巣
(法Ⅱ) 猪野・坂倉・岡村
☆三塁打 粕谷(國)
☆二塁打 小林(法)、徳永(國)
(戦評) 國學院大学は同点で迎えた7回、三番徳永のタイムリーツーベースで4-2と勝ち越し、そのまま逃げ切り勝利した。

第2試合 開始時刻12:50 終了時刻14:57
日本体育大学 000000001 | 1
青山学院大学 00000020x | 2
(日体) 小林・谷山・児玉
(青学) 菅谷・公平
☆三塁打 土屋(青)
☆二塁打 河野・岡・渡邊(青学)
富里(日)

(戦評) 6回まで両先発が好投し、0行進が続くも、7回に青学が2点を先制、日体大は最終回に1点を返すも、2-1で青学が勝利した。

◎2020年9月16日 府中市民球場

第1試合 開始時刻9:40 終了時刻11:32
青山学院大学 1000000 | 1
日本体育大学 502210x | 10
(7回コールド)
(青山) 向井・堀川・阿久津・田中・公平
(日体) 赤井・萩島・東海林・大庭・児玉
☆三塁打 榮森・瀧本(日)
☆二塁打 富里・松永(日)

(戦評) 初回、日体大は先頭榮森からチャンスを作り、一挙五得点。その後も点を追加し、コールド勝ちした。

第2試合 開始時刻12:33 終了時刻15:10
東洋大学 000000000 | 0
駒沢大学 00004030x | 7
(東洋) 岡澤・世古・平川・竹内・山崎
(駒沢) 小林・浜辺・小山
☆二塁打 井上・吉澤(東)
(戦評) 駒沢は五回、2番小川がセンター前へタイムリーを打ち、先制すると、その後も4番星野のセンター前で追加点を挙げた。7回にも3点を追加し、駒沢が勝利した。

◎2020年9月18日 瀬谷本郷公園野球場

第1試合 開始時刻9:42 終了時刻11:45
國學院大学 200000100 | 3
青山学院大学 001020001 | 4
(國學) 加部・鴻巣
(青山) 菅谷・公平
☆三塁打 徳永(國)、佐々井(青)
☆二塁打 佐藤2(國)

(戦評) 國學院が先制するも、青山学院は3回、5回と得点を重ね、逆転に成功。7回に同点に追いつかれるも、9回佐々井のタイムリーでサヨナラ勝ちを収めた。

第2試合 開始時刻12:45 終了時刻14:35
日本体育大学 100000000 | 1
駒澤大学 000000110 | 2
(日体) 小林-児玉
(駒澤) 池田・萩島-浜辺
☆二塁打 不破(駒)
(戦評) 初回日体大は一点を先制し、リードを保っていたが7回駒澤は1アウト三塁から犠牲フライで追いつくと、8回裏にはスクイズで勝ち越しに成功。駒澤大学が勝利した。

◎2020年9月30日 府中市民球場
第1試合 開始時刻9:45 終了時刻11:58
東洋大学 103000000 | 4
國學院大学 002000010 | 3
(東洋) 竹内・岡澤-山崎
(國學) 桜井・鈴木・小野・加部-日高
☆本塁打 本多(東)
森川(國)
☆三塁打 佐藤龍(國)
☆二塁打 阿部(東)
佐藤龍・徳永(國)
(戦評) 東洋大は初回に本多の本塁打、3回に長短打を集め4点を先取する。対する國學院は1点差まで詰め寄るも及ばなかった。

第2試合 開始時刻12:56 終了時刻15:03
日本体育大学 000000100 | 1
法政大学Ⅱ部 001000000 | 1
(9回引き分け)
(日体) 赤井・谷山-児玉・武満
(法Ⅱ) 猪野・坂倉-岡村
☆二塁打 岡村(法)
山形・児玉(日)
(戦評) 法政大は3回、1番渡邊の犠飛で先制するも、7回に日体大が三上の適時打で追いつき引き分けとなった。

◎2020年10月2日 駒沢球場
第1試合 開始時刻9:32 終了時刻11:31
青山学院大学 003001000 | 4
駒澤大学 000000000 | 0
(青学) 菅谷・田中-公平
(駒澤) 小林・稲葉-小山
☆二塁打 万永・小池(青)
(戦評) 青山は三回小池のセンター前で先制すると、その後六回にも追加点を挙げ、投げた菅谷、田中の完封リレーで駒澤打線を抑え込み勝利した。

第2試合 開始時刻12:20 終了時刻14:46
國學院大学 000000010 | 1
東洋大学 00000023x | 5
(國學) 加部・小野-笹木
(東洋) 岡澤・竹内-山崎
☆二塁打 佐藤翼(國)
吉澤(東)
(戦評) 0-0で迎えた七回東洋は2アウト2、3塁から井上のライト前で先制し、均衡を破ると、八回にも相手のエラーなどで追加点を挙げ、勝利した。

◎2020年10月5日 あきるの市民球場
第1試合 開始時刻9:45 終了時刻12:10
法政大学Ⅱ部 030010000 | 4
日本体育大学 06002011x | 10
(法Ⅱ) 猪野・岡本・福島-岡村
(日体) 小林・萩島・谷山・早川-児玉
☆本塁打 溝上(日)
☆三塁打 佐々木(法)
☆二塁打 浅井(法)
榮森・児玉・西庄・内木(日)
(戦評) 法政は二回2アウトから八番下位がタイムリーを放ち、送球エラーの間に二点を先制、しかしその裏日体はすぐさま逆転。その後も日体のペースで試合が進み日体が勝利した。

第2試合 開始時刻12:54 終了時刻15:33
駒澤大学 101010020 | 5
青山学院大学 03000350x | 11
(駒澤) 稲葉・池田・小林・稲葉・尾関-浜辺
(青学) 田中・向井・阿久津-公平
☆三塁打 万永・三浦(青)
☆二塁打 浅井・池田・河野(駒)
渡辺・小池・佐々井・塩田(青)
(戦評) 両チーム同点で迎えた五回、青学は万永のタイムリースリーベースで勝ち越しに成功。その後七回にもビックイニングを作り青学が勝利した。

◎2020年10月12日 あきる野市民球場
第1試合 開始時刻9:36 終了時刻11:48
法政大学Ⅱ部 020100000 | 3
駒澤大学 011000001 | 3
(9回引き分け)
(法Ⅱ) 坂倉-岡村
(國學) 池田・稲葉-小山・浜辺
☆二塁打 不破(駒)
(戦評) 同点の4回、法政は8番番の2打席連続となるタイムリーで勝ち越しに成功するも、9回裏に駒澤が浜辺のタイムリーで同点に追いついた。

第2試合 開始時刻12:46 終了時刻15:18
國學院大学 100000023 | 6
日本体育大学 102002010 | 6
(9回引き分け)
(國學) 小野・桜井・加部-笹木
(日体) 赤井・小林・谷山-児玉
☆本塁打 日高(國)
☆二塁打 立川・富里(日)
田中(國)
(戦評) 序盤から日体大が先発の小野を捉えリードした展開で終盤を迎えるが、8、9回に國學院が5点を返し引き分けに終わった。

◎2020年10月14日 駒沢球場
第1試合 開始時刻9:31 終了時刻12:07
東洋大学 030033001 | 10
青山学院大学 000001000 | 1
(東洋) 竹内・世古・岡澤-山崎
(青学) 菅谷・田中・向井-公平
☆本塁打 溝上(日)

☆三塁打 山崎・石川(東)
☆二塁打 渡邊(青)
井上・稲玉(東)
(戦評) 東洋大学は二回、山崎が三塁打を放ち先制すると五回、六回にも点を重ね、大量得点し、投げては東洋先発の竹内が青学打線を封じ東洋大学が勝利した。

第2試合 開始時刻12:48 終了時刻15:15
駒澤大学 010000030 | 4
法政大学Ⅱ部 000000011 | 2
(駒澤) 中村優・稲葉・小林・稲葉-浜辺
(法Ⅱ) 猪野・坂倉-岡村
☆二塁打 稲葉(駒)
岡村(法)
(戦評) 駒沢大学は二回、竹下のタイムリーで先制。八回にも連続タイムリーで追加点を挙げる。法政Ⅱは終盤追い上げを見せるが、反撃も二点にとどまった。

◎2020年10月16日 あきる野市民球場
第1試合 開始時刻9:37 終了時刻11:45
東洋大学 0320050 | 10
法政大学Ⅱ部 0000000 | 0
(7回コールド)
(東洋) 橋爪・沢田-山崎
(法Ⅱ) 下位・岡本・福島・小澤-岡村
☆本塁打 百合野(東)
☆二塁打 稲玉・阿部(東)
(戦評) 東洋大学は二回百合野のスリーランホームランで先制。三回、五回にも追加点を挙げコールドで勝利した。

第2試合 開始時刻12:37 終了時刻14:54
青山学院大学 000001050 | 6
國學院大学 000000000 | 0
(青山) 菅谷-公平
(國學) 加部・小野・鈴木・桜井-笹木
☆三塁打 三輪(青)
☆二塁打 三輪(青)
上田陽(國)
(戦評) 青山学院は6回に相手の失策で先制すると、8回にも押し出し四死球などで5点を追加した。投げては菅谷が相手打線を三安打に抑え青山が完封勝利した。

◎2020年10月19日 あきる野市民球場
第1試合 開始時刻9:32 終了時刻11:56
青山学院大学 001006020 | 9
法政大学Ⅱ部 000100000 | 1
(青山) 阿久津・向井-公平
(法Ⅱ) 猪野・坂倉-岡村
☆本塁打 三輪2(青)
☆二塁打 公平(青)
(戦評) 三回の表、青山学院大学は三輪の本塁打により先制。四回に法政は内野ゴロの間に一点を返すが、六回にも三輪のスリーランを含む追加点により青山学院が勝利した。

第2試合 開始時刻12:17 終了時刻14:45
國學院大學 000000200 | 2
駒澤大学 000001010 | 2
(9回引き分け)

(國學) 桜井・加部一笹木
(駒澤) 池田・稲葉・小林一浜辺
☆二塁打 樋川・日高(國)
川瀬(駒)
(戦評) 両先発が好投し、試合は五回まで0
行進。六回駒澤は先制するが、國學院は七回
すぐさま逆転に成功。しかし駒澤は八回に同
点に追いつく。試合は引き分けで終了した。

◎2020年10月20日 朝霞中央公園野球場
第1試合 開始時刻11:15 終了時刻13:10
駒澤大学 200000000 | 2
日本体育大学 000000000 | 0
(駒澤) 尾関一浜辺
(日体) 谷山一 武満
☆三塁打 浅井(駒)
☆二塁打 浅井(駒)
(戦評) 駒澤は1回の表浅井の2点タイム
リー三塁打で2点を先制し、その後はピッ
チャーの尾関の好投も光り、無失点で守り
勝った。

第2試合 開始時刻13:55 終了時刻16:52
法政大学Ⅱ部 000140000 | 5
東洋大学 10700200× | 10
(法政) 岡本・小澤・福島・下位一岡村
(東洋) 平川・世古・蛭原・大戸一山崎
☆本塁打 吉澤・百合野(東)
☆三塁打 岡村(法)
☆二塁打 稲玉(東)
(戦評) 東洋は3回、吉澤と百合野にそれぞ
れ3点本塁打が飛び出すなど8点をリードす
る。法政は中盤に5点を返すも及ばず。

◎2020年10月23日 駒沢オリンピック公園野球場
第1試合 開始時刻9:30 終了時刻13:43
東洋大学 4000016 | 11
日本体育大学 1031400 | 9
(7回降雨コールド)
(東洋) 竹内・世古・岡澤一山崎
(日体) 赤井・小林一児玉
☆本塁打 阿部・本田(東)
☆三塁打 井上・浦田(東)
☆二塁打 三上・西庄・富里(日)
阿部(東)
(戦評) 初回東洋は2本のホームランで先制
する。日体は、四回には逆転に成功したが7
回に東洋が追い上げをみせ逆転。試合は7回
降雨コールドゲームで東洋大学が勝利した。

◎2020年10月26日 あきる野市民球場
第1試合 開始時刻9:47 終了時刻12:07
駒澤大学 010001200 | 4
東洋大学 00324000× | 9
(駒澤) 尾関・小林・稲葉一浜辺
(東洋) 岡澤・竹内一山崎
☆三塁打 吉澤・百合野・吉澤(東)
☆二塁打 浦田(東)
稲葉(駒)

(戦評) 序盤に東洋大は4番吉澤、6番浦田、
3番阿部のタイムリーなど集中打で9点を奪
い主導権を握る。駒澤も終盤に粘りを見せる
も及ばず。

◎2020年10月28日 駒沢オリンピック公園硬式野球場
第1試合 開始時刻12:16 終了時刻15:28
駒澤大学 000001100 | 2
國學院大学 21000300× | 6
(駒澤) 中村優・尾関一浜辺
(國學) 小野一小茂田
☆本塁打 浅井(駒)
☆二塁打 粕谷・青野・上田・赤尾(國)
稲葉(駒)
(戦評) 一回國學院大学は粕谷、小茂田のタ
イムリーで先制する。その後二回六回にも追
加点を挙げる。駒澤大は浅井のホームランで
一点を返すが反撃も続かず國學院大学が勝利
した。

第2試合 開始時刻12:16 終了時刻15:28
日本体育大学 200130300 | 9
東洋大学 50220020× | 11
(日体) 谷山・早川・小林一児玉
(東洋) 橋爪・世古・平川・小林一山崎
☆本塁打 三上(日)
☆二塁打 山形(日)
井上・阿部(東)
(戦評) 初回、日体は富里、児玉のタイムリー
で二点を先制、しかしすぐさまその裏、東洋
は本田、阿部のタイムリーなど一挙五得点で
逆転。東洋大学が乱打戦を制した。

◎2020年10月30日 府中市市民球場
第1試合 開始時刻9:41 終了時刻12:15
日本体育大学 003000100 | 4
國學院大学 22010402× | 11
(日体) 東海林・本園・谷山一武満
(國學) 桜井・加部一 日高・小茂田
☆三塁打 佐藤裕・渡辺(國)
☆二塁打 佐藤裕・上田陽・日高・伊藤・
佐藤龍(國)
(戦評) 初回、國學院大学は佐藤、上田の連
続ツーベースで先制する。しかし三回日体は
連打で3点を返す。しかし國學院は四点を追
加し、國學院大学が勝利した。

第2試合 開始時刻13:07 終了時刻15:30
青山学院大学 200300000 | 5
東洋大学 00025320× | 12
(青学) 菅谷・田中一公平・福田
(東洋) 入江・世古・沢田・岡澤・竹内一
山崎
☆本塁打 井上(東)
☆三塁打 高野・浦田(東)
☆二塁打 万永(青)
吉澤・中島(東)
(戦評) 初回、青山は先制するが4、5、6
回と東洋が連打で追加点を重ね、大量得点。
最終戦を東洋大学が制した。

最優秀選手賞 井上 結太(東洋大学3年)
最優秀投手賞 岡澤健太郎(東洋大学3年)
首位打者賞 松永 大毅(東洋大学2年)

	東洋大	青学大	駒大	國學大	日体大	法大Ⅱ	試合	勝	負	分	勝率	得失点	順位
東洋大学		〇〇	●〇	〇〇	〇〇	〇〇	10	9	1	0	.900	+38	1
青山学院大学	●●		〇〇	〇〇	〇●	〇	9	6	3	0	.667	0	2
駒澤大学	〇●	●●		△●	〇〇	△〇	10	4	4	2	.500	-7	3
國學院大学	●●	●●	△〇		△〇	〇	9	3	4	2	.429	+1	4
日本体育大学	●●	●〇	●●	△●		△〇	10	2	6	2	.250	+1	5
法政大学・Ⅱ部	●●	●	△●	●	△●		8	0	6	2	.000	-33	6

3部リーグ

©2020年9月3日 東松山球場

第1試合 開始時刻10:08 終了時刻12:30

筑波大学 0242422 | 16
亜細亜大学 0000000 | 0

(7回コールド)

(筑波) 戸谷・石崎ー土井・木佐木

(亜細) 渡邊・二井谷ー門馬

☆三塁打 若林 (筑)

☆二塁打 生井・千葉・會川・土井 (筑)

(戦評) 筑波大先発の戸谷が5回無四死球と亜細亜大打線を抑え、亜細亜大先発の渡邊は四球が絡み大量失点に繋がり7回コールドで試合を終えた。

第2試合 開始時刻13:30 終了時刻16:31

城西大学 102120021 | 9
学習院大学 000000003 | 3

(城西) 熊倉・岩渕ー菊池

(学習) 鈴木・伊藤・原田・若林ー木上

☆本塁打 北原 (城)

☆三塁打 菊池・野田 (城)

☆二塁打 麻生 (学)

(戦評) 城西大攻撃陣が初回に先制し、先発の熊倉はピンチを招く場面は多いが7回無失点の好投を見せる。学習院大は最終回に3点を取り意地を見せたが敗戦した。

©2020年9月7日 さくら運動公園

第1試合 開始時刻11:02 終了時刻13:20

筑波大学 000020000 | 2
学習院大学 000000010 | 1

(筑波) 西尾・戸谷ー土井

(学習) 原田・若林・鈴木ー木上

☆二塁打 生井 (筑)

土井・根岸 (学)

(戦評) 筑波大は5回に学習院大原田のワールドピッチで先制し追加点も加え2点を取る。追いつきたい学習院大は8回に1点を取るが反撃むなしく2ー1で敗戦した。

第2試合 開始時刻14:13 終了時刻16:55

獨協大学 000200000 | 2
城西大学 00100202x | 5

(獨協) 高野・佐藤ー小沼

(城西) 横山・熊倉ー菊池

☆三塁打 佐藤 (城)

☆二塁打 山本 (獨)

(戦評) 城西大は3回5番山田のタイムリーで先制するも、4回に獨協大に逆転されてしまう。しか城西大は6回9番佐藤のタイムリーが決勝点となり逆転しゲームを制した。

©2020年9月8日 さくら運動公園

第1試合 開始時刻10:05 終了時刻12:50

上智大学 000000301 | 4
獨協大学 22000020x | 6

(上智) 三田・村田(翔)・久保田ー村田(拓)

(獨協) 佐藤・長堀・佐藤ー小沼・小野村・田島

☆本塁打 吉本 (獨協)

☆二塁打 高橋 (上)

吉野・小柳 (獨)

(戦評) 獨協大は初回に3番吉本のホームランで先制し、その後も追加点を加える。上智大は7回に死球とヒットで3点を返すも最後は獨協大が逃げ切った。

第2試合 開始時刻13:36 終了時刻16:02

亜細亜大学 000101000 | 2
城西大学 01150100x | 8

(亜細) 坂本・二井谷・渡邊ー小野寺・坂本

(城西) 都合ー菊池

☆本塁打 菊池 (城)

☆三塁打 北原 (城)

☆二塁打 佐藤 (俊)・北原・高橋 (城)

(戦評) 城西大は2回4番の菊池のホームランで先制し5回には連打で5点を挙げた。亜細亜大は4回6回に1点ずつ加えるが追撃むなしく8ー2で敗戦した。

©2020年9月10日 野田市営球場

第1試合 開始時刻10:08 終了時刻12:39

学習院大学 1000001 | 2
獨協大学 01111010x | 23

(7回コールド)

(学習) 若林・伊藤・原田・鈴木・大竹・根岸ー木上

(獨協) 高野・長堀・本間ー小沼・田島

☆本塁打 木上 (学)

☆二塁打 麻生 (学)

清水2・小柳・小沼・吉野・

山本・大賀 (獨)

(戦評) 学習院大は初回に木上のソロホームランで先制した。しかし、獨協が2回に同点に追いつくと3回、4回に二桁得点で7回コールドを決めた。

第2試合 開始時刻13:34 終了時刻16:12

上智大学 000000000 | 0
城西大学 00001012x | 4

(上智) 三田ー村田 (拓)

(城西) 岩渕・熊倉ー菊池

☆三塁打 佐藤 (隆)・野田 (城)

☆二塁打 久保田 (上)

高橋 (城)

(戦評) 両チームとも無得点で迎えた5回城西大が先制した。1番佐藤が3塁打で出塁し、3番高橋の犠牲フライが決勝点となり城西大が勝利を収めた。

©2020年9月14日 東松山球場

第1試合 開始時刻10:11 終了時刻13:05

獨協大学 111000000 | 3
筑波大学 30000200x | 5

(獨協) 佐藤・高野ー小沼

(筑波) 戸谷・西尾ー土井

☆本塁打 山本 (獨)

☆三塁打 若林 (筑)

(戦評) 獨協大は初回に先制したが、その裏筑波大が3点を返し逆転した。2回3回に1点ずつ取り追いつくが、6回に8番土井の2点タイムリーが決勝点となり筑波大が勝利を収めた。

第2試合 開始時刻13:50 終了時刻16:41

亜細亜大学 000001433 | 11
上智大学 022000120 | 7

(亜細) 渡邊・二井谷・坂本ー坂本・鈴木

(上智) 村田 (翔)・村田 (拓)・小林ー村田 (拓)・高橋

☆三塁打 久保田・宮根 (亜)

☆二塁打 坂本・鈴木・川口 (亜)

守谷・湯原 (上)

(戦評) 上智大が2、3回に2点ずつ取り4点のリードを奪う。しかし後半亜細亜大攻撃陣が点を重ね7回には一挙4点を奪い逆転し、今シーズン初勝利を収めた。

©2020年9月17日 野田市営球場

第1試合 開始時刻10:08 終了時刻12:58

筑波大学 000031400 | 8
上智大学 101020000 | 4

(筑波) 會川・西尾・平野・戸谷ー佐々木・土井

(上智) 三田・村田 (翔)ー村田 (拓)

☆本塁打 宮下 (筑)

☆三塁打 宮下・土井 (筑)

☆二塁打 若林・井鍋 (筑)

青柳・湯原・村田(拓)2 (上智)

(戦評) 上智大は初回と3回に1点ずつ加え、投げては三田が4回まで0点に抑えた。しかし5回に筑波大宮下のホームランで逆転され筑波大が得点を重ね勝利を収めた。

第2試合 開始時刻13:50 終了時刻16:40

亜細亜大学 020006010 | 9
獨協大学 300000020 | 5

(亜細) 二井谷・渡邊ー坂本

(獨協) 本間・高野・佐藤・長堀ー小沼

☆三塁打 鈴木 (亜)

☆二塁打 山崎・神能 (亜)

吉本・荒川 (獨)

(戦評) 獨協大がは初回に3点を先制するが、2回に亜細亜大が2点を返す。亜細亜大は6回に打者一巡の攻撃で一挙6点を奪い逆転しそのまま勝利を収めた。

©2020年9月22日 荻崎球場

第1試合 開始時刻10:07 終了時刻12:30

学習院大学 032100002 | 8
上智大学 000000100 | 1

(学習) 原田・村津・若林ー木上

(上智) 三田・村田 (翔)ー村田 (拓)

☆二塁打 木上・土井2・麻生・大竹・伊藤 (学)

澤野 (上)

(戦評) 学習院は2回に先制し、3、4回と続けて得点した。上智も7回に反撃を開始するが、序盤でついた点差を縮めることが出来ず、8ー1で学習院が制した。

第2試合 開始時刻13:21 終了時刻15:45

亜細亜大学 001000000 | 1
筑波大学 04120020x | 9

(亜細) 二井谷・渡邊ー坂本

(筑波) 戸谷・平野ー土井

☆二塁打 宮下2・若林 (筑)

(戦評) 筑波は2回に連打で4点を入れてから、その後も立て続けに得点を重ねた。アジアは再三のチャンスを作るも筑波の投手の好投に阻まれた。結果9-1で筑波が勝利した。

◎2020年9月26日 さくら運動公園球場
第1試合 開始時刻10:04 終了時刻12:56
筑波大学 000020100 | 3
獨協大学 011000000 | 2
(筑波) 西尾・千葉・曾川・土井
(獨協) 高野・小沼
☆三塁打 小沼(獨)
☆二塁打 土井2・國本(筑)
(戦評) 獨協は2、3回に1点ずつ入れて先制した。筑波は5回にヒットと相手のエラーで2点を返した。筑波は7回にまた、ヒットとエラーで1点を追加したその点が決勝点となった。

第2試合 開始時刻13:30 終了時刻15:50
城西大学 4112011 | 10
上智大学 0000000 | 0
(7回コールド)
(城西) 藤原・岩渕・菊池・浅賀
(上智) 三田・村田(翔)・拓村田(拓)・高橋
☆本塁打 菊池(城)
☆三塁打 佐藤(隆)・山田(城)
☆二塁打 菊池・佐藤(隆)(城)
(戦評) 城西は初回から4点を先制し、4回まで毎回得点。上智は城西の投手藤原、岩渕に3安打完封に抑えられ、城西が7回10点でコールド勝ちに収めた

◎2020年9月28日 さくら運動公園球場
第1試合 開始時刻10:20 終了時刻13:35
獨協大学 20012000 | 5
亜細亜大学 0262130x | 14
(8回コールド)
(獨協) 長堀・佐藤・鹿嶋・小沼
(亜細) 二井谷・坂本・鈴木
☆本塁打 鈴木(亜)
☆二塁打 本間(獨)
鈴木・小山(亜)
(戦評) 獨協は初回到2点を先制した。しかし、亜細亜は2回到同点にし、3回到連打で6点を取った。獨協は4回、6回到追加点を取るが追いつかず14-5で亜細亜が制した。

第2試合 開始時刻14:22 終了時刻16:45
城西大学 200100000 | 3
筑波大学 000030001 | 4
(城西) 横山・熊倉・菊池
(筑波) 戸谷・西尾・土井
☆二塁打 高橋・大野(城)
井鍋(筑)
(戦評) 城西は初回到2点に先制した。4回到1点を追加して3点差としたが、5回到筑波が同点に追いついた。9回到筑波の土井のサヨナラタイムリーで筑波が制した。

◎2020年9月30日 野田市営球場
第1試合 開始時刻10:13 終了時刻12:40
獨協大学 010020201 | 6
学習院大学 000000000 | 0
(獨協) 高野・小柳・小沼
(学習) 原田・伊藤・木上
☆三塁打 村松(獨)
☆二塁打 小柳(獨)
(戦評) 獨協は2回到相手のエラーがらみで先制し、その後も追加点を挙げた。学習院はなかなかチャンスが作れず、獨協の投手高野は学習院に5安打完封で投げ切り獨協が勝利した。

第2試合 開始時刻13:26 終了時刻15:23
上智大学 0021000 | 3
亜細亜大学 330430x | 13
(7回コールド)
(上智) 村田翔・小林・村田拓
(亜細) 渡邊・佐伯・坂本
☆本塁打 坂本(亜)
☆三塁打 青柳(上)
山崎(亜)
☆二塁打 寺越・坂本・森(亜)
(戦評) 亜細亜は初回到安打と四球で3点を先制。上智は安打等で3回到2点、4回到1点を返すも反撃はここまで。亜細亜は坂本の本塁打もあり7回コールドで勝利した。

◎2020年10月6日 さくら運動公園野球場
第1試合 開始時刻10:05 終了時刻12:23
城西大学 002001023 | 8
亜細亜大学 020000000 | 2
(城西) 熊倉・菊池
(亜細) 佐伯・二井谷・渡邊・坂本
☆本塁打 菊池(城)
☆二塁打 高橋(城)
(戦評) 亜細亜は2回到林の2点適時打で先制。3回到城西高橋の適時打で同点。その後投手戦が続くが、城西が6回大野の勝ち越し適時打、9回菊池の本塁打で試合を決定付けた。

第2試合 開始時刻13:16 終了時刻15:50
学習院大学 000100010 | 2
筑波大学 100010001x | 3
(学習) 原田・伊藤・若林・木上
(筑波) 西尾・平野・土井
☆本塁打 土井(学)
☆二塁打 伊藤(学)
會川(筑)

(戦評) 5回まで両校1対1の同点だったが、筑波が5回到會川の適時二塁打で勝ち越し。学習院は土井の本塁打で追いつくも、最終回到筑波井鍋のサヨナラ適時打で試合終了。

◎2020年10月19日 さくら運動公園野球場
第1試合 開始時刻10:06 終了時刻12:48
学習院大学 100201000 | 4
城西大学 003000002x | 5
(学習) 原田・若林・木上
(城西) 横山・熊倉・菊池
☆本塁打 土井(学)、菊池(城)
☆三塁打 斎藤(学)
☆二塁打 斎藤(学)、北原(城)
(戦評) 初回到学習院土井のソロ本塁打で先制。しかし、城西が3回到安打と四球を絡めて3点を取り逆転。最終回、菊池の逆転サヨナラ二点本塁打で城西が勝利を収めた。

第2試合 開始時刻13:30 終了時刻15:40
獨協大学 0011001 | 3
上智大学 1000003x | 4
(7回降雨コールド)
(獨協) 佐藤・小柳・小沼
(上智) 村田翔・村田拓
☆本塁打 小柳(獨)
☆三塁打 青柳(上)
☆二塁打 清水(獨)
(戦評) 初回到上智が機飛で先制。獨協は3、4、7回到1点ずつ返した。7回表終了時からの強雨の中、上智が四球、安打、捕逸などにより逆転し、雨天コールドで上智が今秋初勝利。

◎2020年10月21日 東松山球場
第1試合 開始時刻13:30 終了時刻16:30
上智大学 0001000 | 1
筑波大学 418010x | 14
(7回コールド)
(上智) 小林・三田・荒木・今村・高橋・村田(拓)
(筑波) 西尾・平野・石崎・戸谷・土井・木佐木
☆本塁打 若林(筑)
☆三塁打 土井(筑)
☆二塁打 湯原(上)
生田・會川(筑)
(戦評) 筑波は初回到4点を先制し、その後も三回まで続けて得点を重ねた。上智も4回到1点を返すが、序盤でついた差を縮めることができず、14対1で筑波が勝利した。

	筑波大	城西大	学習大	亜大	獨協大	上智大	試合	勝	負	分	勝率	得失点	順位
筑波大学		○△	○○	○○	○○	○○	10	9	0	1	1.000	+47	1
城西大学	●△		○○	○○	○○	○○	10	8	1	1	.889	+37	2
学習院大学	●●	●●		○○	●●	○○	10	4	6	0	.400	-4	3
亜細亜大学	●●	●●	●●		○○	○○	10	4	6	0	.400	-24	4
獨協大学	●●	●●	○○	●●		○●	10	3	7	0	.300	+7	5
上智大学	●●	●●	●●	●●	●○		10	1	9	0	.100	-63	6

第2試合 開始時刻10:13 終了時刻12:35
学習院大学 002012025 | 12
亜細亜大学 133000000 | 7
(学習) 伊藤 (慎)・鈴木・若林・原田ー
木上
(亜細) 佐伯・林・渡邊・二井谷ー坂本・
鈴木
☆本塁打 麻生 (学)
寺越 (亜)
☆三塁打 大竹・金子 (学)
☆二塁打 土井 (学)
峠下・坂本・小山 (亜)
(戦評) 学習院は三回までに5点差をつけら
れるが、8回に同点、9回に勝ち越した。亜
細亜は序盤に本塁打などで差をつけるが、終
盤投手陣が踏ん張りきれず学習院が勝利し
た。

◎2020年10月25日 砂沼球場
第1試合 開始時刻10:06 終了時刻13:42
城西大学 165400000 | 16
獨協大学 604000400 | 14
(城西) 横山・岩渕・都合・熊倉ー菊池
(獨協) 高野・長堀・佐藤ー小柳・小沼
☆本塁打 小沼 (獨)
☆二塁打 菊池 (城)
清水・小寺・吉本 (獨)
(戦評) 城西は初回に1点を先制。その裏獨
協は連打で6点を取り逆転。しかし、2回の
攻撃で城西がまた逆転。その後お互いに点数
と取り合ったが2点差で城西が勝ち切った。

第2試合 開始時刻14:24 終了時刻16:25
上智大学 0020000 | 2
学習院大学 2000019 | 12
(7回コールド)
(上智) 村田 (翔)・三田ー村田 (拓)
(学習) 鈴木・若林ー木上
☆本塁打 青柳 (上)
斎藤・川野 (学)
☆三塁打 大竹・川野 (学)
☆二塁打 木上・村岸②・麻生②・金子 (学)
(戦評) 学習院は初回斎藤のツーランホーム
ランで先制。上智も3回にツーランホームラ
ンで同点に追いつく。しかし、学習院が6回
に1点、7回に9点を追加して7回コールド
ゲーム。

◎2020年10月27日 東松山球場
第1試合 開始時刻10:10 終了時刻12:40
筑波大学 001100000 | 2
城西大学 000000011 | 2
(9回引き分け)
(筑波) 西尾・戸谷ー土井
(城西) 熊倉ー菊池
☆本塁打 土井 (筑)
☆三塁打 大野 (城)
☆二塁打 森 (筑)
野田 (城)
(戦評) 3回に土井が先制ホームランを放ち
4回に追加点。前半は2点差で終え、5回か
ら両チーム無得点で迎えていた8回に城西が
1点を返し、最終回藤原が同点打を放った。

第2試合 開始時刻13:24 終了時刻16:01
亜細亜大学 25000020 | 9
学習院大学 100103041x | 19
(8回コールド)
(亜細) 二井谷・佐伯・渡邊・佐伯ー坂本
(学習) 若林・鈴木・原田ー木上
☆三塁打 坂本 (亜)
斎藤 (学)
☆二塁打 坂本 (亜)
土井・平野・大竹 (学)
(戦評) どちらも序盤から点の取り合いにな
り三者凡退の回がほとんどなく学習院が前半
に7点差をつける。8回、満塁で途中出場の
3番林がライト前へのタイムリーでコールド
ゲーム。

最優秀選手賞 若林 功樹 (筑波大学3年)
最優秀投手賞 西尾 翔馬 (筑波大学3年)
首位打者賞 菊池 洋紀 (城西大学3年)
吉野 陸人 (獨協大学2年)

4部リーグ

◎2020年10月7日 上柚木公園野球場
第1試合 開始時刻10:00 終了時刻12:30
成蹊大学 30011330 | 20
東京農業大学 0002000 | 2
(7回コールド)
(成蹊) 河合・梅田・根上一亀山
(農業) 大江・加藤・阿部・山本ー渡辺・
清水
☆三塁打 亀山・伊藤 (新) (成)
☆二塁打 峯部 (成蹊)
(戦評) 成蹊大は初回に3点を先制する。農
業大は4回に2点を返すも、5回に13失点と
大量リードを奪われる。成蹊大は攻守が噛み
合い7回コールドで勝利した。

◎2020年10月14日 上柚木公園野球場
第1試合 開始時刻9:30 終了時刻12:00
東京都立大学 200000001 | 3
東京農業大学 22000002x | 6
(都立) 井上一秋山
(農業) 加藤ー清水
☆三塁打 山本 (農)
☆二塁打 渡部 (都)
(戦評) 都立大が2点を先制するも、2回ま
でに逆転を許す。その後は両者無得点が続い
たが、8回に農業大が追加点を取る。9回に
追い上げを見せるも届かず、農業大が逃げ
切った。

第2試合 開始時刻13:27 終了時刻15:05
成蹊大学 1200241 | 10
東京農工大学 0000000 | 0
(7回コールド)
(成蹊) 根上・松井ー亀山
(農工) 鈴木ー古市
(戦評) 成蹊大が先制すると、その後も点を
重ねる。農工大は先発の鈴木が踏ん張るも、
打線が1安打と根上・松井に抑え込まれる。
試合は7回コールドで成蹊大が勝利した。

◎2020年10月16日 上柚木公園野球場
第1試合 開始時刻9:40 終了時刻11:48
東京都立大学 000020000 | 2
成蹊大学 20300200x | 7
(都立) 井上一秋山
(成蹊) 河合・梅田・根上一亀山
☆本塁打 飯島 (成)
☆三塁打 横山 (成)
☆二塁打 柴田 (都)
飯島・西村・山田 (成)
(戦評) 成蹊大が3回までに5点を先制。都
立大は5回に柴田の2点タイムリーで追いつ

	成蹊大	農大	都立大	農工大	試合	勝	負	分	勝率	得失点	順位
成蹊大学		○	○	○	3	3	0	0	1.000	+33	1
東京農業大学	●		○	○	3	2	1	0	.667	-6	2
東京都立大学	●	●		○	3	1	2	0	.333	+1	3
東京農工大学	●	●	●		3	0	3	0	.000	-28	4

げるも、その後は得点できず。成蹊大は打線をはじめ投手陣も9回2失点と好投を見せ勝利した。

最優秀選手賞 横山 天道 (成蹊大学3年)
最優秀投手賞 根上 真 (成蹊大学1年)
首位打者賞 飯島 由峰 (成蹊大学3年)

5部リーグ

©2020年10月2日 荒川戸田橋緑地野球場
第1試合 開始時刻9:55 終了時刻11:50
一橋大学 0000000 | 0
立正大学 230211x | 9
(7回コールド)
(一橋) 鈴木-梅澤
(立正) 倉持・稲留-菊池・野尻
☆本塁打 林 (立)
☆二塁打 宮田 (一)
永木・野尻・世永 (立)
(戦評) 立正大攻撃陣は初回から先制し勢いをつけるとその後も着々と得点を積み重ねる。投げては倉持と稲留が7回無失点の完封リレーで勝利を収めた。

©2020年10月15日 荒川戸田橋緑地野球場
第1試合 開始時刻9:45 終了時刻12:00
一橋大学 2000000 | 2
立正大学 418104x | 18
(7回コールド)
(一橋) 阿部・大賀-梅澤
(立正) 中山・倉持・加藤-菊池・野尻・林
☆本塁打 林 (立)
☆二塁打 吉田 (一)
伊賀・林 (立)
(戦評) 初回に一橋大は2点を先制するもその裏に4点を取られ逆転を許す展開になった。立正大はその後も点を積み重ね合計18得点を取り勝利した。

©2020年10月21日 荒川戸田橋緑地野球場
第1試合 開始時刻9:45 終了時刻11:45
一橋大学 1010000 | 2
立正大学 710961x | 24
(7回コールド)
(一橋) 大賀・梅澤-梅澤・山野
(立正) 倉持・加藤・稲留-菊池
☆本塁打 鈴木 (一)
☆三塁打 加藤 (立)
☆二塁打 梅澤 (一)
伊賀・加藤・菊池・武藤・藤波 (立)
(戦評) 橋大が先制点を奪うも裏に立正大が一挙7得点を取り逆転した。追いつきたい一橋大は6回に追加点を奪うも点差は離され立正大が7回コールドで勝利を収めた。

最優秀選手賞 林 懐 (立正大学3年)
最優秀投手賞 倉持 涼汰 (立正大学3年)
首位打者賞 林 懐 (立正大学3年)

	立正大	一橋大	試合	勝	負	分	勝率	得失点	順位
立正大学		〇〇〇	3	3	0	0	1.000	+47	1
一橋大学	●●●		3	0	3	0	.000	-47	2

神奈川リーグ

秋季リーグ戦

©2020年9月5日 星槎中井スタジアム
第1試合 開始時刻10:00 終了時刻12:30
横浜市立大学 000020120 | 5
関東学院大学 02320002x | 9
(市大) 阿部・三宅・生玉-石川
(関学) 戸塚・秋山・岡崎・山田・平山-大杉
☆二塁打 仲田・榎並 (市)
(戦評) 関学は、相手の四球や単打で点を重ねていく。市大は長打で反撃するも及ばず、関学が勝利した。

第2試合 開始時刻13:10 終了時刻16:30
横浜市立大学 04702130 | 17
防衛大学校 43115163x | 24
(8回コールド)
(市大) 生玉・古田・三宅・高屋・阿部-石川
(防大) 大久保・山村・大久保・関森-汐月
☆三塁打 秋元 (防)
☆二塁打 石上・榎並 (市)
上川・上村・植田 (防)
(戦評) 試合はど派手な乱打戦に。試合は二転三転するも、毎回得点を上げ続けた防大が、8回コールドで勝利した。

©2020年9月15日 横須賀スタジアム
第1試合 開始時刻9:52 終了時刻12:39
防衛大学校 100002005 | 8
横浜市立大学 000000301 | 4
(防大) 関森・山村-汐月
(市大) 阿部・生玉・阿部-山本
☆二塁打 植田・上川 (防)
石上・山本 (市)
(戦評) 防大は初回に長打等で先制するも、七回に市大が三連打を含む攻撃で同点に追いつく。同点で迎えた最終回、防大が5連打の攻撃で大量得点を奪って逃げきり、勝利した。

第2試合 開始時刻13:30 終了時刻15:00
防衛大学校 00000 | 0
関東学院大学 02332x | 10
(5回コールド)
(防大) 福住・秋元-原
(関学) 戸塚-大杉
☆三塁打 竹下 (防)
大杉 (関)
☆二塁打 青谷 (防)
上杉・山田 (関)

(戦評) 関学は、相手の四球と長打で二回以降毎回得点を重ねていく。防大も長打等でチャンスは作るがあと一本が出ず、関学が5回コールドで勝利した。

◎2020年9月16日 横須賀スタジアム
第1試合 開始時刻9:00 終了時刻10:50
横浜国立大学 1201000 | 4
横浜国立大学 810120x | 12
(7回コールド)

(市大) 生玉・古田・三宅・高屋一石川
(国大) 今野・玉利一森脇
☆二塁打 石田・照井・森脇(国)
(戦評) 市大は、初回幸先よく先制する。しかしその裏、国大が一挙8点を奪い逆転に成功し、そのまま振り切って7回コールドで勝利した。

第2試合 開始時刻14:00 終了時刻16:15
関東学院大学 3002059 | 19
防衛大学校 0000102 | 3
(7回コールド)

(関学) 平山・湖東一大杉・降旗
(防大) 関本・秋元・福住・犬童一大久保・原・汐月
☆二塁打 木村・山下2・古山・濱田・佐久間・降旗・柳沼(関)
高橋(防)
(戦評) 関学は、初回到2本の長打を含む攻撃で3点を先制し、その後も防大の投手陣を攻略して大量得点を奪い、7回コールドで勝利した。

◎2020年9月22日 星槎中井スタジアム
第1試合 開始時刻10:00 終了時刻11:42
関東学院大学 23311 | 10
横浜国立大学 00000 | 0
(5回コールド)

(関学) 戸塚・足立・平山一降旗
(市大) 阿部・生玉一本山
☆本塁打 山田恭(関)
☆三塁打 山田恭(関)
☆二塁打 木村・山口(関)
(戦評) 関学は初回、山田恭の先頭打者HRで流れをつかみ、毎回得点で差を広げていく。市大は関学の投手陣の前に得点を奪えず、関学が5回コールドで勝利した。

◎2020年9月22日 保土ヶ谷球場
第1試合 開始時刻10:00 終了時刻12:25
防衛大学校 000010103 | 5
横浜国立大学 100010110 | 4

(防大) 山村・大久保一汐月
(国大) 玉利・曾我一森脇
☆二塁打 秋元・舟場・青谷(防)
細野・石田(国)
(戦評) 国大は相手のミスで初回到先制する。その後は、引き締まった試合が続いたが、最終回、防大が相手の四球等でチャンスをつかみ、逆転に成功。そのまま勝利した。

第2試合 開始時刻13:15 終了時刻15:55
横浜国立大学 001000024 | 7
防衛大学校 200001000 | 3
(国大) 中村元・今野一福澤・森脇
(防大) 関森・秋元・山村一大久保
☆本塁打 須田山(防)
☆二塁打 藤田・細野(国)
秋元・植田(防)

(戦評) 防大は初回、幸先よく2点を奪う。しかし、国大が8回到同点に追いつき、最終回到一挙4点を挙げ逆転。そのまま国大が勝利した。

◎2020年10月3日 星槎中井スタジアム
第1試合 開始時刻10:05 終了時刻11:55
麻布大学 00110 | 2
関東学院大学 11352x | 12
(5回コールド)

(麻布) 工藤・梅田一八原
(関学) 遠藤一大杉
(戦評) 関学は相手の四球やミスで得点を積み重ねていき、差を広げていく。麻布もあきらめずに点を取るが、関学がそれを振り切り、5回コールドで勝利した。

第2試合 開始時刻12:45 終了時刻14:30
麻布大学 00000 | 0
横浜国立大学 3225x | 12
(5回コールド)

(麻布) 岸田一財部
(国大) 玉利・森脇一森脇・福澤
☆三塁打 藤田(国)
☆二塁打 細野・森脇・上西(国)
(戦評) 国大は初回から打線がつながり、毎回得点。投げては玉利と森脇の完封リレーで勝利を掴んだ。

◎2020年10月4日 星槎中井スタジアム
第1試合 開始時刻9:30 終了時刻11:35
横浜国立大学 41304 | 12
麻布大学 00000 | 0
(5回コールド)

(国大) 曾我一森脇
(麻布) 山口・岸田一八廣
☆三塁打 宮本(国)
(戦評) 国大は相手の四球などにより、得点を重ねた。先発の曾我が5回無失点の投球で5回コールドで勝利した。

第2試合 開始時刻12:15 終了時刻13:45
関東学院大学 60230 | 11
麻布大学 00100 | 1
(5回コールド)

(関学) 湖東・山田雄一大竹・乙坂
(麻布) 工藤・八廣・田邊一財部
☆三塁打 大竹(関)
☆二塁打 山田恭・鈴木志(関)
(戦評) 関学は、相手の四球などにより5回まで毎回得点、4回には一挙5点の猛攻を見せ勝利した。

◎2020年10月18日 サーティーフォー保土ヶ谷球場
第1試合 開始時刻10:00 終了時刻12:30
防衛大学校 000101006 | 8
麻布大学 010000000 | 1
(防大) 山村一汐月
(麻布) 岸田・八廣一財部
☆二塁打 岡野・竹下(防)
財部・工藤(麻)
(戦評) 防大は、先発の山村が被安打3、7奪三振で9回を投げ切り勝利した。

第2試合 開始時刻13:10 終了時刻14:50
麻布大学 200000 | 2
防衛大学校 150141x | 12
(6回コールド)

(麻布) 田邊・八廣・財部・植田一財部・八廣
(防大) 関森一汐月
☆三塁打 岡野・竹下(防)
☆二塁打 上川(防)
(戦評) 防大は、植田の4安打など計11安打の攻撃を見せ、6回コールドで勝利した。

◎2020年10月18日 横須賀スタジアム
第1試合 開始時刻9:50 終了時刻12:10
横浜国立大学 000003000 | 3
関東学院大学 50000100x | 6

(国大) 玉利・曾我一森脇
(関学) 平山・戸塚一大杉
☆本塁打 柳沼(関)
☆三塁打 諏訪(関)
☆二塁打 立木(関)
細野(国)
(戦評) 関学は、初回到5点を取り、試合の主導権を握った。6回表に国大に3点を取られるも、裏の攻撃で柳沼の本塁打により1点を追加し、そのまま逃げ切り勝利した。

第2試合 開始時刻13:00 終了時刻15:40
横浜国立大学 001113112 | 10
横浜国立大学 000005300 | 8

(国大) 森脇・今野・玉利一福澤・森脇
(市大) 阿部・生玉一本山
☆本塁打 石田(国)
☆三塁打 細野2・藤田・照井(国)
阿部(市)
☆二塁打 森脇・福澤(国)
山本(市)
(戦評) 国大は、7回到一度リードを許すも、8回表の石田の本塁打により同点に追いつき、9回表の照井の2点タイムリーにより勝ち越し、勝利した。

◎2020年10月25日 星槎中井スタジアム
第1試合 開始時刻9:10 終了時刻11:30
横浜国立大学 51000016 | 13
麻布大学 00000100 | 1
(8回コールド)

(市大) 阿部一石川
(麻布) 岸田・山ロー一財部
☆本塁打 石上(市)
☆二塁打 石上・西山・石川(市)
(戦評) 市大は、初回の5点の猛攻により、試合を決定づけた。8回到は石上の本塁打などにより大量得点し、8回コールドで勝利した。

第2試合 開始時刻12:00 終了時刻14:20
関東学院大学 000100001 | 2
横浜国立大学 000000100 | 1
(関学) 湖東・遠藤・戸塚一降旗
(国大) 玉利・今野・森脇一森脇・福澤
☆三塁打 内田(関)
☆二塁打 佐久間・大竹(関)

(戦評) 関学は4回に降旗のタイムリーで先制した。7回に国大に追いつかれるも、9回に相手のミスで勝ち越した。3人の継投で1失点に抑え、関学は秋季リーグ戦を全勝で終えた。

第3試合 開始時刻14:45 終了時刻16:30
麻布大学 102013 | 7
横浜市立大学 51050x | 11

(6回日没コールド)

(麻布) 工藤・八廣ー財部

(市大) 三宅・丸茂・高屋ー石川・富田

☆三塁打 財部(麻)

☆二塁打 田邊(麻布)

山本(市)

(戦評) 市大は、1回と4回の5得点により、乱打戦を制し、6回で日没コールドにより勝利した。

北関東 秋季リーグ戦

©2020年9月26日 高崎市城南球場

第1試合 開始時刻10:15 終了時刻11:51

埼玉大学 003135 | 12

茨城大学 100100 | 2

(6回コールド)

(埼玉) 前川・羽田ー小松・遠藤

(茨城) 野村ー佐藤

☆本塁打 千葉(埼玉)

☆二塁打 高橋・三谷・千葉(埼玉)

(戦評) 茨城大学が先制するも3回以降埼玉打線が爆発し、6回コールドで勝利した。

第2試合 開始時刻12:17 終了時刻14:51

帝京大学宇都宮 0004000000 | 4

群馬大学荒牧 0010002011x | 5

(延長10回)

(帝京) 高橋・宮森ー市川

(荒牧) 小屋ー真下

☆二塁打 川岸・宮森(帝)

鈴木(荒)

(戦評) 両チームの投手が粘り強く投げ、タイブレークまでもつれる接戦となったが、群馬大学荒牧がサヨナラ勝利を収めた。

©2020年9月27日 高崎市南部球場

第1試合 開始時刻10:20 終了時刻12:27

高崎経済大学 00000210 | 3

高崎健康福祉大学 3200100x | 6

(8回コールド)

(高経) 石井・河合・土岐ー田頭・松岡

(高健) 尾形・田畑ー川田

☆三塁打 本多(健)

☆二塁打 大久保・川島星・川島拓・田邊(健)

(戦評) 高崎健康福祉大学が序盤にペースをつかみ、終盤に点を返されるもリードを守り切った。

©2020年10月3日 伊勢崎市民球場

第1試合 開始時刻10:27 終了時刻12:41

群馬大学荒牧 4002002 | 8

高崎健康福祉大学 000343x | 10

(7回コールド)

(荒牧) 小屋・鈴木ー真下・丹野

(高健) 尾形・田畑ー川田

☆本塁打 丹野(荒)

☆三塁打 金山(荒)

本多・川島拓(健)

☆二塁打 近藤・佐藤(荒)

川田(健)

(戦評) 激しい点の取り合いの乱打戦となったが、終盤で一気に点を取った高崎健康福祉大学が逆転勝利した。

第2試合 開始時刻13:27 終了時刻15:48

共栄大学 00002013 | 6

埼玉大学 02000000 | 2

(8回コールド)

(共栄) 谷口・平野・佐藤ー佐藤・戸邊

(埼玉) 羽田・三谷・前川ー遠藤・三谷

☆三塁打 樋口(埼玉)

☆二塁打 佐藤・戸邊・宇田・星(共)

篠田(埼玉)

(戦評) 共栄大学が細かい継投を使って少ない失点で抑え、終盤に効率よく点を取って逆転した。

©2020年10月25日 高崎市南部球場

第1試合 開始時刻10:21 終了時刻12:34

防衛医科大学校 00011010 | 3

群馬大学 1000053x | 9

(8回コールド)

(防医) 安田ー谷澤・松井

(群馬) 中村・町田ー村上

☆本塁打 一尾(防)

片貝(群)

☆三塁打 栗野2(群)

☆二塁打 中西(防)

竹中・村上(群)

(戦評) 前半はロースコアの展開だったが、後半に集中力を見せた群馬大学が一気に突き放し勝利した。

第2試合 開始時刻13:23 終了時刻15:35

群馬大学 0120053 | 11

茨城大学 1010104 | 7

(7回コールド)

(群馬) 北村・中島・岡崎ー村上・池田

(茨城) 佐藤・川村・後藤・野村ー川村・佐藤

☆本塁打 大瀧(群)

☆三塁打 森下(茨)

☆二塁打 前田・栗野2・片貝・鈴木(群)
野村(茨)

(戦評) 序盤はロースコアの展開から終盤2イニングで点を取り合う展開になった。群馬大学が逃げ切り勝利した。

©2020年10月25日 栃木県営本球場

第1試合 開始時刻10:20 終了時刻12:15

帝京大学宇都宮 00010 | 1

高崎経済大学 7260x | 15

(5回コールド)

(帝京) 高橋ー江田

(高経) 飯島・石井ー田頭

☆三塁打 工藤(経)

☆二塁打 押鴨・田頭・吉野(経)

(戦評) 初回からビッグイニングを作った高崎経済大学がそのままコールドで勝利した。

第2試合 開始時刻10:30 終了時刻12:15

共栄大学 2100008 | 11

高崎健康福祉大学 1001030 | 5

(7回コールド)

(共栄) 佐藤ー戸邊

(高健) 尾形ー川田

☆三塁打 本多(健)

☆二塁打 舟久保・佐藤・上野・星(共)

(戦評) 最終回に一挙8点を取った共栄大学が逆転で優勝を決めた。

新関東大学 秋季リーグ戦

◎2020年10月4日 ダイワハウススタジアム八王子

第1試合 開始時刻19:10 終了時刻21:15

北里大学 1100200 | 4

都留文科大学 0213032x | 11

(7回コールド)

(北里) 佐藤・井上・井田ー安川

(都留) 山田・河合ー湯元

☆二塁打 大橋(北)

後藤・大橋2(都)

(戦評) 初回に先制点を取られるも、その後効果的に得点し、7回コールドで勝利、勝ち点を獲得した。

◎2020年10月18日 あきる野市民球場

第1試合 開始時刻19:30 終了時刻20:30

多摩美術大学 00 | 0

都留文科大学 59 | 14

(2回時間切れコールド)

(多美) 坂本・越智ー峯村

(都留) 河合ー尾崎

☆本塁打 高橋・後藤(都)

☆三塁打 高橋(都)

☆二塁打 高橋・末広・栗原(都)

(戦評) 初回から効果的に得点し、相手を無失点に抑えて都留文科大学が勝利、勝ち点を獲得した。時間の都合上2回で終了。

◎2020年10月30日 小野路球場

第1試合 開始時刻17:55 終了時刻19:55

日本大学理工学部 0000000 | 0

創価大学 105002x | 8

(7回コールド)

(日大) 下野・鈴木・吉田・鈴木ー佐橋

(創価) 大久保・岸田ー会田・西田

☆二塁打 吉田2・藤原(創)

(戦評) 創価大学が初回に先制。その後も先発の大久保が日本大学理工学部の打線を0点に抑え、7回コールドで創価大学が勝利した。

◎2020年10月31日 ネット多摩昭島スタジアム

第1試合 開始時刻9:55 終了時刻12:30

都留文科大学 010001000 | 2

創価大学 02002215x | 12

(都留) 河合・吉澤・村上・山田ー湯元

(創価) 岸田・茂見ー会田・西田

☆三塁打 会田(創)

☆二塁打 党内(都)

吉田・益田・陸野(創)

(戦評) 都留文科大学が2回に先制するも、その裏に創価大学は陸野、吉田の連続タイムリーで逆転。その後も得点を重ね、創価大学が勝利した。

令和2年度
北信越地区大会成績

北信越地区大学準硬式野球 交流試合

◎2020年10月3日 石川県立球場

第1試合 開始時刻 : 終了時刻 :

金沢星稜大学 0 1 0 0 0 2 0 0 1 | 4

金沢大学教育学部 1 0 0 0 0 0 0 0 2 | 3

(星稜) 吉田一中条

(学教) 出南・川崎・出南一福岡

☆三塁打 北川(学教)

☆二塁打 黒詰(学教)

第2試合 開始時刻 : 終了時刻 :

北陸大学 0 0 0 0 0 1 0 | 1

金沢大学法文経国 0 1 0 0 1 6 x | 8

(7回コールド)

(北陸) 岡本祥・坂・才野・岡本祥一永井

(法文) 印南一西田

☆二塁打 西村

第3試合 開始時刻 : 終了時刻 :

金沢星稜大学 0 0 1 0 1 0 0 0 0 | 2

金沢大学法文経国 0 1 0 0 0 0 0 0 0 | 1

(星稜) 赤江・直川一前・中条

(法文) 西川・印南一西田

☆二塁打 吉田・直川(星稜)



◎2020年10月3日 三国球場

第1試合 開始時刻 : 終了時刻 :

金沢大学法文経国 0 0 0 2 0 1 2 2 0 | 7

福井大学 0 0 2 0 0 0 0 0 0 | 2

(法文) 戸井田・澤田・印南一西田

(福井) 高橋・古村一大浦

☆二塁打 戸井田・幡谷・西田(法文)

第2試合 開始時刻 : 終了時刻 :

金沢星稜大学 0 0 0 0 1 0 5 2 0 | 8

福井大学 0 0 2 0 0 2 0 0 0 | 4

(星稜) 赤江・直川一中条・前

(福井) 戸澤・古村一上地

☆二塁打 吉田・中田・安江(星稜)

大浦(福井)



◎2020年10月3日 金沢市民球場

第1試合 開始時刻 : 終了時刻 :

富山大学 0 0 0 1 0 0 0 0 0 | 1

富山大学医薬学部 0 0 1 0 1 0 0 2 x | 4

(富山) 掛川・谷口・安井一坂上

(富薬) 神谷一三輪

☆二塁打 安井(富山)

永井(富薬)

第2試合 開始時刻 : 終了時刻 :

金沢大学工学部 0 1 3 0 2 0 2 0 1 | 9

金沢大学医学部 0 1 0 0 0 0 0 2 1 | 4

(金工) 今野・丹代一小嶋・西出

(金医) 山田・松井・有島一塩村・小林

☆三塁打 西村(金工)

☆二塁打 今野・斎藤・西村・堀(金工)

小林・中川2(金医)

第3試合 開始時刻 : 終了時刻 :

金沢大学工学部 1 0 0 1 0 0 4 0 1 | 7

金沢大学理工・薬学域 4 1 0 0 0 0 0 0 0 | 5

(金工) 堀・西村一小嶋

(金薬) 中口・村一松谷

☆二塁打 小嶋(金工)



◎2020年10月3日

第1試合 開始時刻 : 終了時刻 :

新潟大学医学部 2 2 1 0 0 1 0 0 0 | 6

上越教育大学 1 0 0 0 2 4 0 1 x | 8

(新医) 加賀田・染谷一小川・石山

(上教) 金成・注連・永見一鈴木・宮本

☆本塁打 鈴木(上教)

☆三塁打 小川(新医)

☆二塁打 阿部・関(新医)

石田・宮本(上教)

第2試合 開始時刻 : 終了時刻 :

新潟大学医学部 1 1 0 1 0 0 1 2 1 | 7

新潟大学学友会 0 0 0 0 3 0 1 0 0 | 4

(新医) 川平・石山一小川

(学友) 阿部・佐藤・簀一井田・鹿志村

☆二塁打 阿部・小川・佐竹(新医)

坂本(学友)

第3試合 開始時刻 : 終了時刻 :

上越教育大学 0 0 0 0 0 0 0 0 1 | 1

新潟大学学友会 0 0 0 1 1 0 0 2 x | 4

(上教) 毛塚・鈴木一鈴木

(学友) 高松・高木一野呂

☆本塁打 川尻(学友)

☆三塁打 野呂(学友)

☆二塁打 注連・宮尾(上教)

桐生(学友)



◎2020年10月3日 大町球場

第1試合 開始時刻 : 終了時刻 :

富山大学 0 0 0 0 0 1 0 | 1

信州大学 0 0 2 0 0 5 1 x | 7

(7回コールド)

(富山) 安井一坂上

(信州) 岡本・増井・清水風・増井・奥原

一村上

☆本塁打 浅野(信州)

☆二塁打 鈴木(富山)

第2試合 開始時刻 : 終了時刻 :

信州大学 0 1 0 0 0 2 1 1 0 | 5

富山大学医薬学部 0 0 0 0 0 5 0 0 0 | 5

(9回引き分け)

(信州) 中村・増井・前川・増井・原一村上

(富薬) 永井・原・上田・原一原・田山・

高木・田山・鈴木・田山

☆三塁打 上田(富薬)

☆二塁打 前川・小高(信州)



令和2年度
東海地区大会成績

〈2020年東海地区活動報告〉

東海地区のコロナ禍での学生活動について： 課外活動の意義を再確認する機会となった

会長 鈴木 眞雄

令和2年度の全日本連盟主催の大会の中止、さらに各大学におけるオンライン授業の導入・課外活動禁止・対外試合の禁止等の措置がとられる事態に至った。これらの非常事態に対して、当連盟としては、学生委員会と連盟の常任理事会が協議して大学生の自主的・自発的な3大会を企画し、その開催の準備に取り掛かった。

最優先した事項は、コロナ禍での部員の検温から移動、消毒までの感染予防対策を徹底すること。但し、開催については各大学の判断を遵守し、大会の運営のルールを設定したことは言うまでもない。

大会は「東海地区交流優勝大会」「秋季リーグ戦」「チャレンジ選手権大会」の3大会で、運営については大学間を越えた学生委員の配慮が随所に発揮され、全日程を滞りなく終えられた。

終息の兆しも見えない状況の下で、今こそ大学の自主的な課外活動が、学生の今後の人生にとって無くてはならないインフラの一つであることが明白となり、課外活動の重要性が再確認できた。

最後に、学生は、試合では、「勝ち負けを競うこと」以上に、「野球をすること・出来ることの楽しさ」の大切さを実感してくれたと思います。

2020年コロナ禍での 東海地区連盟活動経過報告

東海地区大学準硬式野球連盟

理事長 松岡 弘記

3月から5月の東海選手権、春季リーグ戦、全日本代表決定戦、新人交流戦が、すべてコロナ禍により中止となった。諦めずに4年生に最後の舞台の機会をとの一念にて大会延期を続けたが、4年生は引退を迎えた者が大半であり、無念であった。

7月になり、コロナ感染が少なくなり、大会実施を検討した。その準備に際して、全ての会議をオンライン会議とし、ZOOMにて実施した。

コロナ感染予防は、大会2週間前からの各チームのスタッフと選手全員の検温と健康カードの記載、大会中も同じ要領にて各チームへ実施し、手指の消毒、ベンチや道具の消毒の実施を徹底した。また、そのコロナ感染予防と熱中症予防の大会運営マニュアルを作成し、全チームに連盟LINEにて周知徹底させた。

9月に新たな東海地区交流優勝大会を行うことができた。10月からは秋季リーグ戦が4部校（グラウンド使用不可）を除いて実施する

ことができた。さらに、新たな「2020東海地区大学準硬式野球チャレンジ選手権大会」を10月に実施することができた。

これらの大会が一人の感染者も出さずに無事に実施できたことは、運営側として大変喜ばしい限りである。また、最後の大会に出場して準硬式野球の楽しさを噛み締めて引退した4年生にコロナに負けない社会人になるようにエールを送ると同時に心から感謝して彼等の野球をやりたいとの思いを来年以降の連盟活動の推進エネルギーとしたい。

以上

レベルアップ講習会・審判講習会

常任理事 三村 優易

令和2年2月15日に審判講習会・レベルアップ講習会を行いました。審判講習会は1年生を対象に235人が参加し、講師である愛知県軟式野球連盟審判員のご指導のもと基本的なジャッジの形や試合でのポジショニング等を試合形式を交えながら積極的に学ぶことができました。東海地区連盟のリーグ戦では1・2部のリーグ戦では軟式野球連盟審判員2名、学生審判員2名でリーグ戦を行ない、3・4部の試合では学生審判員4名でリーグ戦を行っております。今回の講習会でより正確なジャッジができるようになる良き機会になったと思います。

午後からは愛知大学に場所を移し1・2年生を対象にレベルアップ講習会を行ないました。レベルアップ講習会の趣旨は、準硬式野球部出身のOBをお招きし、社会人となった今、大学準硬式野球での取り組みが、どのように活かされているかや、もっと学生時代にやっておけば良かったということを講演して頂き、現在の学生の取り組みの奮起を促すものです。今回のOB講演では、セーレン株式会社古市様（愛知大OB）、ゴムノイナキ株式会社田中様（愛知大OB）が貴重な講演をして下さりました。

また、現役学生の代表が、全日本選手権・清瀬杯・9ブロック大会・海外遠征での経験を下級生に講演する事で、連盟での取り組みや、9地区大会・海外遠征により興味を持ち、身近に感じてもらう事で、1部～4部、静岡リーグと関係なく東海地区全体のレベルアップに努めています。

これらの会場設営や審判依頼、OBの先輩への依頼文書の作成やタイムスケジュール等は学生主体となって取り組み、アンケートを実施しフィードバックする事で年々立派な規模になっていると感じています。

今後も継続していき学生に積極的に準硬式野球に取り組む機会になればと思っております。

連盟活動を終えて

学生委員長 浅田 翔真
（愛知大学4年）

今年は前例のない年となりました。練習やリーグ戦、大会が例年通りに行われず、もどかしい気持ちを持った選手も多くいるように感じます。その中で、松岡理事長をはじめとする理事の方々の掛け合いなどもあり、厳重な感染対策を講じたうえで、いち早く練習等々を再開できたことに感謝したいと思います。また、全国大会を開催することは叶いませんでしたが、東海地区での独自大会が行われたことに、一選手として、また連盟学生委員としてとても嬉しく思います。

時間の流れは早く、我々4年生が連盟で活動する期間も残りわずかとなりました。

「東海地区の準硬式野球をより良いものに」これは代々受け継がれてきたものであり、これからも継承していかなければなりません。私は委員長に指名され、東京で行われた会議に出席したり、全国大会の運営に携わったりと貴重な経験を多くさせていただきました。その中で他地区の方々のお話を聞き、多くの事を吸収してきました。そしてそれを取り入れることが、東海地区のさらなる発展に繋がると確信しています。

私たちはこの事を、次期委員長をはじめとして学生役員に伝える義務があります。次期役員には頼れる者が多くいるため、残りの少ない期間で私が教わってきたことを伝え、より良い東海地区になることを願って尽力していきたいと思います。

2020年の連盟活動を終えて

マネージャー代表 日野英美子
（中京大学4年）

代表に任命された昨年12月。あの日から“自分のチームのみでなく、東海地区に所属する全てのチームが気持ちよくプレイ出来る様に活動する”この想いを胸にマネージャー代表として活動してきました。選手と指導者、時にはチームと連盟の良きパイプ役として、活動する事は容易ではありませんが、スコア講習会やアナウンス講習会の開催、九地区大会や中国遠征への参加など、多くの貴重な経験をさせていただけた事がこの想いを叶える為の大きな一歩となったと感じています。

講習会は、予定していた回数を行うことは出来ませんでしたが、「アナウンスの声で、正確なスコア付で、試合を盛り上げる事が出来るんだ」と一人でも多くのマネージャーが自分のマネージャー業務にやりがいを感じるきっかけとなる様、これからも開講されると嬉しいです。

今年は、他の方も書かれている様に、前例のない年となりました。そんな中で、私達学生の安全を第一に考えながらも1日でも早く1日でも長く野球が出来るように働きかけて

くださった連盟役員の方々に心から感謝しております。そして、沢山の方に支えられ約1年間東海地区準硬式野球連盟でマネージャー代表として活動出来たことを誇りに思います。またいつの日かコロナ渦が収まり日常が取り戻された時には、東海地区のマネージャーから大学準硬式野球界を盛り上げていきたいらいいな。と願っています。

2020年度秋季リーグ戦を終えて

中野 翔太
(名城大学4年)

例年なら我々4年生は春季リーグ戦、夏の全国大会で準硬式野球部を引退している。しかし、コロナウイルスの影響で試合が出来ず、このままでは引退できなかった。そのため秋まで続けてきた中、やっとの思いで開催されたのがこの秋季リーグ戦であった。私自身も1部リーグ優勝は入学時からの目標であり、最後のチャンスであった。

気持ちを入れてリーグ戦に臨んだが、初戦は勝利したもののそこから接戦をものにできない試合が続いてしまった。個人もチームも大会までの実践経験の少なさ、期間が空いたため試合感覚を忘れてしまい、思うようなプレーが出来なかった選手が多くいたと感じた。そのためワンチャンスをものにできないことも多く、ピンチでの些細なミスで接戦を落としてしまう結果になった。

それでも、野球ができる喜び、野球ができる事が当たり前ではないことを今までのどのリーグ戦よりも選手たちは噛みしめて野球を楽しんでいた。

リーグ戦優勝は果たせなかったが、リーグ戦を開催していただいたことにより、引退する4年生が完全燃焼して大学野球を終えられたと思う。また後輩たちにもプレーで優勝への執念を伝えることができた。来年こそ1部リーグ戦優勝、全国大会が開催され出場できることを後輩たちに期待したいと思う。

準硬式野球を振り返って

鈴木 元貴
(名城大学4年)

私が準硬式野球部に入部したきっかけは、高校で納得の行く活躍ができず、後悔ばかりの自分自身を変えたかったからです。名城大学の準硬式野球部には、高校野球名門校の選手が多く、全日本大会出場と清瀬杯準優勝を果たすことができました。しかし、個人的には何の成果もあげられず、焦っていました。

4年最後の年こそ、自分が試合で活躍するんだという気持ちで練習に打ち込み、これからはシーズンだ！という時に新型コロナウイルスにより全国大会中止の知らせを受けた時には、高校時代と同じ思いで引退するのと思うと涙が溢れました。そんな時、監督から

「4年生も秋のリーグ戦まで戦おう！」という言葉を頂き、これが自分にとって本当に最後のチャンスだと感じ、入部時の気持ちを思い出して、それまで以上にバットを振込み、練習を重ねました。その結果、秋のリーグ戦では4割以上の打率を残し、やっとチームに貢献することができました。

なかなか結果が出ず、辛いこと、悔しいことの方が多かったですが、諦めず努力した結果、最後にこのような成績を収められたのではないかと思います。また、目立った取り柄のない自分のような選手でも、コツコツと続けていれば結果につながる事が証明できたのではないかと思います。来年からは社会人となりますが、準硬式野球部で培った経験を存分に活かしていきたいです。

4年間の活動を終えて

愛知大主将 大木 隆史
(愛知大学4年)

今年が最終学年である私は、チームで全国大会に出場し最後の思い出を作ろうと春合宿を楽しみにしていました。しかし、新型コロナウイルスの影響を受け、合宿どころか春のリーグ戦、全日本選手権や清瀬杯が中止になってしまいました。このまま大学野球人生が終わってしまうのだと思い落ち込み、後悔が残ってしまうと感じていました。

しかし、東海地区連盟の松岡理事長をはじめ学生連盟、各大学の監督方のご協力の下、東海地区チャレンジ大会を開いて下さりました。大学野球をもうやれないと思っていた中で、四年生に最後の舞台を用意してもらえたことを知ったとき、「野球がまだできるんだ」と思うすごく嬉しかったです。

大会ではコロナウイルスの対策として3密回避やマスクの着用、体温検査など制限がありましたが無事開催でき嬉しかったです。私たち四年生にとって最後の大会は、仲間と勝利を求め野球に打ち込み、存分に楽しむことができました。

これからもコロナとの共存社会になっていくと思いますが、このような状況下で最後の晴れ舞台を用意して頂いた連盟の方々に心から感謝しております。学生最後に準硬式野球の大会ができ仲間と喜びを分かち合いながら愛大準硬式野球部の特徴である「楽しみながらもメリハリがある野球」をすることができ最高の思い出になりました。準硬式を最後までやり切ることができ悔いなく学生野球を終えられることを感謝しています。ありがとうございました。

〈2021年の連盟活動へ向けて〉

2021年の連盟活動へ向けて

副会長 村山 勝

2020年という年は、本来なら日本のスポーツ界にとって輝かしい年となるはずでした。しかしながら新型コロナウイルスより、オリンピック・パラリンピックをはじめとする多くの国内外のスポーツ大会は、延期・中止となりました。当連盟においても同様に感染防止の観点から活動の自粛を余儀なくされ、例年実施している春の各大会について止むを得ず中止決定を致しました。

こうした状況下でしたが、秋には各リーグ戦及び秋季東海地区チャレンジ選手権大会を実施できたことは、各理事の皆様や学生委員会メンバーのご尽力によるものであり、まづもって大会実施にこぎつけたことに感謝申し上げます。

さて、2021年の連盟活動へ向けてですが、次のように考えます。現状を鑑みれば当連盟が事業として定めている「春・秋期リーグ戦」、「地区選手権大会」、「その他、本連盟を運営するに必要と認めた事業」の3事業について、事業再開の完全化に向けてのプロセスは、いまだハードルが高く、現時点（11月9日現在）では運営できるかどうかは見極められないというのが正直なところであります。しかし、敢えて申し上げれば、この春以降の危機的状況化においても、秋の大会が実施できたことは貴重な経験となり、これまでの慣例に捉われず、手法を変えることで実現できることを証明できたと思っています。つきましては、2021年も連盟の歩みを止めぬよう皆さまの引き続きのご理解、ご協力を宜しくお願い致します。

新学生委員長として

加藤 大輝
(中京大学3年)

この度、東海地区大学野球連盟新学生委員長を務めさせていただくことになり、不安な気持ちとともに、これから東海地区を牽引していかなければいけないという責任感の気持ちでいっぱいです。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、春季リーグ戦、東海地区大学準硬式野球選手権大会、新人交流優勝大会が中止になり、また、全日本大学準硬式野球選手権も中止になるなど、不完全燃焼で終わってしまった年だったと思います。多くの人が、幼い頃から野球を始め、一人一人様々な想いで、大学でも野球を続けていることだと思います。また同時に、大学野球を最後に、野球から離れるという人も多くいると思います。だからこそ、私は、何十年も続けてきた野球の集大成になるような準硬式野球を皆さんに届けたいと思い、学生委員長になりました。簡単なことで

はありませんが、裏方として、選手が気持ちの良いプレーができるような努力をしていきたいと思っています。

新型コロナウイルスの影響により、厳しい環境の中での運営ですが、各大学と協力し、少しでもよい運営ができるように努力していきたいと思います、選手のために何ができるのかを一番に考え、何ができるのかを日々考えていきたいと思っています。

東海地区大学準硬式野球部 交流優勝大会優勝校日本福祉大学

主将 浅田 能英
(日本福祉大知学3年)

まず、初めに自分たち日本福祉大学がこの大会を通して、学べたことや振り返りをしていきたい。そして、なぜ自分たちが優勝できたのか述べていきたい。

この大会では、コロナの影響でともに練習をできていないチームばかりであったと思う。自分たち日本福祉大学もその一チームであった。そのため、初戦の中部との試合を落としてしまっている。しかし、自分たちはここで諦めるのではなく、その負けがあったからこそ最後の最後まで諦めないでやり遂げ、優勝することができた。

自分たちチームは、決して強いチームではない。いい選手が集まってもいない。しかし、このように勝てるようになったのは、他のチームのおかげだと自分は思っている。他のチームの一球に対する気持ちやチームで勝とうとしている気持ちなど去年から、自分自身は感じており、新チーム結成してから全員野球で勝ちたいと自分は選手に言い続けてきた。そのため、全員が同じ方向を見ていたからこそ勝つことができた。

最後に、2021年の活動では、まだコロナが収束の目処が経っていないため、活動ができるのか心配な部分があるかもしれない。練習がまたできなくなるかも知れない。しかし、それを言い訳にせず、いい機会だと思ってチーム力をもっと上げていきたい。

東海地区大学準硬式野球 交流優勝大会大会主幹

中京大学 主務 加藤 大輝
(中京大3年)

新型コロナウイルスの影響で、大会だけでなく、普段の部活動もなかなかできない中、活動自粛が緩和され、部活動ができていた大学6校でこの東海地区大学準硬式野球交流優勝大会が開催されました。大会前から各大学で健康管理を行い、毎試合健康チェックシートを提出してもらうなど新型コロナウイルスへの感染予防対策をしっかり行い大会を運営しました。

春季リーグ戦、東海選手権が中止となり、

試合をする機会がなかったこともあり、試合ができることへの感謝の気持ちをとても感じることが出来た大会でもあったと思います。また、自分自身、今まであたりまえのように大会が開催できていることも、大会主幹校となり、運営する立場となったことで、多くの人が大会開催のために動いていることを肌で感じ、あたりまえのことではないと感じることが出来ました。コロナ禍の中だからこそ、一人一人改めて感じるが多かった大会だったのではないかと感じます。

今回の大会は、新型コロナウイルス感染の影響で新しく開催されたものではありませんが、臨機応変に対応し大会運営することができました。大会主幹校として、素晴らしい大会をつくりあげることができたことを嬉しく思います。

東海地区秋季リーグ戦 一部校全勝優勝主将として

中京大学 主将 石川 大蔵
(中京大学3年)

2019年夏、私達は2連覇のかかる全日本選手権大会で初戦敗退喫しとても悔しい思いをしました。「この悔しさをもう味わいたくない」「自分達の代で絶対優勝する」この気持ちを抱き、新チームが始動しました。新チーム発足当初、どうしたら全国で勝てるチーム作りができるのか何度もミーティングを重ねました。私達チームは例年に比べ、目立つ選手はいなかった為、個々の能力の向上をまずは目標にし、練習では紅白戦を積極的に取り入れ、チーム全員が実践感覚を身に付け誰がいつ試合出ても戦える準備をしました。また、オープン戦では練習で結果が出た選手をベンチ入りさせることによって、ベンチ入り選手に常に危機感を持たせ、練習の緊張感とモチベーション維持を徹底させました。これにより、チーム内でのレギュラー争い、ベンチ入り枠争いが活発になり日々の練習の質を上げることが出来ました。秋季リーグ戦でも、チーム力の底上げをする為、1試合ごと先発メンバーを総入れ替えし、ベンチ入りメンバーも大幅に交代しました。その結果、試合を重ねるごとにチームとしての一人一人の役割や、求められる事が明確になりチーム力が伸び、選手層も厚くなったのではないかと自負しております。中京大学準硬式野球部の歴史の中で6季連続リーグ優勝に貢献できたこと、そして、12年ぶりの全勝優勝ができたことをとても誇りに思います。

東海地区大学準硬式野球 秋季リーグ戦大会1部校主幹主務

中京大学 主務 加藤 大輝
(中京大3年)

今年度は、新型コロナウイルス感染の影響により、春季リーグ戦、東海地区大学準硬式野球選手権大会、新人交流優勝大会が中止となり、試合をする機会が失われてしまいました。しかし、松岡先生をはじめ、理事の方々の働きかけのおかげで今回の秋季リーグ戦を開催することができました。心から感謝しています。

今回の秋季リーグ戦は新型コロナウイルス感染の影響により、1試合総当たり戦に変更し、少ない試合数で行われました。また、新型コロナウイルス感染予防対策を大会前から行うなど、最大限の注意を払って運営を行いました。選手にとっては少ない試合数で、物足りなさも感じていることだと思いますが、同時に一つも負けられないという緊張感から1試合1試合にかける思いプレー一つに力が表れていて、とても良いリーグ戦だったのではないかと感じました。

厳しい環境の中での大会運営でしたが、各大学と協力し、最後までやり切ることができたのはとてもよかったと思います。また、この経験は自分自身にとってとても大きなものになりました。厳しい環境の中、選手のために何ができるのか、どのようなことをすればよいか考えながら行動することの大切さを学ぶことができました。また、たくさんの人の協力のおかげで、私たちは思う存分プレーすることができているということを改めて感じ、感謝の気持ちを忘れてはいけなと主幹を通して感じる事ができました。

2021年の連盟活動に向けて

愛知工業大学 主将 太田 康介

今回の秋季リーグ戦は、新型コロナウイルスの影響で新入部員が例年よりも少なく、練習もなかなかできないなど厳しい状態でのスタートだった。それでも、一人一人が自分の役割を果たし、最後まで粘り強く戦い抜くことができた結果が優勝につながったと思う。初戦の愛知学院大学戦では、中盤まで1点ビハインドのまま進み苦しい試合展開となった。6回に1点を返し、7回には2死からヒットでチャンスを作り、3点を取り、逆転することができた。少ないチャンスをものにし、最後まで諦めず、絶対に勝ちたいというチーム全員の気持ちが前面に出た試合だった。前回のリーグ戦まで1部に所属し、非常に力のあるチームに勝つことができたことが自分たちの自信につながった。その後の試合も、どちらのチームに勝利が転んでもおかしくない試合が続いた。しかし、エースを軸に投手陣は最少失点に抑え、打線はクリーンナップを中心に少ないチャンスを生かして得

点を重ねることができた。その結果、チーム全員で全勝を勝ち取ることができた。この大会で3年生は引退となるが、最後の大会で優勝という最高の結果を残すことができたことが非常に良かった。今まで中心選手としてチームを支えてきた3年生が抜けてしまうのはチームにとってとても苦しいが、残されたメンバーで粘り強く戦い抜き、次の大会でも優勝し、目標である1部昇格を目指してこれからも頑張っていきたい。

秋季東海地区大学準硬式野球 チャレンジ選手権大会優勝代表として

中京大学 A 神谷 隼輝
(中京大3年)

まず初めに、今回の大会を開催するにあたり、球状確保やバスの手配などをして下さった関係者の皆様ありがとうございました。この大会では連戦が続く中で選手はケアを怠らずよく戦ってくれたと思います。大会前にチームで優勝を目標に楽しく野球をしようと決めました。接戦の試合の時もその状況も楽しむことが出来ていたが優勝に繋がったと思っています。普段試合に出場する機会が少ないメンバーで構成されたチームだからこそ、他のチームより勝ちたいという想いが強かったと感じています。スタメンや打順を毎試合変えることで、全選手に平等にチャンスを与えました。その中で、選手は期待に応え、役割を全うし、しっかりと結果を残してくれました。自分自身も初采配という中で、至らないところが多く、選手にはたくさん迷惑をかけました。采配に悩んでいる時に声をかけてくださった先輩方や、自分に付いてきてくれた同級生や後輩のおかげで自信を持って采配を振るうことができました。また、今回の大会を通して、選手ひとりひとりが自信を付けることができたと思いますし、中京大学としてチーム全体の底上げにも繋がったと思います。これからの大会でも中京大学として優勝をしていけるように日々精進していきたいと思っています。

2021年度の連盟活動に向けて

新女子マネージャー代表 寺田 泉水
(愛知大3年)

新女子マネージャー代表として、選手がプレーしやすい環境作り、サポートはもちろん、各大学のマネージャー間の繋がりを円滑にし、迅速かつ丁寧なコミュニケーションを取れるように、マネージャー同士の横の繋がりをより確固たるものとしていきたいです。また、今年は新型コロナウイルス感染症蔓延により、部活を行えなくなる、大会開催の見通しが立たない、などといった不測の事態となりました。その様な状況の中、コロナ感染

症対策に取り組み、秋季リーグ戦とチャレンジ選手権大会を開催することが出来たことに感謝しております。今回の大会では、新型コロナウイルスの影響により、これまでとは異なる点の多い大会開催となりましたが、問題なく全日程を消化することができ、これは、コロナ禍での活動として大きな意味となったと思います。そして、今後も予測のできない状況ではありますが、ウィズコロナ、アフターコロナというように、今後はどのようにこの状況の中で活動するか、そしてこの状況にどのように適応していくかを常に意識し行動していきたいです。

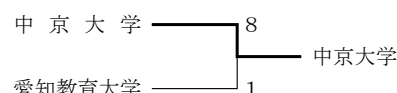
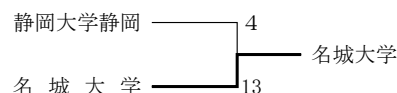
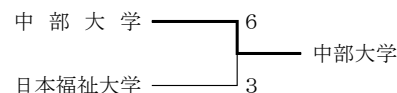
東海地区交流優勝大会

会 期：2020年9月2日～10月1日

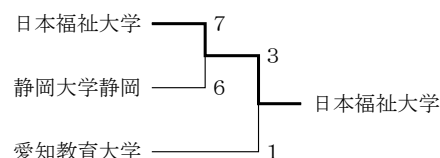
会 場：パロマ瑞穂球場

出場校：中京大学、中部大学、名城大学
愛知教育大学、日本福祉大学
静岡大学静岡

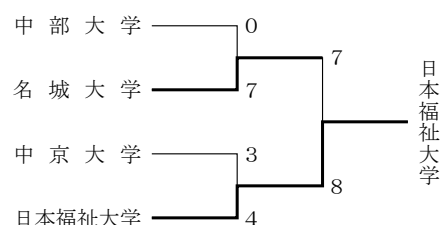
予選トーナメント



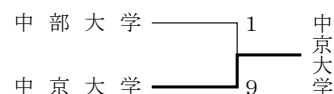
敗者復活戦



決勝トーナメント



3位決定戦



©2020年9月2日 パロマ瑞穂球場

第1試合 開始時刻9:34 終了時刻11:52

中 部 大 学 4 0 0 0 0 0 0 1 1 | 6
日本福祉大学 0 0 0 0 0 3 0 0 0 | 3

(中部) ○田中・遠山・細川

(日福) ●渡辺・三好・武田

☆三塁打 村田 (日福)

☆二塁打 出口 (中部)

(戦評) 中部大学は初回に4点を先制、日本福祉大学は6回に3点を取るものの、中部大学が8回、9回にそれぞれ1点を追加し6-3で中部大学の勝利。

第2試合 開始時刻12:35 終了時刻14:45
静岡大学静岡 0000130 | 4
名城大学 311206x | 13
 (7回コールド)

(静岡) ●仲・小松・嘉藤
 (名城) ○水谷・柴田・角谷
 ☆三塁打 角谷(名城)
 中野(名城)
 ☆二塁打 八軒(名城)
 松久保(静岡)

(戦評) 名城は4回までに7点を取るが、静岡大学が5回、6回で4点を返す。しかし6回裏に6点を取り返し13-4で名城大学の7回コールド勝ちとなった。

◎2020年9月15日 パロマ瑞穂球場

第1試合 開始時刻9:30 終了時刻11:47
中京大学 10030022 | 8
愛知教育大学 10000000 | 1
 (8回コールド)

(中京) ○夏目・高木・佐野・鬼頭
 (愛教) ●竹生・庄子・紅林
 ☆三塁打 力武(愛教)
 ☆二塁打 山田修・鈴木2(中京)
 堀尾・佐藤(愛教)

(戦評) 3回まで両校ともに1得点だったが、中京大学が4回に鈴木からの連打で3得点、さらに7回、8回にそれぞれ2点を追加し、中京大学のコールド勝ち。

第2試合 開始時刻12:30 終了時刻14:40
日本福祉大学 002100004 | 7
静岡大学静岡 012000003 | 6

(日福) 中田・谷輪・○榊原・武田
 (静岡) 根津・河野・●仲・嘉藤
 ☆二塁打 北原(日福)
 工藤・伊奈(静岡)

(戦評) 静岡大静岡は2回に1点を先制するも、すぐに追いつかれ8回まで一進一退の攻防。9回に日本福祉大学が4点を追加し、そのまま逃げ切り勝利。

◎2020年9月16日 パロマ瑞穂球場

第1試合 開始時刻10:27 終了時刻12:37
日本福祉大学 001100010 | 3
愛知教育大学 000010000 | 1

(日福) ○渡辺・武田
 (愛教) ●力武・松澤・竹生・紅林
 ☆三塁打 竹生(愛教)

(戦評) 3回表に手塚の適時打で日本福祉大学が先制。5回裏に1失点を許すも8回表に四球で加点し、3-1で日本福祉大学の勝利。

◎2020年9月24日 パロマ瑞穂球場

第1試合 開始時刻9:27 終了時刻11:04
中部大学 0000000 | 0
名城大学 223000x | 7
 (7回コールド)

(中部) ●田中・杉本・高村・細川
 (名城) 山崎・○水谷・柴田・成瀬・川瀬
 一角谷・加古
 ☆三塁打 玉利(名城)
 ☆二塁打 八軒(名城)、遠山(中部)

(戦評) 名城大学は初回、相手のミスに付け込み2点を先制すると3回までに7点を奪い試合の流れを掴み、7-0で7回コールド勝ち。

第2試合 開始時刻11:50 終了時刻13:41
中京大学 000102000 | 3
日本福祉大学 11010010x | 4

(中京) 伊藤・●佐野・菊永・飯島・鬼頭
 (日福) ○渡辺・武田
 ☆二塁打 奥原(中京)
 村田・浅田(日福)

(戦評) 日福大は序盤に3点を奪うが中京大に6回に同点とされる。しかし7回相手のエラーを絡めて逆転し、そのまま逃げ切り4-3で日本福祉大学の勝利。

◎2020年9月30日 パロマ瑞穂球場

第1試合 開始時刻9:33 終了時刻11:27
中部大学 0100000 | 1
中京大学 330300x | 9
 (7回コールド)

(中部) ●田中・杉本・遠山・服部・細川
 (中京) 夏目・道崎・○佐野・高木・鬼頭
 ☆三塁打 山田修(中京)
 ☆二塁打 出口(中部)

(戦評) 中京大は2回までに6点を取り、4人の投手リレーで中部大を寄せ付けず、9-1の7回コールド勝ちで中京大学の勝利。

第2試合 開始時刻12:18 終了時刻15:05
名城大学 002004001 | 7
日本福祉大学 01016000x | 8

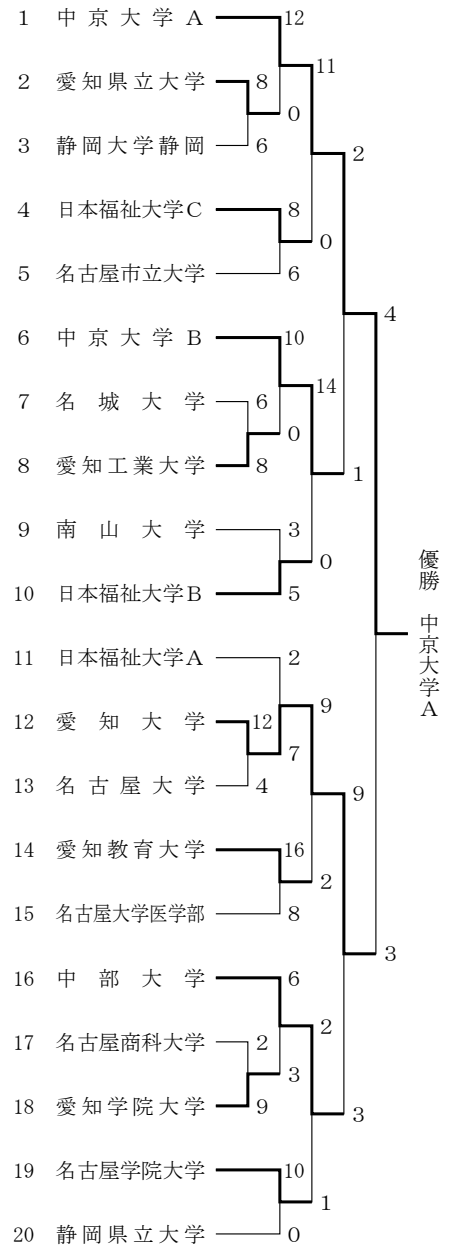
(名城) 山崎・●成瀬・柴田・川瀬・水谷
 一角谷・堀端
 (日福) ○渡辺・三好・木戸
 ☆三塁打 鈴木(名城)
 ☆二塁打 山川・北原(日福)

(戦評) 2対2で迎えた5回裏、日福大は4連打などで6点を奪い8対2とする。6回表、名城大は4点を奪い最終回に1点を挙げるも及ばず8対7で日福大の勝利。



2020秋季東海地区大学準硬式野球 チャレンジ選手権大会

球場：浜松球場、浜北球場、天竜球場
 菊川球場、パロマ瑞穂野球場



◎2020年10月29日 浜松球場

第1試合 開始時刻9:28 終了時刻12:16
愛知県立大学 20300010002 | 8
静岡大学静岡 02200110000 | 6
 (延長11回)

(愛県) 早瀬・坂野○ー馬場
 (静岡) 根津・河野・仲●ー加藤
 ☆三塁打 坂野・谷(愛県)
 ☆二塁打 川井・坂野・谷・河村(愛県大)
 仲2・酒井・藤田(静岡大)

(戦評) 両大学点を取り合う展開となった。6-6の同点で迎えた11回表、愛県大2番坂野、3番谷の連続タイムリーで勝ち越しに成功。8-6で愛県大の勝利。

第2試合 開始時刻13:03 終了時刻15:48
名城大学 110001030 | 6
愛知工業大学 00510002x | 8
(名城) 八坂・伊藤・浅岡・田口●ー山下・堀端
(愛工) 杉野・内藤○・塚本ー立野
☆本塁打 内藤(愛工)
☆二塁打 八軒・河出(名城)
内藤(愛工)
(戦評) 愛工大は3回5本のヒットなど打者一巡の猛攻で5点を取る。同点に追いつかれるも4番内藤のツーランホームランで勝ち越し、8-6で愛工大が勝利した。

©2020年10月29日 菊川球場
第1試合 開始時刻9:38 終了時刻12:20
愛知教育大学 422000107 | 16
名古屋大学医学部 000400310 | 8
(愛教) 柴田○・加世田・康本・宮澤・久保田ー宮島
(名医) 萬徳●・大野・西村・萬徳ー松尾
☆三塁打 加世田(愛教)
☆二塁打 市川(愛教)
(戦評) 初回到愛教大が4点を先制した。名大医が4回到4点を取り、巻き返しをみせたものの、9回到愛教大が7点を取り、16対8で勝利した。

第2試合 開始時刻13:10 終了時刻14:32
名古屋学院大学 00028 | 10
静岡県立大学 00000 | 0
(5回コールド)
(名院) 深谷○ー杉浦
(静県) 穴口●ー大石
☆二塁打 井上・杉浦・渡瀬(名院)
飯田(静県)
(戦評) 4回到名院大が2点を先制し、その後も8点を重ねて、5回コールドで名古屋学院大学が制した。

©2020年10月29日 天竜球場
第1試合 開始時刻9:45 終了時刻12:45
日本福祉大学C 102012020 | 8
名古屋市立大学 100011030 | 6
(日福C) 道井・山田○・近藤・平澤ー木戸
(名市) 小塚●・宮崎ー中村
☆本塁打 森2(日福C)
☆二塁打 斎藤(日福C)
太田・高橋(名市)
(戦評) 日福Cは、森の2本の本塁打などで8点を挙げる。名市大は8回到3点を取り、追い上げを見せるも及ばず8-6で日福Cの勝利。

第2試合 開始時刻13:30 終了時刻15:40
南山大学 210000000 | 3
日本福祉大学B 400000100 | 5
(南山) 町村●・小島ー川口
(日福B) 谷輪・福林○・平井・土井・三好ー吉永
☆三塁打 平山(日福B)
☆二塁打 太田2・竹元・吉永(日福)
長井・加藤(南山)

(戦評) 序盤に両チームが点を取り合うも、その後は落ち着き、膠着状態で迎えた7回裏に吉永のタイムリーで追加点を挙げ、日福Bの勝利。

©2020年10月29日 パロマ瑞穂野球場
第1試合 開始時刻9:30 終了時刻11:30
愛知大学 2140410 | 12
名古屋大学 0000400 | 4
(7回コールド)
(愛知) 大西○・武田ー大木・鈴木
(名大) 鈴木●・富田・河・川上ー古都・坂町
☆二塁打 立岩・田中(愛知)
(戦評) 愛知大が1回から3回までに7点を取り、名大が5回到4点を取り、5回コールドを逃れるが、7回コールドで愛知大の勝利。

第2試合 開始時刻12:30 終了時刻15:45
名古屋商科大学 00002000 | 2
愛知学院大学 13000203 | 9
(8回コールド)
(名商大) 近藤●・岡田・坪井ー古本
(愛院大) 工藤○・加藤・小野・荻原ー森
☆三塁打 川尻(名商大)
☆二塁打 竹端(名商大)
(戦評) 愛院大は、初回到1点を取り、2回も3点を取る。5回到名商大が2点を取り反撃するも及ばず、8回コールドで愛院大の勝利。

©2020年10月30日 浜松球場
第1試合 開始時刻9:33 終了時刻10:55
中京大学A 16023 | 12
愛知県立大学 00000 | 0
(5回コールド)
(中京A) 佐野○・齋田ー飯島
(愛県) 早瀬●・坂野ー馬場
☆三塁打 奥原(中京A)
☆二塁打 飯島・各川・伊藤優・橋詰
(中京A)
(戦評) 初回到先制した中京Aは、続く2回も打者一巡の猛攻で6点を奪うなど終始愛県大に流れを渡さず、12-0でコールド勝ちを収めた。

第2試合 開始時刻11:45 終了時刻13:15
中京大学B 31411 | 10
愛知工業大学 00000 | 0
(5回コールド)
(中京B) 伊藤○・松澤・道崎ー鬼頭
(愛工) 塚本●・杉野ー藤原
☆二塁打 山田修2・森・此本(中京B)
(戦評) 中京Bは初回から打線が繋がり確実に得点を重ねた。投げては伊藤、松崎、道崎の継投で愛工大を1安打に抑え、コールド勝ちを収めた。

©2020年10月30日 浜北球場
第1試合 開始時刻9:50 終了時刻12:10
日本福祉大学A 200000000 | 2
愛知大学 30200002x | 7
(日福A) 榊原●・山川ー大塚
(愛知大) 大西○・熊谷ー大木・鈴木
☆二塁打 奥岡(日福A)
西岡(愛大)
(戦評) 初回到日福Aが2点を先制するも、愛知大が3点を返し、3回、8回到2点を入れ7-2で愛知大の勝利。

第2試合 開始時刻12:53 終了時刻15:45
中部大学 000000006 | 6
愛知学院大学 010020000 | 3
(中部) 遠山・○田中ー細川
(愛院) 上野・●小野・加藤ー大畑
☆三塁打 鶴田(中部)
☆二塁打 鶴田(中部)
(戦評) 9回まで愛院大が3点リードするも、9回表に中部大が6点を取り逆転し、そのまま中部大の勝利。

©2020年10月31日 浜松球場
第1試合 開始時刻8:31 終了時刻10:33
中京大学A 200009 | 11
日本福祉大学C 000000 | 0
(6回コールド)
(中京A) 菊永○・田邊ー飯島
(日福C) 眞井●・山田・森ー木戸
☆三塁打 伊藤・山本悠(中京A)
☆二塁打 岡野・伊藤(中京A)
森(日福C)
(戦評) 中京Aは初回奥原の犠飛で幸先よく先制した。日福Cの先発眞井はその後踏ん張り、5回まで好投するも、6回につかまり、中京Aが打者一巡の猛攻で勝負を決めた。

第2試合 開始時刻11:17 終了時刻12:48
日本福祉大学B 00000 | 0
中京大学B 5702x | 14
(5回コールド)
(日福B) 福林●・谷輪・三好ー吉永
(中京B) 道崎○・松澤ー鬼頭
☆二塁打 松浦湊(中京B)
(戦評) 中京Bは四球でためたランナーを連打で返し、2イニング連続で打者一巡の猛攻を見せ、試合を優位に進めた。投げては先発の道崎が日福B打線を無失点に抑えた。

第3試合 開始時刻13:35 終了時刻16:30
愛知教育大学 01000001 | 2
愛知大学 00102024 | 9
(8回コールド)
(愛教) 久保田●・中島・小川・大倉ー宮澤・松尾
(愛知) 大西○・浅田(一)ー大木・大岩
☆二塁打 小川(愛教大)
(戦評) 1対1の同点で迎えた5回裏、愛知大は澤田・越智・西岡の3連続タイムリーで勝ち越しに成功した。その後も得点を重ね、8回コールドで愛知大の勝利。

第4試合 開始時刻17:13 終了時刻19:19
名古屋学院大学 000010000 | 1
中部大学 00000101x | 2
(名院) 小川・西川・深谷●ー杉浦
(中部) 服部○・杉本ー細川
(戦評) 1対1で迎えた8回裏、中部大は5番兒林の単打や相手のエラーを機に逆転。その後、9回に登板した杉本が無失点に抑え、2対1で中部大の勝利。

©2020年11月1日 浜松球場
第1試合 開始時刻9:30 終了時刻12:10
中京大学B 000000100 | 1
中京大学A 00000002x | 2
(中京B) 伊藤・夏目●ー鬼頭
(中京A) 佐野・一ノ瀬○・菊永ー飯島
☆三塁打 各川 (中京A)
(戦評) 投手戦が続き0対0で迎えた7回裏、中京Bは此本のタイムリーで均衡を破る。1点を追う中京Aは8回裏に各川のタイムリーで逆転に成功した。

第2試合 開始時刻12:54 終了時刻15:22
中部大学 000011100 | 3
愛知大学 00101007x | 9
(中部) 田中・杉本・遠山●・服部ー細川
(愛知) 加納・笹田○・浅田 (翔) ー大岩・大木
☆三塁打 立岩 (愛知)
兒林・松谷 (中部)
(戦評) 2対2で迎えた7回表、中部大は兒林・松谷のヒットで1点をリードする。しかし、8回裏愛知大は打者一巡の猛攻で7点を取り、試合を決めた。

©2020年11月2日 浜松球場
第1試合 開始時刻8:32 終了時刻11:15
中京大学A 110000200 | 4
愛知大学 000201000 | 3
(中京A) 菊永・田邊・一ノ瀬○ー飯島
(愛知) 大西●ー大木
☆三塁打 加藤大・伊藤 (中京A)
(戦評) 2対2で迎えた6回裏、愛知大は6番安岡のタイムリーで1点をリードする。中京Aは7回表に3・4番の連打と5番の犠飛で逆転に成功した。4対3で中京Aの優勝が決定。



秋季リーグ戦 1部

©2020年10月6日 パロマ瑞穂野球場
第1試合 開始時刻9:30 終了時刻11:25
中京大学 4110010 | 7
名古屋商科大学 0000000 | 0
(7回コールド)
(中京) ○夏目・佐野・ー鬼頭
(名商) ●長谷川ー加藤
☆三塁打 加藤・中根 (中京大)
(戦評) 中京大は初回到4点、2回、3回に1点ずつ加え6ー0。さらに6回に1点を加え、中京大の7回コールド勝ち。

第2試合 開始時刻12:10 終了時刻14:20
愛知大学 000002000 | 2
名城大学 00000400x | 4
(愛知) ●加納・熊谷ー大岩
(名城) ○水谷ー角谷
☆三塁打 鈴木 (名城)
(戦評) 名城大は、6回表に2点先制されるも2番古家から始まった6回裏相手のエラー、鈴木 of 3塁打等で4点を返し4ー2で名城大の勝利。

©2020年10月7日 パロマ瑞穂野球場
第1試合 開始時刻9:30 終了時刻11:45
名古屋商科大学 000101000 | 2
愛知大学 10106000x | 8
(名商) ●五木・大橋・池田・横山ー加藤
(愛知) ○浅田 (一)・笹田・大沼ー大岩・鈴木
☆三塁打 澤木 (名商)
(戦評) 愛知大は初回到1点、3回に1点を加え5回に6点取り愛知大が8ー2で勝利。

第2試合 開始時刻12:30 終了時刻14:15
名城大学 01000030 | 4
中部大学 30020006 | 11
(8回コールド)
(名城) ●成瀬・伊藤・八坂・田口・岡野ー柴田・堀端
(中部) ○遠山・杉本ー細川
☆本塁打 出口 (中部)
☆三塁打 山田 (中部)
☆二塁打 山田・出口 (中部)
(戦評) 中部大が初回到3点を取り4回に2点を加える。名城大が7回に3点取るが反撃及ばず中部大が11ー4で8回コールド。

©2020年10月14日 パロマ瑞穂野球場
第1試合 開始時刻9:32 終了時刻11:48
中京大学 230001010 | 7
愛知教育大学 000001200 | 3
(中京) ○佐野・田邊・浅井・高木・菊永ー鬼頭
(愛教) ●吉田・左子・福田・久保田ー紅林・柴田
☆三塁打 此本・中根・山田・鈴木 (中京)
(戦評) 中京大は序盤に5点を先攻すると先発佐野が5回まで3安打と相手打線を抑え込むが愛教大は中盤に3点を奪い追上げるも及ばず7ー3で中京大の勝利。

第2試合 開始時刻12:30 終了時刻14:36
中部大学 200000000 | 2
名古屋商科大学 000000102 | 3
(中部) 田中・服部・●高村ー細川
(名商) 青野・池田・○長谷川ー加藤
☆二塁打 加藤 (名商)
(戦評) 中部大は、初回相手のミスとタイムリーで2点を先制するもその後得点を奪えず、名商大が最終回到2点を奪い3ー2で名商大のサヨナラ勝ち。

©2020年10月15日 パロマ瑞穂野球場
第1試合 開始時刻9:30 終了時刻11:30
中部大学 110010000 | 3
愛知大学 00603000x | 9
(中部) ●遠山・服部・杉本ー細川
(愛知) ○加納・服部ー大岩
☆三塁打 小瀬木 (愛知)
☆二塁打 鏡味・梶田・ (愛知)
山田・細川・鶴田 (中部)
(戦評) 中部大は初回、2回と1点ずつ入れるが愛知大が3回に6点を奪い逆転しそのまま愛知大の勝利。

第2試合 開始時刻12:15 終了時刻15:30
愛知教育大学 100001420 | 8
名城大学 000001410 | 6
(愛教) ○力武・久保田・松澤・福田ー柴田・紅林
(名城) ●山崎・水谷・八坂ー加古・角谷
☆二塁打 大倉・力武・小川 (愛教)
古橋・玉利・井上 (名城)
(戦評) 愛教大は初回到1点を取り、7回にも4点を取る。名城大は6、7回に1、4点を取り反撃するが及ばず、愛教大が8ー6で勝利。

©2020年10月22日 パロマ瑞穂野球場
第1試合 開始時刻9:30 終了時刻11:42
名城大学 100001000 | 2
中京大学 001001001 | 3
(名城) ●水谷ー角谷
(中京) 佐野・菊永○ー鬼頭
☆三塁打 此本 (中京)
玉利 (名城)
☆二塁打 鈴木・八軒 (名城)
山田・中根・伊藤 (中京)
(戦評) 2対2の同点で迎えた9回裏。中京大学森のタイムリーにより3ー2で中京大学のサヨナラ勝利。

第2試合 開始時刻12:24 終了時刻14:48
名古屋商科大学 003101000 | 5
愛知教育大学 00310103x | 8
(名商) 玉木・池田・加藤・横山・●青野ー加藤
(愛教) 竹生○ー柴田
☆三塁打 松澤 (愛教)
☆二塁打 稲留・加藤・余合・香村 (名商)
(戦評) 5対5の同点で迎えた8回裏。2番秦のスライズなどで3点を勝ち越した。投げでは、先発の竹生が完投勝利。

◎2020年10月28日 パロマ瑞穂野球場
第1試合 開始時刻9:30 終了時刻11:35
名城大学 000002000 | 2
名古屋商科大学 01000020x | 3
(名城) ●水谷一角谷
(名商) ○長谷川+加藤
☆二塁打 中野(名城)
(戦評) 2回に名商大が先制し、6回に名城大が逆転したが、7回にエラーが重なり逆転され、3-2で名商大が勝利した。

第2試合 開始時刻12:15 終了時刻14:31
愛知大学 200011330 | 10
愛知教育大学 002001010 | 4
(愛院) ○加納+大岩
(愛教) ●力武・松澤・庄子+柴田・紅林
☆三塁打 鏡味(愛知)
☆二塁打 梶田+梶(愛知)
康本+小川(愛教)
(戦評) 初回に愛知大が先制し、その後もリードを広げ10-4で愛知大が勝利した。

◎2020年10月29日 豊田球場
第1試合 開始時刻9:30 終了時刻11:48
中京大学 110020030 | 7
中部大学 002020000 | 4
(中京) 夏目+一ノ瀬・高木+菊永+鬼頭
(中部) 合田+●服部+横山+細川
☆三塁打 鈴木(中京)
☆二塁打 加藤(中京)
出口(中部)
(戦評) 5対5の同点で迎えた8回裏。中京大が加藤大の出塁をきっかけに3点を奪い、7-4で勝利した。

◎2020年11月5日 豊田球場
第1試合 開始時刻9:40 終了時刻12:10
愛知教育大学 030000030 | 6
中部大学 101002010 | 5
(愛教) ○竹生+柴田
(中部) ●杉本+田中+細川
☆二塁打 佐藤+岩附(愛教)
細川(中部)
(戦評) 3対4で迎えた8回の表。愛知大は堀尾の出塁をきっかけに3点を加えた。中部大も8回裏に1点を加えるものの及ばず、6-5で愛教大の勝利。

第2試合 開始時刻12:50 終了時刻14:27
愛知大学 000000000 | 0
中京大学 00000002x | 2
(愛知) ●西岡+大岩
(中京) ○夏目+鬼頭
☆二塁打 山田(中京)
(戦評) 0対0で迎えた8回裏。中京大は森の出塁をきっかけに2点を先制。投げでは夏目太陽の9回完封勝利。

優勝 中京大学 5勝0敗
準優勝 愛知大学 3勝2敗
3位 愛知教育大学 3勝2敗
4位 名古屋商科大学 2勝3敗
5位 中部大学 1勝4敗
6位 名城大学 1勝4敗

最優秀選手賞 内木 蓮(中京大学)
敢闘賞 西岡 杏朗(愛知大学)
首位打者 滝本 海登(名古屋商科大学) 0.588
最多勝 夏目 太陽(中京大学) 2勝
加納 弘貴(愛知大学)
竹生 充男(愛知教育大学)
長谷川寛人(名古屋商科大学)
本塁打賞 出口将太郎(中部大学) 1本

◎打率ベスト10
1 滝本 海登(名古屋商科大学) 0.588
2 加藤 遥斗(名古屋商科大学) 0.563
3 梶 統惟(愛知大学) 0.467
4 出口将太郎(中部大学) 0.455
5 鈴木 元貴(名城大学) 0.429
6 梶田 健斗(愛知大学) 0.400
6 鏡味 篤史(愛知大学) 0.400
8 鹿住 涼斗(中部大学) 0.389
9 八軒 拓海(名城大学) 0.385
10 柴田 卓也(愛知教育大学) 0.357

◎ベストナイン
投手 夏目 太陽(中京大学)
捕手 加藤 遥斗(名古屋商科大学)
一塁手 鹿住 涼斗(中部大学)
二塁手 森 隆太郎(中京大学)
三塁手 鏡味 篤史(愛知大学)
遊撃手 中根 健太(中京大学)
外野手 梶 統惟(愛知大学)
梶田 健斗(愛知大学)
鈴木 元貴(名城大学)
指名打者 滝本 海登(名古屋商科大学)

	中京大	愛知大	愛教大	名商大	中部大	名城大
中京大学		○	○	○	○	○
愛知大学	●		○	○	○	●
愛知教育大学	●	●		○	○	○
名古屋商科大学	●	●	●		○	○
中部大学	●	●	●	●		○
名城大学	●	○	●	●	●	

秋季リーグ戦 2部

◎2020年10月3日 名古屋学院大学
第1試合 開始時刻9:30 終了時刻11:40
岐阜大学医学部 3101003 | 8
名古屋工業大学 0000100 | 1
(7回コールド)

(岐医) ○熊澤+神部
(名工) ●福原+山内+宮川
☆本塁打 野本(岐医)
鈴木(名工)
☆三塁打 熊澤+仲辻+山中(岐医)
☆二塁打 土岐+野本(岐医)
廣野(名工)

(戦評) 先制は岐阜大学。2番土岐からの先制タイムリーから始まり、3点を先取する。名古屋工業は、チャンスを作りながらも1本が出ず、4番鈴木の本塁打での1点にとどまる。

第2試合 開始時刻12:30 終了時刻15:00
名古屋学院大学 110000050 | 7
日本福祉大学 000020000 | 2
(名学) ○眞野+深谷+杉浦
(日福) 北澤+山田+榊原+●山川+三好+木戸+武田
☆本塁打 中野(日福)
☆二塁打 吉川+鈴木+渡瀬(名学)
中野(日福)

(戦評) 7回まで2対2でもつれたゲーム展開だったが、名古屋学院大学が8回に5点をとる猛攻を見せ、7対2で名古屋学院大学が勝利した。

◎2020年10月4日 愛知工業大学
第1試合 開始時刻9:30 終了時刻12:30
愛知工業大学 000001300 | 4
愛知学院大学 100000011 | 3
(愛工) ○高田+藤原
(愛院) ●工藤+上野+大畑
☆二塁打 藤原(愛工)
榊原+森(愛院)

(戦評) 先制された愛工大だったが、6回に追いつき、7回にツーアウトから3点を取り逆転した。愛知学院大学も粘りを見せたが、そのまま4対3で愛知工業大学が勝利した。

◎2020年10月11日 名古屋学院大学
第1試合 開始時刻11:30 終了時刻13:00
名古屋工業大学 0000000 | 0
愛知工業大学 400310x | 8
(7回コールド)

(名工) ●山岸+廣野
(愛工) ○高田+立野
☆本塁打 内藤(愛工)
☆二塁打 巻砂(名工)
石垣+太田(愛工)

(戦評) 初回にいきなり愛工大が4点を取り先制。4回には4番内藤の2ランHRなどで3点を取り、5回にも1点を奪い、そのまま愛工大がコールドゲームで勝利した。

第2試合 開始時刻13:40 終了時刻16:00
名古屋学院大学 010002020 | 5
岐阜大学医学部 000000100 | 1
(名学) ○眞野・西川・小山・杉浦
(岐医) ●熊澤・奥村・神部
☆三塁打 島田 (名学)
☆二塁打 後藤 (名学)
(戦評) 2回に先制した名古屋学院大学が、6回と8回に2点ずつダメ押しし、5対1で勝利。

◎2020年10月18日 愛知工業大学
第1試合 開始時刻11:00 終了時刻13:35
日本福祉大学 040000002 | 6
岐阜大学医学部 000003000 | 3
(日福) ○森・山田・山川・北澤・武田・木戸
(岐医) ●奥村・神部
(戦評) 先攻の日本福祉大学は2回に4点を先制。対する岐阜大学医学部は6回に3点を奪うが、そのまま6対3で日本福祉大学が勝利した。

第2試合 開始時刻14:40 終了時刻16:30
愛知学院大学 0034010 | 8
名古屋学院大学 0010000 | 1
(7回コールド)
(愛院) ○工藤・加藤・萩尾・小野・大畑
(名学) ●眞野・小山・杉浦
☆二塁打 藤田・寺島・鷲見 (愛院)
井上・島田 (名学)
(戦評) 愛知学院大学は3回、4回に3点と4点を奪い、一方的なゲーム展開をし、7回コールドゲーム、名古屋学院大学を下した。

◎2020年10月24日 愛知工業大学
第1試合 開始時刻9:30 終了時刻12:00
日本福祉大学 020010001 | 4
名古屋工業大学 000000120 | 3
(日福) 中田・谷輪・北澤・山田・○三好・武田・河村
(名工) 須田・●前田・宮川・廣野
☆三塁打 緒方 (名工)
☆二塁打 浅田・武田 (日福)
(戦評) 日本福祉大学が先制。名古屋工業大学が8回に追いつくが、9回に逃げ切り、4対3で日本福祉大学が勝利した。

◎2020年10月25日 愛知工業大学
第1試合 開始時刻9:05 終了時刻11:18
愛知学院大学 010001000 | 2
日本福祉大学 000100000 | 1
(愛院) 上野・○小野・加藤・工藤・森
(日福) ●渡辺・谷輪・三好・武田
☆本塁打 森 (日福)
☆二塁打 伊藤 (愛院)
手塚 (日福)
(戦評) 両チームロースコアな展開だったが、6回に5番花田のタイムリーで愛知学院大学が勝ち越した。

第2試合 開始時刻12:01 終了時刻14:02
名古屋工業大学 010100050 | 7
名古屋学院大学 000100000 | 1
(名工) ○緒方・山中・宮川・廣野
(名学) ●若尾・早田・眞野・大平・島田
☆三塁打 鈴木 (名工)
☆二塁打 宮川・緒方・廣野 (名工)
鈴木 (名学)
(戦評) 名古屋工業大学は2回に先制すると、4回には1点、8回にも5点を取り、相手を大きく引き離して勝利した。

第3試合 開始時刻14:40 終了時刻16:40
岐阜大学医学部 100000100 | 2
愛知工業大学 10000101x | 3
(岐医) 奥村・野本・●土岐・神部・奥田
(愛工) ○高田・立野
☆二塁打 内藤2 (愛工)
(戦評) シーソーゲームで進んだこの試合だったが、8回に愛知工業大学勝ち越し、リーグ3連勝。

◎2020年11月4日 名古屋学院大学
第1試合 開始時刻9:27 終了時刻11:20
愛知工業大学 000200040 | 6
名古屋学院大学 000011100 | 3
(愛工) 高田・杉野・立野
(名学) 深谷・小山・●竹腰・畔柳・井上・杉浦
☆本塁打 高城 (名学)
☆三塁打 藤原 (愛工)
☆二塁打 中森2 (愛工)
(戦評) 7回ついに名古屋学院大学が逆転するも、8回に愛知工業大学が4点を奪い、そのまま6対3で愛知工業大学が勝利した。

第2試合 開始時刻12:30 終了時刻16:00
愛知学院大学 0051022 | 10
名古屋工業大学 0000000 | 0
(7回コールド)
(愛院) ○加藤・渡辺・森
(名工) ●山岸・須田・鈴木・廣野
☆三塁打 森 (愛院)
☆二塁打 匂坂 (愛院)
巻砂 (名工)
(戦評) 愛知学院大学は3回に5点を取り、その流れのまま10対0で7回コールドとし、名古屋工業大学に勝利した。

◎2020年11月7日 愛知工業大学
第1試合 開始時刻9:50 終了時刻12:05
日本福祉大学 000210402 | 9
愛知工業大学 23030220x | 12
(日福) ●中田・榊原・北澤・渡辺・武田
(愛工) ○杉野・塚本・立野・高田
☆本塁打 藤原 (愛工)
☆三塁打 山川 (日福)
藤原 (愛工)
☆二塁打 浅田・手塚 (日福)
浅野・立野 (愛工)
(戦評) 愛知工業大学は初回から主導権を握り、12対9で勝利。全勝優勝を果たした。

優 勝 愛知工業大学 5勝
準優勝 愛知学院大学 3勝2敗
3 位 名古屋学院大学 2勝3敗
4 位 日本福祉大学 2勝3敗
5 位 岐阜大学医学部 2勝3敗
6 位 名古屋工業大学 1勝4敗
(3～5位は勝敗が同じであるためリーグ戦の順位決定方法に従い確定した)

最優秀選手賞 太田 (愛知工業大学)
敢 闘 賞 榊原 (愛知学院大学)
首 位 打 者 土岐 (岐阜大学医学部)
0.538 (13-7)
最 多 勝 高田 (愛工) 3勝

本 塁 打 賞 野本 (岐阜大学医学部) 1本
鈴木 (名古屋工業大学) 1本
中野 (日本福祉大学) 1本
森 (日本福祉大学) 1本
内藤 (愛知工業大学) 1本
藤原 (愛知工業大学) 1本
高城 (名古屋学院大学) 1本

◎打率ベスト10
1 土岐 (岐阜大学医学部) 0.538
2 太田 (愛知工業大学) 0.450
3 内藤 (愛知工業大学) 0.444
4 藤原 (愛知工業大学) 0.400
5 宮本 (愛知工業大学) 0.333
6 手塚 (日本福祉大学) 0.333
7 島田 (名古屋学院大学) 0.315
8 廣野 (名古屋工業大学) 0.315
9 浅野 (愛知工業大学) 0.312
10 森 (祐) (愛知学院大学) 0.312

	愛工大	愛院大	日福大	岐医大	名学大	名工大	
愛知工業大学		○	○	○	○	○	5勝
愛知学院大学	●		○	●	○	○	3勝2敗
日本福祉大学	●	●		○	●	○	2勝3敗
岐阜大学医学部	●	○	●		●	○	2勝3敗
名古屋学院大学	●	●	○	○		●	2勝3敗
名古屋工業大学	●	●	●	●	○		1勝4敗

◎ベストナイン

投 手 高田（愛知工業大学）
 捕 手 島田（名古屋学院大学）
 一塁手 浅野（愛知工業大学）
 二塁手 宮本（愛知工業大学）
 三塁手 藤田（愛知学院大学）
 遊撃手 土岐（岐阜大学医学部）
 外野手 内藤（愛知工業大学）
 太田（愛知工業大学）
 手塚（日本福祉大学）
 D H 廣野（名古屋工業大学）

秋季リーグ戦 3 部

◎2020年10月11日 愛知県立大学グラウンド

第1試合 開始時刻10：00 終了時刻12：30

愛知県立大学 0 0 3 1 0 1 1 3 0 | 9

名古屋大学医学部 0 0 0 0 0 0 3 2 0 | 5

（愛県）早瀬・坂野一馬場

（名医）西村・萬徳・大野一鈴木

☆本塁打 次森（愛）

☆二塁打 河村（愛）

（戦評）愛県大は3回に押し出し四球などで3点を先制し、その後も着実に追加点を取った。名大医も終盤に追いつけたが、愛県大が逃げ切った。

第2試合 開始時刻13：00 終了時刻15：30

南山大学 0 1 3 0 0 0 0 2 | 6

名古屋大学 1 0 2 0 3 1 3 3 x | 13

（8回コールド）

（南山）町村・桑垣・大橋一川口

（名大）田近・鈴木一坂野

☆本塁打 桑垣（南）

☆三塁打 川上（名）

☆二塁打 高橋（南）

富田・太田（名）

（戦評）南山大は3回に桑垣の本塁打などで3点を勝ち越し、最終回にも2点を取った。名大は8回に連打で得点を奪いコールドで勝利を収めた。

◎2020年10月18日 愛知県立大学グラウンド

第1試合 開始時刻10：00 終了時刻12：30

名古屋市立大学 0 0 1 0 0 0 0 0 0 | 1

愛知県立大学 1 0 0 0 1 0 0 0 x | 2

（名市大）佐藤・木村一小塚

（愛県大）早瀬・坂野一馬場

☆三塁打 坂野（愛）

☆二塁打 土方・木下（市）

（戦評）愛県大が1回に大橋の犠飛で先制するも、名市大は敵失で同点に追いつく。5回に愛県大が坂野の適時三塁打で勝ち越し、リードを守り切った。

第2試合 開始時刻13：05 終了時刻15：57

名古屋大学医学部 0 0 4 0 0 1 0 3 1 | 9

名古屋大学 0 0 0 2 0 0 2 3 0 | 7

（名医）西村・萬徳一鈴木

（名大）鈴木唯・田近・長森一坂野・古郡

☆本塁打 梶村（名）

☆二塁打 小野島・與語・上岡・米山2（医）

富田・宮本（名）

（戦評）名大医は3回に島崎の適時打で先制した。名大は梶村が本塁打を放ち、終盤に追い上げを見せたが、13安打で9得点を奪った名大医が勝利した。

◎2020年10月24日 名古屋市立大学グラウンド

第1試合 開始時刻10：00 終了時刻13：00

岐阜協立大学 0 0 0 0 0 1 1 0 0 | 2

名古屋大学 2 0 0 0 0 0 0 2 x | 4

（岐協）菅原・沖中一・小島・菅原

（名大）田近・鈴木唯一坂野

（戦評）名大は1回に1、2番の連打で先制した。岐協大は7回に追いついたが、8回に名大が勝ち越し、勝利した。

第2試合 開始時刻13：20 終了時刻15：45

名古屋市立大学 0 0 1 0 0 3 0 | 4

南山大学 0 3 2 2 0 3 1 x | 11

（7回コールド）

（名市）佐藤・磯部一小塚

（南山）小島・町村一川口

☆二塁打 桑垣3・長井・嶋田・片岡（南）

今西・土方・伊藤（市）

（戦評）南山大は2回に7、8番の適時打先制した。名市大は6回に3点を返すも7回コールドで南山大が勝利した。

◎2020年10月25日 名古屋市立大学グラウンド

第1試合 開始時刻10：10 終了時刻12：20

岐阜協立大学 0 3 0 0 0 0 2 | 5

南山大学 3 0 3 4 1 0 1 x | 12

（7回コールド）

（岐協）山田・大戸・沖中・菅原一小島

（南山）桑垣・大橋一高田

☆二塁打 加藤2・倉光（南）

忠地（岐）

（戦評）南山大は初回に東の適時打などで先制した。岐協大は2回に追いつくも、南山大が突き放し7回コールドで勝利した。

第2試合 開始時刻13：20 終了時刻16：00

名古屋市立大学 0 0 3 0 1 0 0 0 0 | 4

名古屋大学医学部 0 0 0 0 0 1 0 0 0 | 1

（名市）額額一小塚

（名医）西村・萬徳一鈴木

☆三塁打 土方（市）

☆二塁打 高橋（市）

（戦評）名市大は3回に土方の適時打などで3点を先制した。投げては額額が1失点で完投した。

◎2020年10月31日 愛知県立大学グラウンド

第1試合 開始時刻10：00 終了時刻12：15

愛知県立大学 0 0 0 3 0 0 2 0 0 | 5

南山大学 0 0 1 0 0 0 4 5 x | 10

（愛県）早瀬・中村一馬場

（南山）小島・大橋一川口・高田

☆本塁打 岡安（南）

楓（愛）

☆二塁打 岩瀬2・山本（南）

（戦評）3回に南山大が岡安の本塁打で先制したが、愛県大は4、7回に複数得点を奪い逆転した。しかし、南山大は7、8回にビッグイニングを作り勝利した。

第2試合 開始時刻13：10 終了時刻15：00

名古屋市立大学 0 0 4 0 0 4 0 | 8

岐阜協立大学 0 0 0 0 0 0 1 | 1

（7回コールド）

（名市）佐藤・片山一小塚

（岐協）内藤・大戸一小島・中村

☆二塁打 太田・土方（市）

中島（岐）

（戦評）名市大は3回に高橋の適時打などで4点を先制した。投げては佐藤が6回無失点の好投で、投打が噛み合い勝利した。

◎2020年11月 1 日 愛知県立大学グラウンド
第1試合 開始時刻9:15 終了時刻11:00
岐阜協立大学 0 0 0 0 0 0 0 | 0
愛知県立大学 1 1 0 1 1 0 3x | 7
(7回コールド)

(岐協) 沖中・内藤一與久田
(愛県) 坂野一楓
☆三塁打 大橋 (愛)
☆二塁打 清水・坂野・川井 (愛)
(戦評) 愛県大は二桁安打で7得点を奪い、
投げては坂野が7回零封。岐協大はチャンス
を作ることができなかった。

第2試合 開始時刻11:30 終了時刻13:45
名古屋市立大学 0 0 2 1 0 | 3
名古屋大学 4 4 1 0 4x | 13
(5回コールド)

(名市) 額額・佐藤一小塚
(名大) 田近一坂野
☆本塁打 小塚 (市)
☆三塁打 和田 (名)
☆二塁打 富田2・坂野 (名)
(戦評) 名大は1回、2回に4点ずつを奪
う猛攻で、点差を広げた。名市大は小塚の本
塁打などで反撃するも及ばなかった。

第3試合 開始時刻14:15 終了時刻16:35
南山大学 3 0 0 0 0 0 2 0 1 | 6
名古屋大学医学部 3 3 0 0 1 0 0 0 x | 7

(南山) 町村・山本・小島一川口・高田
(名医) 西村・萬徳一鈴木
☆本塁打 長井 (愛)
☆二塁打 高橋 (南)
萬徳2・與語2・宮島・田島 (医)
(戦評) 南山大は1回に長井の本塁打などで
3点を先制するも、名大医がその裏に追いつ
いた。その後互いに点を取りあうも名大医が
逃げ切った。

◎2020年11月7日 愛知県立大学グラウンド
第1試合 開始時刻10:00 終了時刻11:45
愛知県立大学 0 0 0 0 0 0 1 | 1
名古屋大学 0 0 3 1 0 5 x | 9
(7回コールド)

(愛県) 坂野一楓
(名大) 田近一坂野
☆二塁打 坂野・加辺 (名)
(戦評) 名大は3回に3点を取って先制する
と、その後も得点を重ねて9得点を奪う。投
げては田近が7回1失点完投で勝利した。

第2試合 開始時刻12:45 終了時刻14:35
岐阜協立大学 0 0 0 2 0 0 | 2
名古屋大学医学部 4 0 2 0 0 6 x | 12
(6回コールド)

(岐協) 菅原・大戸・宮里一小島
(名医) 西村一宮島
☆本塁打 萬徳 (医)
☆三塁打 田島・島崎 (医)
☆二塁打 久保 (岐)
佐々木 (医)
(戦評) 名大医は1回に萬徳の満塁本塁打で
先制し、その後も追加点を取った。岐協大は
敵失で2点を返すも及ばなかった。

最優秀選手 田近 陽輝 (名古屋大学)
敢闘賞 田島 稔基 (名古屋大学医学部)
首位打者 土方 雄太 (名古屋市立大学)
0.526
最多勝 田近 陽輝 (名古屋大学) 3勝
西村 智貴 (名古屋大学医学部)
本塁打賞 梶村 太楠 (名古屋大学) 1本
萬徳 圭亮 (名古屋大学医学部)
桑垣 遼 (南山大学)
長井 雅治 (南山大学)
岡安 祐賢 (南山大学)
次森 智哉 (愛知県立大学)
楓 紘希 (愛知県立大学)
小塚 康平 (名古屋市立大学)

◎打率ベストテン
1 土方 雄太 (名古屋市立大学) 0.526
2 坂野 洋平 (愛知県立大学) 0.500
3 太田 弦希 (名古屋市立大学) 0.444
4 岩越 柁輝 (愛知県立大学) 0.438
4 小塚 康平 (名古屋市立大学) 0.438
4 梶村 太楠 (名古屋大学) 0.438
7 磯部 一朗 (名古屋市立大学) 0.429
8 長井 雅治 (南山大学) 0.412
9 中島 一幸 (岐阜協立大学) 0.400
9 坂野 新太 (名古屋大学) 0.400
9 富田 泰生 (名古屋大学) 0.400
規定打席数15

◎ベストナイン
投手 田近 陽輝 (名古屋大学)
捕手 小塚 康平 (名古屋市立大学)
一塁手 岩越 柁輝 (愛知県立大学)
二塁手 田島 稔基 (名古屋大学医学部)
三塁手 土方 雄太 (名古屋市立大学)
遊撃手 太田 弦希 (名古屋市立大学)
外野手 梶村 太楠 (名古屋大学)
磯部 一朗 (名古屋市立大学)
中島 一幸 (岐阜協立大学)
指名打者 坂野 洋平 (愛知県立大学)

	名大	名大医	南山大	愛県大	名市大	岐協大	
名古屋大学		●	○	○	○	○	4勝1敗
名古屋大学医学部	○		○	●	●	○	3勝2敗
南山大学	●	●		○	○	○	3勝2敗
愛知県立大学	●	○	●		○	○	3勝2敗
名古屋市立大学	●	○	●	●		○	2勝3敗
岐阜協立大学	●	●	●	●	●		0勝5敗

静岡リーグ

秋季リーグ戦

◎2020年10月11日 静岡大学グラウンド
第1試合 開始時刻13:46 終了時刻16:00
静岡県立大学 0 0 1 0 0 3 0 0 1 1 | 6
静岡大学静岡 3 0 1 0 1 0 0 0 0 0 | 5
(延長10回)

(県大) 三原一大石
(静大) 河野・根津一嘉藤
☆本塁打 藤田
☆三塁打 穴口
☆二塁打 皆藤・大石
仲
(戦評) 1回に静大が3点先制したが、県大
が6回に3点を奪い、9回には同点に追いつ
く。そして、タイブレークの末、県大が6ー
5で勝利した。

◎2020年10月18日 静岡大学グラウンド
第1試合 開始時刻13:57 終了時刻16:31
常葉大学 0 0 0 0 0 4 0 1 0 | 5
静岡大学静岡 0 0 0 2 0 0 4 1 0 | 7
(常葉) 小池・奈良間一石川
(静大) 根津・河野一嘉藤
☆本塁打 藤田
☆三塁打 高林・松久保
☆二塁打 大橋・藤田・嘉藤

(戦評) 4回裏に静大静岡が先制するも6回
表に常葉が4点返し逆転。しかし7回裏に藤
田の本塁打で再度静大が勝ち越す。静大静岡
はそのまま逃げ切り勝利した。

◎2020年10月24日 静岡大学グラウンド
第1試合 開始時刻14:02 終了時刻16:08
常葉大学 3 1 0 0 0 0 0 0 0 | 4
静岡県立大学 1 0 0 0 0 4 1 0 0 | 6
(常葉) 小池一石川
(県大) 穴口一大石
☆三塁打 土井
三原・穴口
☆二塁打 高林
穴口・飯田

(戦評) 常葉が1回表に3点先取し県大が裏
に1点取るも2回表に常葉がリード。しかし
6回裏に県大が逆転しその後も追加点を取り
勝利した。

第2試合 開始時刻13:57 終了時刻15:52
東海大学海洋学部 0 0 0 0 0 0 0 | 0
静岡大学静岡 2 0 3 0 3 1 x | 9
(7回コールド)

(東海) 宮島一浅野
(静大) 河野一嘉藤
☆二塁打 仲
(戦評) 静大静岡が1回裏に2点を先制、3
回裏にさらに3点を追加し。6回裏にも1点
を追加し7回コールド勝ちとなった。

2020年11月7日 静岡大学グラウンド

第1試合 開始時刻13:40 終了時刻15:45

東海大学海洋学部 1 2 2 0 0 0 1 | 6
常葉大学 2 2 0 4 0 5 x | 13

(東海) 宮島・富岡・水津・浅野

(常葉) 奈良間・小池・石川

☆本塁打 富岡

☆三塁打 柴崎・水津

☆二塁打 浅野・菊池

(戦評) 初回到東海が先制するも裏に常葉が逆転。その後も両チーム点を積み重ねるが6回に常葉が5点入れそのまま逃げ切り勝利した。

2020年10月24日 静岡大学グラウンド

第1試合 開始時刻11:52 終了時刻13:45

東海大学 0 0 1 0 0 0 0 0 0 | 1
静岡県立大学 0 0 2 0 1 0 0 1 x | 4

(東海) 富岡・浅野

(県大) 三原・穴ロー大石・皆藤

☆二塁打 鈴木

飯田

(戦評) 3回到東海が先制するもその裏に県大が二点を返した。その後も県大が点数を重ね県大が勝利した。

2020年10月3日 静岡大学グラウンド

第1試合 開始時刻14:00 終了時刻16:55

静岡大学浜松 2 0 2 3 1 0 0 3 0 | 11
静岡産業大学 0 0 0 0 3 4 0 2 0 | 9

(静浜) 松形・荻野・安藤・鈴木翔

(産業) 興五澤・岡本・徳増・鷹野

☆三塁打 荻野

鍋田・伊藤

☆二塁打 安藤・松田

尾形

(戦評) 1回表に静大浜松が先制するが、5回6回と静岡産業に巻き返され、8回表に3点を取り逃げ切って勝った。

2020年10月4日 静岡大学グラウンド

第1試合 開始時刻14:00 終了時刻16:00

日本大学国際関係学部 2 0 0 0 0 0 0 0 0 | 2
浜松医科大学 0 0 0 0 0 1 1 1 0 | 3

(日大) 吉田・竹井・中島

(浜医) 山下・田中・西島

☆三塁打 溝口

☆二塁打 磯田・竹井

橋田・山下

(戦評) 1回表に日大国際が先制するが浜松医科大が6、7回で巻き返し8回でついに逆転に成功。日大国際は中盤以降得点することができなかった。

2020年10月24日 愛野球場

第1試合 開始時刻10:03 終了時刻11:31

静岡大学浜松 0 0 0 0 0 0 0 0 | 0
日本大学国際関係学部 0 3 2 3 0 0 x | 8

(7回コールド)

(静浜) 松形・荻野・安藤

(日大) 吉田・濱口

☆三塁打 広瀬

☆二塁打 溝口・磯田・高津

(戦評) 日大国際の溝口のヒットから始まり2、3、4回と続いて点が入った。対して静大浜松は流れを作ろうとしたがうまくいかず点が入らなかった。

第2試合 開始時刻13:58 終了時刻16:48

静岡産業大学 0 3 0 1 3 0 0 1 2 | 10
浜松医科大学 0 0 2 0 0 0 0 0 1 | 3

(静産) ヨゴサワ・オカモト・トミナガータカノ

(浜医) ミヤケーニシジマ

☆本塁打 シラトリ

☆二塁打 オガタ・タカノ・シラトリ・イトウ・ナカネ

(戦評) 2回表静岡産業に得点が入り、3回裏浜松医大が2点返すも4回表に本塁打も出る等、静岡産業に点が入り続け、差は埋まらなかった。

2020年10月31日 静岡大学グラウンド

第1試合 開始時刻14:00 終了時刻:

浜松医科大学 2 0 2 0 2 0 2 8 | 16
静岡大学浜松 0 0 0 0 0 0 3 1 1 | 5

(浜医) 山下・田中・西島

(静浜) 松形・横野・安藤・安藤・池田

☆二塁打 三宅・西島・山下・緒河・荻野

(戦評) 6回表まで浜松医大が得点をし続けたが7回裏から静大浜松も得点を返した。9回表に浜松医大が8点取り勝利した。

2020年11月1日 静岡大学グラウンド

第1試合 開始時刻14:00 終了時刻17:12

日本大学国際関係学部 0 0 1 1 0 0 0 3 0 1 | 6
静岡産業大学 0 0 4 1 0 0 0 0 0 0 | 5

(延長10回)

(日大) 小松・吉田・河野・濱口・中島

(産業) 興津・富永・鷹野

☆本塁打 北野

☆三塁打 尾形

☆二塁打 尾形・望月

(戦評) 7回ウラまで5対2で静岡産業がリードするも8回表に日大国際が3点入れ同点のままタイブレーク。日大、土田の三塁打で勝ち越し6対5で日大が勝った。

©2020年11月14日 静岡大学グラウンド

第1試合 開始時刻13:50 終了時刻16:16

常葉大学 0 0 0 0 0 0 0 1 0 | 1
日本大学国際関係学部 1 0 0 0 2 1 0 0 x | 4

(常葉) 小池・石川

(日大) 吉田・河野・濱口

☆三塁打 柴崎・磯田

☆二塁打 井出・濱口・広瀬

(戦評) 1回ウラの攻撃で日大国際が先制。5、6回も続けて追加点を取った。8回表、常葉が1点を返すが、日大国際が守り抜き勝利した。

令和2年度
関西地区大会成績

第72回関西地区大学 準硬式野球選手権大会

会期 令和2年11月3日(火)～5日(木)
会場 大阪シティ信用金庫スタジアム

① 大阪経済大学	2	大阪経済大学
② 兵庫県立大学姫路校	2	
③ 龍谷大学	0	
④ 大阪商業大学	2	
⑤ 甲南大学	1	
⑥ 関西学院大学	8	
⑦ 京都産業大学	5	

◎2020年11月3日 大阪シティ信用金庫スタジアム
第1試合 開始時刻9:00 終了時刻11:15
兵庫県立大学姫路 000002000 | 2
龍谷大学 000000000 | 0
(姫) 徳一山片
(龍) 石井・山田・香水一倉田・秋山
☆二塁打 林(龍)
(戦評) 両投手が好投をみせ投手戦となったが、兵庫県立大学姫路の徳が9回を完封し勝利を収めた。

第2試合 開始時刻12:10 終了時刻14:52
大阪商業大学 101000000 | 2
甲南大学 000100000 | 1
(商) 西村一松山
(甲) 笈西・村上・鐘搗一井岡
☆二塁打 井岡(甲)
(戦評) 大阪商業大学、西村が9回1失点に抑え勝利を収めた。初回到1点を先制し、試合の主導権を握った。

第3試合 開始時刻15:40 終了時刻18:27
関西学院大学 060001100 | 8
京都産業大学 010400000 | 5
(学) 池端・稲益一岡田
(産) 藤井・武口・石田一堀井
☆二塁打 瀬川・小柳(学)
森本(産)
(戦評) 関西学院大学が2回に一挙6点を獲り、勝利を収めた。後半にも追加点を奪い、粘りの攻撃が目立った試合だった。

◎2020年11月4日 大阪シティ信用金庫スタジアム
第1試合 開始時刻9:59 終了時刻12:15
兵庫県立大学姫路 000001000 | 1
大阪経済大学 01001000x | 2
(姫) 立岩一山片
(経) 齊藤・島元一細川
☆二塁打 清水(姫)
細川(経)
(戦評) 両チーム投手が好投し、投手戦となった。少ないチャンスを確実にモノにした

大阪経済大学が勝利を収めた。

第2試合 開始時刻12:56 終了時刻14:45
大阪商業大学 0000000 | 0
関西学院大学 110007x | 9
(7回コールド)
(商) 今城・高田・玉置一松山
(学) 水一岡田
☆二塁打 市村(商)
藤原(学)
(戦評) 2-0とロースコアで進んだ試合だったが、6回に関西学院大学が一挙7点を獲り勝利を決めた。水は大阪商業大学相手に7回無失点と好投をみせた。

◎2020年11月5日 大阪シティ信用金庫スタジアム
第1試合 開始時刻10:00 終了時刻:
関西学院大学 004000000 | 4
大阪経済大学 010300001x | 5
(学) 上村一岡田
(経) 齊藤・島元一細川
☆二塁打 橋本(経)
(戦評) 最終回まで同点でもつれ込む展開となった。最終回、単打と送りバントで手堅くランナーを進めた大阪経済大学がサヨナラ勝ちを収めた。

第28回関西地区大学 六リーグ対抗準硬式野球大会

◎2020年11月14日 南港中央公園野球場
第1試合 開始時刻10:02 終了時刻12:22
京滋六大学 300001111 | 7
西都六大学 000000000 | 0
(京滋) 毛利・佐近一本間・中川大
(西都) 蔵・笹原・小高一柴田・高原
☆三塁打 西原(京滋)
☆二塁打 林・横田(京滋)
(戦評) 京滋六大学が初回到3点先制し、その後終盤にも追加点を奪い7-0で勝利した。

第2試合 開始時刻13:04 終了時刻15:23
近畿六大学 010010011 | 4
阪神六大学 00222000x | 6
(近畿) 中村・和田・齋藤一田中・大手
(阪神) 奥田・八田一東・井阪
☆三塁打 津島(近畿)
☆二塁打 沖永・田中(近畿)
宮澤(阪神)
(戦評) 阪神リーグが中盤まで6-2でリードするも終盤に近畿リーグが粘りを見せたが阪神リーグが6-4で勝利した。

◎2020年11月15日 南港中央公園野球場
第1試合 開始時刻10:03 終了時刻11:48
西都六大学 000000000 | 0
阪神六大学 10001000x | 2
(西都) 藤井・石田・島本一後藤・柴田
(阪神) 金原一津島
☆二塁打 森本(西都)
宮澤(阪神)
(戦評) 阪神リーグは初回東のタイムリーエラーで先制する。投げては、金原が9回無失点の好投で阪神リーグが勝利した。

第2試合 開始時刻13:00 終了時刻14:30
京阪神六大学 0000000 | 0
近畿六大学 000421x | 7
(7回コールド)
(京阪神) 橘・石田・杉本一井ノ上・池田
(近畿) 齋藤・中村一田中・田中
☆三塁打 沖永(近畿)
☆二塁打 氏家(近畿)
(戦評) 近畿リーグは4回沖永の三塁打などにより、4点を先制。投げては、齋藤と中村の継投により1安打に抑え7-0で勝利した。

◎2020年11月21日 大阪シティ信用金庫スタジアム
第1試合 開始時刻10:00 終了時刻12:03
西都六大学 1100000 | 2
近畿六大学 001008x | 9
(7回コールド)
(西都) 藤井・小高・笹原一服部・柴田
(近畿) 齋藤・中村一田中・大手
☆三塁打 中井・大手(近畿)
☆二塁打 後藤(西都)
津島・田中・大手(近畿)

(戦評) 序盤、試合展開はロースコアにもつれたが6回に近畿六大学が8点を加え試合を決定づけた。

第2試合 開始時刻12:45 終了時刻14:50
京滋六大学 2220012 | 9
京阪神六大学 0011000 | 2
(7回コールド)
(京滋) 石井・中島・佐近・霜野・秋山
(京阪神) 徳山・増田・橘・山片・井ノ上・池田
☆三塁打 田辺 (京滋)
(戦評) 序盤は京滋六大学のペースで進んだ。その後京阪神が反撃するも後半京滋六大学がキバを向き、京滋六大学の勝利となった。

◎2020年11月22日 大阪シティ信用金庫スタジアム
第1試合 開始時刻10:00 終了時刻12:00
京阪神六大学 00000000 | 0
西都六大学 00001042x | 7
(8回コールド)
(京阪神) 杉本・内藤・増田・池田・中西
(西都) 島本・蔵・石田・高原・柴田・服部
☆二塁打 浪花 (西都)
(戦評) 西都六大学は守備と攻撃がうまく噛み合い7-0で勝利した。

第2試合 開始時刻12:45 終了時刻14:45
阪神六大学 100000000 | 1
京滋六大学 02300000x | 5
(阪神) 奥田・八田・東・松山
(京滋) 香水・毛利・秋山・本間
☆本塁打 池見 (京滋)
☆二塁打 秋山 (京滋)
(戦評) 京滋六大学は2回池見のホームランで追いつく、その後も着実に得点を重ね5-1で勝利した。

◎2020年11月28日 ベイコム野球場
第1試合 開始時刻10:02 終了時刻12:22
近畿六大学 002200215 | 12
京滋六大学 000010110 | 3
(近畿) 中村・田中
(京滋) 中嶋・石井・香水・佐近・毛利・秋山・本間
☆本塁打 津島 (近畿)
池見 (京滋)
☆二塁打 中井 (近畿)
(戦評) 3回の表、近畿の津島のホームランで先制し、この後も得点を積み重ね12-3で

◎星取り表

リーグ名	近畿	阪神	京滋	西都	京阪神	勝敗分	勝点	順位	備考
近畿六大学		●	○	○	○	3勝1敗	6	優勝	(4年ぶり4度目)
阪神六大学	○		●	○	●	2勝2敗	4	3位	
京滋六大学	●	○		○	○	3勝1敗	6	2位	
西都六大学	●	●	●		○	1勝3敗	2	4位	
京阪神六大学	●	○	●	●		1勝3敗	2	5位	

※優勝-2位及び4位-5位は直接対決結果による。

※関西西歯薬連盟は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため不参加

勝利した。

第2試合 開始時刻13:39 終了時刻16:01
京阪神六大学 030002400 | 9
阪神六大学 101021030 | 8
(京阪神) 杉本・橘・井ノ上
(阪神) 金原・南・玉置・岡山・戒田・津島・松山・東
☆三塁打 松山 (阪神)
☆二塁打 初波・安藤・羽山・関 (京阪神)
玉置・松室 (阪神)
(戦評) 初回、阪神六大学が先制し、その後京阪神六大学が逆転するもの、阪神リーグな粘りをみせ接戦で勝利した。

◎表彰選手
最優秀選手 田中 晴暉
(近畿六大学: 甲南大学)
優秀選手 関 大生
(阪神六大学: 関西大学人間健康学部)
田辺 誠
(京滋六大学: 京都先端科学大学)
浪花 育武
(西都六大学: 桃山学院大学)
杉本 剛士
(京阪神大学: 森ノ宮医療大学)

関西六大学準硬式野球連盟

秋季リーグ戦

◎2020年9月17日 大阪シティ信用金庫スタジアム
第1試合 開始時刻9:02 終了時刻12:13
関西学院大学 020033031 | 12
立命館大学 011003220 | 9
(学) 上村 (洸)・藤田・稲益・岡田
(立) 中村 (拓)・ト部・栗田・池田・吉村
☆三塁打 瀬川・菱谷 (学)
石黒 (立)
☆二塁打 真鍋 (基) 2・菱谷 (学)
小笠原・笠井 (立)
(戦評) 関西学院大学15安打、立命館大学14安打の乱打戦になったが、立命館大学は残塁と四球が目立ち関西学院大学が逃げ切り勝利した。

第2試合 開始時刻12:50 終了時刻15:00
大阪大学 000020000 | 2
同志社大学 00000006x | 6
(阪) 笠松・古田
(同) 佐伯・新居
☆二塁打 竹田 (阪)
真鍋・田中・村田 (同)
(戦評) 大阪大学は5回に蒲生のタイムリーで2点を先制すると、先発の笠松は7回まで同志社大学の打線を無失点に抑えるが、8回に同志社打線につかまり6点を許した。

第3試合 開始時刻15:35 終了時刻17:30
関西大学 010000015 | 7
神戸大学 000000000 | 0
(関) 所・前川・谷村
(神) 小石・京谷・今岡・山口
☆本塁打 東原 (関)
☆二塁打 谷村・今井 (関)
(戦評) 関西大学は2回に東原のホームランで先制し9回には一挙5点を挙げ、投げては所が神戸大学を無失点に抑え大差で勝利した。

◎2020年9月18日 大阪シティ信用金庫スタジアム
第1試合 開始時刻8:46 終了時刻11:30
同志社大学 100070200 | 10
大阪大学 010021000 | 4
(同) 濱・高井・中村・新居・善田
(阪) 岡本・桶川・藤井・古田
☆三塁打 飛川 (阪)
☆二塁打 加藤・村田 (同)
三井 (阪)

(戦評) 両チーム4回までは互いに譲らないゲーム展開になっていたが、5回に同志社打線が爆発し一挙に7点を挙げ、大阪大学は追いつくことが出来ず勝敗が付いた。

第2試合 開始時刻11:56 終了時刻14:06
神戸大学 0111000 | 3
関西大学 0101611 | 10
(7回コールド)
(神) 三田・今岡・橋本・山口
(関) 清水・松尾・稲葉・谷村
☆本塁打 福山 (関)
☆三塁打 京谷 (神)

(戦評) 両チーム序盤に点数を取り合うが、関西大学は5回に一挙6点を挙げ、7回に福山がコールドを決めるホームランを放ちゲームセットとなった。

第3試合 開始時刻15:05 終了時刻16:37
立命館大学 00000 | 0
関西学院大学 02125 | 10
(5回コールド)

(立) 船本・樋口・中村(拓)ー吉村
(学) 水ー岡田
☆二塁打 菱谷(学)
(戦評) 関西学院大学の打線はヒットを繋ぎ5回で10得点を挙げ、投手の水は要所をしつかりと締め完封し、関西学院大学が投打で圧勝した。

©2020年9月24日 南港中央野球場
第1試合 開始時刻9:30 終了時刻11:33
関西大学 000000302 | 5
大阪大学 001000000 | 1
(関) 所・前川ー谷村
(神) 藤井ー古田
☆三塁打 山田2(関)
☆二塁打 多田(阪)
(戦評) 6回までは両チームの投手が奮闘し投手戦となった。関西大学は7回、9回に相手の失策にヒットを絡めて得点し、所は大阪大学を一失点に抑え勝利を収めた。

第2試合 開始時刻12:14 終了時刻14:40
神戸大学 000021000 | 3
立命館大学 20010110x | 5
(神) 小西・三田・今岡ー吉川
(立) 中村(拓)・樋口ー吉村
☆二塁打 奥西(神)
落合(立)
(戦評) 立命館大学は序盤に3点先制し、神戸大学はスクイズを絡めて同点に追いつく。その後、立命館大学は2点を追加し、代わった樋口が7回以降無失点に抑えて勝利した。

第3試合 開始時刻15:21 終了時刻17:23
関西学院大学 003000000 | 3
同志社大学 001010010 | 3
(9回引き分け)
(学) 上村ー岡田
(同) 佐伯ー善田
☆二塁打 瀬川(学)
田中(同)
(戦評) 関西学院大学は3回にヒットを繋ぎ3点を挙げるがその後打線は繋がらなかった。同志社大学は序盤、中盤、終盤に1点ずつ追加し引き分けに持ち込んだ。

©2020年9月30日 南港中央野球場
第1試合 開始時刻9:20 終了時刻11:40
関西大学 430000001 | 8
同志社大学 001000110 | 3
(関) 所・松尾・前川ー谷村
(同) 佐伯・高井ー善田・栃尾
☆三塁打 今井(関)
川田(同)
☆二塁打 今井(関)
真鍋(同)

(戦評) 関西大学は序盤に相手のミスにつけこみ7点を挙げる。同志社大学はなんとか巻き返しを図るも序盤の失点に苦しみ関西大学が勝利した。

第2試合 開始時刻12:20 終了時刻14:25
関西学院大学 01021305 | 12
神戸大学 00001000 | 1
(8回コールド)

(学) 水・上田ー岡田・藤岡
(神) 小石・三田・橋本ー吉川
☆三塁打 菱谷・瀬川(学)
☆二塁打 芦田・菱谷・本木・岡田(学)
(戦評) 関西学院大学は6本の長打を放ち8回までに12得点し、投手水は神戸大学打線をわずか1点に抑え8回コールドゲームで勝利を決めた。

第3試合 開始時刻15:03 終了時刻17:25
大阪大学 000000400 | 4
立命館大学 001000020 | 3
(阪) 藤井・岡本ー古田
(立) 中村(拓)・樋口ー吉村
☆本塁打 舩田(阪)
☆二塁打 多田(阪)
山本・吉村2(立)
(戦評) 前半は両先発の投手戦で立命館大学が1点リードしていたが、7回に大阪大学は舩田の代打3ランホームランなどで4点を追加し、そのまま大阪大学が逃げ切り勝利した。

©2020年10月1日 南港中央野球場
第1試合 開始時刻9:25 終了時刻11:06
神戸大学 000000000 | 0
関西学院大学 20103000x | 6
(神) 三田・今岡・京谷ー吉川
(学) 池端ー岡田
☆二塁打 藤原・真鍋(基)(学)
(戦評) 関西学院大学は初回に藤原のタイムリーで2点を先制すると、5回にも打線がつながり3点を追加する。先発の池端は神戸大学打線を完璧に抑え完全試合を達成した。

第2試合 開始時刻11:43 終了時刻14:13
立命館大学 2300006 | 11
大阪大学 0010010 | 2
(7回コールド)
(立) 堀江・ト部・森・船本・池田ー吉村
(阪) 岡本・藤井(直)ー古田・舩田
☆本塁打 中村(渥)(立)
☆三塁打 石黒(立)
(戦評) 立命館大学は序盤にヒットとセーフティーバントをうまく絡ませ5点を入れた。7回には中村(渥)の2ランホームランを含めた猛攻で6点を追加しコールドゲームとなった。

第3試合 開始時刻14:45 終了時刻17:36
同志社大学 000200000 | 2
関西大学 20000010x | 3
(同) 中村・今津・佐伯ー新居
(関) 清水・内川ー谷村
☆二塁打 鈴木(関)

(戦評) 関西大学は田中のタイムリーなどで2点を先制する。4回に同志社大学は押し出しとスクイズで同点に追いつくが、7回にワイルドピッチで逆転され関西大学が勝利した。

©2020年10月5日 萩谷総合公園野球場
第1試合 開始時刻8:56 終了時刻11:01
立命館大学 010100100 | 3
神戸大学 000000000 | 0
(立) 中村(拓)・ト部・池田ー吉村
(神) 今岡ー吉川
☆二塁打 吉村・大沢(立)
(戦評) 立命館大学は序盤、中盤、終盤に1点ずつ追加すると、投げては中村(拓)、ト部、池田と繋ぎ神戸大学打線をヒット3本に抑え勝利した。

第2試合 開始時刻11:31 終了時刻13:48
同志社大学 000000000 | 0
関西学院大学 000000001 | 1
(同) 佐伯ー新居
(学) 上村ー岡田
☆二塁打 加藤(同)
(戦評) 上村(学)、佐伯(同)の投げ合いになった。両者一步も譲らないまま9回に突入すると関学はヒットでチャンスを作ると、岡田のタイムリーヒットでサヨナラ勝ちを決めた。

第3試合 開始時刻14:20 終了時刻16:30
大阪大学 011010001 | 4
関西大学 020000010 | 3
(阪) 藤井ー古田
(関) 佐々木・内川ー谷村
☆二塁打 桑原・田中(阪)
今井・松本(関)
(戦評) 大阪大学は前半に3点を入れ、終盤同点に追いつかれるが9回に田中のタイムリーで1点を追加し、藤井が関西大学打線を抑え勝利した。

©2020年10月14日 わかさスタジアム京都
第1試合 開始時刻8:59 終了時刻11:45
同志社大学 000210020 | 5
立命館大学 100110000 | 3
(同) 佐伯・安部・中村ー新居
(立) 中村(拓)・ト部・池田ー吉村
☆二塁打 和田・真鍋(同)
(戦評) 7回まで両チーム追いつ追われつのシーソーゲームだったが、8回に同志社大学の真鍋が2点タイムリーを放つと、7回にリリーフした中村が3回を無失点に抑え勝利した。

第2試合 開始時刻12:20 終了時刻14:50
関西学院大学 002020020 | 6
関西大学 000000400 | 4
(学) 上村(洸)・稲益ー藤岡
(関) 所・内川ー谷村
☆三塁打 西本(関西)
☆二塁打 瀬川(学)
福山・山田(関西)

(戦評) 関西学院大学はヒットとエラーで5回までに4点を取るが、7回に西本(関)の3塁打を含む連打で同点に追いつかれる。しかし、関学は8回に2点を追加し勝利した。

第3試合 開始時刻15:25 終了時刻17:37
大 阪 大 学 0040009 | 13
神 戸 大 学 0001000 | 1
(7回コールド)

(阪) 藤井・桶川一舛田
(神) 今岡・三田・小石・笹川・井上ー吉川
☆二塁打 舛田(阪)
(戦評) 大阪大学は3回と7回に相手のピッチャーの乱れにヒットを重ねビックイニングを作った。神戸大学は中盤に1点を返すが差が縮まらずコールドゲームとなった。

◎2020年10月15日 わかさスタジアム京都
第1試合 開始時刻8:56 終了時刻11:24
関 西 大 学 000000002 | 2
関西学院大学 03100000x | 4
(関) 前川・松尾ー谷村
(学) 水・池端・稲益・上村ー岡田
☆二塁打 谷村(関)
真鍋・本木・岡田(学)
(戦評) 関西学院大学は2回に真鍋、瀬川のタイムリーで3点を先制すると、2回にも1点を追加した。さらに関学は4投手リレーで関西大学の反撃を2点到り優勝を決めた。

第2試合 開始時刻12:04 終了時刻13:40
神 戸 大 学 000000000 | 0
大 阪 大 学 30000000x | 3
(神) 今岡ー吉川
(阪) 加多ー舛田
☆二塁打 加納(有)(神)
(戦評) 大阪大学は初回に3本の安打と相手のミスを重ね3点を先制すると、先発の加多は大阪大学の打線を1安打完封に抑え、勝利を収めた。

第3試合 開始時刻14:18 終了時刻16:56
立 命 館 大 学 000210001 | 4
同 志 社 大 学 05000020x | 7
(立) 堀江・樋口・船本ー吉村
(同) 高井・今津・中村ー新居
☆三塁打 米田(立)
菅野(同)
☆二塁打 落合・吉村・山本(立)
新居(同)
(戦評) 同志社大学は2回にノーヒットで一挙5点を先制する。その後、立命館大学はなんとか反撃を試みるが序盤の失点に苦しみ、同志社大学が勝利した。

◎2020年10月20日 鳴尾浜臨海野球場
第1試合 開始時刻9:10 終了時刻11:01
神 戸 大 学 000000000 | 0
同 志 社 大 学 00000100x | 1
(神) 三田・今岡ー吉川
(同) 今津ー新居
☆二塁打 新居・加藤(同)
(戦評) 両チーム点数が入らないなか、6回

に川田(同)のスクイズで1点を挙げる。先発の今津(同)は毎回ランナーを出すもその後しっかりと抑え完封を成し遂げた。

第2試合 開始時刻11:44 終了時刻14:12
関 西 大 学 000000000 | 0
立 命 館 大 学 00001010x | 2
(関) 前川・長谷川・松尾ー谷村
(立) 中村(拓)ー落合
☆二塁打 谷村・今井・福山(関)
中村(混)・山本(立)
(戦評) 関西大学は序盤からチャンスを作るが、立命館大学の中村(拓)からあと一本を出すことが出来なかった。立命館大学は相手投手の乱れから得点し勝利した。

第3試合 開始時刻14:50 終了時刻17:25
関西学院大学 000000011 | 2
大 阪 大 学 000100010 | 2
(9回引き分け)
(学) 山田・水・上田・池端ー藤岡・岡田
(阪) 藤井ー古田
☆本塁打 菱谷(学)
☆二塁打 大西・立岩(学)
竹内(阪)
(戦評) 大阪大学は4回、8回に竹内のタイムリーで2点を挙げると、藤井が関西学院大学の打線を完璧に抑えていたが、9回2アウトに代打菱谷にホームランを打たれ引き分けになった。

◎2020年10月21日 鳴尾浜臨海野球場
第1試合 開始時刻9:14 終了時刻11:39
立 命 館 大 学 0600143 | 14
関 西 大 学 0002000 | 2
(7回コールド)
(立) 船本・ト部ー吉村
(関) 佐々木・濱中・長谷川・稲葉・松尾ー谷村
☆二塁打 落合・吉村・小田(立)
今井(関)
(戦評) 立命館大学は、2回に相手の四死球でランナーをためると小田のタイムリー2塁打などで一挙6点を挙げる。その後も関西大学の投手陣がつかまりコールドゲームとなった。

第2試合 開始時刻12:17 終了時刻14:33
大 阪 大 学 011000001 | 3
関西学院大学 00002020x | 4
(阪) 岡本・加多・藤井ー舛田
(学) 水・稲益ー岡田
☆二塁打 三井・田中・多田(阪)
(戦評) 大阪大学は2回、3回に1点を挙げ先制するも、関西学院大学の投手の交換を機に流れが変わり、関学が逆転をし、逆転勝利を果たした。

第3試合 開始時刻15:10 終了時刻18:40
同 志 社 大 学 202111032 | 12
神 戸 大 学 202020000 | 6
(同) 谷・高井・安部・竹本・中村ー新居・池田・善田
(神) 京谷・今岡ー吉川
☆三塁打 新居・高橋(同)
☆二塁打 和田・新居・田原2・加藤(同)
土田(神)
(戦評) 神戸大学は5回終わって6-6と同志社大学に食らいついていたが、終盤は完璧に抑えられた。同志社大学は終盤にも点数を積み重ね勝利した。



◎連盟表彰
完全試合 池端 航洋
関西学院大学 対 神戸大学
投球数92 三振3 内ゴ8
内飛7 外飛9

◎個人表彰
最高殊勲選手 瀬川 凜和(関西学院大学)
最優秀投手 水 渉夢(関西学院大学)
1.06
最多勝利 水 渉夢(関西学院大学)
3勝
所 知樹(関西大学) 3勝

	立命館	同志社	神戸大	大阪大	関西大	関学大	勝 敗	勝点
立 命 館 大 学		●3-5 ●4-7	○5-3 ○3-0	●3-4 ○11-2	○2-0 ○14-2	●9-12 ●0-10	5勝5負0分	10
同 志 社 大 学	○5-3 ○7-4		○1-0 ○12-6	○6-2 ○10-4	●3-8 ●2-3	△3-3 ●0-1	6勝3負1分	13
神 戸 大 学	●3-5 ●0-3	●0-1 ●6-12		●1-13 ●0-3	●0-7 ●3-10	●1-12 ●0-6	0勝10負0分	0
大 阪 大 学	○4-3 ●2-11	●2-6 ●4-10	○13-1 ○3-0		●1-5 ○4-3	△2-2 ●3-4	4勝5負1分	9
関 西 大 学	●0-2 ●2-14	○8-3 ○3-2	○7-0 ○10-3	○5-1 ●3-4		●4-6 ●2-4	5勝5負0分	10
関西学院大学	○12-9 ○10-0	△3-3 ○1-0	○12-1 ○6-0	△2-2 ○4-3	○6-4 ○4-2		8勝0負2分	18

最 多 奪 三 振	藤井 直人 (大阪大学) 3 勝
首 位 打 者	佐伯 奨哉 (同志社大学31個 瀬川 凜和 (関西学院大学) 0.533
最 多 打 点	瀬川 凜和 (関西学院大学) 10 点
最 多 盗 塁	二又川航平 (関西学院大学) 5 個 藤原 大和 (関西学院大学) 5 個
敢 闘 賞	中村 拓海 (立命館大学)
新 人 賞	水 渉夢 (関西学院大学)

◎ベストナイン

投 手	水 渉夢 (関西学院大学)
捕 手	新居 龍聖 (同志社大学)
一塁手	菱谷 優佑 (関西学院大学)
二塁手	真鍋 基 (関西学院大学)
三塁手	今井 怜央 (関西大学)
遊撃手	藤原 大和 (関西学院大学)
外野手	川田 健斗 (同志社大学)
外野手	中村 滉成 (立命館大学)
外野手	山本 祐輝 (立命館大学)

◎打撃十傑

1	瀬川 凜和 (関西学院大学)	533	30-16
2	新居 龍聖 (同志社大学)	450	20-9
3	今井 怜央 (関西大学)	400	40-16
4	小田 貴一 (立命館大学)	387	31-12
5	田中 瑞樹 (大阪大学)	360	25-9
6	吉村 仁立 (命館大学)	357	28-10
7	川田 健斗 (同志社大学)	346	26-9
8	真鍋 基関 (西学院大学)	345	29-10
9	藤原 大和 (関西学院大学)	342	35-12
10	田中 彰真 (同志社大学)	333	27-9

優勝チーム主将コメント

関西学院大学 主将 小柳 廉

まず初めに新型コロナウイルス流行の中、秋季リーグ戦開催にご尽力頂いた連盟の皆様はじめ各関係者の皆様に感謝申し上げます。春季リーグの開催が中止となり、引退を余儀なくされた四回生もいる中、今まで以上に野球ができる喜び、同じリーグの強敵と競い合える幸せを実感した今大会でした。

幣部は8月から新チームでの活動を開始しました。時間、人数共に制限がありリーグ戦開幕まで対外試合は行えず、全員揃っての練習もできない状況でした。その中で一人一人が「何をすべきか。」「何を考えて野球をすべきか」をよく考え、話し合った結果が優勝という結果として表れたと考えています。状況を言い訳にせず与えられた時間や空間で何を考えて行動するのか。その大切さを身をもって実感しました。

関西選手権では関六の代表として誇りをもって戦っていきたいと思います。

学生委員長コメント

大阪大学 飛川 陸

コロナウイルス感染拡大防止のため春のリーグ戦は中止せざるを得ませんでした。秋のリーグ戦は理事各位と学生委員の協力により、無事開催できたことを嬉しく思います。またこのような状況下でもリーグ戦開催に寄与してくださった各球場関係者や審判員の方々にもとても感謝しております。今回のリーグ戦は1敗もすることなく関西学院大学が圧倒的な実力で優勝という形になりました。関西大会でも関西六大学の覇者としての誇りを胸に、圧倒的な実力で勝ち進み、ぜひ優勝を掴みとっていただきたいです。他の五大学は春のリーグ戦で優勝するために春までの期間を過ごしてください。

近畿六大学準硬式野球連盟

秋季リーグ戦

◎2020年10月1日 ベイコム野球場

第1試合 開始時刻9:00 終了時刻10:15

大阪経済大学	2 5 2 0 1	10
兵庫県立大学神戸校	0 0 0 0 0	0
(5回コールド)		

(大経) 齋藤一細川
(兵神) 横井・石田一金田
☆本塁打 森(経)
☆三塁打 芝山(兵神)
☆二塁打 宇野・高山(経)

(戦評) 大経大は初回、森の本塁打で先制し、そのまま勢いを落とすことなく点を重ねていった。県大は最後まで齋藤を攻略することが出来ず、五回コールド負けを喫した。

第2試合 開始時刻 : 終了時刻 :

神戸市外国語大学 0

甲 南 大 学 0

※甲南大学の不戦勝。

第3試合 開始時刻10:45 終了時刻12:10

和歌山大学	0 0 0 0 0	0
近 畿 大 学	3 0 0 3 4	10
(5回コールド)		

(和大) 和田一田中
(近大) 中村一花本
☆本塁打 石坂(近)
☆二塁打 中井・工藤・花本・垣内(近)
(戦評) 近大の石坂が先頭打者本塁打で先制し、投げては先発中村が和を抑え、試合の流れを掴んだ。和大先発和田も力投したが、近大の勢いを止めることができなかった。

◎2020年10月6日 ベイコム野球場

第1試合 開始時刻9:05 終了時刻10:40

甲 南 大 学	0 0 0 1 12	13
兵庫県立大学神戸校	0 0 0 1 0	1
(5回コールド)		

(甲南) 笈西一井岡
(兵神) 上原・宇野・阪永・石田一神田
☆三塁打 安平(甲)
☆二塁打 横井・神田(兵神)
宮内・安平・井岡(甲)

(戦評) 両投手が4回まで粘りの投球を見せるが、5回表甲南大が途中登板の相手投手の立ち上がりを攻め、大量得点する。県大は最後まで笈西を攻略することが出来なかった。

第2試合 開始時刻11:15 終了時刻13:44

大阪経済大学	0 0 3 0 2 0 0 1 1	7
和歌山大学	0 0 1 0 0 0 0 0 0	1

(大経) 春野・谷口・島元・福島一細川・山本
(和大) 和田・古崎一田中
☆三塁打 大手(経)
☆二塁打 大谷(和)
橋本圭・細川・浅野(経)

(戦評) 大経大は3回到橋本圭の適時打などで先制し、そこから要所要所で点を積み重ね

た。和大は、大経大の4投手を相手に1得点しかすることが出来なかった。

◎2020年10月12日 明石トーカ球場
第1試合 開始時刻10:23 終了時刻12:49
大阪経済大学 000000100 | 1
甲南大学 001000000 | 1
(9回引き分け)

(大経) 齋藤・島元ー細川
(甲南) 鐘搗ー井岡
☆二塁打 細川・橋本圭(経)
(戦評) 終始、両チームの投手が力投を見せ、お互いが1点ずつを取り合い、投手戦を繰り広げた。終盤も、両投手が踏ん張りを見せ、同点のまま試合終了となった。

第2試合 開始時刻13:28 終了時刻15:52
近畿大学 00000314 | 8
兵庫県立大学神戸校 00000000 | 0
(近大) 樋口・糸川・日紫喜ー花本
(兵神) 横井・阪永・宇野・石田ー神田
☆二塁打 山崎・花本(近)
(戦評) 県大先発横井がランナーは出すものの、序盤近大に的を絞らせず力投を見せた。対する近大は徐々に対応し、県大の継投を攻略し連打で一気に大量リードを奪った。

第3試合 開始時刻 : 終了時刻 :
神戸市外国語大学 0
和歌山大学 0
※和歌山大学の不戦勝。

◎2020年10月14日 明石トーカ球場
第1試合 開始時刻 : 終了時刻 :
兵庫県立大学神戸校 0
神戸市外国語大学 0
※兵庫県立大学神戸校の不戦勝。

第2試合 開始時刻10:30 終了時刻12:25
甲南大学 000300000 | 3
和歌山大学 10000004x | 5
(甲南) 笈西・宮内ー井岡
(和大) 森下・和田ー田中
☆本塁打 上垣(和)
☆二塁打 山下(甲) 佐藤(和)
(戦評) 和大は初回、上垣の先頭打者本塁打で先制するも、4回に甲南大の5本の連続安打で逆転される。しかし、8回に上垣の適時打などで試合をひっくり返した。

第3試合 開始時刻13:00 終了時刻15:23
近畿大学 01000000 | 1
大阪経済大学 1100011x | 4
(8回コールド)
(近大) 中村・田原ー花本
(大経) 齋藤・島元ー細川
☆三塁打 細川(経)
☆二塁打 花本(近)
森・橋本圭(経)
(戦評) 両チームともに序盤から一進一退の攻防を繰り広げる。僅差で大経大がリードしていたが、六回、七回で追加点を重ね、4ー1で大経大が優勝を決めた。

◎2020年10月16日 大阪シティ信用金庫スタジアム
第1試合 開始時刻9:10 終了時刻11:33
甲南大学 0600200 | 8
近畿大学 0000020 | 2
(7回コールド)

(甲南) 鐘搗・宮内ー井岡
(近大) 中村・日紫喜・樋口ー花本
☆二塁打 瀬尻(近)
(戦評) この試合は2回に近畿大の失策が続き、甲南大が6点を先制する。その後、甲南大は2点を取られるも、先発投手が終盤まで踏ん張りきり、8ー2で甲南大が勝利した。

第2試合 開始時刻12:15 終了時刻14:00
和歌山大学 61600 | 13
兵庫県立大学神戸校 20001 | 3
(5回コールド)
(和大) 北條・古崎ー田中
(兵神) 宇野・上原・阪永・近藤ー金田
☆三塁打 上垣・小山(和)
☆二塁打 小山・奥浜(和)
(戦評) 初回から県大投手陣が崩れ、大量失点する。和大は投手陣が踏ん張り、流れを呼び込む。その後もチャンスを掴み着実に点を積み上げ、5回コールドで勝利を掴んだ。



◎個人表彰
最高殊勲選手 森 秀太(大阪経済大学)
最優秀投手 齋藤光太郎(大阪経済大学)
0.56
最多勝利 齋藤光太郎(大阪経済大学)
2勝
最多奪三振 和田 育(和歌山大学)
15個
首位打者 橋本 圭介(大阪経済大学)
0.500
細川幹太郎(大阪経済大学)
0.500
工藤 慎也(近畿大学)
0.500

	大経大	甲南大	近畿大	和 大	兵神戸	神外大	勝 敗	勝点
大阪経済大学		△1ー1	○4ー1	○7ー1	○10ー0	○ ー	4勝0負1分	13
甲南大学	△1ー1		○8ー2	×3ー5	○13ー1	○ ー	3勝1負1分	10
近畿大学	×1ー4	×2ー8		○10ー0	○8ー0	○ ー	3勝2負0分	9
和歌山大学	×1ー7	○5ー3	×0ー10		○13ー3	○ ー	3勝2負0分	9
兵庫県立大学神戸校	×0ー10	×1ー13	×0ー8	×3ー13		○ ー	1勝4負0分	3
神戸市外国語大学	× ー	× ー	× ー	× ー	× ー		0勝5負0分	0

最多打点 森 秀太(大阪経済大学)
6点
上垣 智哉(和歌山大学)
6点
最多盗塁 森 秀太(大阪経済大学)
5個
敢闘賞 安平 裕人(甲南大学)
新人賞 鐘搗 啓介(甲南大学)

◎ベストナイン
投手 齋藤光太郎(大阪経済大学)
捕手 細川幹太郎(大阪経済大学)
一塁手 工藤 慎也(近畿大学)
二塁手 森 秀太(大阪経済大学)
三塁手 小山 公輔(和歌山大学)
遊撃手 森田 勇太(甲南大学)
外野手 山下 航生(甲南大学)
外野手 金子 修輔(近畿大学)
外野手 宇野 遥登(大阪経済大学)

◎打撃十傑
1 橋本 圭介(大阪経済大学) 0.500 16-8
1 細川幹太郎(大阪経済大学) 0.500 14-7
1 工藤 慎也(近畿大学) 0.500 12-6
4 森 秀太(大阪経済大学) 0.467 15-7
4 安平 裕人(甲南大学) 0.467 15-7
6 山下 航生(甲南大学) 0.462 13-6
7 小山 公輔(和歌山大学) 0.429 14-6
8 金子 修輔(近畿大学) 0.417 12-5
9 建畑 直希(甲南大学) 0.400 15-6
10 宇野 遥登(大阪経済大学) 0.385 13-5

優勝チーム主将コメント

大阪経済大学 主将 橋本 圭介
初めに、新型コロナウイルスの影響を受ける中、今回のリーグ戦を運営していただいた全ての方々に感謝申し上げます。今回、新型コロナウイルスによる影響で十分な練習ができない中でのリーグ戦となりましたが、チームはリーグ戦を通じて成長し、優勝することができました。ですが、この結果に満足することなく、関西選手権大会連覇に向けて努力してまいります。

学生委員長コメント

学生委員長代理

近畿大学 中井 誠

今回のリーグ戦はコロナウイルスの影響で例年通りいかないことが多々ございましたが、連盟理事の方々、審判委員の方々、球場関係者のご協力のおかげで開催することが出来ましたことに心より感謝申し上げます。

今回のリーグ戦は神戸市外国語大学がコロナウイルスの影響で不参加となり5校での開催となりました。しかし、今回のリーグ戦を振り返ると関西大会2校出場をかけて近畿大学、甲南大学、大阪経済大学の私立校の熾烈な戦いがありました。最終、大阪経済大学が4勝1分で優勝を飾り、甲南大学は3勝1敗1分の2位で関西大会出場の切符を手に入れました。近畿大学は後1勝することが出来ず、私立2校に2敗と明暗を分けることになり、最後まで白熱した試合が繰り広げられていた大会となりました。

連盟では、様々なコロナウイルス対策を実施し、無事に感染者なしで大会を終えることができました。しかし、試合が長引いたため、時間の都合上、9回まで出来なかった試合がありました。次回のリーグ戦では攻守交替や整備を早くすることで全試合9回まで行いたいと思います。

阪神六大学準硬式野球連盟

秋季リーグ戦

©2020年9月9日 久宝寺公園野球場

第1試合 開始時刻9:10 終了時刻10:45

大阪教育大学 5 0 0 0 6 | 11

大阪商業大学 0 0 0 0 0 | 0

(5回コールド)

(教) 金原-津村

(商) 今城-高田-西村-松山

☆二塁打 上野智・宿坊 (教)

(戦評) 1回に津村の犠飛から5得点を奪った。5回に上野、宿坊の2塁打などで6点を追加し、投げては金原が大阪商業大打線をノーヒットに抑える好投を見せコールドで勝利した。

第2試合 開始時刻11:15 終了時刻13:00

大阪工業大学 0 1 0 0 1 0 | 2

関西大学人間健康学部 1 5 1 1 2 2x | 12

(6回コールド)

(工) 岡山・南-佐久間

(関) 奥田・古田-東

☆本塁打 河野 (関)

☆三塁打 関 (関)

☆二塁打 吉川 (関)

南 (工)

(戦評) 関大塚が2回裏、四球により出塁し、安打を重ね5得点となる。その後も4回裏の本塁打などで得点を重ねていく。関大塚が得点を重ね12-2によりコールド試合となった。

第3試合 開始時刻13:30 終了時刻15:12

大阪市立大学 1 0 0 0 0 | 1

大阪府立大学 4 7 0 0 x | 11

(5回コールド)

(市) 臼木・原田-井坂

(府) 戒田-西川

☆三塁打 西崎 (府)

☆二塁打 松本 (市)

西川・西端・堀川 (府)

(戦評) 一回裏、西川(誠)のツーベースヒットを皮切りに菅野や西崎のタイムリーにより4点を返す。戒田は二回以降無失点のピッチングを披露し、5回コールド勝ちとなった。

©2020年9月11日 住江公園野球場

第1試合 開始時刻9:00 終了時刻10:47

大阪府立大学 8 0 0 1 8 | 17

大阪工業大学 0 0 0 3 0 | 3

(5回コールド)

(府) 戒田-西川

(工) 岡山・南-南・佐久間

☆本塁打 堀川 (府)

☆三塁打 菅野・西川 (府)

☆二塁打 樋田・西端・西川 (府)

山本 (工)

(戦評) 初回、堀川の本塁打もあり一挙8点を先制する。戒田は3点を返されるものの、5回に再び打線がつながりを見せ17-3でコールド勝ちとなった。

第2試合 開始時刻11:17 終了時刻12:55

大阪市立大学 0 0 0 1 0 0 | 1

大阪教育大学 0 0 2 3 5 1x | 11

(6回コールド)

(教) 八田-津村・坂口

(市) 長浜・森下・平野-井坂

☆三塁打 壁谷 (教)

☆二塁打 増見・津村 (教)

(戦評) 3回大教4番津村のタイムリーで大教が先制する形で試合が動いた。その後も大教の勢い止まらず11得点、投げては八田が市立大を6回1安打1失点に抑えた。

第3試合 開始時刻13:25 終了時刻15:22

大阪商業大学 0 0 0 0 2 0 0 0 0 | 2

関西大学人間健康学部 1 0 0 0 0 0 0 0 0 | 1

(商) 玉置-松山

(関) 柴田-東

☆二塁打 町田 (商)

奥田 (関)

(戦評) 初回商大のミスにより関大が先制。その後4回まで商大玉置、関大柴田の投手戦となる。5回商大玉置が投手自らのバットで2点を返し、1点差で逃げ切った。

©2020年9月16日 住之江公園野球場

第1試合 開始時刻9:10 終了時刻11:16

大阪教育大学 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 0

関西大学人間健康学部 1 0 0 0 0 0 0 0 x | 1

(教) 金原-津村

(関) 柴田-東

☆二塁打 宿坊 (教)

関 (関)

(戦評) 関大塚が初回に死球で出塁し得点。以後、両チームともヒットを重ねるが得点にはならず、関大塚の勝利となった。

第2試合 開始時刻11:46 終了時刻13:30

大阪府立大学 0 0 0 0 0 1 0 | 1

大阪商業大学 0 0 5 0 0 0 3x | 8

(7回コールド)

(府) 戒田・菅野-西川

(商) 高田・玉置-松山

☆二塁打 山本 (府) 市村 (商)

(戦評) 3回、商大市村のヒットから流れを作り、一挙に5得点と大きくリードを広げる。7回に今試合4打点の商大松室のヒットもあり、7回コールドで勝利を収めた。

第3試合 開始時刻14:00 終了時刻16:00

大阪市立大学 1 0 0 3 0 1 0 1 0 | 6

大阪工業大学 0 2 0 0 3 0 2 0 x | 7

(市) 森下・原田-井坂

(工) 南-黒枝

☆三塁打 高野・小西 (市)

☆二塁打 森下 (市)

中村・林・安藤 (工)

(戦評) 大工大は、初回に先制されるも、2回に2点を取り逆転する。5回に黒枝のタイムリーで逆転し、投げては南が160球を投げる力投で勝利を収めた。

©2020年9月18日 住之江公園野球場
第1試合 開始時刻9:05 終了時刻10:50
大阪市立大学 00000 | 0
関西大学人間健康学部 3850x | 16
(5回コールド)

(市) 長浜・森下・小笠原・井坂・境
(関) 宮澤・吉田・保出
☆本塁打 東(関)
☆三塁打 富嶋(関)
☆二塁打 河野・宮澤・保出(関)
井坂(市)
(戦評) 関大塚が4番バッターの2ホームランを始め、スターティングメンバー全員安打で大量得点。1回生の活躍も見られた。

第2試合 開始時刻11:20 終了時刻13:20
大阪工業大学 000200 | 2
大阪商業大学 130341x | 12
(6回コールド)

(工) 南・岡山・萩原・黒枝・佐久間
(商) 今城・西村・松山
☆三塁打 松山・松室(商)
☆二塁打 藤坂・町田・大村(商)
古賀・黒枝(工)
(戦評) 初回、商大松山のタイムリーにより先制。4回工大に2点を返されるも、着実に点を取り続け、計12安打と猛攻撃を繰り広げた。

第3試合 開始時刻14:05 終了時刻15:35
大阪教育大学 011144 | 11
大阪府立大学 000000 | 0
(6回コールド)

(教) 八田・津村
(府) 戒田・菅野・西川
☆二塁打 谷川・坂口(教)
(戦評) 大阪教育大の投手八田が大阪府立大学の打線を寄せつけない圧巻のピッチングを見せた。大阪教育大の打線も繋がりコールドでゲームは終了した。

©2020年9月21日 久宝寺公園野球場
第1試合 開始時刻9:00 終了時刻10:55
大阪市立大学 0000000 | 0
大阪商業大学 0030004 | 7
(7回コールド)

(市) 栗井・井坂
(商) 西村・今城・高田・松山
☆二塁打 松室・奥平(商)
(戦評) 市大のミスによる出塁や進塁も多かったが、投手を援護する打撃を見せる。商大投手、西村、今城、高田が無安打無得点の好継投で試合を縮めた。

第2試合 開始時刻11:25 終了時刻13:35
大阪府立大学 1001000 | 2
関西大学人間健康学部 203220x | 9
(7回コールド)

(府) 菅野・樋田・西端・西川
(関) 吉田・宮澤・東
☆本塁打 東(関)
☆三塁打 吉岡(関)
☆二塁打 山口(関)
堀川(府)

(戦評) 関大塚はホームスチールや失策で得点を許すが、4番バッターの本塁打により2得点、その後も、ほぼすべての回の攻撃で得点を重ね9-2で7回コールドの試合となった。

第3試合 開始時刻14:05 終了時刻16:19
大阪教育大学 000400302 | 9
大阪工業大学 000301001 | 5

(教) 金原・八田・津村
(工) 南・岡山・佐久間・黒枝
☆本塁打 増見(教)
佐久間(工)
☆二塁打 増見・坂口・上野(教)

(戦評) 4回大阪教育大が阪口の走者一掃ツーベースヒットなどで先制。大阪工業大が4回に3点、6回に1点を返し追いつくも、大阪教育大の打線がつながり9対5で試合が終了した。

©2020年9月24日 住之江公園野球場
第1試合 開始時刻9:15 終了時刻11:00
大阪商業大学 54204 | 15
大阪工業大学 10000 | 1
(5回コールド)

(商) 西村・今城・松山
(工) 南・岡山・佐久間
☆三塁打 大竹(商)
☆二塁打 松室(商)
(戦評) 初回の商大の攻撃、2アウトから5連打の猛攻で一挙に5得点を先制する。その後も攻撃の手を緩めず計15得点、投手陣も1安打と締まったピッチングで勝利へ導いた。

第2試合 開始時刻11:30 終了時刻12:50
関西大学人間健康学部 20305 | 10
大阪市立大学 00000 | 0
(5回コールド)

(関) 奥田・東
(市) 臼木・小笠原・井坂・松本
☆本塁打 関(関)
☆二塁打 東(関)
井坂(市)
(戦評) 1回表、先頭バッターから5者連続四球により出塁し2得点。5回表では相手の失策と3番バッターの本塁打等で5得点となり、10-0の5回コールドで試合終了となった。

第3試合 開始時刻13:28 終了時刻15:19
大阪府立大学 000011000 | 2
大阪教育大学 00300001x | 4

(府) 樋田・西端・西川
(教) 八田・金原・津村
☆本塁打 西川(府)
☆二塁打 増見・津村(教)
(戦評) 3回大教大のリードオフマン谷川がヒットで出塁し津村がタイムリーを放ち試合が動いた。大教大先発の八田が7回2失点にまとめる。引き締まった投手戦となった。

©2020年9月26日 住之江公園野球場
第1試合 開始時刻9:00 終了時刻11:11
大阪工業大学 000010000 | 1
大阪府立大学 01000003x | 4
(工) 南・岡山・黒枝
(府) 戒田・西川
☆二塁打 見崎(工)
西端・堀川・宮内後(府)

(戦評) 2回に先頭の宮内後の二塁打から先制点を取るも、5回に追いつかれる。8回にチャンスで堀川、樋田の連続タイムリーで勝ち越した。戒田が完投勝利を収めた。

第2試合 開始時刻11:35 終了時刻13:35
大阪教育大学 011000103 | 6
大阪市立大学 020100010 | 4

(教) 金原・宿坊・八田・津村
(市) 森下・井坂・松本
☆二塁打 津村・上野・阪口(教)
境(市)
(戦評) 7回大教大津村のタイムリーで試合が振り出しに戻るがその後市立大土川のタイムリーで追加点を上げた。9回阪口のタイムリーが決勝点となり大教大が勝利した。

第3試合 開始時刻14:00 終了時刻16:00
関西大学人間健康学部 100001010 | 3
大阪商業大学 200001001 | 4

(関) 柴田・宮澤・東
(商) 玉置・西村・松山
☆本塁打 藤坂・市村(商)
関(関)
☆三塁打 関(関)
☆二塁打 市村(商)
(戦評) 関のタイムリーで先制されるも商大1番藤坂、2番市村の2打席連続ホームランで逆転する。その後お互い一歩も譲らず同点で迎えたが最終回、3連打でサヨナラ勝ちを掴んだ。

©2020年9月29日 住之江公園野球場
第1試合 開始時刻9:00 終了時刻11:10
関西大学人間健康学部 000000300 | 3
大阪教育大学 200100000 | 3
(9回引き分け)

(関) 柴田・宮澤・東
(教) 宿坊・金原・八田・津村
☆本塁打 津村(教)
☆三塁打 岡本(教)
☆二塁打 谷川(教)
(戦評) 教育大は、3番の本塁打により2点を先制する。関大塚は、7回表の攻撃で安打をつなぎ3得点。その後は得点とならず3-3の同点のまま試合終了となった。

第2試合 開始時刻11:40 終了時刻13:40
大阪商業大学 0002600 | 8
大阪府立大学 190001x | 11
(7回コールド)

(商) 高田・今城・西村・松山
(府) 樋田・戒田・西川
☆本塁打 堀川(府)
松室(商)

☆三塁打 松山（商）
☆二塁打 松山・藤坂・吉村（商）
菅野・西端（府）
（戦評）初回、先頭の堀川の本塁打で先制し、2回には一挙9得点の猛攻を見せる。5回に榎田が商大打線に捕まるが、最終回戒田が締め、勝利を飾った。

第3試合 開始時刻14：00 終了時刻16：00
大阪工業大学 0 0 0 0 0 0 3 0 0 | 3
大阪市立大学 0 0 0 1 0 0 0 2 0 | 3

（9回引き分け）
（工）南―黒枝
（市）森下・長浜―松本
☆二塁打 佐久間（工）
（戦評）市大が4回に先制すると、投げては森下が6回まで無失点に抑える好投を見せる。工大は、7回に佐久間の2塁打などで逆転に成功するも、守り切れず引き分けとなった。

◎2020年9月30日 大阪シティ信用金庫スタジアム
第1試合 開始時刻9：00 終了時刻11：20
大阪府立大学 0 0 1 3 0 0 2 0 | 6
大阪市立大学 0 1 4 0 0 0 0 1 | 6

（8回引き分け）
（府）戒田・榎田―西川
（市）栗井・長浜・原田―松本
☆二塁打 山本（府）
（戦評）7回表、府大は8番山本に2点タイムリー二塁打が飛びだし逆転。しかし、8回裏に市大は3番井坂の犠飛で土壇場で同点に追いつき、8回引き分けとなった。

第2試合 開始時刻11：55 終了時刻13：46
関西大学人間健康学部 3 4 8 0 0 | 15
大阪工業大学 0 0 0 0 0 | 0

（5回コールド）
（関）吉田―東
（工）萩原・南・岡山―佐久間
☆三塁打 小部（関）
☆二塁打 吉川（関）
（戦評）関大塚が2者連続四球により出塁、安打を重ね3得点。その後も3回表の攻撃で8人連続出塁し、8得点となる。投げては、吉田が完封し勝利を収めた。

第3試合 開始時刻14：14 終了時刻16：00
大阪商業大学 1 0 1 3 0 0 1 0 0 | 6
大阪教育大学 0 0 0 3 1 0 0 0 1 | 5

（商）玉置―松山
（教）金原・八田―津村
☆三塁打 松室（商）
☆二塁打 大村・松山（商）
増見・遠藤（教）
（戦評）商大松室、大村のタイムリーで試合を有利に進めたが、中盤3点を返される。商大2点リードで迎えた最終回、逆転を防ぐ商大藤坂のファインプレーが試合の決め手となった。

◎2020年10月7日 大阪シティ信用金庫スタジアム
第1試合 開始時刻9：00 終了時刻10：50
大阪商業大学 0 6 3 8 0 | 17
大阪市立大学 0 0 0 0 0 | 0

（5回コールド）
（商）玉置―松山
（市）森下・フィーガル・小笠原―松本
☆三塁打 松山・市村（商）
☆二塁打 松山・吉村（商）
（戦評）攻撃では計13安打、市大のエラーなどもあり、2、3、4回に計17得点し、優位に試合を進める。商大の投手玉置が5回3安打無失点と安定したピッチングを見せた。

第2試合 開始時刻11：20 終了時刻13：30
大阪工業大学 0 0 4 0 0 0 1 | 5
大阪教育大学 0 2 4 0 5 1 x | 12

（7回コールド）
（工）南・岡山―佐久間
（教）金原・清水・八田―阪口・津村
☆二塁打 上野・井上（教）
山本（工）
（戦評）先発金原、中継ぎ清水、抑え八田のリレーで7回5失点。野手は足を絡めながらの攻撃で12得点することができた。粘り強い攻めによって勝利することができた。

第3試合 開始時刻14：00 終了時刻16：00
関西大学人間健康学部 6 0 4 2 0 0 2 | 14
大阪府立大学 3 0 1 2 0 0 0 | 6

（7回コールド）
（関）柴田・林・吉田―東
（府）戒田・西端・榎田―菅野・西川
☆三塁打 保出・富嶋（関）
☆二塁打 東・西田（関）
西端（府）
（戦評）関大塚が1回表四死球、ヒットにより出塁、6得点となった。その後も関大塚が得点を重ねていき14-6の7回コールドで関大塚の勝利となった。

◎個人表彰
最 多 勝 八田 元樹（大阪教育大学）5勝
最優秀防御率 八田 元樹（大阪教育大学）1.31
首 位 打 者 関 大生（関西大学人間健康学部）0.481

最 多 打 点 関 大生（関西大学人間健康学部）15点
最 多 本 塁 打 東 優吾（関西大学人間健康学部）3本
最 多 盗 塁 宮澤 大成（関西大学人間健康学部）11個
山口 太樹（関西大学人間健康学部）11個

◎ベストナイン
投 手 玉置 翔太（大阪商業大学）
捕 手 松山 豪大（大阪商業大学）
一塁手 西端 塁（大阪府立大学）
二塁手 西田 龍生（関西大学人間健康学部）
三塁手 宮澤 大成（関西大学人間健康学部）
遊撃手 松室 歳唯（大阪商業大学）
外野手 関 大生（関西大学人間健康学部）
外野手 藤坂 文也（大阪商業大学）
外野手 山口 太樹（関西大学人間健康学部）

◎打撃十傑
1 関 大生（関西大学人間健康学部）0.481 27-13
2 藤坂 文也（大阪商業大学）0.475 40-19
3 松山 豪大（大阪商業大学）0.444 36-16
4 山口 太樹（関西大学人間健康学部）0.423 26-11
5 宮澤 大成（関西大学人間健康学部）0.416 24-10
6 玉置 翔太（大阪商業大学）0.406 32-13
7 西川 圭佑（大阪府立大学）0.375 24-9
8 壁谷 春樹（大阪教育大学）0.370 27-10
9 須賀 悠貴（大阪府立大学）0.370 27-10
10 大村 真平（大阪商業大学）0.363 22-8

優勝チーム主将コメント

大阪商業大学 主将 松山 豪大
この度は秋季リーグ戦を優勝することができ、大変嬉しく思います。また今年はコロナの影響もある中、リーグ戦を開催することができ、大会関係者の方々にはとても感謝しています。私たち選手が知らない場所でリーグ戦開催に向け御尽力頂いた沢山の方々への感謝の気持ちを忘れず、野球を全力で楽しみ、優勝を掴み取りたいと思います。

	大商大	関大塚	大教大	大府大	大工大	大市大	勝 敗	勝点
大阪商業大学		○2-1 ○4-3	●0-11 ○6-5	○11-1 ●8-11	○12-2 ○15-1	○7-0 ○17-0	8勝2負0分	16
関西大学人間健康学部	●1-2 ●3-4		○1-0 △3-3	○9-2 ○14-6	○12-2 ○15-0	○16-0 ○10-0	7勝2負1分	15
大阪教育大学	○11-0 ●5-6	●0-1 △3-3		○11-0 ○4-2	○11-0 ○12-5	○11-1 ○6-4	7勝2負1分	15
大阪府立大学	●1-11 ○11-8	●2-9 ●6-14	●0-11 ●2-4		○17-3 ○4-1	○11-1 △6-6	4勝5負1分	9
大阪工業大学	●2-12 ●1-15	●2-12 ●0-15	●0-11 ●5-12	●3-17 ●1-4		○7-6 △3-3	1勝8負1分	3
大阪市立大学	●0-7 ●0-17	●0-16 ●0-10	●1-11 ●4-6	●1-11 △6-6	●6-7 △3-3		0勝8負2分	2

学生委員長コメント

大阪市立大学 小西 智也

新型コロナウイルスの影響で阪南大学の参加辞退が決定し、開催が危ぶまれた今秋リーグ戦であったが、天候にも恵まれ、阪南大学を除く六大学総当たり全10節のリーグ戦を無事行うことができた。結果としては、大阪商業大学の優勝で幕を閉じたが、2位の関西大学人間健康学部、3位の大阪教育大学を含む三つ巴の優勝争いは、最終節までもつれる熾烈な争いであった。優勝した大阪商業大学は、主戦投手の玉置、主将で4番も務めた捕手の松山のバッテリーを中心とした、攻守ともに隙のない野球が印象的であった。次の春季リーグ戦では、今回非常に残念ながら辞退ということになった阪南大学も含めた7大学によるリーグ戦が行われ、その先の全日本選手権や清瀬杯で躍進するチームが阪神六大学から現れることを期待したい。

京滋六大学準硬式野球連盟

秋季リーグ戦

©2020年8月19日 わかさスタジアム
第1試合 開始時刻： 終了時刻：
京都先端科学大学 0 0 0 4 2 1 0 2 | 9
滋賀大学彦根キャンパス 0 0 0 0 1 0 3 0 | 4
(8回コールド)

(先端) 毛利・石田・大久保一本間
(彦彦) 松岡・宮本一霜野
☆二塁打 本間(先)
土谷(彦)

(戦評) 先端は4回島本・羽柴らの適時打で4点を先制する。その後も追加点を重ねる。滋大彦は5回・7回に宮本の適時打などで4点を返すも9-4で先端の勝利。

第2試合 開始時刻： 終了時刻：
滋賀大学教育学部 1 0 5 0 0 2 2 8 | 18
花園大学 0 1 0 0 2 0 1 0 | 4
(8回コールド)

(滋教) 中嶋・三ツ井一中川
(花園) 神田一野村
☆三塁打 米澤(教)
☆二塁打 中村翔・丸岡・中川・三ツ井(教)
池田(花)

(戦評) 滋大教は1回表、三ツ井の適時打で先制するも、2回裏に花園大は野村の適時打で同点とする。しかしその後は滋大教が得点を重ね18-4で滋大教の勝利。

©2020年8月20日 太陽が丘球場
第1試合 開始時刻： 終了時刻：
滋賀大学彦根キャンパス 0 0 1 0 1 | 2
滋賀大学教育学部 3 6 6 0 x | 15
(5回コールド)

(彦彦) 鰐部・宮本一霜野
(滋教) 亀井・山本一中川
☆三塁打 吉川(教)
☆二塁打 霜野(彦)

(戦評) 滋大教は初回、相手の失策などで3点を先制する。その後も滋大教が得点を重ね、リーグ規定により滋大教のコールド勝ち。

第2試合 開始時刻11:36 終了時刻13:01
龍谷大学 0 0 0 0 0 1 0 3 0 | 4
京都先端科学大学 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 0
(龍谷) 中村一山内
(先端) 左近・毛利・山崎一本間
☆二塁打 池見(龍)・岡嶋(龍)

(戦評) 両チーム5回まで0-0の投手戦。しかし龍谷は6回表杉山の適時打で先制する。その後も龍谷が得点を重ね4-0で龍谷の勝利。

©2020年8月24日 守山球場
第1試合 開始時刻9:00 終了時刻11:13
京都先端科学大学 0 0 0 0 1 0 0 1 0 | 2
滋賀大学教育学部 0 0 0 2 0 0 0 2 x | 4

(先端) 毛利・左近一本間
(滋教) 三ツ井一中川
☆三塁打 中村翔(教)
☆二塁打 中村翔(教)

(戦評) 滋大教は4回に中村翔の適時三塁打で2点を先制する。先端大は8回に犠牲フライなどで同点に追いつくも先端大の守備のミスにより滋大教が逆転勝利。

第2試合 開始時刻12:21 終了時刻14:04
龍谷大学 1 1 1 6 1 4 | 23
花園大学 0 0 0 0 0 | 0
(5回コールド)

(龍谷) 岸本・山田・村瀬一倉田・秋山
(花園) 中川・深尾・久保一梅井
☆三塁打 池見・穂谷(龍)
☆二塁打 仲・平延・寺田(龍)

(戦評) 龍谷大は初回、池見の三塁打と送球ミスの間に1点を先制する。その後も龍谷大が得点を重ね、投手陣も花園打線を完封。リーグ規定により龍谷大学の勝ち。

©2020年8月26日 守山球場
第1試合 開始時刻9:00 終了時刻10:48
花園大学 0 0 0 0 0 0 | 0
京都先端科学大学 3 0 0 6 0 1 | 10
(6回コールド)

(花園) 久保一梅井
(先端) 大久保一本間
☆二塁打 久保(花)
島田・島本・本間(先)

(戦評) 先端大は1回裏、島本・羽柴らの適時打で3点を先制する。さらに4回に6点、6回に1点を追加し、リーグ規定により先端大のコールド勝ち。

第2試合 開始時刻： 終了時刻：
龍谷大学 2 2 0 0 2 0 0 | 6
滋賀大学彦根キャンパス 0 0 0 1 0 2 0 | 3
(7回コールド)

(龍谷) 石井・香水一岡嶋・秋山
(彦彦) 松岡・西山一霜野
☆二塁打 寒川2・杉山2・林(龍)

(戦評) 龍谷大は1回表、寒川の適時二塁打で2点を先制。さらに2回も中川・山内の適時打で2点を追加する。その後、彦根は反撃するも6-3で龍谷大の勝利。

©2020年8月29日 伏見桃山球場
第1試合 開始時刻： 終了時刻：
滋賀大学教育学部 0 1 1 0 0 2 1 | 5
龍谷大学 0 2 0 0 0 0 4 | 6
(7回コールド)

(滋教) 三ツ井一中川
(龍谷) 石井・村瀬・中村一倉田
☆三塁打 林(龍)
☆二塁打 丸岡2・山内・池見(龍)
横田(教)

(戦評) 滋大教は2回表松浦の適時打で1点を先制するも2回裏龍谷が逆転に成功。滋大教は6回7回に追加点を取るも7回裏に龍谷が一挙4点を取り、龍谷の勝利。

第2試合 開始時刻 : 終了時刻 :
花園大学 0000300 | 3
滋賀大学彦根キャンパス 405001x | 10
(7回コールド)

(花園) 西村・深尾・梅井
(滋彦) 宮本・西山・霜野
☆三塁打 三原(彦)
(戦評) 滋大彦は1回裏相手のミスと三原の適時打で4点を先制する。その後も3回に5点を追加する。花園は5回表に3点を返すも滋大彦が逃げ切り滋大彦の勝利。

◎2020年8月31日 太陽ヶ丘球場
第1試合 開始時刻 : 終了時刻 :
滋賀大学彦根キャンパス 020000000 | 2
京都先端科学大学 10001101x | 4

(滋彦) 松岡・宮本・霜野
(先端) 石田・佐近・鎌田(歩)・山崎(愁)・小原・阿山・本間
☆二塁打 羽柴(先)
(戦評) 先端大は初回に羽柴のタイムリーで先制。2回表滋大彦は土谷のタイムリーで逆転。しかし先端大の鍵山のタイムリーで逆転し、4-2で先端大の勝利。

第2試合 開始時刻 : 終了時刻 :
花園大学 00000 | 0
滋賀大学教育学部 60210x | 18
(5回コールド)

(花園) 吉森・深尾・梅井
(滋教) 中嶋・松原
☆二塁打 中嶋(教)
(戦評) 滋大教は1回表、相手のエラーなどで6点を先制。その後も得点を追加し、18-0で滋大教のコールド勝ち。

◎2020年9月2日 守谷市民球場
第1試合 開始時刻 : 終了時刻 :
京都先端科学大学 20000021 | 5
龍谷大学 00200000 | 2
(8回コールド)

(先端) 毛利・佐近・山崎(愁)・本間
(龍谷) 中村・村瀬・石井・倉田
☆三塁打 本間(先)
☆二塁打 本間(先)・倉田(龍)
(戦評) 1回表先端大は田中のタイムリーなどで2点を先制。3回裏龍谷大は坂矢のタイムリーで同点。7回表先端大は相手のミスで逆転。5-2で先端大の勝利。

第2試合 開始時刻 : 終了時刻 :
滋賀大学教育学部 026203 | 13
滋賀大学彦根キャンパス 001301 | 5
(6回コールド)

(滋教) 山本・中嶋・松原
(滋彦) 宮本・松岡・霜野
☆三塁打 瀬戸口・霜野(彦)
☆二塁打 中村祥(教)
(戦評) 滋大教は2回に相手のエラーなどで2点を先制しその後も追加点をあげる。滋大彦は霜野のタイムリーなどで3点を返すも13-5で滋大教の勝利。

◎2020年9月3日 皇子山球場
第1試合 開始時刻 : 終了時刻 :
花園大学 00003 | 3
龍谷大学 62203 | 13
(5回コールド)

(花園) 深尾・野村・梅井
(龍谷) 香水・梶川・安孫子・秋山・倉田
☆三塁打 秋山(龍)
☆二塁打 杉山・梶谷(龍)・神田(花)
(戦評) 龍谷大は初回、秋山のタイムリースリーベースなどで6得点を先制する。花園大は5回表3点を返すも13-3で龍谷大のゴール勝ち。

第2試合 開始時刻 : 終了時刻 :
滋賀大学教育学部 002000010 | 3
京都先端科学大学 000000000 | 0
(滋教) 三ツ井・松原
(先端) 毛利・佐近・山崎・本間

(戦評) 3回表、滋大教が相手の守備ミスなどにより2点先制。8回表滋大教が米澤の内野ゴロの間に1点追加。3-0で滋大教の勝利。

◎2020年9月9日 守谷市民球場
第1試合 開始時刻 : 終了時刻 :
滋賀大学彦根キャンパス 00000 | 0
龍谷大学 00970 | 16
(5回コールド)

(滋彦) 松岡・霜野
(龍谷) 中村・富永・山内
☆三塁打 坂矢・安里(龍)
☆二塁打 山内・池見2・林・岡嶋(龍)
(戦評) 龍谷大は3回裏、寒川のタイムリーなどで9点を先制。その後も得点を重ね、16-0で龍谷大のコールド勝ち。

第2試合 開始時刻 : 終了時刻 :
京都先端科学大学 11040221 | 11
花園大学 01012000 | 4
(8回コールド)

(先端) 石田・島本・阿山・小原・本間
(花園) 吉森・神田・梅井
☆三塁打 中澤・阿山(先)
☆二塁打 島本・阿山(先)・吉森(花)
(戦評) 先端大は初回に錦織のタイムリーで先制。その後も追加点を重ねる。花園大は吉タイムリーなどで4点を取るも11-4で先端大の勝利。

◎2020年9月10日 太陽ヶ丘球場
第1試合 開始時刻 : 終了時刻 :
龍谷大学 101010000 | 3
滋賀大学教育学部 000002000 | 2

(龍谷) 中村・山内
(滋教) 三ツ井・中川
☆二塁打 林3・岡嶋(龍)・松浦(教)
(戦評) 初回、龍谷大が岡嶋のタイムリーで1点を先制する。その後も追加点をあげる。6回に滋大教はタイムリーなどで反撃するも、3-2で龍谷大の勝利。

第2試合 開始時刻 : 終了時刻 :
滋賀大学彦根キャンパス 00420105 | 12
花園大学 10002310 | 7
(8回コールド)

(滋彦) 宮本・鰐部・霜野
(花園) 深尾・野村・梅井
☆二塁打 土谷(彦)・寺木・池田・小森(花)
(戦評) 花園大は初回神田のタイムリーで先制。滋大彦は土谷のタイムリーなどで逆転。花園大が同点に追いつくもその後滋大彦が逆転し12-7で滋大彦の勝利。

◎個人表彰
最多勝 中村謙(龍谷大学) 4勝
最優秀防御率 中村謙(龍谷大学) 1.149
首位打者 林(龍谷大学) 0.577
最多打点 中村翔(滋賀大学教育学部) 9点
最多本塁打 該当者なし
最多盗塁 田中(京都先端科学大学) 12個
最多出塁 林(龍谷大学) 19出塁

◎ベストナイン
投手 中村謙(龍谷大学)
捕手 本間(京都先端科学大学)
一塁手 岡嶋(龍谷大学)
二塁手 松浦(滋賀大学教育学部)
三塁手 中村翔(滋賀大学教育学部)
遊撃手 林(龍谷大学)
外野手 丸岡(滋賀大学教育学部)
外野手 池見(龍谷大学)
外野手 深尾(花園大学)

	滋大教	先端大	龍谷大	滋大彦	花園大	勝敗	勝点
滋賀大学教育学部		4-2 3-0	5-6 2-3	15-2 13-5	18-4 18-0	6勝2負0分	
京都先端科学大学	2-4 0-3		0-4 5-2	9-4 4-2	10-0 11-4	5勝3負0分	
龍谷大学	6-5 3-2	4-0 2-5		6-3 16-0	23-0 13-3	7勝1負0分	
滋賀大学彦根キャンパス	2-15 5-13	4-9 2-4	3-6 0-16		10-3 12-7	2勝6負0分	
花園大学	4-18 0-18	0-10 4-11	0-23 3-13	3-10 7-12		0勝8負0分	

◎打撃十傑

1	林	(龍谷大学)	0.577	26-15
2	本間	(京都先端科学大学)	0.545	22-12
3	岡嶋	(龍谷大学)	0.522	23-12
4	寒川	(龍谷大学)	0.467	15-7
5	丸岡	(滋賀大学教育学部)	0.433	30-13
6	三ツ井	(滋賀大学教育学部)	0.421	19-8
7	池見	(龍谷大学)	0.407	27-11
8	田中	(京都先端科学大学)	0.390	12-3
9	深尾	(花園大学)	0.389	18-7
10	横田	(滋賀大学教育学部)	0.364	19-7

優勝チーム主将コメント

龍谷大学 主将 宮下 敬伍
私たち龍谷大学は2018年秋季リーグ以降優勝を逃してきました。今春こそ必ず優勝し、全日本選手権へ勝ち上がると意気込んで春のキャンプから、チーム一丸で練習してきました。しかし、新型コロナウイルスの影響で春季リーグ戦は中止、活動休止を余儀なくされました。4回生と戦う最後の秋季リーグ戦、必ず優勝して4回生に有終の美を飾れるよう7月の活動再開移行チーム一丸となって練習に取り組みました。リーグ戦では、接戦や劣勢で厳しい試合もありましたが最後まで粘りの野球で7勝1敗で優勝することができました。4月以降練習でできず、難しい中で迎えたリーグ戦でしたがその状況でも優勝できたことは今後の財産になると思います。この優勝の経験を生かしてチームの目標である「全日本選手権出場」に向けて日々鍛錬していきます。

学生委員長コメント

学生委員長 横田 航大
今回の京滋六大学準硬式野球秋季大会は、新型コロナウイルスの影響で京都大学が不出場になり、非常に苦しい状況での開幕でした。あと1チームでも新型コロナウイルスの影響で出場できなければ、大会自体が中止になってしまう状況で連盟独自の感染対策を考え、それを徹底しました。
例えば、検温・手指消毒はもちろん、各チームでの接触を減らすために球場内での動線を工夫しました。非常に不安がある中での大会運営にはなりましたが、理事の方々、球場の方々、審判の方々、そしてチームの選手の協力のもと無事大会を終えることができました。来春の大会もまた同じような状況が考えられるので、この経験を生かしていきたいです。

西都六大学準硬式野球連盟

秋季リーグ戦

◎2020年9月22日 伊丹スポーツセンター

第1試合 開始時刻9:00 終了時刻11:03

大手前大学	1 0 3 0 2	6
摂南大学	0 1 3 9 x	13
	(5回コールド)	

(大手前) 山緑一長井
(摂南) 波田・西一柴田
☆三塁打 井上祐・川野・鞆浦(摂南)
☆二塁打 水谷(大手前)
田淵・井上祐・川野(摂南)
(戦評) 序盤、大手前大学がリードするものその後摂南大学が反撃し着実に得点を重ね摂南大学が勝利した。

第2試合 開始時刻11:45 終了時刻13:47

京都橘大学	0 0 0 1 0 0 0 0	1
桃山学院大学	0 0 4 0 0 2 0 2	8
	(8回コールド)	

(京都橘) 奈須一溝部
(桃山) 三好・蔵一後藤
☆三塁打 飯橋・棟羽(桃山)
☆二塁打 田口(桃山)
(戦評) 3回に桃山学院大が4点を先制しその後も得点も重ねた。投げて三好、蔵の継投で8-1で勝利した。

第3試合 開始時刻14:20 終了時刻16:33

大阪産業大学	0 0 4 0 0 0	4
京都産業大学	6 1 0 1 3 3	14
	(6回コールド)	

(大産) 牧野・小高一高原
(京産) 石田一服部
☆三塁打 幡中(京産)
☆二塁打 山内(大産)
難波・遠藤・西村・幡中・吉田(京産)
(戦評) 初回京都産業大学は6点を先制しその後も得点を重ね14-4で勝利した。

◎2020年9月24日 伊丹スポーツセンター

第1試合 開始時刻9:01 終了時刻11:12

桃山学院大学	0 0 0 0 3 0 0 0	3
京都産業大学	0 0 0 0 0 6 1 3 x	10
	(8回コールド)	

(桃山) 三好・田口一後藤
(京産) 藤井一服部
☆二塁打 後藤・飯橋(桃山)
(戦評) 両チーム無得点で迎えた5回に桃山学院が3点を先制。しかし、その後京産業大が逆転し10-3で勝利した。

第2試合 開始時刻11:40 終了時刻13:23

大阪産業大学	7 0 1 0 2 3 0	13
大手前大学	0 0 2 3 0 1 4	10
	(7回コールド)	

(大産) 小高・山田成・西田・牧野一高原・山田莞
(大手) 笹原・水谷・門田一長井
☆三塁打 鈴木・田村・中川・大西(大産)

☆二塁打 中島(大産)
水谷(大手)

(戦評) 初回大阪産業大が7点を先制するものその後大手前が反撃。しかし時間切れで大阪産業大が勝利した。

第3試合 開始時刻14:00 終了時刻16:23

摂南大学	1 0 4 2 1 1 3	12
京都橘大学	1 0 0 0 1 0 2	4
	(7回コールド)	

(摂南) 畑中・島田・宮崎一柴田
(京産) 奈須・塩田一西村
☆本塁打 鞆浦(摂南)
ランニングホームラン
(戦評) 3回から摂南大の、打線が爆発し12-4で勝利した。

◎2020年9月26日 ベイコム野球場

第1試合 開始時刻9:06 終了時刻11:12

摂南大学	2 0 0 2 0 0 0 0 0	4
大阪産業大学	0 0 0 0 1 0 1 0 0	2
	(摂南) 中谷・波田・島本一柴田	

(大産) 牧野・小高一高原
☆二塁打 田淵②(摂南)
(戦評) 初回に摂南大が2点を先制。その後大産大も得点するが摂南大が4-2で接戦を勝利した。

第2試合 開始時刻11:40 終了時刻13:31

京都産業大学	1 0 1 1 1 3 0 2	9
京都橘大学	1 0 0 0 0 0 1 0	2
	(8回コールド)	

(京産) 小川・島田一堀井・服部
(京都橘) 川瀬一廣中
☆本塁打 木村秀②(京産)
☆二塁打 曾我部(京産)
(戦評) 京都産業大の木村のホームランなどで得点を重ねて9-2で勝利した。

第3試合 開始時刻14:02 終了時刻16:12

大手前大学	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0
桃山学院大学	0 2 0 3 0 0 0 2 x	7
	(8回コールド)	

(大手) 笹原・門田一長井
(桃山) 蔵・城本一後藤
☆三塁打 棟羽・島田(桃山)
☆二塁打 浪花・上村・嶋田・築山(桃山)
笹原(大手)
(戦評) 桃山学院は初回から着実に得点を重ね、守っても蔵と城本の好投で7-0で勝利した。

◎2020年9月30日 伊丹スポーツセンター

第1試合 開始時刻9:05 終了時刻11:00

京都橘大学	0 4 5 1 4 1 4	19
大手前大学	2 0 0 4 0 0 0	6
	(7回コールド)	

(京都橘) 奈須一木村
(大手) 笹原・門田一長井
(戦評) 2回に京都橘が先制しその後も得点を重ね19-6で勝利した。

第2試合 開始時刻11:30 終了時刻13:37
撰南大学 00010000 | 1
京都産業大学 00610001x | 8
(撰南) 畑中・島本一柴田
(京産) 藤井一服部
☆二塁打 井上祐 (撰南)
遠藤・幡中 (京産)
(戦評) 3回に京都産業大が先制し8-1で勝利した。

第3試合 開始時刻14:02 終了時刻16:35
桃山学院大学 00020102 | 14
大阪産業大学 1002013 | 7
(7回コールド)
(桃山) 三好・蔵・田口一後藤
(大産) 小高・森本一高原
(戦評) 序盤はロースコアで試合が進むも6回に桃山学院大が10得点し勝利した。

◎2020年10月2日 ベイコム野球場
第1試合 開始時刻9:11 終了時刻11:21
大阪産業大学 01010000 | 2
京都橘大学 31101003 | 9
(8回コールド)
(大産) 末次・森本一山田・山内・高原
(京橘) 塩田・西野一木村
☆本塁打 西村 (橘)
☆二塁打 西田・山内 (大産)
西村・庄司 (橘)
(戦評) 初回に橘が先制しその後も得点を重ね9-2で勝利した。

第2試合 開始時刻11:58 終了時刻13:32
桃山学院大学 45130000 | 13
撰南大学 00351000 | 9
(8回コールド)
(桃山) 三好・田口・蔵本・平野一後藤・浪花
(撰南) 中谷・畑中一柴田
☆二塁打 浪花 (桃山)
山口・川野・井上学・村松・中谷 (撰南)
(戦評) 初回から桃山学院が得点をあげるもその後、撰南も反撃。しかし、桃山学院がそのまま逃げ切り勝利した。

第3試合 開始時刻14:05 終了時刻16:04
京都産業大学 12350 | 11
大手前大学 00000 | 0
(5回コールド)
(京産) 小川、武口、石田一堀井、服部
(大手) 山田一笹原
☆三塁打 幡中・難波 (京産)
☆二塁打 西村 (京産)
(戦評) 初回から京都産業大が得点をあげ、投げて小川、武口、石田の3人リレーで無失点に抑え勝利した。

◎個人表彰
最優秀選手賞 難波 拓真 京都産業大学初
最優秀投手賞 藤井 陽平 京都産業大学初
敢闘賞 平野 樹 桃山学院大学初
新人賞 幡中 優樹 京都産業大学

◎打撃部門
首位打者 幡中 優樹 京都産業大学
6割3分2厘 初
最多打点賞 後藤 夏空 桃山学院大学
11打点 2
最多本塁打賞 木村 秀悠 京都産業大学
2本 初
最多盗塁賞 平野 樹 桃山学院大学
6個 初
山口 天成 撰南大学
6個 初

◎投手部門
最多勝利投手賞 藤井 陽平 京都産業大学
2勝 初
小川 亮太 京都産業大学
2勝 初
蔵 拓也 桃山学院大学
2勝 初
防御率1位投手賞 小高 大翔 大阪産業大学
0.947 初

◎打撃十傑
1位 幡中 優樹 京都産業大学
0.632 22-19-12
2位 田淵 一輝 撰南大学
0.563 16-16-9
3位 築山 怜矢 桃山学院大学
0.529 21-17-9
4位 川野 仁気 撰南大学
0.500 16-16-8
5位 大西 啓太 大阪産業大学
0.461 16-13-6
5位 井上 祐太 撰南大学
0.461 14-13-6
7位 後藤 夏空 桃山学院大学
0.429 22-21-9
7位 西川遼太郎 大手前大学
0.429 16-14-6
9位 上村 将大 桃山学院大学
0.421 19-19-8
10位 難波 拓真 京都産業大学
0.412 19-17-7

◎ベストナイン
投手 藤井 陽平 京都産業大学 初
捕手 後藤 夏空 桃山学院大学 3
一塁手 該当者なし
二塁手 遠藤 俊平 京都産業大学 初
三塁手 難波 拓真 京都産業大学 初
遊撃手 棟羽 祐真 桃山学院大学 初

	京産	桃山	撰南	京橘	大産	大手	勝敗	勝点	順位
京都産業大学		○	○	○	○	○	5勝	15	優勝
桃山学院大学	●		○	○	○	○	4勝1敗	12	2位
撰南大学	●	●		○	○	○	3勝2敗	9	3位
京都橘大学	●	●	●		○	○	2勝3敗	6	4位
大阪産業大学	●	●	●	●		○	1勝4敗	3	5位
大手前大学	●	●	●	●	●		5敗	0	6位

京阪神・II部準硬式野球連盟

秋季リーグ戦

©2020年9月27日 兵庫教育大学G

第1試合 開始時刻10:43 終了時刻12:46

兵庫教育大学 013510 | 10

兵庫県立大学 110100x | 12

(6回コールド)

(兵) 福田・小川・池田

(県) 徳・渡邊・山片

☆本塁打 板戸 (兵)

安藤 (県)

☆二塁打 原西2・高瀬・池田 (兵)

清水 (県)

(戦評) 令和二年度の秋季リーグの開幕戦は、白熱の打撃戦となった。両チーム合わせて二本の満塁弾が飛び出し、初戦にふさわしい熱戦が繰り広げられた。

第2試合 開始時刻13:31 終了時刻15:35

成蹊大学 000000001 | 1

森ノ宮医療大学 00000200x | 2

(成) 橘・影山・西山

(森) 杉本・山下 (将)

☆二塁打 久下・和田 (成)

井上 (森)

(戦評) 初戦とは打って変わり、第2試合は投手戦となった。杉本・橘両投手の好投が目立ったが、最後まで投げぬいた杉本に軍配が上がった。

©2020年10月4日 兵庫教育大学G

第1試合 開始時刻10:28 終了時刻12:24

兵庫県立大学 010010004 | 6

森ノ宮医療大学 001000000 | 1

(県) 徳・山片

(森) 杉本・石田・山下 (将)

☆本塁打 渡邊 (県)

☆三塁打 伊藤 (県)

(戦評) 徳 (県) が九回一失点と好投をみせ、打っては渡邊 (県) が本塁打を放つなど投打が噛み合い、県立は二勝目を飾った。

第2試合 開始時刻13:09 終了時刻15:14

京都教育大学 00400010 | 5

成蹊大学 00004101x | 6

(8回コールド)

(京) 内藤・宮本・山尾

(成) 橘・影山・西山

☆三塁打 児玉 (京)

☆二塁打 小倉 (京)

伊東・久下 (成)

(戦評) 最終回まで同点でもつれ込む接戦となった。両チーム最後まで粘ったが、相手のミスを見逃さなかった成蹊がサヨナラ勝ちを収めた。

©2020年10月11日 兵庫教育大学G

第1試合 開始時刻10:36 終了時刻12:16

京都教育大学 01002 | 3

兵庫県立大学 14300x | 17

(5回コールド)

(京) 宮本・大伏・武田・村上・内藤・山尾

(県) 徳・北尻・山片・川上

☆二塁打 有田2 (京)

中島・安藤・清水・分銅 (県)

(戦評) 県立の打線が爆発し、一方的な展開となった。相手の隙を見逃さず、四死球と長打を絡めて大量得点を奪った。

第2試合 開始時刻13:04 終了時刻15:09

兵庫教育大学 200000000 | 2

森ノ宮医療大学 03110002x | 7

(兵) 福田・小川・池田

(森) 杉本・山下 (将)

☆二塁打 原西 (兵)

山下将・石本・南 (森)

(戦評) 杉本 (森) が九回を力投し、兵教打線を二点に封じ込めた。打撃では勝負強さが目立ち、チャンスを確実にものにしていた。

©2020年10月18日 兵庫教育大学G

第1試合 開始時刻11:58 終了時刻13:18

大阪大谷大学 10100 | 2

森ノ宮医療大学 02181x | 12

(5回コールド)

(大) 増田・竹内・大岡・井ノ上

(森) 杉本・山下 (将)

☆三塁打 井ノ上 (大)

☆二塁打 飯川・田中・伊藤・藤岡 (森)

(戦評) 森ノ宮打線が爆発し、勝利を勝ち取った。四回には八安打の猛攻をみせ、一挙に八得点を奪った。

第2試合 開始時刻13:56 終了時刻16:10

京都教育大学 0000001 | 1

兵庫教育大学 2000105 | 8

(7回コールド)

(兵) 林・小川・池田

(京) 内藤・山尾

☆本塁打 原西・金井 (兵)

☆三塁打 有田 (京)

☆二塁打 大伏・有田・吉川 (京)

原西・高瀬・池田・出口2 (兵)

(戦評) 金井・原西 (兵) に豪快な一発が飛び出し、兵教が華麗に勝利を飾った。投げては林・小川 (兵) の継投がはまり、相手打線に的を絞らせなかった。

©2020年10月24日 兵庫教育大学G

第1試合 開始時刻10:32 終了時刻12:33

成蹊大学 00000202 | 4

兵庫県立大学 10011010 | 4

(8回引き分け)

(成) 影山・橘・西山

(県) 立岩・清水・山片

☆二塁打 久下・古井 (成)

安藤・山片 (県立)

(戦評) 両チームとも投手が好投し、試合は引き分けにもつれ込んだ。成蹊は最終回、粘りの攻撃で二点をもぎ取り同点とした。

©2020年10月25日 兵庫教育大学G

第1試合 開始時刻9:27 終了時刻11:38

成蹊大学 104213 | 11

兵庫教育大学 330010 | 7

(6回コールド)

(成) 橘・影山・西山・安積

(兵) 福田・小川・池田・池田・小川

☆二塁打 伊藤・和田・安積・西山 (成)

(戦評) 両チームとも打線の好調が目立ち、打撃戦となった。四本の長打を含む十三安打の成蹊が打ち勝ち、勝利を飾った。

第2試合 開始時刻12:26 終了時刻14:31

京都教育大学 000114000 | 6

森ノ宮医療大学 10020053x | 11

(京) 宮本・山尾

(森) 杉本・山下将・石田・山下 (将)・中西

☆三塁打 伊藤 (森)

☆二塁打 内藤・武田・西岡2・山尾 (京)

田中3・南 (森)

(戦評) 前半は京教優勢で進んだ試合だったが、後半打線が噛み合った森ノ宮が逆転勝ちを収めた。森ノ宮のチャンスでの勝負強さが目立った一戦だった。

第3試合 開始時刻15:04 終了時刻17:00

兵庫県立大学 010000301 | 5

大阪大谷大学 000000000 | 0

(県) 立岩・山片

(大) 増田・田邊・森田・井ノ上・森田

☆二塁打 佐藤 (県立)

(戦評) 立岩 (県立) が一安打完封の好投をみせ、県立が勝利を収めた。攻撃では少ないチャンスを確実にモノにし、得点を積み重ねた。

	県立	森ノ宮	成蹊	兵教	京教	大谷	勝 敗	勝点
兵庫県立大学		○6-1	△4-4	○12-10	○17-3	○5-0	4勝0負1分	9
森ノ宮医療大学	●1-6		○2-1	○7-2	○11-6	○12-2	4勝1負0分	8
成蹊大学	△4-4	●1-2		○11-7	○6-5	○-	3勝1負1分	6
兵庫教育大学	●10-12	●2-7	●7-11		○8-1	○-	2勝3負0分	4
京都教育大学	●3-17	●6-11	●5-6	●1-8		○-	1勝4負0分	2
大阪大谷大学	●0-5	●2-12	●-	●-	●-		0勝5負0分	0

◎個人表彰

最 多 勝	杉本 剛士 (森ノ宮医療大学)
	4 勝
最優秀防御率	立岩 雅之 (兵庫県立大学)
	2.11
首 位 打 者	有田龍之介 (京都教育大学)
	0.5
最 多 打 点	安藤 友希 (兵庫県立大学)
	7 点
最 多 本 塁 打	板戸 駿 (兵庫教育大学)
	安藤 友希 (兵庫県立大学)
	渡邊 悠介 (兵庫県立大学)
	金井翔太郎 (兵庫教育大学)
	原西 孝哉 (兵庫教育大学)
	1 本
最 多 盗 塁	立岩 雅之 (兵庫県立大学)
	4 個
最 多 出 塁	清水 信志 (兵庫県立大学)
	原西 孝哉 (兵庫教育大学)
	10 出塁

◎ベストナイン

投 手	杉本 剛士 (森ノ宮医療大学)
捕 手	西山 大雅 (成蹊大学)
一塁手	和田 雄仁 (成蹊大学)
二塁手	立岩 雅之 (兵庫県立大学)
三塁手	飯川 大輝 (森ノ宮医療大学)
遊撃手	原西 孝哉 (兵庫教育大学)
外野手	久下 洋典 (成蹊大学)
外野手	有田龍之介 (京都教育大学)
外野手	安藤 友希 (兵庫県立大学)

◎打撃十傑

1	有田龍之介 (京都教育大学)	0.500	14-7
2	原西 孝哉 (兵庫教育大学)	0.466	15-7
3	伊藤 悠也 (森ノ宮医療大学)	0.444	9-4
4	和田 雄仁 (成蹊大学)	0.428	14-6
5	南 麻布 (森ノ宮医療大学)	0.416	12-5
6	久下 洋典 (成蹊大学)	0.400	15-6
6	小川 星治 (兵庫教育大学)	0.400	15-6
8	西山 大雅 (成蹊大学)	0.384	13-5
8	立岩 雅之 (兵庫県立大学)	0.384	13-5
8	飯川 大輝 (森ノ宮医療大学)	0.384	13-5

優勝チーム主将コメント

兵庫県立大学姫路校

主将 相川 和希

3年ぶりのリーグ優勝とてもうれしく思います。昨年は2位と悔しい思いをしました。コロナの影響もあり十分な練習は行えなかったのですが、その悔しい思いを胸に日々努力を積み重ねた結果が今大会で現れたと思います。目標の全勝優勝とはなりませんがチーム一丸全員野球で優勝をつかめたので100点満点のリーグ戦だったのではないかと思います。

学生委員長コメント

学生委員長

兵庫県立大学姫路校 佐藤 進夢

春季リーグが中止となり、秋季リーグも例年より1か月遅れての開催となりましたが、無事に閉幕することができました。棄権試合もあり、全ての試合を行えなかったことが非常に残念でした。

2021年春季リーグは、全ての試合を各大学が万全の状態で行えるよう願っています。

令和2年度 中国地区大会成績



中国地区大学準硬式野球秋季大会

©2020年11月21日 倉敷マスカットスタジアム

第1試合 開始時刻8:55 終了時刻10:52

岡山大学 00200000 | 2
下関市立大学 00023003 | 8
(8回コールド)

(岡) 平子・高田ー窪内
(下) 大野ー浦上
☆本塁打 西川 (下)
☆三塁打 高田 (岡)
☆二塁打 丹田・関本 (下)



第2試合 開始時刻11:23 終了時刻13:20

鳥取大学 35064000 | 18
岡山大学 01000007 | 8
(7回コールド)

(鳥) 三宅・倉地・田嶋・王尾ー牧田
(岡) 松本・吉原・桑原ー竹内・西
☆本塁打 西 (岡)
☆三塁打 牧田 (鳥)
下江 (岡)
☆二塁打 清水・山下・濱口・森山 (鳥)
尾原・岡・桑原 (岡)

第3試合 開始時刻14:08 終了時刻16:05

山口大学 4300204 | 13
広島大学 0020001 | 3
(7回コールド)

(山) 藤井ー池井
(広) 鎌田・堺・鍵廣ー成瀬
☆三塁打 金石 (山)
☆二塁打 高橋・池井・金石 (山)

©2020年11月21日 倉敷マスカットスタジアム補助球場

第1試合 開始時刻9:00 終了時刻10:56

広島修道大学 130010410 | 10
吉備国際大学 100000000 | 1
(修) 岡野・竹本・藤原ー下山
(吉) 上田・柳田ー宗
☆本塁打 山口 (修)
☆三塁打 堂面 (修)
☆二塁打 堂面・大歳・川崎 (修)



第2試合 開始時刻11:25 終了時刻13:25

広島修道大学 1002244 | 13
島根大学 0000000 | 0
(7回コールド)

(修) 竹之内・中條ー角舂
(島) 羽原・洲濱ー横田・乙原
☆三塁打 白石2・大井 (修)
☆二塁打 井上・清水2・滑 (修)



第3試合 開始時刻14:05 終了時刻16:05

広島国際大学 00000000 | 0
海上保安大学校 000000111 | 12
(8回コールド)

(広) 足立ー國吉
(海) 山田ー小林
☆二塁打 廣澤・重安2・山下 (海)



©2020年11月22日 倉敷マスカットスタジアム

第1試合 開始時刻8:55 終了時刻11:00

下関市立大学 01000000 | 1
山口大学 01000001x | 2
(8回コールド)

(下) 陽川・西川ー浦上
(山) 山口・小坂ー池井
☆二塁打 伊原 (下)

第2試合 開始時刻11:35 終了時刻14:27

鳥取大学 023010 | 6
広島大学 006030 | 9
(6回コールド)

(鳥) 王尾ー牧田
(広) 鎌田ー成瀬
☆二塁打 柴田 (広)



©2020年11月22日 倉敷マスカットスタジアム補助球場

第1試合 開始時刻8:57 終了時刻10:49

川崎医科大学 0000003 | 3
海上保安大学校 163083x | 21
(7回コールド)

(川) 大原・吉田ー今村
(海) 小枝・松中ー小林・山下
☆本塁打 重安 (海)
☆三塁打 松中 (海)
☆二塁打 石島 (川)
廣澤・山根・小林 (海)

第2試合 開始時刻11:27 終了時刻13:20

島根大学 06302200 | 13
広島国際大学 01000000 | 1
(8回コールド)

(島) 山内・鈴木ー乙原
(広) 加井・足立ー國吉
☆三塁打 山内・伊藤 (島)
☆二塁打 乙原2・山内・西原・岩倉・横田 (島)



明治大学OB 吉岡 洋介氏 笠岡市名誉市民推戴・外務大臣表彰

明治大学OBで岡山県を代表する企業ローム・ワコー株式会社名誉会長の吉岡洋介氏が岡山県笠岡市の名誉市民に推戴されました。

吉岡洋介氏の経歴、役職は下記の通りです。一昨年には諸外国との友好親善関係の増進に多大な貢献をしている個人として外務大臣表彰も受賞されています。

吉岡洋介氏は明治大学入学時には硬式野球部に入部するも、後にプロ野球入りする土屋弘光氏などのプレーに圧倒され2年時より準硬式野球部に転部する。

2年時の春季リーグ戦では1番ショートで出場し、.410の高打率で首位打者を獲得する。その後リーグ戦優勝3回、第5回全日本選手権大会優勝を飾る。

4年時には現役、OBの総意により主将となる。吉岡氏はこれらの経験が人格形成に大きな影響を受け、チーム全体の力を引き出すリーダーの役割を学ぶことができた。延いては会社経営で欠かすことのできない組織マネジメントを学ぶことができたと振り返っておられます。

また、明治大学準硬式野球部OB会長の古賀國利氏によると、明治大学で通算36年監督を務められた柴田元監督（故人）が在任中の明治大学ベストナインに1番ショート吉岡を選んでいたことを証言されています。

私も一度お会いしたことがありますが、小柄な中にも年齢にそぐわぬ若々しさは野球で鍛え、産業界で活躍されている賜物であると確信致しました。

野球の活躍度も、産業界でのご活躍も足元にも及びませんが、吉岡様の若々しさと前向きな姿勢を見習いたいと思っています。

誠に恐縮ではございますが、吉岡様のこれからも益々のご活躍とご健康を祈念して、全日本大学準硬式野球連盟の役員、選手他の皆様へのご報告いたします。

中国大学準硬式野球連盟 理事長 榊原 康史



よし おか よう すけ
吉 岡 洋 介 氏

昭和8年3月10日生（86歳）
会社役員

経歴

- 昭和31年3月 明治大学商学部卒業
- 昭和31年4月 株式会社甲の屋入社
- 昭和41年8月 ワコー電器株式会社設立 代表取締役就任
- 昭和53年4月 笠岡商工会議所会頭就任（至 昭和62年4月）
- 昭和62年10月 ローム・ワコー・マレーシア社設立 代表取締役社長就任
- 平成元年3月 ローム・ワコー・ケランタン社設立 代表取締役社長就任
（現 ローム・ワコー・エレクトロニクス（マレーシア）社）
- 平成5年4月 財団法人ワコースポーツ振興財団設立 理事長就任（至 現在）
- 平成8年2月 ワコー電器株式会社 代表取締役会長就任
- 平成12年10月 ワコー電器株式会社からローム・ワコー株式会社に社名変更
- 平成15年7月 ローム・ワコー株式会社 取締役名誉会長就任
- 平成22年6月 ローム・ワコー株式会社 名誉会長（至 現在）
- 平成23年4月 ローム・ワコーデバイス株式会社を吸収合併

役職

- 株式会社甲の屋 代表取締役会長
- Y&G、ディストリビューター株式会社 代表取締役社長
- 岡山経済同友会 幹事
- 岡山県経営者協会 理事
- 中国納税貯蓄組合連合会 監事
- 笠岡国際交流協会 会長
- 岡山県産業教育振興会 理事



明治大野球部の仲間と。左から吉岡、沖本、秋山、黒木氏
（秋山氏ら3人は大洋ホエールズに入団）



昭和29年東京六大学春季リーグ戦で優勝した明治大学準硬式野球部。前列左から2人目が吉岡氏。



外務大臣表彰

令和2年度
四国地区大会成績

コロナ禍に思う

四国地区大学準硬式野球連盟

会長 戸城 哲夫

本年度は、大学準硬式野球の大会はすべて中止となった。準硬式野球に取り組んでいる学生諸君には、本当に気の毒に思う。自分の学生時代にこのような事態になっていたかどうかと考えると、学生諸君の想像を絶する無念が身に染みる。

私事で大変恐縮だが、私はキャプテン時代に宿敵にリベンジし、四国チャンピオンになった。そして全国大会（神宮）に出場し、1勝できた。今年のように、コロナ禍に見舞われていたら、これらすべては消えていたのだ。準硬式野球に明け暮れた日々は、青春時代の思い出はもちろん、当時のチームメイトが毎年のように大阪で会って、懐かしく語り合う今につながっているのである。社会人になっても、生活の様々な場面で、よきスパイスになっていたことを実感する機会ともなっている。

平凡に、毎年、無事に行われていた大会も、それぞれに大きな意味を持っていたこと、これはコロナ禍になり、失われてはじめて気づかされたことである。

野球だけでなく、授業も、そしてアルバイトも困難になったと聞く。生活の糧やチャレンジの機会等々、ことごとく奪われていったことは現役生、特に4年生には残念な残酷な年になったと思う。どこにも怒りや悔しさをぶつける場所がないだけに、なおさらもどかしいことと思う。ただ、人生においては思いもかけない、予想できなかったことが起こることもある。その時、それまでの様々な経験・体験が生きてくるだろう。苦労や苦悩をプラス思考に変えてポジティブになれるならば、その後に大いに生きると思うのである。

頭ではわかっている、心の整理は簡単ではないだろう。先輩として、学生諸君に何か激励できればと思うが、言葉が思いつかない。野球ができるようになったら、大学生活が再開できたら、アルバイトがまた忙しくなったら、「その時」をイメージして乗り越えていってほしい。「その時」の楽しさはこれまでの何倍にもなって帰ってきてくれることと思う。

来年はブロック大会、再来年は全国大会が高松で開催される予定である。希望をもって、これらの大会を目指して日々過ごしてほしい。「その時」、学生諸君の躍動する姿が見られることを楽しみにしている。

令和2年度に思うこと

理事長 丸吉 章

令和2年2月初旬、各県球場の手配もつき、大会スケジュールを決める。審判の手配、傷害保険等の手配もして、2月末の春季大会打ち合わせ会準備をする。

このころから、新型コロナウイルス感染拡大が始まり、対面会議を中止し、打ち合わせ資料を各チームに送付するのみとした。このように、国より学校登校自粛等の措置があり、4月の春季大会は中止した。その後、全日本2大会の代表決定するため、5月にトーナメント大会を組んだが、これもコロナ感染拡大が落ち着かず中止、同時に6月末〜7月初旬の四国インカレ（四国内国立大学主管）も中止となる。どうにかして、全日本大会の代表決定をしなければ、昨秋季大会ベストフォー4チームでの試合も計画したが、全日本連盟より、全日本2大会中止の連絡があり、これも中止とした。

このような状況の中、高野連で8月、各県で独自の大会を開くこととなった。新型コロナウイルス感染予防対策を講じての大会開催であったが、香川県高野連の予防対策を含めた大会運営を見学し、秋季大会に備えた。8月末秋季大会の打ち合わせをすることとしたが、他県への移動自粛が続いており、メールでの周知とした。9月末から10月中旬にかけて、予選リーグ、決勝トーナメントを組んで準備をしていた。加盟チーム大半の大学が対外試合禁止、クラブ活動の制限があり、感染予防含め選手の健康管理を考え中止とした。10月になれば、制限も解けるかでトーナメント大会を計画したがこれも中止。最後に、参加自由の交流試合にしたらず、各チーム大学の許可をお願いしたが、それもうまくいかず取りやめとしました。9ブロック大会も中止となり、全中国との交流試合も中止となり、四国内、令和2年度の大会はすべて中止となりました。

高知工科大学の加盟もあり、盛り上がりのあるシーズンとなるどころでしたが、新型コロナウイルス感染予防のため、加盟11チームの部員、役員にとっては非常に残念なシーズンとなりました。

令和3年度には9ブロック大会、4年度には選手権大会を四国連盟主管で開催することになっています。（高松市・丸亀市にて）加盟11チーム選手諸君には、全日本大会出場を目指して、奮闘されんことを期待するとともに、この全日本2大会の運営について、マネージャーも含め全員一丸となり、素晴らし運営が出来ること楽しみにしています。

副理事長 前川 定久

今年は、新型コロナの深刻な影響により、全国大会をはじめ、各地方大会も中止となり、大学4年間の生涯を通じて、貴重な青春の思い出を作るべき、大事な1年間が、対外試合も無く、トレーニングのみにて経過していくこ

とは、誠に残念です。しかし、この大学でのクラブ活動は、わずか4年足らずですが、私にとって、卒業後何十年経っても、懐かしい思い出として、今日も強い印象を心に刻んでいます。このクラブ活動を通じての友人こそ、永久にフランクに付き合える、パートナーになっていくと思います。このコロナ禍の1年を稀有な体験として、クラブ仲間全員と認識を共有することで、これからのさまざまな、生涯の試練に積極的に挑戦していただく。

愛媛大学 責任者 田邊 滉詞

個人的には、なんともやりにくいシーズンだった。チームの幹部になり、出来る限り献身的に動いてきたつもりだったが、なかなか試合が組めなかったり、課外活動対しての大学の規制が厳しかったりと、努力は実らないことが多かった。チームについては、相次ぐ公式戦の中止や、3回生の不本意な引退、制限された少なくて短い練習時間、大学から練習試合の許可が出ずに、新チームの実力もはっきりしない状態であることなど、総じて悔しく、煮え切らないシーズンだったと言える。このような中でも唯一、新入部員の確保だけは、努力が実ったと思う。マネージャーが入らなかったことが心残りだが、選手の人数としては、想定を越えてきた。それでも3回生よりも人数が少ないので、できる練習が以前に比べて限られてしまうことに違いはないが、野球部として成立する程度までは頑張れた。最近は秋季大会と交流戦が中止になった時から、来年の春に怯えさせられている。このままの状態を迎えられるほど春が甘くないことは理解しているつもりだが、対策がしにくい。今シーズンの残りの課題はこの苦難の解消に努めることであると言える。

松山大学 責任者 安部 拓己

今年は新型コロナウイルスの影響で大会等が中止となり厳しく辛い1年となりましたが、来年こそはすべての大会において良い成績が収められるよう精一杯頑張ります。

徳島大学医学部 責任者 金島 慶大

2月頃から続く新型コロナウイルス感染症の流行により、今シーズンは試合ができないまま終わってしまい少し残念なシーズンだった。昨年の秋リーグを香川大との同率優勝で終えることができ、新チームとして少し手応えを感じていての今シーズンだったので、もどかしい形でのシーズン終了となってしまった。主力が多く抜け、全く別のチームとしてのスタートとになるので、この秋、冬としっかり練習をして来春のリーグ戦で良い結果が残せるように頑張りたいと思う。

香川大学 責任者 村尾 尚真
新型コロナウイルスの影響で今シーズンは大会を一つも行うことができなく非常に残念でした。今シーズン大会ができなかった分、来年大会ができれば後輩たちには思う存分楽しんで野球をしてもらいたい。

————— * —————

高知工科大学 責任者 松森 建人
初参戦となるはずだったリーグ戦や大会等がコロナの為、中止になったのはとても残念です。しかしまだ終わった訳ではないので、次のシーズンを万全な状態で迎えられるようこれからも練習に励んでいきます。これからもよろしくお願いします。

————— * —————

愛媛大学医学部 責任者 窪田 悠真
今シーズンは大会含め公式戦を一つも戦えずに終わってしまい、大変残念に思います。その分来季の春リーグ、中四国大会、西医体という3つの大きな大会でチームが充実した結果を残すことを期待しています。

————— * —————

高知県立大学 責任者 征矢野圭佑
今年は例年とは違いなかなか思うように活動できず、不完全燃焼になってしまったので、これから来年に向けての準備を抜かりないようにしたいです。

————— * —————

四国学院大学 責任者 林 大智
今シーズンは例年より一部昇格への思いが強かったので、練習内容など見直すなど、個々の目標など上げてやってきたのですが、リーグ戦が無くなってとても残念な気持ちでいっぱいです。

————— * —————

香川大学医学部 責任者 大久保佑亮
今年の春から、オフが明け、練習の日々が続き、春リーグにむけてさあ！と思っていた矢先、新型コロナウイルスの影響により中止となり、チームの練習も禁止を余儀なくされました。そして、グラウンドを使うことさえも禁止されたため、野球のできない期間が長く続きました。そして、7月より、練習の許可が出され、それ以来、試合の許可が出る日が来るのを望みながら、一部メンバーは制限がかけられ、チームとして万全な状態とは言えない中ではありますが、日々練習に励んでいます。10月より、連盟主催の試合は許可するとの連絡がありましたので、ここに連絡いたします。

————— * —————

徳島文理大学 責任者 柳原 廉
今年度は新型コロナウイルスにより、全ての大会が中止になってしまい、とても残念でした。来年度は全ての大会が実施出来るように感染対策を徹底していきたいと思います。

高知大学医学部 責任者 吉原 太郎
今年は多くの人が未経験の出来事に会う大変な年になっていると思います。感染対策という今まであまり気にしなかったことに多くの人々が注力し、特に連盟の方々は各大学が参加する大会等を開催できるよう本当に多大なご尽力をくださったと思います。我々高知大学医学部準硬式野球部一同感謝の意を示すと共に、大会が開催できる日まで可能な限り練習をして力を蓄え、開催できた時には精いっぱいプレーをすることで感謝の気持ちを示していきたいと考えています。今シーズンは残念ながら思うように野球をできない日々が続きましたが、来シーズンにこのような状況を持ち越さないように、チーム内で感染対策について注意を怠らない日々を継続していきたいと考えています。これからご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

令和2年度 春季大会前交歓試合結果

1 試合目

香川大学医学部	1 0 0 0 0 3 0 1 4	9
香 川 大 学	1 0 0 0 2 0 1 9 x	13
(香医)	富永・天雲・大久保・下田・大橋・吉田・土田・山本・田中	
(香大)	林原・中來田・村尾・松家・原田・瀧川・藤本・甲野・三木	
☆三塁打	村尾 (香大)	
☆二塁打	富永 (香医)	
	原田 3・松家・瀧川 (香大)	

2 試合目

香 川 大 学	1 3 0 0 1 0 0 2 0	7
香川大学医学部	0 1 1 0 1 1 0 0 0	4
(香大)	原田・中來田・林原・甲野・竹田・三木・藤本・池尻・村尾・黄・藤田	
(香医)	富永・天雲・大久保・下田・大橋・吉田・土田・松本・山本	
☆本塁打	富永 (香医)	
☆三塁打	林原 (香大)	
☆二塁打	中來田・林原・甲野・村尾 (香大)	
	天雲・山本 (香医)	

愛媛大学医学部	1 0 0 0 1 0 0 0 1	3
愛 媛 大 学	0 0 5 6 0 0 0 0 0	11
(愛医)	薦田・南方・下地・山本・武田・今井・正岡・久保	
(愛媛)	山田・中野・松本・松本・原	
☆本塁打	栢野 (愛医)	
	山中・生田 (愛媛)	
☆二塁打	三好・篠原聖 (愛医)	
	藤村・嘉藤 (愛媛)	

令和2年度 九州地区大会成績





九州六大学準硬式野球

秋季リーグ戦

◎9月19日 春日公園野球場

第1試合

九州大学 000202020 | 6
福岡大学 000000000 | 0

(九) 光武-廣井
(福) 中島・高井・村田-新屋
☆二塁打 原口・吉田 (九)
新屋 (福)

第2試合

福岡教育大学 100000010 | 2
佐賀大学 1010000001x | 3

(教) 懸田-高田
(佐) 牧尾-中村
☆二塁打 佐藤・成清 (佐)
☆三塁打 堀野 (佐)
☆本塁打 鶴田 (佐)

第3試合

西南学院大学 200010000 | 3
久留米大学 00200120x | 5

(西) 田邊-宮田
(久) 浅川-大隈
☆二塁打 中島 (西)
岸川 (久)
☆本塁打 吉瀬 (久)

◎9月20日 筑豊緑地野球場

第1試合

佐賀大学 200231107 | 16
福岡教育大学 200003031 | 9

(佐) 岸川・松井-中村
(教) 小森田・小野・中村-高田
☆二塁打 佐藤2・堀野 (佐)
☆三塁打 門田・成清 (佐)
三好 (教)

第2試合

久留米大学 110030007x | 12
西南学院大学 00001000x | 1

(久) 有屋田-大隈
(西) 野崎・久保・織戸・大山-宮田
☆二塁打 大隈・岸川・福田 (久)
川口・中野大・法村 (西)

第3試合

福岡大学 003001020 | 6
九州大学 000001000 | 1

(福) 西山・村田-荒川
(九) 井上達・井上魁-廣井
☆二塁打 池田・小国・竹山 (福)
☆三塁打 小国 (福)
☆本塁打 善 (福)



◎9月26日 今津運動公園野球場

第1試合

福岡教育大学 0000010 | 1
久留米大学 132003x | 9
(7回コールド)

(教) 懸田・小野-高田
(久) 有屋田・岡野-牛嶋
☆二塁打 牛嶋・西藤 (久)

第2試合

西南学院大学 0000000 | 0
福岡大学 105100x | 7
(7回コールド)

(西) 田邊-宮田
(福) 中島・田中・高井-新屋
☆三塁打 中野大 (西)
☆二塁打 小国・善 (福)

第3試合

九州大学 803004 | 15
佐賀大学 000220 | 4
(6回コールド)

(九) 光武・井上魁-廣井
(佐) 牧尾・溝口・竹中-中村
☆二塁打 近藤・原口・宮本・吉田 (九)
松尾 (佐)

◎9月27日 佐賀ブルースタジアム

第1試合

福岡大学 030000002 | 5
西南学院大学 000000100 | 1

(福) 西山・村田-荒川・新屋
(西) 久保・織戸・野崎-宮田
☆本塁打 善 (福)
☆三塁打 柴田 (福)
☆二塁打 小国・竹山・富崎 (福)
中野詞 (西)

第2試合

佐賀大学 205011000 | 9
九州大学 03020105x | 11

(佐) 岸川・松井-中村
(九) 井上達・井上魁・光武-廣井
☆本塁打 竹中 (佐)
養原 (九)
☆三塁打 立花 (九)
☆二塁打 成清・松尾 (佐)
近藤・吉田2 (九)

第3試合

久留米大学 57001 | 13
福岡教育大学 21000 | 3
(5回コールド)

(久) 浅川-大隈
(教) 小森田・小野・中村-高田
☆三塁打 清水 (教)
☆二塁打 西藤 (久)



◎10月3日 今津運動公園野球場

第1試合

九州大学 000021050 | 8
西南学院大学 000102001 | 4

(九) 光武・井上魁-廣井・立花
(西) 織戸・田邊・沖-宮田
☆本塁打 城戸 (西)
☆二塁打 吉田 (九)
近藤 (西)

第2試合

佐賀大学 000002010 | 3
久留米大学 00020003x | 5

(佐) 溝口・松井-中村
(久) 浅川-大隈

第3試合

福岡教育大学 000000300 | 3
福岡大学 10122020x | 8

(教) 中野・中村・小野-高田
(福) 西山・油川・村田-荒川・新屋

◎10月4日 筑豊緑地野球場

第1試合

久留米大学 000031000 | 4
佐賀大学 000001200 | 3

(久) 有屋田・岡野-大隈
(佐) 岸川・松井-中村
☆本塁打 門田 (佐)
☆二塁打 門田 (佐)

第2試合

福岡大学 102221002 | 10
福岡教育大学 000200000 | 2

(福) 田中・中島・高井-新屋
(教) 懸田-高田
☆本塁打 池田・鬼丸 (福)
☆二塁打 柴田・富崎 (福)
清水 (教)

第3試合

西南学院大学 2 2 7 0 0 1 | 12
九州大学 1 0 0 0 1 0 | 2
(6回コールド)

(西) 久保一宮田
(九) 井上達・井上魁一廣井
☆三塁打 藤田 (西)
☆二塁打 中野大2 (西)



©10月10日 今津運動公園野球場

第1試合

西南学院大学 1 1 2 1 0 0 1 1 | 16
福岡教育大学 0 0 0 0 2 2 4 | 8
(7回コールド)

(西) 織戸・近藤・大山一宮田
(教) 中野・小野一高田
☆三塁打 近本 (西)
☆二塁打 宮田2・藤田 (西)

第2試合

佐賀大学 0 0 0 0 3 0 0 0 0 | 3
福岡大学 0 2 1 0 0 0 6 0 x | 9
(佐) 溝口・松井一中村
(福) 中島・木下一新屋
☆二塁打 佐藤・中村 (佐)
小国 (福)

第3試合

九州大学
久留米大学
※球場の借用時間により、10月25日に延期

©10月11日 福岡大学野球場

第1試合

福岡大学 0 3 0 0 0 0 0 0 5 | 8
佐賀大学 2 0 0 0 0 0 0 2 | 4
(福) 西山一荒川
(佐) 岸川・竹中一中村
☆二塁打 荒川・柴田・富崎 (福)

第2試合

久留米大学 0 3 0 1 0 0 0 0 0 | 4
九州大学 0 0 0 0 2 1 0 0 0 | 3
(久) 有屋田・浅川一大隈
(九) 光武一廣井・立花
☆三塁打 石崎 (久)

第3試合

福岡教育大学 1 0 0 0 0 0 0 0 | 1
西南学院大学 0 0 1 0 5 0 0 x | 6
(8回日没コールドゲーム)
(教) 懸田一高田
(西) 久保一宮田
☆二塁打 中野大・吉村 (西)



©10月17日 今津運動公園野球場

第1試合

久留米大学 0 0 2 0 0 0 0 0 2 | 4
福岡大学 0 2 0 0 0 0 0 0 0 | 2
(久) 木許・浅川一大隈
(福) 西山・中島一荒川
☆二塁打 大隈 (久)
小国 (福)

第2試合

九州大学 2 0 0 0 3 0 1 4 | 10
福岡教育大学 0 0 0 2 0 0 0 0 | 2
(8回コールド)
(九) 光武・森野一立花・廣井
(教) 中村・中野・小野一仙波
☆二塁打 濱野・原口・養原・宮本 (九)
清水 (教)

第3試合

西南学院大学 1 0 0 5 1 2 0 0 0 | 9
佐賀大学 0 3 0 0 1 0 1 0 1 | 6
(西) 田邊一宮田
(佐) 溝口・牧尾一中村
☆三塁打 川口 (西)
☆二塁打 宮田 (西)
佐藤 (佐)

©10月18日 桧原運動公園野球場

第1試合

福岡教育大学 3 1 4 0 0 1 0 0 1 | 10
九州大学 1 0 0 1 0 0 1 0 0 | 3
(教) 懸田一高田
(九) 井上達・井上魁一廣井・立花
☆三塁打 高田 (教)
原口 (九)

第2試合

佐賀大学 0 0 1 0 0 0 0 | 1
西南学院大学 0 0 1 2 2 3 x | 8
(7回コールド)

(佐) 岸川・竹中一中村
(西) 久保・織戸一宮田
☆二塁打 中村 (佐)
中野大 (西)

第3試合

福岡大学 0 1 0 1 0 0 2 1 0 | 5
久留米大学 0 0 0 0 0 2 1 0 0 | 3
(福) 中島一新屋
(久) 有屋田・浅川一大隈
☆本塁打 善 (福)
☆三塁打 鬼丸 (福)
☆二塁打 柴田・善 (福)
吉瀬 (久)



©10月25日 福岡大学野球場

第1試合

九州大学 3 0 0 0 0 0 1 0 0 | 4
久留米大学 0 1 1 0 1 0 0 0 0 | 3
(九) 光武・井上魁一廣井
(久) 木許・有屋田一牛嶋
☆三塁打 吉田 (九)
☆二塁打 大近 (九)
大隈・東郷 (久)



優勝 福岡大学 (優勝決定戦にて)

	福岡大	久留米	九州大	西南大	佐賀大	福教大	勝・敗
①福岡大学		2●4 5○3	0●6 6○1	7○0 5○1	9○3 8○4	8○3 10○2	8勝2敗
①久留米大学	4○2 3●5		4○3 3●4	5○3 12○1	5○3 4○3	9○1 13○3	8勝2敗
③九州大学	6○0 1●6	3●4 4○3		8○4 2●12	15○4 11○9	10○2 3●10	6勝4敗
④西南学院大学	0●7 1●5	3●5 1●12	4●8 12○2		9○6 12○3	16○8 6○1	5勝5敗
⑤佐賀大学	3●9 4●8	3●5 3●4	4●15 9●11	6●9 3●12		3○2 16○9	2勝8敗
⑥福岡教育大学	3●8 2●10	1●9 3●13	2●10 10○3	8●16 1●6	2●3 9●16		1勝9敗

◎10月31日 福岡大学野球場

優勝決定戦

久留米大学 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 0
福岡大学 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 | 1

(延長10回)

(久) 浅川-大隈
(福) 西山-新屋
☆二塁打 善 (福)



◎表彰選手

- ・最優秀選手 西山 侑水 (福岡大学)
- ・優秀選手 浅川 侑哉 (久留米大学)
- ・敢闘選手 吉田 優史 (九州大学)
- ・最優秀防御率 西山 侑水 (九州大学) 0.97
- ・最多勝利投手 該当者なし
- ・最多奪三振 西山 侑水 (福岡大学) 27個
中島 拓朗 (福岡大学) 27個
- ・首位打者 吉田 優史 (九州大学) 0.406
- ・本塁打王 善 遼太郎 (福岡大学) 3本
- ・打点王 法村 颯太 (西南学院大学) 15点
- ・盗塁王 石崎 恭平 (久留米大学) 12個

◎ベストナイン

- ・投手 西山 侑水 (福岡大学)
- ・捕手 大隈 駿 (久留米大学)
- ・一塁手 善 遼太郎 (福岡大学)
- ・二塁手 清水 春翔 (福岡教育大学)
- ・三塁手 富崎 光生 (福岡大学)
- ・遊撃手 大近 龍輝 (九州大学)
- ・外野手 宮本 大地 (九州大学)
池田 和樹 (福岡大学)
松尾 広大 (佐賀大学)
- ・指名打者 堀野 典史 (佐賀大学)

◎打率十傑

- 1位 吉田 優史 九州大学 0.406
- 2位 宮本 大地 九州大学 0.405
- 3位 堀野 典史 佐賀大学 0.400
- 4位 清水 春翔 福岡教育大学 0.393
- 5位 大近 龍輝 九州大学 0.382
- 6位 大隈 駿 久留米大学 0.375
- 7位 原口大志郎 九州大学 0.350
- 8位 吉瀬 泰斗 久留米大学 0.344
- 8位 川口 晃生 西南学院大学 0.344
- 10位 富崎 光生 福岡大学 0.333

福岡県大学準硬式野球

秋季リーグ戦 I部

◎9月13日 雁ノ巣球場

第1試合 開始時刻9:15 終了時刻11:10

九州共立大学 2 1 6 0 4 2 | 15
近畿大学産業理工学部 2 0 0 1 1 1 | 5

(6回コールド)

(九) 藤沢・在原-塩川
(近) 重富-隅谷
☆本塁打 那波 (九)
田渕 (近)
☆三塁打 那波 (九)
☆二塁打 高瀬・塩川 (九)
赤嶺・濱田 (近)

第2試合 開始時刻11:50 終了時刻13:55

九州産業大学 1 1 2 0 0 2 0 3 | 9
九州歯科大学 0 0 0 0 0 0 0 0 | 0

(8回コールド)

(産) 恵良・島本-福田
(歯) 蓮井-佐藤壮
☆三塁打 松井晴2 (産)
☆二塁打 福田・松本・今泉 (産)



◎9月19日 雁ノ巣球場

第1試合 開始時刻9:10 終了時刻10:57

九州歯科大学 0 0 0 0 0 0 0 | 0
福岡工業大学 1 0 3 0 0 3 x | 7

(7回コールド)

(九) 蓮井-佐藤壮
(福) 小田-田中
☆三塁打 穴井・松本 (福)
☆二塁打 吉塚・松野 (福)

第2試合 開始時刻11:35 終了時刻13:30

近畿大学産業理工学部 0 0 0 0 0 1 | 1
九州産業大学 4 3 1 0 1 2 | 11

(6回コールド)

(近) 重富・赤嶺-田渕
(九) 恵良・大串・乙丸-福田・樋口
☆三塁打 松本2 (九)
☆二塁打 田渕 (近)
中上 (九)



◎9月20日 春日球場

第1試合 開始時刻9:05 終了時刻10:35

九州産業大学 5 2 0 5 1 | 13
近畿大学産業理工学部 0 3 0 0 0 | 3

(5回コールド)

(九) 島本・泊-樋口・高橋
(近) 赤嶺・重富-田渕
☆三塁打 福元 (九)
東山 (近)
☆二塁打 藤・濱岡・樋口 (九)

第2試合 開始時刻11:10 終了時刻12:55

福岡工業大学 3 2 3 6 0 | 14
九州歯科大学 0 0 0 0 0 | 0

(5回コールド)

(福) 杉野-田中
(九) 佐藤壮-蓮井
☆本塁打 吉塚・田中 (福)
☆二塁打 吉塚・渡辺・村山・穴井 (福)



◎9月26日 雁ノ巣球場

第1試合 開始時刻9:15 終了時刻11:50

福岡工業大学 5 0 0 0 0 2 0 3 | 10
九州共立大学 0 0 1 0 0 0 1 0 | 2

(8回コールド)

(福) 小田-田中
(九) 片平・藤澤-塩川
☆三塁打 村山 (福)
☆二塁打 入江・田中 (福)

第2試合 開始時刻12:30 終了時刻15:05

九州歯科大学 0 0 0 0 0 3 0 0 1 | 4
近畿大学産業理工学部 1 0 0 1 0 1 1 3 x | 7

(九) 蓮井-佐藤壮
(近) 重富-田渕
☆二塁打 田渕・小林 (近)
蓮井 (九)



◎9月27日 雁ノ巣球場

第1試合 開始時刻9:13 終了時刻11:10

近畿大学産業理工学部 0 0 1 3 0 0 0 1 1 | 6
九州歯科大学 1 1 0 0 2 1 0 1 1 | 7

(近) 赤嶺-田渕
(九) 佐藤壮・蓮井-蓮井・佐藤壮
☆三塁打 東山・小林 (近)
佐藤壮 (九)

第2試合 開始時刻12:45 終了時刻15:35
九州共立大学 010010300 | 5
福岡工業大学 21005000× | 8
 (九) 秋山・藤澤・亀井・塩川
 (福) 杉野・小宮・小田・田中
 ☆三塁打 村山 (福)
 ☆二塁打 村上・松尾 (九)
 吉塚・田中 (福)

◎10月3日 光陵グリーンスタジアム
 第1試合 開始時刻9:50 終了時刻12:35
福岡工業大学 001200100 | 4
九州産業大学 000020102 | 5
 (福) 小田・田中
 (九) 恵良・福田
 ☆三塁打 入江 (福)
 ☆二塁打 吉塚・村山 (福)
 今泉2 (九)

第2試合 開始時刻13:20 終了時刻14:45
九州歯科大学 00100 | 1
九州共立大学 03161 | 11
 (5回コールド)

(歯) 蓮井・佐藤壮
 (共) 秋山・塩川
 ☆二塁打 猪俣 (共)
 安本 (歯)



◎10月4日 光陵グリーンスタジアム
 第1試合 開始時刻9:50 終了時刻12:35
九州共立大学 01001014 | 7
九州歯科大学 00000000 | 0
 (8回コールド)

(共) 亀井・藤澤・上村・片平・塩川
 (歯) 佐藤壮・蓮井・蓮井・佐藤壮
 ☆二塁打 松尾・那波2 (共)
 ☆三塁打 村上 (共)

第2試合 開始時刻13:21 終了時刻16:25
九州産業大学 000200000 | 2
福岡工業大学 00000231× | 6
 (九) 島本・品川・福田・樋口
 (福) 杉野・田中
 ☆三塁打 渡辺 (福)



◎10月10日 雁ノ巣球場
 第1試合 開始時刻9:50 終了時刻12:20
九州共立大学 000800 | 8
九州産業大学 1110004 | 18
 (6回コールド)
 (共) 秋山・片平・藤澤・亀井・塩川
 (産) 島本・乙丸・樋口
 ☆本塁打 嶺 (産)
 那波 (共)
 ☆三塁打 松井晴・松本 (産)
 ☆二塁打 松尾・松本・嶺 (産)
 尾首 (共)

第2試合 開始時刻13:09 終了時刻15:24
近畿大学産業理工学部 001000 | 1
福岡工業大学 123032 | 11
 (6回コールド)
 (近) 重富・田淵
 (福) 小田・田中
 ☆三塁打 入江 (福)
 ☆二塁打 北川・松野 (福)

◎10月11日 雁ノ巣球場
 第1試合 開始時刻9:55 終了時刻12:20
福岡工業大学 003202000 | 7
近畿大学産業理工学部 000100000 | 1
 (福) 小宮・杉野・田中・石川
 (近) 赤嶺・重富・田淵
 ☆本塁打 田淵 (近)
 ☆三塁打 吉塚 (福)
 ☆二塁打 吉塚・村山・穴井 (福)
 山本 (近)



第2試合 開始時刻13:03 終了時刻15:51
九州産業大学 000000103 | 4
九州共立大学 011000000 | 2
 (産) 恵良・品川・福田・樋口
 (共) 藤澤・亀井・上村・片平・村上・岡田・塩川
 ☆三塁打 松井晴 (産)
 ☆二塁打 松井晴・松本 (産)
 尾首・松尾・那波 (共)

◎10月17日 雁ノ巣球場
 第1試合 開始時刻9:10 終了時刻11:05
九州歯科大学 0010000 | 1
九州産業大学 300050× | 8
 (7回コールド)

(歯) 蓮井・佐藤壮
 (産) 島本・大串・福田・高橋
 ☆本塁打 松本 (産)
 ☆三塁打 福田 (産)
 ☆二塁打 松井晴 (産)

第2試合 開始時刻11:32 終了時刻14:38
近畿大学産業理工学部 000002623 | 13
九州共立大学 001020021 | 6
 (近) 赤嶺・重富・田中・小林・田淵
 (九) 秋山・在原・亀井・片平・工藤・塩川・村上・岡田
 ☆三塁打 東山・小林・松本 (近)
 尾首 (九)
 ☆二塁打 濱田・赤嶺2 (近)
 高瀬・工藤 (九)



I部リーグ

優勝 九州産業大学

	九 産 大	福 工 大	九 共 大	近 大 産	九 歯 大	勝敗
九州産業大学		○18-8 (6) ○4-2	○5-4 ●2-6	○11-1 (6) ○13-3 (5)	○9-0 (8) ○8-1 (7)	7勝1敗
福岡工業大学	●4-5 ○6-2		○10-2 (8) ○8-5	○7-1 ○12-3 (7)	○7-0 (7) ○14-0 (5)	7勝1敗
九州共立大学	●8-18 (6) ●2-4	●2-10 (8) ●5-8		○15-5 (6) ●13-6	○11-1 (5) ○7-0 (8)	3勝5敗
近 畿 大 学 産 業 理 工 学 部	●1-11 (6) ●3-13 (5)	●2-6 ○13-6	●1-7 ●3-12 (7)		○7-4 ●6-7	2勝6敗
九州歯科大学	●0-9 (8) ●1-8 (7)	●1-11 (5) ●0-8 (8)	●0-7 (7) ●0-14 (5)	●4-7 ○7-6		1勝7敗

※九州産業大学と福岡工業大学の優勝決定戦の結果、3-1で九州産業大学が勝利し優勝。
 ※二部優勝久留米工業大学が一部に昇格、一部最下位福岡大学Ⅱ部が二部に降格。

◎10月24日 松原球場
第1試合 開始時刻9:52 終了時刻12:02
福岡工業大学 000100000 | 1
九州産業大学 00010200x | 3
(福) 小田-田中
(九) 恵良-福田
☆三塁打 吉塚 (福)
☆二塁打 崎村 (福)
松井陸 (九)

◎表彰選手
最優秀選手 恵良 大輝 (九州産業大学)
最優秀投手 島本 辰己 (九州産業大学)
敢闘賞 小田 嶺弥 (福岡工業大学)
首位打者 工藤 吉平 (九州共立大学)
本塁打王 那波 浩樹 (九州共立大学)
田淵 稜麻 (近畿大学産業理工学部)
打点王 松本 舞輝 (九州産業大学)
盗塁王 村山 大季 (福岡工業大学)

◎ベストナイン
投手 恵良 大輝 (九州産業大学)
捕手 塩川 歩 (九州共立大学)
一塁手 松野 巧海 (福岡工業大学)
二塁手 松井 陸 (九州産業大学)
三塁手 入江 恭輔 (福岡工業大学)
遊撃手 吉塚光太郎 (福岡工業大学)
外野手 村山 大季 (福岡工業大学)
崎村 玲玖 (福岡工業大学)
松本 舞輝 (九州産業大学)
指名打者 工藤 吉平 (九州共立大学)

秋季リーグ戦を運営して

学生幹事長 神原 政央
今回のリーグ戦は福岡工業大学の健闘により見応えのある試合がみられた。しかしまだコールドゲームの試合もあるのでしっかりとこの冬練習し、来年の春にはコールドゲームの試合を無くしていきたい。

秋季リーグ戦 II部

◎9月13日 雁ノ巣球場
第3試合 開始時刻14:35 終了時刻16:50
日本経済大学 100010002 | 4
久留米工業大学 20202020x | 8
(日) 坂本・永富-富山・井上
(久) 松崎-乗越
☆三塁打 松岡 (久)
☆二塁打 山下 (日)
境・渕上 (久)



◎9月19日 雁ノ巣球場
第3試合 開始時刻14:03 終了時刻16:17
久留米工業大学 0021444 | 15
九州国際大学 2014000 | 7
(7回コールド)

(久) 渕上・松崎-乗越
(九) 有田・川尻-前田
☆本塁打 境 (久)
☆三塁打 清野 (九)
☆二塁打 松岡・境・渕上・松崎・大城・宮家 (久)



◎9月20日 春日球場
第3試合 開始時刻13:36 終了時刻16:11
九州国際大学 003500101 | 10
久留米工業大学 24104120x | 14
(九) 長野・榎・川尻-上田・前田
(久) 松崎-乗越
☆本塁打 渕上 (久)
☆三塁打 川本・亀田 (九)
松岡 (久)
☆二塁打 川本 (九)
中村・緒方2 (久)



◎9月26日 雁ノ巣球場
第3試合 開始時刻15:30 終了時刻17:30
九州国際大学 3150 | 9
日本経済大学 2263 | 13
(4回コールド)
(九) 有田・亀田・前田・川尻-前田・長野
(日) 宇都宮・村田・榎本・永富-富山・井上
☆三塁打 清野 (九)
西川・村田 (日)
☆二塁打 西川・山下 (日)



◎10月17日 雁ノ巣球場
第3試合 開始時刻14:55 終了時刻17:00
久留米工業大学 11003221 | 10
日本経済大学 04202000 | 8
(8回時間コールド)

(久) 松崎-嵩下・乗越
(日) 永富・坂本-井上
☆本塁打 井上 (日)
☆三塁打 松岡・柳田・乗越 (久)
☆二塁打 矢上 (久)
井上・西川 (日)

◎表彰選手
最優秀選手 松岡 春輝 (久留米工業大学)
最優秀投手 松崎 聖亜 (久留米工業大学)
首位打者 松岡 春輝 (久留米工業大学)
0.474
本塁打王 境 健一朗 (久留米工業大学)
渕上 舜介 (久留米工業大学)
井上 飛鳥 (日本経済大学)
1本

II部リーグ

	久工大	日経大	九国大	勝敗
久留米工業大学		○8-4 ○10-8	○15-7 ○14-10	4勝0敗
日本経済大学	●4-8 ●8-10		○13-9 ○9-0	2勝2敗
九州国際大学	●7-15 ●10-14	●9-13 ●0-9		0勝4敗

打 点 王 松岡 春輝 (久留米工業大学)
6 打点
盗 塁 王 緒方 優樹 (久留米工業大学)
6 盗塁

◎ベストナイン

投 手 松崎 聖亜 (久留米工業大学)
捕 手 前田 佳人 (九州国際大学)
一塁手 渕上 舜介 (久留米工業大学)
二塁手 境 健一郎 (久留米工業大学)
三塁手 川本 大器 (九州国際大学)
遊撃手 松岡 春輝 (久留米工業大学)
外野手 亀田 健吾 (九州国際大学)
清野 弘暉 (九州国際大学)
緒方 優樹 (久留米工業大学)

第60回南九州地区大学
準硬式野球連盟秋季大会

◎10月3日 山鹿市民球場
第1試合 開始時刻9:09 終了時刻10:00
熊本大学医学部
東海大学九州
※熊医の選手登録と違う背番号をつけて出場
していたことによる没収試合。勝者は東海
大九州。

第2試合 開始時刻11:35 終了時刻13:55
宮崎大学医学部 001010200 | 4
熊 本 大 学 141200000 | 8
(熊大) 中村・汐田・小野ー深川・後藤・
深川
(宮医) 高尾・池末ー日高
☆二塁打 後藤(昇)・加治・上田(熊大)
東(宮医)



◎10月4日 山鹿市民球場
第1試合 開始時刻10:00 終了時刻12:50
宮崎大学医学部 120201002 | 8
熊本学園大学 100011033x | 9
(大会規定により9回からタイブレーク)
(宮医) 東・高尾ー日高
(学園) 西村・五島・佐伯ー宅島
☆三塁打 宮崎(学園)
☆二塁打 大生・東(宮医)
宮川(学園)

第2試合 開始時刻13:43 終了時刻15:55
熊本大学薬学部 00000 | 0
東海大学九州 31226x | 23
(5回コールド)
(熊薬) 中川・池田ー坂本
(東海) 田川・平川ー福山
☆二塁打 松岡・濱本・福山・岩永(東海)
☆三塁打 松岡2・福山・大内田(東海)

◎10月10日 王子原球場
第1試合 開始時刻8:58 終了時刻10:58
東海大学九州 000001120 | 4
志 學 館 大 学 000003000 | 3
(東海) 荒木・田川ー福山
(志) 輝ー大山
☆三塁打 江頭(東海)
☆二塁打 福山(東海)
大山・輝(志)

第2試合 開始時刻11:45 終了時刻14:25
熊本学園大学 00103505 | 14
宮崎大学医学部 10300000 | 4
(8回コールド)
(学園) 西村・佐伯ー宅島
(宮医) 佐圓・池末・高尾ー日高
☆二塁打 佐伯・宅島3(学園)
池末(宮医)

第3試合 開始時刻15:10 終了時刻16:40
熊本大学薬学部 0000000 | 0
熊本大学医学部 202221x | 9
(7回コールド)
(熊薬) 牧瀬・池田ー坂本
(熊医) 金山・松藤・北原ー伊藤・三戸
☆三塁打 高山(熊医)
☆二塁打 渡邊・藤井(熊医)

◎10月11日 王子原球場
第1試合 開始時刻9:00 終了時刻11:30
熊 本 大 学 20510100 | 9
宮崎大学医学部 12040000 | 7
(大会規定により8回コールド)
(熊大) 小野・相良・汐田・中村ー後藤(康)・
深川
(宮医) 池末・東ー日高
☆三塁打 後藤(康)・中山・上田(熊大)
☆二塁打 池末(宮医)



1 部結果

	熊大	学園	宮医	戦 績	順位
熊 本 大 学		10-1 2-1	8-4 9-7	4勝0敗	1
熊本学園大学	1-10 1-2		9-8 14-4	2勝2敗	2
宮崎大学医学部	4-8 7-9	8-9 4-14		0勝4敗	3

2 部結果

	東海	志學館	熊医	熊薬	戦 績	順位
東海大学九州		4-3 2-1	不戦勝 21-5	23-0 17-1	6勝0敗	1
志 學 館 大 学	3-4 1-2		3-9 14-1	11-1 12-0	3勝3敗	2
熊本大学医学部	不戦敗 5-21	9-3 1-14		9-0 12-2	3勝3敗	3
熊本大学薬学部	0-23 1-17	1-11 0-12	0-9 2-12		0勝6敗	4

※2部の準優勝は志學館、熊医の直接対決による得失点差により志學館
大学に決定。

第2試合 開始時間12:15 終了時間14:35
志 学 館 大 学 3 0 0 0 0 0 | 3
熊本大学医学部 1 0 0 5 2 1 | 9
 (大会規定により7回コールド)
 (志) 益満・輝一里山
 (熊医) 高山一伊藤
 ☆二塁打 加藤(志)
 尾崎・高山・藤井(熊医)

第3試合 開始時間15:33 終了時間17:05
熊本大学薬学部 0 0 0 1 0 | 1
東海大学九州 12 1 0 4 x | 17
 (5回コールド)
 (熊薬) 中川・池田・北里一坂本
 (東海) 平川・中山一福山
 ☆二塁打 村中・福山(東海)

◎10月17日 合志運動場
 第1試合 開始時間12:07 終了時間13:44
熊本大学薬学部 0 0 2 0 0 0 | 2
熊本大学医学部 3 0 1 3 3 2x | 12
 (6回コールド)
 (熊薬) 金澤一坂本
 (熊医) 北原・畑中・松藤・森一三戸
 ☆三塁打 松本・森・水野(熊医)
 ☆二塁打 伊藤2(熊医)

第2試合 開始時間14:30 終了時間16:28
熊 本 大 学 0 0 0 4 4 2 0 | 10
熊本学園大学 1 0 0 0 0 0 0 | 1
 (7回コールド)
 (熊大) 中村一深川
 (学園) 西村・五島・豊岡一宅島
 ☆二塁打 加治(熊大)
 松田(熊大)



◎10月18日 王子原球場
 第1試合 開始時刻10:00 終了時刻10:55
熊本大学薬学部 0 1 0 0 0 | 1
志 学 館 大 学 0 7 0 3 1 | 11
 (5回コールド)
 (熊薬) 牧瀬一坂本
 (志) 輝一里山
 ☆二塁打 里山(志)
 ☆三塁打 国本・原木・佐藤(志)

第2試合 開始時刻12:03 終了時刻14:20
東海大学九州 1 2 5 0 1 1 2 | 21
熊本大学医学部 1 2 0 1 1 0 | 5
 (6回コールド)
 (東海) 荒木・田川・中山一福山
 (熊医) 松藤・北原・畑中一三戸
 ☆三塁打 村中・大内田・有馬(東海)

☆二塁打 平川・村中・江頭2・岩永・大内田(東海)
 ◎10月24日 熊本学園大G
 第1試合 開始時刻9:25 終了時刻11:40
熊 本 大 学 0 0 0 0 1 0 0 1 0 | 2
熊本学園大学 0 0 0 0 0 0 0 1 0 | 1
 (熊大) 中村一深川
 (学園) 西村・佐伯一宅島
 ☆三塁打 中山(熊大)



◎10月25日 熊本学園大G
 第1試合 開始時刻8:55 終了時刻10:58
東海大学九州 0 0 0 0 1 0 1 0 0 | 2
志 学 館 大 学 0 0 0 1 0 0 0 0 0 | 1
 (東海) 荒木・中山・大内田一福山・江頭
 (志) 輝・益満一大山
 ☆二塁打 大内田(東海)
 里山・佐藤(志)

◎10月31日 合志運動場
 第1試合 開始時刻9:52 終了時刻11:10
熊本大学医学部 1 0 0 0 0 | 1
志 学 館 大 学 1 3 2 8 x | 14
 (5回コールド)
 (熊医) 北原・森一三戸・渡邊
 (志) 輝一大山
 ☆二塁打 尾崎2(熊医)
 国本・南・加藤・前田(志)

熊本大学薬学部 0 0 0 0 0 | 0
志 学 館 大 学 7 1 0 4 x | 12
 (5回コールド)
 (熊薬) 牧瀬一坂本
 (志) 輝・里山一大山
 ☆本塁打 里山(志)
 ☆三塁打 国本・佐藤・南(志)
 ☆二塁打 里山・南・大山(志)

◎大会結果
 1部優勝 熊本大学
 1部準優勝 熊本学園大学
 2部優勝 東海大学九州
 2部準優勝 志学館大学

◎表彰選手
 最優秀選手賞 中村 敦哉(熊本大学)
 優秀選手賞 池末 和弘(宮崎大学医学部)

◎ベストナイン
 投 手 荒木 大和(東海大学九州)
 捕 手 深川 滉介(熊本大学)
 一塁手 大山 遼(宮崎大学医学部)

二塁手 岡村 孝也(志学館大学)
 三塁手 村中 涼太(東海学九州)
 遊撃手 松岡 聖(東海学九州)
 外野手 大内田剛士(東海学九州)
 外野手 大石 健慎(東海学九州)
 外野手 藤田 一晴(熊本学園大学)

長崎県大学準硬式野球連盟

秋季リーグ戦

◎2020年9月3日 佐世保球場

第1試合

長崎県立大学 10010003 | 5

長崎総合科学大学 00000100 | 1

(8回コールド)

(県大) 道田一森

(総科) 島田・林田・相川一山田

☆三塁打 加隈(県大)

第2試合

長崎国際大学 120300103 | 10

長崎大学経済学部 000240000 | 6

(国際) 渡邊・本村・真崎一坂口(博)

(経済) 品川・岩井一梶原

日高一兵動

☆三塁打 渡辺(祐)(国際)

吉田(経済)

☆二塁打 本村・坂口(博)(国際)

岩切(経済)



◎2020年9月10日 佐世保球場

第1試合

長崎大学経済 002120000 | 5

長崎県立大学 11002030x | 7

(経済) 北村・日高一兵動

(県大) 緒方・山中一森

☆二塁打 岩井・吉田・岩切(経済)

幸野・加隈(県大)

第2試合

長崎国際大学 0012502 | 10

長崎総合科学大学 0000000 | 0

(7回コールド)

(国際) 真崎・原野一坂口(博)

(総科) 野上一土井・山本一小川

林田一山田

☆二塁打 山田(総科)

◎2020年9月11日 佐世保球場

第1試合

長崎総合科学大学 02004112 | 10

長崎大学経済学部 21101021 | 8

(時間制限により終了)

(総科) 川原・島田一山田

(経済) 日高・品川・北村一頼田

☆三塁打 土井(総科)

堀・美坂(経済)

☆二塁打 小川・山本・比嘉(総科)

第2試合

長崎国際大学 002020000 | 4

長崎県立大学 001010001 | 3

(国際) 中村一本村

(県大) 道田一森

☆二塁打 本村(国際)

鈴木(県大)



◎2020年9月14日 佐世保球場

第1試合

長崎国際大学 010023000 | 6

長崎大学経済学部 002010002 | 5

(国際) 本村一渡辺(祐)

(経済) 品川一兵動

☆本塁打 吉田(経済)

☆二塁打 本村・坂口(仁)(国際)

第2試合

長崎総合科学大学 20001103 | 7

長崎県立大学 00240100 | 7

(時間制限により終了)

(総科) 川原・島田一山田

(県大) 緒方一森

☆二塁打 土井(総科)

◎2020年9月15日 佐世保球場

第1試合

長崎総合科学大学 000001004 | 5

長崎国際大学 100000201 | 4

(総科) 島田一山田

(国際) 松尾・真崎一本村

☆三塁打 山口(国際)

☆二塁打 山田(総科)

真崎・坂口(博)・松尾(国際)



第2試合

長崎県立大学 120411101 | 11

長崎大学経済学部 000500103 | 9

(県大) 山中・道田一森

(経済) 北村一兵動

☆二塁打 鈴木(県大)

河野(経済)

◎2020年9月16日 みゆき球場

第1試合

長崎国際大学 0700000 | 7

長崎県立大学 0212045 | 14

(8回コールド)

(国際) 本村一坂口(博)

山城一本村・松尾一坂口(博)

(県大) 道田一森

☆三塁打 坂口(仁)(国際)

幸野・森(県大)

☆二塁打 森(県大)

第2試合

長崎総合科学大学 1000000 | 1

長崎大学経済学部 300008 | 11

(6回コールド)

(総科) 林田一土井

(経済) 品川一川崎

☆本塁打 島田(総科)

☆二塁打 日高・吉田(経済)

○表彰選手

- ・最優秀選手 幸野 棕介(長崎県立大学)
- ・最優秀投手 真崎 竜也(長崎国際大学)
- ・優秀選手 本村 拓海(長崎国際大学)
- ・敢闘賞 山田 悌矢(長崎総合科学大学)
- ・首位打者 幸野 棕介(長崎県立大学)
- ・本塁打王 島田 航輔(長崎総合科学大学)
- 吉田 龍生(長崎大学経済学部)
- ・打点王 幸野 棕介(長崎県立大学)
- 吉田 龍生(長崎大学経済学部)

優勝：長崎県立大学

	長県大	長国大	長総大	長大経	戦績	順位
長崎県立大学		7-5 11-9	3-4 7-14	5-1 7-7	4勝1敗1分	1
長崎国際大学	4-3 7-14		10-6 6-5	10-0 4-5	4勝2敗	2
長崎総合科学大学	1-5 7-7	10-8 1-11		0-10 5-4	2勝3敗1分	3
長崎大学経済学部	5-7 9-11	6-10 5-6	8-10 11-1		1勝5敗	4

※2位以下は同じ勝敗数のため、得失点差による順位とする

- ・盗 塁 王 幸野 棕介 (長崎県立大学)
- ・新 人 王 坂口 博亮 (長崎国際大学)

○ベストナイン

投 手 島田 航輔 (長崎総合科学大学)
捕 手 本村 拓海 (長崎国際大学)
一塁手 山口 佳洋 (長崎国際大学)
二塁手 幸野 棕介 (長崎県立大学)
三塁手 加隈 伶旺 (長崎県立大学)
遊撃手 岩井 友樹 (長崎大学経済学部)
外野手 陶山 尚樹 (長崎国際大学)
鈴木 耀徹 (長崎県立大学)
比嘉 兼士 (長崎総合科学大学)

令和2年度加盟チーム一覧

北海道地区大学準硬式野球連盟

(14チーム)

小樽商科大学
釧路公立大学
札幌大学
札幌学院大学
東海大学札幌校
北星学園大学
北海学園大学
北海道大学
北海道大学医学部
北海道科学大学
北海道教育大学岩見沢校
北海道教育大学釧路校
北海道教育大学札幌校
北海道教育大学函館校

東北地区大学準硬式野球連盟

(14チーム)

青森大学
岩手大学
仙台大学
東北大学
東北大学医学部
東北医科薬科大学
東北学院大学
東北学院大学工学部
東北工業大学
東北文化学園大学
富士大学
福島大学
福島県立医科大学
山形大学医学部

関東地区大学準硬式野球連盟

(74チーム)

〈東京六大学リーグ〉

慶應義塾大学
東京大学
法政大学
明治大学
立教大学
早稲田大学

〈東都大学リーグ〉

青山学院大学
亜細亜大学
学習院大学
國學院大學
国士舘大学
駒澤大学
首都大学東京
上智大学
城西大学
成蹊大学
専修大学
千葉商科大学
千葉大学

中央大学
筑波大学
帝京大学
電気通信大学
東海大学
東京工業大学
東京電機大学
東京農業大学
東京農工大学
東京薬科大学
東京理科大学
東洋大学
獨協大学
日本大学
日本獣医生命科学大学
日本体育大学
一橋大学
法政大学Ⅱ部
明治薬科大学
立正大学

〈神奈川大学リーグ〉

麻布大学
神奈川大学
関東学院大学
日本大学生物資源科学部
防衛大学校
横浜国立大学
横浜市立大学

〈北関東大学リーグ〉

茨城大学
宇都宮大学
共栄大学
群馬大学
群馬大学荒牧
埼玉大学
自治医科大学
高崎経済大学
高崎健康福祉大学
筑波大学医学群
帝京大学宇都宮
防衛医科大学校

〈新関東大学リーグ〉

北里大学
国士舘大学世田谷
埼玉医科大学
芝浦工業大学
昭和大学
昭和薬科大学
創価大学
多摩美術大学
都留文科大学
東海大学医学部
東京都市大学
日本大学三崎町
日本大学理工学部
日本社会事業大学
星薬科大学
横浜薬科大学

東海地区大学準硬式野球連盟

(31チーム)

〈東海リーグ〉

愛知大学
愛知学院大学
愛知学院大学歯学部
愛知教育大学
愛知県立大学
愛知工業大学
岐阜大学
岐阜大学医学部
岐阜協立大学
中京大学
中部大学
名古屋大学
名古屋大学医学部
名古屋学院大学
名古屋工業大学
名古屋市立大学
名古屋商科大学
南山大学
日本福祉大学
藤田医科大学
三重大学
三重大学医水学部
名城大学

〈静岡リーグ〉

静岡大学静岡
静岡大学浜松
静岡県立大学
静岡産業大学
東海大学海洋学部
常葉大学浜松
日本大学国際関係学部
浜松医科大学

北信越地区大学準硬式野球連盟

(18チーム)

金沢大学医学部
金沢大学教育学部
金沢大学工学部
金沢大学法文経国
金沢大学理工・薬学域
金沢医科大学
金沢工業大学
金沢星稜大学
金沢美術工芸大学
上越教育大学
信州大学
富山大学
富山大学医薬学部
新潟大学医学部
新潟大学学友会
福井大学
福井大学医学部
北陸大学

関西地区大学準硬式野球連盟

(56チーム)

〈関西六大学リーグ〉

大阪大学
関西大学
関西学院大学
神戸大学
同志社大学
立命館大学

〈近畿六大学リーグ〉

大阪経済大学
近畿大学
甲南大学
神戸市外国語大学
兵庫県立大学神戸校
和歌山大学

〈阪神六大学リーグ〉

大阪教育大学
大阪工業大学
大阪市立大学
大阪商業大学
大阪府立大学
関西大学人間健康学部
阪南大学

〈京滋六大学リーグ〉

京都大学
京都先端科学大学
滋賀大学教育学部
滋賀大学彦根キャンパス
花園大学
龍谷大学

〈西都六大学リーグ〉

大阪産業大学
大手前大学
京都産業大学
京都橘大学
摂南大学
奈良教育大学
桃山学院大学

〈関西医歯薬リーグ〉

大阪大学医学部
大阪大学歯学部
大阪医科大学
大阪市立大学医学部
関西医科大学
京都大学医学部
京都府立医科大学
近畿大学医学部
近畿大学薬学部
神戸大学医学部
神戸学院大学薬学部
神戸薬科大学
滋賀医科大学
摂南大学校方
奈良県立医科大学
兵庫医科大学
兵庫医療大学

和歌山県立医科大学
京都薬科大学

〈京阪神リーグ〉

大阪大谷大学
京都教育大学
兵庫教育大学
兵庫県立大学姫路校
森ノ宮医療大学

中国地区大学準硬式野球連盟

(13チーム)

岡山大学
岡山大学医学部
海上保安大学校
吉備国際大学
島根大学
下関市立大学
鳥取大学
鳥取大学医学部
広島大学
広島大学医薬学部
広島国際大学
広島修道大学
山口大学

四国地区大学準硬式野球連盟

(11チーム)

愛媛大学
愛媛大学医学部
香川大学
香川大学医学部
高知大学医学部
高知県立大学
四国学院大学
徳島大学医学部
徳島文理大学
松山大学
高知工科大学

九州地区大学準硬式野球連盟

(41チーム)

〈九州六大学リーグ〉

九州大学
久留米大学
佐賀大学
西南学院大学
福岡大学
福岡教育大学

〈福岡県大学リーグ〉

九州共立大学
九州工業大学
九州国際大学
九州産業大学
九州歯科大学
近畿大学産業理工学部
久留米工業大学
日本経済大学

福岡大学Ⅱ部
福岡工業大学

〈長崎県大学リーグ〉

長崎大学経済学部
長崎県立大学
長崎国際大学
長崎総合科学大学

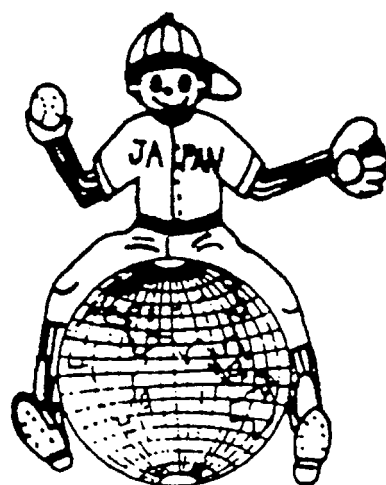
〈南九州地区大学リーグ〉

鹿児島大学
鹿児島大学医学部
熊本大学
熊本大学医学部
熊本大学薬学部
熊本学園大学
志學館大学
東海大学九州
宮崎大学医学部

〈医歯薬大学リーグ〉

大分大学医学部
九州大学医薬学部
九州大学歯学部
久留米大学医学部
佐賀大学医学部
産業医科大学
第一薬科大学
長崎大学医学部
長崎大学薬学部
長崎国際大学薬学部
福岡大学医学部
福岡大学薬学部

海外遠征（国及び試合都市）



韓国

1968（9月17日～30日）
1973（9月13日～26日）

中国

2005（12月18日～24日）
2011（12月9日～14日）

○広州

台湾

・1970（11月14日～24日）
・2008（11月26日～12月1日）
・2014（11月23日～28日）

ブラジル

1979（11月8日～26日）
1983（6月21日～7月10日）
1988（11月23日～12月6日）
1995（12月6日～20日）

フィリピン

1980（1月8日～14日）

オーストラリア

2017（12月8日～11日）

全日本大学準硬式野球選手権大会戦績表

回数	開催地			戦			績	
第 1 回 (昭和24年)	兵 明	庫 石	県 市	関 西 大 学	2	0 3 ×	代表8校 準決勝以後	優勝 同 志 社 大 学
			慶 應 大 学	4				
			同 志 社 大 学	4				
			法 政 大 学	1				
第 2 回 (昭和25年)	長 飯	野 田	県 市	明 治 大 学	6	1 9	代表12校 準決勝以後	優勝 慶 應 義 塾 大 学
			法 政 大 学	3				
			慶 応 大 学	4 ×				
			立 命 館 大 学	1				
第 3 回 (昭和26年)	三 宇 治	重 山 田	県 市	和 歌 山 大 学	0	2 × 0	代表12校 準決勝以後	優勝 法 政 大 学
			法 政 大 学	8				
			関 西 大 学	3				
			慶 応 大 学	5				
第 4 回 (昭和27年)	北 札	海 幌	道 市	関 西 大 学	1	0 3	代表16校 準決勝以後	優勝 早 稲 田 大 学
			同 志 社 大 学	3 ×				
			三 重 大 学	1				
			早 稲 田 大 学	13				
第 5 回 (昭和28年)	奈 天	良 理	県 市	浜 松 短 期 大 学	1	5 14 ×	代表16校 準決勝以後	優勝 明 治 大 学
			近 畿 大 学	13				
			関 西 大 学	0				
			明 治 大 学	1				
第 6 回 (昭和29年)	東 八 王 子	京 都 市		立 命 館 大 学	2	2 3 ×	代表16校 準決勝以後	優勝 大 阪 経 済 大 学
			中 央 大 学	1				
			大 阪 経 済 大 学	6				
			岡 山 大 学	0				
第 7 回 (昭和30年)	東 八 王 子	京 都 市		立 命 理 大 学	0	3 × 2	代表16校 準決勝以後	優勝 中 京 短 期 大 学
			中 京 短 大 学	10				
			関 西 大 学	0				
			関 西 学 院 大 学	4				
第 8 回 (昭和31年)	東 八 王 子	京 都 市		東 北 学 院 大 学	2	0 1	代表16校 準決勝以後	優勝 早 稲 田 大 学
			立 教 大 学	4				
			日 本 大 学	3				
			早 稲 田 大 学	12				
第 9 回 (昭和32年)	東 八 王 子	京 都 市		東 北 学 院 大 学	1	5 × 3	代表16校 準決勝以後	優勝 中 央 大 学
			中 央 大 学	9				
			同 志 社 大 学	5				
			北 海 道 大 学	2				
第 10 回 (昭和33年)	東 八 王 子	京 都 市		関 西 学 院 大 学	0	0 2	代表16校 準決勝以後	優勝 東 北 学 院 大 学
			中 京 大 学	7				
			立 命 館 大 学	1				
			東 北 学 院 大 学	2				
第 11 回 (昭和34年)	東 八 王 子	京 都 市		近 畿 大 学	2	1 3	代表16校 準決勝以後	優勝 慶 應 義 塾 大 学
			立 教 大 学	1				
			慶 応 大 学	2 ×				
			中 央 大 学	0				
第 12 回 (昭和35年)	山 鶴	形 岡	県 市	中 央 大 学	1	4 1	代表16校 準決勝以後	優勝 法 政 大 学
			法 政 大 学	5				
			明 治 大 学	1				
			早 稲 田 大 学	2				
第 13 回 (昭和36年)	東 神 宮 球 都 場	京 都 市		早 稲 田 大 学	2 ×	4 2	代表16校 準決勝以後	優勝 早 稲 田 大 学
			関 西 大 学	0				
			慶 応 大 学	2				
			法 政 大 学	3 ×				
第 14 回 (昭和37年)	東 神 宮 球 都 場	京 都 市		東 京 農 業 大 学	5	10 5	代表16校 準決勝以後	優勝 福 岡 大 学
			福 岡 大 学	6				
			中 央 大 学	2				
			慶 応 大 学	0				
第 15 回 (昭和38年)	東 神 宮 球 都 場	京 都 市		立 教 大 学	1	3 7 ×	代表16校 準決勝以後	優勝 日 本 大 学
			北 海 学 園 大 学	2				
			日 本 大 学	6 ×				
			早 稲 田 大 学	4				
第 16 回 (昭和39年)	東 神 宮 球 都 場	京 都 市		立 教 大 学	2	0 7	代表16校 準決勝以後	優勝 早 稲 田 大 学
			東 京 農 業 大 学	6				
			福 岡 大 学	0				
			早 稲 田 大 学	3				
第 17 回 (昭和40年)	東 神 宮 球 都 場	京 都 市		中 央 大 学	2	4 × 1	代表20校 準決勝以後	優勝 中 央 大 学
			広 島 大 学	0				
			福 岡 大 学	3				
			関 西 学 院 大 学	2				
第 18 回 (昭和41年)	東 神 宮 球 都 場	京 都 市		法 政 大 学	3	1 5	代表21校 準決勝以後	優勝 中 京 大 学
			立 教 大 学	1				
			中 京 大 学	4				
			大 阪 経 済 大 学	0				

回数	開催地	戦	績
第 19 回 (昭和42年)	東京都 東京 神宮球場	東北学院大学 中京大学 立教大学 名古屋商科大学 1 3 0 5 4 0	代表21校 準決勝以後 優勝 中京大学
第 20 回 (昭和43年)	東京都 東京 神宮球場	同志社大学 北海学園大学 中京大学 琉球大学 4 5 × 4 × 1 2 5 ×	代表24校 準決勝以後 優勝 中京大学
第 21 回 (昭和44年)	和歌山県	中京大学 関東学院大学 関西大学 甲南大学 8 0 3 2 3 2	代表24校 準決勝以後 優勝 中京大学
第 22 回 (昭和45年)	岩手県 陸前高田市	近大二部 福岡大学 熊本大学 専修大学 0 1 1 0 2 1	代表24校 準決勝以後 優勝 福岡大学
第 23 回 (昭和46年)	北海道 北室蘭市	熊本大学 近大二部 山形大学 中央大学 0 1 2 5 4 3	代表24校 準決勝以後 優勝 近大二部
第 24 回 (昭和47年)	福岡県 福岡市	中京大学 早稲田大学 青山学院大学 沖縄大学 0 2 3 4 1 4	代表24校 準決勝以後 優勝 沖縄大学
第 25 回 (昭和48年)	東京都 東京 神宮球場	専修大学 沖縄大学 日本大学 同志社大学 1 4 3 0 7 0	代表24校 準決勝以後 優勝 沖縄大学
第 26 回 (昭和49年)	徳島県 徳島 島球場	日本大学 別府大学 福岡大学 沖縄大学 2 0 2 4 4 3	代表16校 準決勝以後 優勝 日本大学
第 27 回 (昭和50年)	宮城県 仙台 宮城球場	早稲田大学 日本大学 東北学院大学 福岡大学 2 1 4 2 6 2	代表16校 準決勝以後 優勝 早稲田大学
第 28 回 (昭和51年)	愛媛県 宇和島 丸山球場	福岡大学 東北学院大学 専修大学 早稲田大学 2 1 0 3 6 0	代表16校 準決勝以後 優勝 福岡大学
第 29 回 (昭和52年)	北海道 北釧路市 営球場	中京大学 福岡大学 京都産業大学 愛知学院大学 1 2 2 3 4 0	代表16校 準決勝以後 優勝 福岡大学
第 30 回 (昭和53年)	岐阜県 岐阜 市営球場	大阪経済大学 福岡大学 中央大学 青山学院大学 3 1 0 1 1 6	代表24校 準決勝以後 優勝 青山学院大学
第 31 回 (昭和54年)	大阪府 大阪 市営球場	東北学院大学 中京大学 名古屋商科大学 福岡大学 1 0 2 0 3 6	代表16校 準決勝以後 優勝 名古屋商科大学
第 32 回 (昭和55年)	香川県 高松 中央球場	同志社大学 早稲田大学 専修大学 青山学院大学 1 8 6 4 5 7	代表16校 準決勝以後 優勝 専修大学
第 33 回 (昭和56年)	福岡県 福岡 平和台球場	近大二部 名古屋商科大学 東北学院大学 群馬大学 3 1 6 1 2 0	代表16校 準決勝以後 優勝 近大二部
第 34 回 (昭和57年)	福井県 福井市 営球場	愛知学院大学 福岡大学 青山学院大学 明治大学 3 1 0 2 4 6	代表16校 準決勝以後 優勝 明治大学
第 35 回 (昭和58年)	宮城県 仙台 宮城 県営球場	名古屋商科大学 専修大学 東北学院大学 京都産業大学 3 2 2 4 3 0	代表25校 準決勝以後 優勝 名古屋商科大学
第 36 回 (昭和59年)	北海道 北栗山町 公園球場	早稲田大学 中京大学 立教大学 札幌学院大学 1 0 0 4 7 0	代表20校 準決勝以後 優勝 早稲田大学
第 37 回 (昭和60年)	愛知県 豊橋市 民球場	同志社大学 専修大学 福岡大学 大阪経済大学 1 5 6 0 4 6	代表20校 準決勝以後 優勝 福岡大学

回数	開催地	戦	績
第 38 回 (昭和61年)	栃木県 宇都宮市 栃木県営球場	中央大学 2 福岡大学 1 東海大学 3 2 1	代表20校 準決勝以後 優勝 中央大学
第 39 回 (昭和62年)	岡山県 岡山県営球場 岡山市営球場	早稲田大学 4 中央大学 7 名古屋商科大学 3 東北学院大学 4 6 4	代表21校 準決勝以後 優勝 中央大学
第 40 回 (昭和63年)	兵庫県 グリーンスタジアム 神戸	立命館大学 2 早稲田大学 4 福岡大学 4 愛知学院大学 5 2 9	代表20校 準決勝以後 優勝 愛知学院大学
第 41 回 (平成元年)	北海道 滝川市営球場 滝の川球場	関西学院大学 6 福岡大学 7 九州東海大学 9 立命館大学 8 8 0	代表21校 準決勝以後 優勝 福岡大学
第 42 回 (平成2年)	福井県 福井県営球場 福井市営球場	中央大学 8 中央大学 0 福岡大学 2 法政大学 1 2 0	代表20校 準決勝以後 優勝 中央大学
第 43 回 (平成3年)	高知県 春野球場 高知市営球場	中央大学 5 愛知学院大学 0 日本大学 6 名古屋商科大学 3 3 2	代表22校 準決勝以後 優勝 中央大学
第 44 回 (平成4年)	福岡県 平和台球場	同志社大学 9 東洋大学 7 京都産業大学 5 中央大学 6 4 2	代表23校 準決勝以後 優勝 同志社大学
第 45 回 (平成5年)	宮城県 仙台市 県営宮城球場	神奈川大学 8 明治大学 0 福岡大学 4 同志社大学 5 2 3	代表23校 準決勝以後 優勝 同志社大学
第 46 回 (平成6年)	愛知県 瑞穂運動公園野球場	中央大学 8 桜美林大学 2 関東学院大学 3 関西大学 0 6 2	代表23校 準決勝以後 優勝 中央大学
第 47 回 (平成7年)	神奈川県 平塚球場 相模原球場	関西大学 0 九州産業大学 2 大阪経済大学 8 香川大学 1 1 3	代表23校 準決勝以後 優勝 大阪経済大学
第 48 回 (平成8年)	岡山県 マスカットスタジアム	同志社大学 3 神奈川大学 1 日本大学 1 桜美林大学 0 4 3	代表23校 準決勝以後 優勝 同志社大学
第 49 回 (平成9年)	石川県 石川県営球場 金沢市民球場	東北学院大学 3 関西学院大学 2 日本大学 5 九州産業大学 0 0 3	代表23校 準決勝以後 優勝 日本大学
第 50 回 (平成10年)	宮城県 県営宮城球場 東北電力愛島球場	日本大学 4 近畿大学 5 東北学院大学 4 桜美林大学 1 2 0	代表32校 準決勝以後 優勝 近畿大学
第 51 回 (平成11年)	香川県 香川県営球場 津田球場	桜美林大学 7 中央大学 6 九州産業大学 5 法政大学 2 3 5	代表23校 準決勝以後 優勝 九州産業大学
第 52 回 (平成12年)	長崎県 ビッグNスタジアム 市営かきどまり球場	九州産業大学 0 中央大学 8 亜細亜大学 5 愛知大学 3 5 0	代表23校 準決勝以後 優勝 中央大学
第 53 回 (平成13年)	大阪府 舞洲ベースボール スタジアム	桜美林大学 4 九州産業大学 3 法政大学 5 龍谷大学 1 3 5	代表23校 準決勝以後 優勝 法政大学
第 54 回 (平成14年)	北海道 札幌市麻生球場 野幌総合運動公園野球場	中央大学 1 九州産業大学 7 龍谷大学 1 福岡大学 4 1 0	代表23校 準決勝以後 優勝 九州産業大学
第 55 回 (平成15年)	愛知県 瑞穂運動公園野球場 熱田球場	日本大学 6 大阪教育大学 0 九州産業大学 3 関西学院大学 4 5 4	代表23校 準決勝以後 優勝 日本大学
第 56 回 (平成16年)	茨城県 水戸市民球場 ひたちなか市民球場	東海大学 2 福岡大学 0 立命館大学 1 甲南大学 0 4 3	代表24校 準決勝以後 優勝 東海大学

清瀬杯全日本大学選抜準硬式野球大会戦績表

回数	開催地	戦	績
全日本大学選抜 準硬式野球大会 第1回(昭和44年)	東京都 東神宮球場	立教大学 3 島根大学 2 明治大学 1 日本大学 2	優勝 日本大学
第2回 (昭和45年)	東京都 東神宮球場	名城大学 2 青山学院大学 4 東海大学 6 福岡教育大学 0	優勝 東海大学
第3回 (昭和46年)	東京都 東神宮球場	立正大学 3 東海大学 4 国士舘大学 4 熊本商科大学 3	優勝 東海大学
第4回 (昭和47年)	東京都 東神宮球場	日本大学 7 関東学院大学 0 高崎経済大学 1 岡山大学 4	優勝 日本大学
第5回 (昭和48年)	愛知県 名古屋	島根大学 1 高崎経済大学 5 久留米大学 2 亜細亜大学 4	優勝 亜細亜大学
第6回 (昭和49年)	和歌山県 和田辺	関東学院大学 3 和歌山県立歯科大学 0 愛知学院大学 3 中央大学 1	優勝 愛知学院大学
第7回 (昭和50年)	栃木県 宇都宮	福岡教育大学 2 愛知学院大学 1 足利工業大学 7 九州大学 0	優勝 足利工業大学
第8回 (昭和51年)	長野県 諏訪	名古屋学院大学 3 札幌大学 4 神奈川大学 3 徳島大学医学部 0	優勝 神奈川大学
第9回 (昭和52年)	神奈川県 神横須賀	名城大学 1 神奈川大学 2 関東学院大学 0 専修大学 9	優勝 専修大学
第10回 (昭和53年)	福岡県 久留米	名古屋学院大学 3 慶應義塾大学 1 福岡医科大学 0 専修大学 14	優勝 専修大学
第11回 (昭和54年)	和歌山県 和歌山	愛知教育大学 1 足利工業大学 10 関西大学 0 東北学院大学工学部 1	優勝 足利工業大学
第12回 (昭和55年)	静岡県伊東市 伊東スタジアム	福岡教育大学 3 足利工業大学 2 関東学院大学 4 日本大学理工学部 6	優勝 福岡教育大学
第13回 (昭和56年)	静岡県伊東市 伊東スタジアム	中央大学 8 浜松医科大学 2 京都産業大学 1 足利工業大学 2	優勝 中央大学
第14回 (昭和57年)	静岡県伊東市 伊東スタジアム	神奈川大学 12 大阪大学歯学部 0 群馬大学 5 東北大学工学部 2	優勝 群馬大学
第15回 (昭和58年)	静岡県伊東市 伊東スタジアム	早稲田大学 1 下関市立大学 0 東北学院大学工学部 0 慶應義塾大学 5	優勝 早稲田大学
第16回 (昭和59年)	静岡県伊東市 伊東スタジアム	慶應義塾大学 7 愛知学院大学 2 浜松医科大学 3 明治大学 2	優勝 慶應義塾大学
第17回 (昭和60年)	静岡県伊東市 伊東スタジアム	法政大学 8 亜細亜大学 4 滋賀医科大学 3 東洋大学 2	優勝 法政大学
第18回 (昭和61年)	静岡県伊東市 伊東スタジアム	花園大学 1 亜細亜大学 9 早稲田大学 5 駒沢大学 2	優勝 早稲田大学

回 数	開 催 地	戦	績
第 19 回 (昭和62年)	静岡県伊東市 伊東スタジアム	仙台大学 1 熊本商科大学 2 三重大学医学部 13 東洋大学 3	優勝 熊本商科大学 (現：熊本学園大学)
第 20 回 (昭和63年)	静岡県伊東市 伊東スタジアム	桜美林大学 10 帝京大学 2 日本大学 9 明治大学 1	優勝 日本大学
第 21 回 (平成元年)	静岡県伊東市 伊東スタジアム	静岡大学 2 専修大学 4 滋賀大学教育学部 4 東洋大学 3	優勝 専修大学
清瀬杯全日本大学 準硬式野球大会 第22回(平成2年)	栃木県宇都宮市 栃木県営球場 宇都宮市営球場	近畿大九州工学部 2 東北学院大学 8 名古屋商科大学 19 神奈川大学 1	優勝 名古屋商科大学
第 23 回 (平成3年)	群馬県営球場 前橋市営球場	福岡工業大学 0 帝京大学 7 福岡教育大学 4 大阪商業大学 0	優勝 福岡教育大学
第 24 回 (平成4年)	群馬県営球場 前橋市営球場	九州産業大学 0 立教大学 4 富士大学 3 早稲田大学 5	優勝 早稲田大学
第 25 回 (平成5年)	群馬県営球場 前橋市営球場	群馬大学 1 下関市立大学 7 愛媛大学医学部 1 札幌大学 7	優勝 下関市立大学
第 26 回 (平成6年)	北海道千歳市 千歳市民球場 青葉球場	東海大学 2 法政大学 4 日本大学 2 青山学院大学 7	優勝 法政大学
第 27 回 (平成7年)	北海道苫小牧市 市営緑ヶ丘球場 市営オーロラ球場	国士舘大学 5 常葉学園浜松大学 1 中央大学 8 武蔵工業大学 4	優勝 中央大学
第 28 回 (平成8年)	北海道苫小牧市 市営緑ヶ丘球場 市営オーロラ球場	北海学園大学 2 専修大学 19 愛知大学 5 群馬大学 1	優勝 愛知大学
第 29 回 (平成9年)	愛知県名古屋市 瑞穂公園野球場 熱田球場	中央大学 7 関東学院大学 0 常葉学園浜松大学 11 創価大学 5	優勝 中央大学
第 30 回 (平成10年)	愛知県名古屋市 瑞穂公園野球場 熱田球場	帝京大学 6 創価大学 11 中京大学 1 中央大学 6	優勝 中央大学
第 31 回 (平成11年)	石川県 石川県立野球場 金沢市民野球場	日本体育大学 5 神奈川大学 1 東海大学 5 早稲田大学 2	優勝 東海大学
清瀬杯全日本大学 選抜準硬式野球大会 第32回(平成12年)	石川県 石川県立野球場 金沢市民野球場	東海大学 1 専修大学 2 福島大学 1 中京大学 5	優勝 専修大学
第 33 回 (平成13年)	石川県 石川県立野球場 金沢市民野球場	東海大学 6 明治大学 3 関西大学 3 立命館大学 0	優勝 東海大学
第 34 回 (平成14年)	宮城県 宮城県営宮城球場	愛知学院大学 11 奈良県立医科大学 2 岡山大学 0 桜美林大学 12	優勝 愛知学院大学
第 35 回 (平成15年)	宮城県 宮城県営宮城球場	富士大学 2 法政大学 7 名城大学 7 近畿大九州工学部 3	優勝 法政大学
第 36 回 (平成16年)	京都府 西京極球場 太陽が丘球場	熊本学園大学 10 東亜大学 8 国士舘大学 6 早稲田大学 4	優勝 国士舘大学
第 37 回 (平成17年)	石川県 石川県立野球場 金沢市民野球場	東亜大学 1 法政大学 4 甲南大学 3 東海大学 2	優勝 甲南大学

回 数	開 催 地	戦	績
第 38 回 (平成18年)	愛知県名古屋市 瑞穂公園野球場 熱田球場	青森大学 2 福岡教育大学 3 日本大学理工学部 0 関西学院大学 10	優勝 福岡教育大学
第 39 回 (平成19年)	埼玉県 県営大宮公園野球場 さいたま市川通公園野球場	早稲田大学 5 都留文科大学 3 立教大学 6 東海大学 9	優勝 早稲田大学
第 40 回 (平成20年)	北海道 札幌市円山球場 札幌市麻生球場 道立野幌総合運動公園硬式野球場	東北学院大学 5 東海大学 2 九州産業大学 0 愛知教育大学 5	優勝 東北学院大学
第 41 回 (平成21年)	北海道 札幌市円山球場 札幌市麻生球場 道立野幌総合運動公園硬式野球場	龍谷大学 2 熊本大学 1 滋賀大学教育学部 1 久留米大学 3	優勝 龍谷大学
第 42 回 (平成22年)	石川県 石川県立野球場 金沢市民野球場	名城大学 0 福岡大学Ⅱ部 5 九州産業大学 9 明治大学 1	優勝 九州産業大学
第 43 回 (平成23年)	石川県 石川県立野球場 金沢市民野球場	国士舘大学世田谷 8 愛知教育大学 6 日本大学 3 鹿児島大学 2	優勝 日本大学
第 44 回 (平成24年)	石川県 石川県立野球場 金沢市民野球場	金沢大学医学部 0 群馬大学教育学部 5 国士舘大学 1 愛知教育大学 2	優勝 群馬大学教育学部
第 45 回 (平成25年)	宮城県 仙台市民球場 Kスタ宮城 名取市民球場	明治大学 10 釧路公立大学 0 関東学院大学 0 久留米大学 2	優勝 明治大学
第 46 回 (平成26年)	北海道 札幌市円山球場 札幌市麻生球場 道立野幌総合運動公園硬式野球場	国士舘大学 14 中京大学 4 神奈川大学 5 富士大学 2	優勝 国士舘大学
第 47 回 (平成27年)	愛知県 パロマ瑞穂運動公園野球場 熱田神宮公園野球場 豊田市総合運動公園野球場	関西学院大学 2 創価大学 1 日本大学三崎町 5 明治大学 8	優勝 関西学院大学
第 48 回 (平成28年)	静岡県 浜松球場 天竜球場	立教大学 3 大阪経済大学 5 近畿大学 5 九州共立大学 4	優勝 大阪経済大学
第 49 回 (平成29年)	大阪府 大阪シティ信金スタジアム 南港中央野球場 住之江公園野球場	専修大学 0 福岡大学 2 明治大学 5 京都産業大学 0	優勝 明治大学
第 50 回 (平成30年)	北海道 札幌市丸山球場 札幌市麻生球場 野幌総合運動公園硬式野球場	立教大学 15 大阪商業大学 6 日本大学 4 早稲田大学 6	優勝 早稲田大学
第 51 回 (令和元年)	宮城県 仙台市民球場 宮城広瀬球場 名取市民球場	専修大学 2 神奈川大学 5 名城大学 6 法政大学 5	優勝 神奈川大学
第 52 回 (令和2年)	石川県 石川県立野球場 金沢市民野球場 小松運動公園末広野球場	※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止	

全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会戦績表

回数	開催地	戦績	績																																
第 1 回 (昭和58年)	栃木県 西武球場	上越教育大学 九州六大学選抜 全東北選抜 関西選抜	優勝九州六大学																																
第 2 回 (昭和59年)	高知県 春野球場	全東海選抜 全四国選抜 全関東選抜 全中国選抜	優勝全東海選抜																																
第 3 回 (昭和60年)	福岡市 平和台球場	全東海選抜 全関東選抜 全東北選抜 全中国選抜	優勝全東北選抜																																
第 4 回 (昭和61年)	岡山県 倉敷市営球場	全関西選抜 全東海選抜 全関東選抜 全中国選抜	優勝全関東選抜																																
第 5 回 (昭和62年)	名古屋市 熱田球場 瑞穂球場	全東海選抜 全北海道選抜 全関東選抜 全東北選抜	優勝全関東選抜																																
第 6 回 (昭和63年)	沖縄県 武蔵野球場 糸満西崎球場 糸野湾球場	全関東選抜 全中国選抜 全九州選抜 全東海選抜	優勝全関東選抜																																
第 7 回 (平成元年)	香川県 県営第一・第二球場	全関東選抜 全東海選抜 全関西選抜 全四国選抜	優勝全関東選抜																																
第 8 回 (平成2年)	福岡市 平和台球場	全九州選抜 全関東選抜 全東海選抜	優勝全東海選抜																																
第 9 回 (平成3年)	岡山市 岡山県野球場 市営奥市球場	<table><tr><td></td><td>関西</td><td>東海</td><td>関東</td><td>勝点</td><td>得点</td><td>失点</td><td>順位</td></tr><tr><td>関西</td><td></td><td>2-0</td><td>6-3</td><td>6</td><td>8</td><td>3</td><td>1</td></tr><tr><td>東海</td><td>0-2</td><td></td><td>1-1</td><td>1</td><td>1</td><td>3</td><td>2</td></tr><tr><td>関東</td><td>3-6</td><td>1-1</td><td></td><td>1</td><td>4</td><td>7</td><td>3</td></tr></table>		関西	東海	関東	勝点	得点	失点	順位	関西		2-0	6-3	6	8	3	1	東海	0-2		1-1	1	1	3	2	関東	3-6	1-1		1	4	7	3	優勝全関西選抜
	関西	東海	関東	勝点	得点	失点	順位																												
関西		2-0	6-3	6	8	3	1																												
東海	0-2		1-1	1	1	3	2																												
関東	3-6	1-1		1	4	7	3																												
第 10 回 (平成4年)	香川県 県営第一・第二球場	<table><tr><td></td><td>北海道</td><td>関東</td><td>東北</td><td>勝点</td><td>得点</td><td>失点</td><td>順位</td></tr><tr><td>北海道</td><td></td><td>3-18</td><td>0-11</td><td>0</td><td>3</td><td>29</td><td>3</td></tr><tr><td>関東</td><td>18-3</td><td></td><td>0-0</td><td>3</td><td>18</td><td>3</td><td>2</td></tr><tr><td>東北</td><td>11-0</td><td>0-0</td><td></td><td>3</td><td>11</td><td>0</td><td>1</td></tr></table>		北海道	関東	東北	勝点	得点	失点	順位	北海道		3-18	0-11	0	3	29	3	関東	18-3		0-0	3	18	3	2	東北	11-0	0-0		3	11	0	1	優勝全東北選抜
	北海道	関東	東北	勝点	得点	失点	順位																												
北海道		3-18	0-11	0	3	29	3																												
関東	18-3		0-0	3	18	3	2																												
東北	11-0	0-0		3	11	0	1																												
第 11 回 (平成5年)	名古屋市 瑞穂球場 小牧市民球場 日進運動公園球場	<table><tr><td></td><td>東北</td><td>関西</td><td>関東</td><td>勝点</td><td>得点</td><td>失点</td><td>順位</td></tr><tr><td>東北</td><td></td><td>3-1</td><td>3-6</td><td>2</td><td>6</td><td>7</td><td>2</td></tr><tr><td>関西</td><td>1-3</td><td></td><td>3-6</td><td>0</td><td>4</td><td>9</td><td>3</td></tr><tr><td>関東</td><td>6-3</td><td>6-3</td><td></td><td>4</td><td>12</td><td>6</td><td>1</td></tr></table>		東北	関西	関東	勝点	得点	失点	順位	東北		3-1	3-6	2	6	7	2	関西	1-3		3-6	0	4	9	3	関東	6-3	6-3		4	12	6	1	優勝全関東選抜
	東北	関西	関東	勝点	得点	失点	順位																												
東北		3-1	3-6	2	6	7	2																												
関西	1-3		3-6	0	4	9	3																												
関東	6-3	6-3		4	12	6	1																												
第 12 回 (平成6年)	グアム島 パセオ球場	全関東選抜 全九州選抜 全四国選抜 全東海選抜	優勝全東海選抜																																
第 13 回 (平成7年)	和歌山県 田辺市民球場 南部千里ヶ丘球場	全東北選抜 全中国選抜 全関東選抜	優勝全関東選抜																																
第 14 回 (平成8年)	福岡県 久留米市営球場 小郡市営球場	<table><tr><td></td><td>東海</td><td>関東</td><td>東北</td><td>勝点</td><td>得点</td><td>失点</td><td>順位</td></tr><tr><td>東海</td><td></td><td>1-4</td><td>-</td><td>0</td><td>1</td><td>4</td><td>2</td></tr><tr><td>関東</td><td>4-1</td><td></td><td>13-4</td><td>4</td><td>17</td><td>5</td><td>1</td></tr><tr><td>東北</td><td>-</td><td>4-13</td><td></td><td>0</td><td>4</td><td>13</td><td>2</td></tr></table>		東海	関東	東北	勝点	得点	失点	順位	東海		1-4	-	0	1	4	2	関東	4-1		13-4	4	17	5	1	東北	-	4-13		0	4	13	2	優勝全関東選抜
	東海	関東	東北	勝点	得点	失点	順位																												
東海		1-4	-	0	1	4	2																												
関東	4-1		13-4	4	17	5	1																												
東北	-	4-13		0	4	13	2																												
第 15 回 (平成9年)	香川県 県営第一球場 第二球場	全関東選抜 全関西選抜 全九州選抜 全関東選抜	優勝全関東選抜																																
第 16 回 (平成10年)	岡山県 マスカットスタジアム・同補助球場 岡山県野球場	<table><tr><td></td><td>四国</td><td>九州</td><td>関西</td><td>勝点</td><td>得点</td><td>失点</td><td>順位</td></tr><tr><td>四国</td><td></td><td>5-3</td><td>0-3</td><td>2</td><td>5</td><td>6</td><td>3</td></tr><tr><td>九州</td><td>3-5</td><td></td><td>2-0</td><td>2</td><td>5</td><td>5</td><td>2</td></tr><tr><td>関西</td><td>3-0</td><td>0-2</td><td></td><td>2</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table>		四国	九州	関西	勝点	得点	失点	順位	四国		5-3	0-3	2	5	6	3	九州	3-5		2-0	2	5	5	2	関西	3-0	0-2		2	3	2	1	優勝全関西選抜
	四国	九州	関西	勝点	得点	失点	順位																												
四国		5-3	0-3	2	5	6	3																												
九州	3-5		2-0	2	5	5	2																												
関西	3-0	0-2		2	3	2	1																												
第 17 回 (平成11年)	大阪府 舞洲ベースボールスタジアム 南港中央球場	<table><tr><td></td><td>東北</td><td>東海</td><td>関西</td><td>勝点</td><td>得点</td><td>失点</td><td>順位</td></tr><tr><td>東北</td><td></td><td>3-3</td><td>4-1</td><td>3</td><td>7</td><td>4</td><td>2</td></tr><tr><td>東海</td><td>3-3</td><td></td><td>6-1</td><td>3</td><td>9</td><td>4</td><td>1</td></tr><tr><td>関西</td><td>1-4</td><td>1-6</td><td></td><td>0</td><td>2</td><td>10</td><td>3</td></tr></table>		東北	東海	関西	勝点	得点	失点	順位	東北		3-3	4-1	3	7	4	2	東海	3-3		6-1	3	9	4	1	関西	1-4	1-6		0	2	10	3	優勝全東海選抜
	東北	東海	関西	勝点	得点	失点	順位																												
東北		3-3	4-1	3	7	4	2																												
東海	3-3		6-1	3	9	4	1																												
関西	1-4	1-6		0	2	10	3																												
第 18 回 (平成12年)	名古屋市 瑞穂運動公園野球場 熱田球場	<table><tr><td></td><td>関西</td><td>四国</td><td>東北</td><td>勝点</td><td>得点</td><td>失点</td><td>順位</td></tr><tr><td>関西</td><td></td><td>16-3</td><td>19-5</td><td>4</td><td>35</td><td>8</td><td>1</td></tr><tr><td>四国</td><td>3-16</td><td></td><td>-</td><td>0</td><td>3</td><td>16</td><td>2</td></tr><tr><td>東北</td><td>5-19</td><td>-</td><td></td><td>0</td><td>5</td><td>19</td><td>2</td></tr></table>		関西	四国	東北	勝点	得点	失点	順位	関西		16-3	19-5	4	35	8	1	四国	3-16		-	0	3	16	2	東北	5-19	-		0	5	19	2	優勝全関西選抜
	関西	四国	東北	勝点	得点	失点	順位																												
関西		16-3	19-5	4	35	8	1																												
四国	3-16		-	0	3	16	2																												
東北	5-19	-		0	5	19	2																												

回数	開催地	戦	績																																		
第 19 回 (平成13年)	千葉県 千原市臨海球場 習志野市営秋津球場 千葉市営青葉の森公園球場	<table><tr><td></td><td>関東</td><td>九州</td><td>東海</td><td>勝点</td><td>得点</td><td>失点</td><td>順位</td></tr><tr><td>関東</td><td></td><td>6-2</td><td>4-4</td><td>3</td><td>10</td><td>6</td><td>2</td></tr><tr><td>九州</td><td>2-6</td><td></td><td>8-13</td><td>0</td><td>10</td><td>19</td><td>3</td></tr><tr><td>東海</td><td>4-4</td><td>13-8</td><td></td><td>3</td><td>17</td><td>12</td><td>1</td></tr></table>		関東	九州	東海	勝点	得点	失点	順位	関東		6-2	4-4	3	10	6	2	九州	2-6		8-13	0	10	19	3	東海	4-4	13-8		3	17	12	1	優勝	全	東海選抜
	関東	九州	東海	勝点	得点	失点	順位																														
関東		6-2	4-4	3	10	6	2																														
九州	2-6		8-13	0	10	19	3																														
東海	4-4	13-8		3	17	12	1																														
第 20 回 (平成14年)	愛媛県 松山市営坊ちゃんスタジアム 松山市営堀之内球場	全関東選抜 _____ 1 全中国選抜 _____ 0 _____ 3 全九州選抜 _____ 6	優勝	全	九州選抜																																
第 21 回 (平成15年)	岡山県 岡山県野球場 玉野市民総合運動公園野球場 山陽町桜が丘球場	<table><tr><td></td><td>東北</td><td>関西</td><td>九州</td><td>勝点</td><td>得点</td><td>失点</td><td>順位</td></tr><tr><td>東北</td><td></td><td>4-2</td><td>1-6</td><td>2</td><td>5</td><td>8</td><td>3</td></tr><tr><td>関西</td><td>2-4</td><td></td><td>3-1</td><td>2</td><td>5</td><td>5</td><td>2</td></tr><tr><td>九州</td><td>6-1</td><td>1-3</td><td></td><td>2</td><td>7</td><td>4</td><td>1</td></tr></table>		東北	関西	九州	勝点	得点	失点	順位	東北		4-2	1-6	2	5	8	3	関西	2-4		3-1	2	5	5	2	九州	6-1	1-3		2	7	4	1	優勝	全	九州選抜
	東北	関西	九州	勝点	得点	失点	順位																														
東北		4-2	1-6	2	5	8	3																														
関西	2-4		3-1	2	5	5	2																														
九州	6-1	1-3		2	7	4	1																														
第 22 回 (平成16年)	佐賀県 県営みどりの森球場 鹿島市営市民球場 嬉野町みゆき球場	<table><tr><td></td><td>九州</td><td>東北</td><td>関西</td><td>勝点</td><td>得点</td><td>失点</td><td>順位</td></tr><tr><td>九州</td><td></td><td>7-3</td><td>0-6</td><td>2</td><td>7</td><td>9</td><td>2</td></tr><tr><td>東北</td><td>3-7</td><td></td><td>2-19</td><td>0</td><td>5</td><td>26</td><td>2</td></tr><tr><td>関西</td><td>6-0</td><td>19-2</td><td></td><td>4</td><td>25</td><td>2</td><td>1</td></tr></table>		九州	東北	関西	勝点	得点	失点	順位	九州		7-3	0-6	2	7	9	2	東北	3-7		2-19	0	5	26	2	関西	6-0	19-2		4	25	2	1	優勝	全	関西選抜
	九州	東北	関西	勝点	得点	失点	順位																														
九州		7-3	0-6	2	7	9	2																														
東北	3-7		2-19	0	5	26	2																														
関西	6-0	19-2		4	25	2	1																														
第 23 回 (平成17年)	香川県 オリーブスタジアム 香川県営第二球場 さぬき市志度球場	<table><tr><td></td><td>九州</td><td>関東</td><td>北海道</td><td>勝点</td><td>得点</td><td>失点</td><td>順位</td></tr><tr><td>九州</td><td></td><td>7-1</td><td>1-2</td><td>2</td><td>8</td><td>3</td><td>1</td></tr><tr><td>関東</td><td>1-7</td><td></td><td>3-0</td><td>2</td><td>4</td><td>7</td><td>3</td></tr><tr><td>北海道</td><td>2-1</td><td>0-3</td><td></td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>2</td></tr></table>		九州	関東	北海道	勝点	得点	失点	順位	九州		7-1	1-2	2	8	3	1	関東	1-7		3-0	2	4	7	3	北海道	2-1	0-3		2	3	4	2	優勝	全	九州選抜
	九州	関東	北海道	勝点	得点	失点	順位																														
九州		7-1	1-2	2	8	3	1																														
関東	1-7		3-0	2	4	7	3																														
北海道	2-1	0-3		2	3	4	2																														
第 24 回 (平成18年)	福岡県 県営春日球場 福岡市営桜原球場 小郡市営小郡球場	<table><tr><td></td><td>九州</td><td>関東</td><td>中国</td><td>勝点</td><td>得点</td><td>失点</td><td>順位</td></tr><tr><td>九州</td><td></td><td>4-3</td><td>4-5</td><td>3</td><td>8</td><td>8</td><td>2</td></tr><tr><td>関東</td><td>3-4</td><td></td><td>3-1</td><td>3</td><td>6</td><td>5</td><td>1</td></tr><tr><td>中国</td><td>5-4</td><td>1-3</td><td></td><td>3</td><td>6</td><td>7</td><td>3</td></tr></table>		九州	関東	中国	勝点	得点	失点	順位	九州		4-3	4-5	3	8	8	2	関東	3-4		3-1	3	6	5	1	中国	5-4	1-3		3	6	7	3	優勝	全	関東選抜
	九州	関東	中国	勝点	得点	失点	順位																														
九州		4-3	4-5	3	8	8	2																														
関東	3-4		3-1	3	6	5	1																														
中国	5-4	1-3		3	6	7	3																														
第 25 回 (平成19年)	大阪府 舞洲ベースボールスタジアム 南港中央野球場 豊中ローズ球場	<table><tr><td></td><td>九州</td><td>東北</td><td>関東</td><td>勝点</td><td>得点</td><td>失点</td><td>順位</td></tr><tr><td>九州</td><td></td><td>2-2</td><td>2-3</td><td>1</td><td>4</td><td>5</td><td>2</td></tr><tr><td>東北</td><td>2-2</td><td></td><td>2-6</td><td>1</td><td>4</td><td>8</td><td>3</td></tr><tr><td>関東</td><td>3-2</td><td>6-2</td><td></td><td>6</td><td>9</td><td>4</td><td>1</td></tr></table>		九州	東北	関東	勝点	得点	失点	順位	九州		2-2	2-3	1	4	5	2	東北	2-2		2-6	1	4	8	3	関東	3-2	6-2		6	9	4	1	優勝	全	関東選抜
	九州	東北	関東	勝点	得点	失点	順位																														
九州		2-2	2-3	1	4	5	2																														
東北	2-2		2-6	1	4	8	3																														
関東	3-2	6-2		6	9	4	1																														
第 26 回 (平成20年)	岡山県 倉敷運動公園野球場 総社市スポーツセンター野球場 倉敷マスカット補助球場	<table><tr><td></td><td>九州</td><td>関東</td><td>関西</td><td>勝点</td><td>得点</td><td>失点</td><td>順位</td></tr><tr><td>九州</td><td></td><td>1-1</td><td>1-1</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td></tr><tr><td>関東</td><td>1-1</td><td></td><td>1-1</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>関西</td><td>1-1</td><td>1-1</td><td></td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr></table>		九州	関東	関西	勝点	得点	失点	順位	九州		1-1	1-1	2	2	2	1	関東	1-1		1-1	2	2	2	3	関西	1-1	1-1		2	2	2	2	優勝	全	九州選抜
	九州	関東	関西	勝点	得点	失点	順位																														
九州		1-1	1-1	2	2	2	1																														
関東	1-1		1-1	2	2	2	3																														
関西	1-1	1-1		2	2	2	2																														
第 27 回 (平成21年)	愛知県 熱田神宮公園野球場 瑞穂公園野球場 半田市民球場	<table><tr><td></td><td>九州</td><td>関西</td><td>東海</td><td>勝点</td><td>得点</td><td>失点</td><td>順位</td></tr><tr><td>九州</td><td></td><td>0-2</td><td>9-5</td><td>3</td><td>9</td><td>5</td><td>2</td></tr><tr><td>関西</td><td>2-0</td><td></td><td>5-0</td><td>6</td><td>7</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>東海</td><td>5-9</td><td>0-5</td><td></td><td>0</td><td>5</td><td>14</td><td>3</td></tr></table>		九州	関西	東海	勝点	得点	失点	順位	九州		0-2	9-5	3	9	5	2	関西	2-0		5-0	6	7	0	1	東海	5-9	0-5		0	5	14	3	優勝	全	関西選抜
	九州	関西	東海	勝点	得点	失点	順位																														
九州		0-2	9-5	3	9	5	2																														
関西	2-0		5-0	6	7	0	1																														
東海	5-9	0-5		0	5	14	3																														
第 28 回 (平成22年)	東京都 八王子市民球場 昭島市民球場 あきる野市民球場	<table><tr><td></td><td>東海</td><td>関西</td><td>中国</td><td>勝点</td><td>得点</td><td>失点</td><td>順位</td></tr><tr><td>東海</td><td></td><td>0-2</td><td>6-8</td><td>0</td><td>6</td><td>10</td><td>3</td></tr><tr><td>関西</td><td>2-0</td><td></td><td>1-2</td><td>3</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>中国</td><td>8-6</td><td>2-1</td><td></td><td>6</td><td>10</td><td>7</td><td>1</td></tr></table>		東海	関西	中国	勝点	得点	失点	順位	東海		0-2	6-8	0	6	10	3	関西	2-0		1-2	3	4	2	2	中国	8-6	2-1		6	10	7	1	優勝	全	中国選抜
	東海	関西	中国	勝点	得点	失点	順位																														
東海		0-2	6-8	0	6	10	3																														
関西	2-0		1-2	3	4	2	2																														
中国	8-6	2-1		6	10	7	1																														
第 29 回 (平成23年)	岡山県 岡山県野球場 倉敷マスカットスタジアム 倉敷マスカット補助球場	全関西選抜 _____ 1 全関東選抜 _____ 2 _____ 9 全四国選抜 _____ 2	優勝	全	関東選抜																																
第 30 回 (平成24年)	香川県 レグザムスタジアム 県営第二野球場 志度球場	全関西選抜 _____ 1 全東海選抜 _____ 2 _____ 2 全九州選抜 _____ 1 _____ 4 全関東選抜 _____ 2 ※ワイルドカード制導入（全関東）	優勝	全	関東選抜																																
第 31 回 (平成25年)	佐賀県 嬉野市みゆき球場 鹿島市民球場 伊万里市国見台球場	全九州選抜 _____ 2 全関東選抜 _____ 5 _____ 1 全北海道選抜 _____ 2 _____ 3 全関西選抜 _____ 7 ※ワイルドカード制導入（全北海道）	優勝	全	関西選抜																																
第 32 回 (平成26年)	大阪府 舞洲ベースボールスタジアム 南港中央野球場 住之江公園野球場	全東海選抜 _____ 1 全関東選抜 _____ 2 _____ 7 全四国選抜 _____ 1 _____ 3 全九州選抜 _____ 5 ※ワイルドカード制導入（全九州）	優勝	全	関東選抜																																
第 33 回 (平成27年)	香川県 レグザムスタジアム 県営第二野球場 志度総合運動公園	全関東選抜 _____ 2 全中国選抜 _____ 0 _____ 5 全関西選抜 _____ 5 _____ 1 全九州選抜 _____ 2 ※ワイルドカード制導入（全関西）	優勝	全	関東選抜																																
第 34 回 (平成28年)	佐賀県 嬉野市みゆき球場 鹿島市民球場 伊万里市国見台球場	全関西選抜 _____ 2 全九州選抜 _____ 3 _____ 7 全東海選抜 _____ 4 _____ 4 全東北選抜 _____ 5 ※ワイルドカード制導入（全東北）	優勝	全	九州選抜																																
第 35 回 (平成29年)	岡山県 岡山県営球場 倉敷マスカットスタジアム 倉敷マスカット補助球場	全東海選抜 _____ 5 全中国選抜 _____ 2 _____ 2 全九州選抜 _____ 0	優勝	全	関東選抜																																
第 36 回 (平成30年)	愛知県 豊田市総合運動公園野球場 熱田愛知時計120スタジアム パロマ瑞穂野球場	全九州選抜 _____ 7 全東海選抜 _____ 1 _____ 2 全関西選抜 _____ 3 _____ 4 全関東選抜 _____ 2 ※ワイルドカード制導入（全関西）	優勝	全	関西選抜																																
第 37 回 (令和元年)	大阪府・滋賀県 大阪シティ信用金庫スタジアム 皇子山総合運動公園野球場 住之江公園野球場	全関西選抜 _____ 1 全関東選抜 _____ 3 _____ 4 全東海選抜 _____ 1 _____ 2 全九州選抜 _____ 5 ※ワイルドカード制導入（全東海）	優勝	全	関東選抜																																

回 数	開 催 地	戦 績
第 38 回 (令和 2 年)	岡 山 県 倉敷マスカットスタジアム 倉敷マスカットスタジアム補助球場 岡 山 県 営 球 場	※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止

令和2年度全日本大学準硬式野球連盟役員名簿

全日本大学準硬式野球連盟

名誉顧問	木村 昭	増島 企史郎	大内 敬哉	井野 智	横田 秀雄
顧問	武内 繁和	小林 三郎			
会長	宮内 孝知				
副会長	太田 嘉務	澁谷 隆	鈴木 眞雄		
理事長	松岡 弘記				
副理事長	児玉 正輝	五味 敏雄			
理事 北海道	村上 清志				
東北	古澤 忍	藤田 耕一			
関東	山田 善則	成瀬 承司	三室 陽一	大橋 弘隆	
東海	三村 優易				
北信越	牧田 忠良	三田 晃史			
関西	芳田 茂樹	辻 延浩	横川 洋一		
中国	榑原 康史				
四国	丸吉 章	前川 定久			
九州	横山 武雄	奥村 浩正			
監事 東日本	林 和範				
西日本	木村 洋				
評議員 北海道	林 和範				
東北	伏見 善成				
関東	橋本 利一	池田 浩二	鈴木 豊		
東海	中野 将	村山 勝			
北信越	早川 外志雄				
関西	尾崎 真哉	藤田 幸久	野村 卓司		
中国	馬場 明				
四国	薬師神 芳洋				
九州	木村 洋	一ノ瀬 大一	井上 浩		

全日本大学軟式野球協会規約

第1章 総 則

第1条 本協会は全日本大学準硬式野球協会と称する。

第2条 本協会の事務所は、東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目27番7号におく。

第2章 目的及び事業

第3条 本協会は公益財団法人全日本軟式野球連盟の支部として、その指導のもとに大学の準硬式野球及び軟式野球を通じ学生生活の健全明朗化、体力の錬磨と人格の形成をはかり大学の準硬式野球・軟式野球の発展普及をはかることを目的とする。傘下の全日本大学軟式野球協会に所属し、大学又は大学校公認の準硬式（軟式）野球部をもって組織する。

第4条 本協会は前条の目的達成のため、次の事業を行う。

1. 全国的及び地方的大学準硬式・軟式野球大会の後援
2. 準硬式野球・軟式野球の指導、普及に関する事業
3. 準硬式野球・軟式野球に関する調査研究及び刊行物の発行
4. その他本協会の目的に必要な事業

第3章 組 織

第5条 本協会は全日本大学準硬式野球連盟及び全日本大学軟式野球連盟（以下連盟という）を所属団体とする。連盟の構成に関する決まりは、両連盟規約でこれを定める。

第4章 役 員

第6条 本協会に次の役員を置く。

会 長	1名
副 会 長	若干名
顧 問	若干名
理 事 長	1名
副理事長	1名
理 事	若干名
監 事	若干名

なお、必要に応じ名誉会長をおくことができる。

第7条 名誉会長・会長・副会長は理事会の決議で推薦する。

会長は本協会を代表し、会務を総括する。

副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。

第8条 顧問・参与は理事会の推薦により会長が委嘱する

顧問・参与は会長の諮問に応じて会議において意見を述べることができる。

第9条 理事は全日本大学準硬式野球連盟及び全日本大学軟式野球連盟より選出する。

理事長・副理事長は理事会の互選により選出し、理事長は理事会を代表して会務を執行する。理事長に事故あるときは副理事長が職務を代行する。

理事長は緊急を要する事項が生じた場合はこれを執行し、次回理事会の承認を得る。

第10条 理事は理事会において選出する。監事は会計を監査し理事会に出席して意見を述べることができる。

第11条 役員の任期は2年間とする。ただし、再任を妨げない。

第12条 この協会（業務）の事務を処理するため、職員をおく。

1. 職員は、会長が任免する。
2. 職員は、有給とする。

第5章 会 議

- 第13条 本協会の会議は理事会とし、重要事項を審議する。理事総数の過半数をもって成立する。
- 第14条 理事会は理事長が必要に応じ招集し、議長となる。
- 第15条 本協会の事業計画及び収支予算並びに年度決算は、理事会の議決を経なければならない。
- 第16条 会議の議決は出席者の過半数をもって決定する。
可否同数の場合は議長が決定する。

第6章 会 計

- 第17条 本協会の経費は、連盟負担金・全軟連よりの交付金、寄付金その他をもってこれにあてる。
- 第18条 連盟負担金の割合は両連盟で協議し、理事会の承認の上期日までに納入しなければならない。
- 第19条 本協会の会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。
- 第20条 本協会の規約は、理事会出席者の3分の2の同意を得なければならない。

第7章 附 則

この規約の施行についての細則は理事会の議を経て別に定める。

本規約は平成24年4月1日より改正し施行する。

平成4年4月1日制定
平成12年4月1日改正
平成13年4月1日改正
平成24年4月1日改正

全日本大学準硬式野球連盟規約

第1章 総 則

第1条 本連盟は全日本大学準硬式野球連盟と称する。

第2条 本連盟の事務所は、東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目27番7号に置く。

第2章 目的及び活動

第3条 本連盟は準硬式野球を通じて、学生生活の健全明朗化とともに体力の錬磨と人格の向上をはかり併せて準硬式野球の発展普及と加盟校の融和親睦を目的とする。

第4条 本連盟は前条の目的達成のため、次の活動を行う。

- (1) 大学準硬式野球の全国的及び地方的大会の主催及び後援
- (2) 準硬式野球の指導・奨励・普及に関する活動
- (3) 各種運動競技団体と連絡協調に関する活動
- (4) 準硬式野球に関する刊行物の発行
- (5) その他本連盟の目的に必要な活動

第3章 組織及び会員

第5条 本連盟は(公財)全日本軟式野球連盟の傘下の全日本大学軟式野球協会に所属し、大学又は大学公認の準硬式(軟式)野球部又は大学承認の準硬式野球部をもって組織する。

- 2 前項の準硬式(軟式)野球部は、北海道、東北、関東、東海、北信越、関西、中国、四国、九州の何れかの地区連盟に加盟しなければならない。

第6条 本連盟の会員は次の通りとする。

- (1) チームの登録名称は大学名、学部名、キャンパス名及び本連盟で認める名称とする。
- (2) 一つの大学で単一又は複数の学部より成るチームを加えた複数チームを編成することは可能とするが、同一キャンパスから大学名とキャンパス名のチームを登録することは認められない。
- (3) チーム名と同一の大学、学部、キャンパスに在学する選手・マネージャー・スコアラーを正会員とよぶ。
- (4) 各学部から大学名チームに登録することは可能だが二重登録は認められない。
- (5) 正会員として登録できる期間は学校教育法によって大学が定めるか、又は監督官庁によって定められた最短修業年限内とし、硬式野球部員・A号軟式野球部員との二重登録は認められない。
- (6) 監督・コーチについては登録を必要とするが在学する者に限らない。

第4章 役 員

第7条 本連盟に次の役員を置く。

会 長	1 名
副 会 長	若干名
顧 問	若干名
参 与	若干名
評 議 員	地区連盟毎にそれぞれの加盟校数に応じて決定
理 事 長	1 名
副理事長	若干名
理 事	地区連盟毎にそれぞれの加盟校数に応じて決定
指名理事	若干名

監事 2 名

なお、必要に応じ名誉会長をおくことができる。

第 8 条 名誉会長・会長・副会長は理事会の推薦により指名され、評議員会の承認をもって就任する。

2 会長は本連盟を代表して会務を総括する。

3 副会長は会長を補佐し会長に事故ある時はその職務を代行する。

4 名誉会長・会長・副会長は理事とし評議員の資格を有する。

第 9 条 顧問・参与は理事会の推薦により会長が委嘱する。

2 顧問は会長の諮問に応じ、必要に応じて会議において意見を述べることができる。

第10条 理事長、副理事長は理事会の互選により選出する。

2 理事長は理事会を代表し、会務を執行する。

3 副理事長は理事長を補佐し、理事長に事故ある時はその職務を代行する。

第11条 評議員は各地区連盟より選出する。評議員は各地区連盟の登録チーム数に基づき、改選前年度11月以降に開催される理事会で決定する。選出数の基準は、登録チームの10校当たり 1 名とし、端数は切り上げる。但し、30校に満たない地区連盟は 3 名とする。

2 評議員は学生野球指導者としての適任者であることを要する。

3 評議員は評議員会を構成し本連盟の重要事項を審議する。

第12条 理事は各地区連盟選出評議員の中から選出する。理事は各地区連盟の登録チーム数に基づき改選前年度11月以降に開催される理事会で決定する。選出数の基準は、登録チーム15校当たり 1 名とし、端数は切り捨てる。但し、30校に満たない地区連盟については 2 名とする。

2 会長が必要と認めた時には、評議員会の承認を得て理事を指名委嘱することができる（以下指名理事という）。指名理事は評議員の資格を有する。

3 理事（指名理事含）は、理事会を構成して評議員会の決議に基づき会務を執行する。

4 監事は評議員会において選出する。監事は当該年度の終了後、評議員会の開催される前に会計を監査し、評議員会に報告する。また、理事会に出席して意見を述べることもできる。

第13条 役員の任期は 2 年間とする。但し、再任をさまたげない。役員の任期が満了しても後任者が就任するまではその職務を行う。

2 役員は満80歳を超える年度をもって退任する。

3 会長又は理事長の歴任者で理事を30年以上務め、役員を退任された方は、評議員会の承認を得て「名誉顧問」として遇することとし、処遇については別途定める。

第 5 章 会 議

第14条 本連盟の会議は、評議員会、理事会及び役員会とし、過半数の出席をもって成立する。

第15条 評議員会は毎年 1 回以上、会長がこれを招集し、議長となる。

2 会議に出席できない者は、代理人によりその権利を行使することができる。

3 評議員会は、評議員、監事、顧問をもって構成する。

第16条 理事会は、理事長が必要に応じ招集しその議長となる。

2 緊急を要する事項で理事会に諮る余裕のないときは、理事長の権限において執行することができる。この場合には次の理事会の承認を必要とする。

3 理事会は会長、副会長、理事（指名理事含）、監事、顧問をもって構成する。

4 会議に出席できない理事は、選出地区連盟の評議員を代理人としてその権利を行使することができる。

第17条 本連盟に役員会を設置し、会長が招集し議長となる。

2 役員会は会長、副会長、理事長、副理事長をもって構成し、評議員会、理事会に諮る事項の事前協議を行う。

3 必要に応じて専門委員会に参加を要請することができる。

- 第18条 評議員会の議決は出席者の過半数をもって決定する。可否同数のときは、議長が決定する。
- 2 理事会の議決は、各地区連盟1名の投票により、過半数をもって決定する。可否同数のときは議長が決定する。

第6章 地区連盟

- 第19条 本連盟は次に定める地区ごとに1つの地区連盟を置く。
- 1. 北海道地区 全域
 - 1. 東北地区 青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島
 - 1. 関東地区 茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨
 - 1. 東海地区 静岡・愛知・三重・岐阜
 - 1. 北信越地区 新潟・長野・富山・石川・福井
 - 1. 関西地区 滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山
 - 1. 中国地区 鳥取・島根・岡山・広島・山口
 - 1. 四国地区 香川・徳島・愛媛・高知
 - 1. 九州地区 福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

第20条 地区連盟は当該地区内の会員をもって組織する。

第21条 地区連盟はこの規約に準拠し、別に地区連盟規約を定める。

第7章 会 計

- 第22条 加盟団体は毎年加盟金及び会員登録費を地区連盟を通じて本連盟に納入しなければならない。
- 第23条 本連盟の経費は、加盟団体が本連盟に納入する加盟金及び会員登録費、連盟主催の事業収益金、寄付金、基金その他預貯金等の利子をもってこれにあてる。
- 2 本連盟は必要に応じ、理事会の決議をもって基金を設けることができる。
- 第24条 加盟金は1団体につき、年額3万円、並びに会員登録費は年額1名1,000円とする。
- 2 各地区連盟は毎年加盟団体より前項の加盟金を徴収し、加盟団体の登録名簿を添えて本連盟に定められた期日までに納入しなければならない。
- 第25条 役員拠出金は、地区連盟が責任を持って指定された期日までに本連盟に納入し、基金に繰り入れる。また、基金とすることを指定して寄付されたものは、その意向に従う。
- 第26条 本連盟の基金、現金は理事会の決議を経て定期預金とする等確実な方法により保管する。
- 第27条 基金の取り崩しを行う場合には、理事会の承認を経て年次会計に繰り入れなければならない。
- 第28条 本連盟の事業計画及びこれに伴う収支予算及び年度決算は、理事会が編成し、評議員会の議決を経なければならない。
- 2 本連盟の収支決算に余剰金があるときは、理事会の議決を経てその一部もしくは、全部を基金に編入し、または翌年に繰り越すものとする。
- 第29条 本連盟の会計年度は、毎年1月1日に始まり同年12月31日終了とする。
- 第30条 本連盟会計に関し、別に会計処理規則を定める。

第8章 専門委員会及び事務局

- 第31条 本連盟の活動遂行のため、理事会は各種の専門委員会を設けることができる。各委員会の運営に関することは、理事会の議を経てその事項の処理にあたるものとする。
- 2 会長、理事長の業務を補佐し、連盟の会務を円滑に運営するため事務局を設けることができる。
 - 3 専門委員会、事務局の組織・担当業務については別に定める。

第9章 規約の変更

第32条 本連盟の規約は、評議員会に於いて出席者の3分の2以上の同意を得なければ変更することができない。

第10章 附 則

第33条 本規約の施行について必要な事項の細目は、理事会において別に定める。

- 2 この規約に定めがない事項については、(公財)日本体育協会が制定するスポーツ憲章および(公財)全日本軟式野球連盟の制定する諸規定（連盟規約、同細則、競技者規定、同細則）に基づくものとする。

昭和24年12月2日	制定	昭和49年4月7日	改正	昭和59年4月8日	改正	平成12年4月9日	改正
昭和26年8月9日	改正	昭和50年4月13日	改正	平成2年4月8日	改正	平成15年4月13日	改正
昭和28年4月16日	改正	昭和54年4月13日	改正	平成3年4月7日	改正	平成24年4月22日	改正
昭和29年4月28日	改正	昭和55年4月6日	改正	平成5年4月18日	改正	平成26年4月20日	改正
昭和31年4月18日	改正	昭和56年4月5日	改正	平成7年4月9日	改正	平成29年4月16日	改正
昭和33年4月6日	改正	昭和57年4月4日	改正	平成8年4月14日	改正	平成31年4月14日	改正
昭和40年4月4日	改正	昭和58年4月3日	改正	平成9年4月13日	改正		

アウト&セーフ編集にあたって

今年もNo.72のアウト&セーフを発行する運びとなりました。今年は世界中に飛び火したコロナウイルスの猛威により、全日本大会－3大会は全て中止となりました。

このような状況下、アウト&セーフの発行も休刊すべきという意見もありましたが、各地区連盟において、独自の交流、対外試合を計画、実施することが報告され、ページ数を少なくしてでも発刊すべきと考えた次第です。

今年はいつも協力してくれている岡山大学準硬式野球部員の諸君もコロナの影響により、招集出来ませんでした。最終的には私の個人的な判断で何とか発刊にこぎつけました。不備な点多々あるとは思いますが、どうかお許しを頂きたいと思います。

なお、全日本準硬式野球連盟事務局長島さんには毎回のことながら大変お世話になり感謝申し上げます。

太田 嘉務 記

発 行	全日本大学準硬式野球連盟 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-27-7 軟式野球会館5F TEL 03-3401-0824
編集責任者	太 田 嘉 務
発 行 日	令和3年2月28日

REACH BEYOND

何度も這い上がり 何度も立ち向かった
その先にひろがる憧れの舞台
私たちはすべての人がこの瞬間を迎えるために
全力で支え、そして力になる
決して諦めることなく進み続け
最高の舞台へ、踏み出そう

mizuno.jp 0120-320-799



asics

つながりこそ
日本の力だ。



嬉しい顔も。悔しい顔も。

思い出のプレーをかたちに残してパネルに、スナップに…

SPORTS 5 全国
SINCE 1972



URL : <http://www.kyodo-photo.co.jp>



かがやき

瞬間をみつめて...

試合にのぞむ子供の姿に魅了され、カメラを向け続けた日々。
星の数ほどの写真に残る子供たちの輝きに、時間の経過はありません。
ずっと生きる思い出を、私たちはみつめ続けます。

全日本軟式野球連盟指定 / その他各種競技団体写真担当



共同写真企画

東京支社 ■大阪本社 ■東京支社 ■中部支店 ■九州支店

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-27-7(軟式野球会館) TEL:03(5474)0741 FAX:03(5474)2417

感動！ サプライヤー ケンコーボール

1934年創業以来80年以上にわたり 一心にボールを作り続けてまいりました。
これからもスポーツライフに相應しい自信作をお届けしていきます。



(公財)全日本軟式野球連盟公認球

KENKO BALL

ケンコーボール H号

ナガセケンコー株式会社 www.nagase-kenko.com

[東京本社] TEL(03)3614-3501
[九州営業所] TEL(092)471-5381

[大阪営業所] TEL(06)6531-0783
[名古屋営業所] TEL(052)734-8886



NAIGAI BASEBALL

(公財)全日本軟式野球連盟・全日本大学軟式野球連盟公認球 H号・M号

想いを込める
一球がある



naigai 内外ゴム株式会社

